

ロータリー創立75周年記念

国際ロータリー第279地区史

4葉集を照らす灯



RI 第279地区

国際ロータリー第279地区 (千葉県)

ロータリークラブ分布状況図

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 279



※○の中の数字は
クラブ創立順位

ロータリー創立 75 周年記念誌

国際ロータリー第279地区史

千葉県を照らす東士の灯

RI 第 279 地区

表紙の副題「千葉県を照らす奉仕の灯」の文字は、千葉RC創立会員・県俳句作家協会顧問・元県美術会長杉本郁太郎氏（号・北柿）の筆によるものです。



地区名誉ガバナーの三笠宮さま

古代オリエント史の学者として知られる三笠宮崇仁親王は、1974～75年度からのRI第349地、さらに第279地区にかけての地区名譽ガバナー。写真は1973年3月10日、木更津市内で開催の第349地区年次大会で「人類最古の文明について」と題し記念講演された三笠宮殿下。

(木更津 RC)



川上知事さんは千葉の名譽会員

1975年春いらい県知事に就任している川上紀一氏（中央）は千葉 RC の名譽会員 …。1975年7月16日、千葉 RC の本部真之会長（右）と平尾正寿副会長（左）は県庁知事室を訪れ、川上知事に RC 名譽会員推せんを報告した。

(千葉 RC)

姉妹締結

思い出



1969年、我孫子RCは台湾の豊原R Cと姉妹クラブ締結。

(我孫子 R C)

1974年、小見川RCは茨城県鹿島臨海RCと姉妹クラブ締結。

(小見川 RC)



1977年、木更津RCは韓国の温陽RCと姉妹クラブ締結。

(我孫子 R C)

※ 写真説明あとの RC 名は
写真提供のクラブ名です。

1960年、国際ロータリー世界大会が東京で開催され、RI第721地区ガバナーと会員一行39人が市川市を訪れ、市川RCでは盛んな歓迎陣をしき、ホームホスピタリティをつとめる。
(市川RC)



1976年夏、カナダのプリンスジョージRCから交換学生マリアン・E・コーラン嬢(17歳)が来日、ローター例会で会員に挨拶。

(富津中央RC)



1979年、国際児童参加行事としてボナベ島の少年少女を招待、八街の子供たちとの交歓大会を開き、ともにオミコシをかついで日本の夏祭り情緒に浸る。

(八街RC)



社会奉仕



1976年、松戸RCは創立20周年を記念して市役所の「すぐやる課」にライトバン1台を寄贈。

(松戸RC)

1979年、富津中央RCは千葉県警富津警察署へ防犯車1台を寄贈。

(富津中央RC)



青少年奉仕



1978年、船橋東RCは市内の小中学生のために創造教室を開設、竹馬づくりや竹トンボづくりを指導。

(船橋東RC)

職業奉仕

ロータリアンは学習し、勉強する。研修、見学の成果を地域産業振興のために反映させ、そして、地域社会伸展のために貢献する。



研修会 佐原、小見川の両RCは、利根川対岸の潮来、鹿島臨海の両RCと提携し、4クラブ合同による水郷ロータリー研究会を毎年開催している。そして、その研修成果を地域振興のために役立てている。(1975年4月2日の第2回研究会より。小見川RC)



研修会 各RCは地域内、または地域外の事業所や会員職場の見学会を盛んにおこなっている。(1976年3月15日、酒造会社・飯沼本家にて。千葉RC)

記念奉仕



富津中央 RC は創立 10 周年を記念して富津市役所に記念陶碑を寄贈。碑には富津市民憲章が刻まれ、台上には陶芸家・土肥 満氏＝千葉 RC 会員＝制作の陶芸作品「想跡」が飾られている。1976 年 11 月 7 日、折からの降雨の中で除幕式がおこなわれた。
(富津中央 RC)



松戸 RC は創立 20 周年を記念して松戸市役所に無線通信機 4 台を寄贈、「すぐやる課」の機動性を高めるのに一役をになった。1976 年 11 月 17 日の記念式典で宮間満寿雄市長が初通話をおこなった。
(松戸 RC)



研究グループ交換

1970年、RI第357地区（千葉、埼玉）とRI第101地区（スコットランド）との間で初の研究グループ交換(GSE)が実施された。本県からは千葉、千葉南、市原3RC会員職場から1名ずつが選ばれ計6名がスコットランドに赴いた。写真は第一回GSEチームがエジンバラ空港に到着、バグパイブ演奏の出迎えを受けた。一行は同年5～6月の2カ月間滞在し国際的な交換研究の実をあげて帰国した。
(千葉RC)

楽しい家族会

各RCでは会員夫妻そろって参加の楽しい集いや催しを計画し、実行する。見聞をひろめるための家族旅行会も実施される。1975年11月25日、岡山県倉敷市にて。

(木更津RC)



RC ぞくぞく誕生

< 28 年間に 56 クラブ >



本県第1号のロータリークラブ。千葉RCのチャーターナイト記念撮影(1951年10月29日、県教育会館にて)



本県 56 番目の RC 誕生。千葉中央 RC のチャーターナイト式典(1978 年 11 月 18 日、千葉銀行本店ホールにて)

ロータリーの綱領

ロータリーの綱領は有益な事業の基礎として奉仕の理想を鼓吹し、これを育成し、特に次の各項を鼓吹育成することにある。

1. 奉仕の機会として知り合いを拡めること。
2. 実業及び専門職業の道徳的水準を高めること。あらゆる有用な職業は尊重されるべきであるという認識を深めること。そしてロータリアン各自が、職業を通じて社会に奉仕するために、その職業を品位あらしめること。
3. ロータリアンすべてが、その個人生活、職業生活及び社会生活に常に奉仕の理想を適用すること。
4. 奉仕の理想に結ばれた実業人と専門職業人の世界的親交によって、国際間の理解と親善と平和を推進すること。

四つのテスト

(言行はこれに照らしてから)

1. **真実**かどうか
2. **みんなに公平**か
3. **好意と友情**を深めるか
4. **みんなのため**になるかどうか

この地区史を読まれる皆さんへ

- 1)… この地区史は千葉県へ国際ロータリーが導入されてから約 30 年にわたるその発展と事業の史的全体を記述したものである。
- 2)…内容は主として次の資料から、なるべく正確を期して採録した。
△国際ロータリー定款 △国際ロータリー細則 △ロータリー・クラブ定款 △ロータリー・クラブ細則 △手続要覧(1978) △各年度ガバナー月信 △千葉県内各クラブから寄せられた年度別資料表(本誌のために各クラブから調査協力して、まとめられたもの) △各クラブの周年記念誌 △千葉県年表資料 △ロータリーの友 △世界のロータリー(国際ロータリー刊) △ロータリー日本五十年史 △斉藤ライブラリー(千葉クラブ所蔵)
- 3)…資料は可能な限り正確を期したが、各クラブのものは、今回協力を得た資料表によった。この報告の出所については、地区としてこれ以上のものは得られなかった。
- 4)…東京ロータリー文庫から提供を受けたものは優先的に採録した。
- 5)…ロータリー年度を基準として採用した。

ロータリー創立 75 周年記念

国際ロータリー第 279 地区史発刊の辞

国際ロータリー 齊藤 任
第 279 地区ガバナー

ここに国際ロータリー第 279 地区史を発刊する日を迎えましたことは、会員とともに心から喜びに堪えません。

顧みれば、国際ロータリー創立 75 周年記念度を迎えて、第 279 地区では地区史編集と、ロータリー讃歌の作詞・作曲を募集することとなり、先にロータリー讃歌は地区大会において発表されましたものの、地区史は内容の万全を期して発刊に多少の遅延をきたしましたことを、お詫び致します。

千葉ロータリー・クラブが昭和 26 年に創立されてから現在のような全県一区となるまでの経過や、その後の地区の発展は、そのまま日本国内のロータリーの変遷にもつながるでありましょう。それによって、その間の先輩ロータリアンの業績を偲び、各クラブの成長のあとをたどることが出来ますのは誠に意義あることと存じます。

1979～80 年度は、ロータリー創立 75 周年であると同時に、日本で初めて東京ロータリー・クラブが 1920 年に創立されてから 60 周年であり、また、戦後日本にロータリーが再建されてから 30 周年であるという多彩な年度でありましたが、その間、ロータリーは地域社会と密接な関係を保ちつつ、健やかに流れて歴史を形づくってまいりました。しかしながら歴史は単なる懐古であっては一半の意義しかありません。この地区史が将来のロータリー活動の一つの礎として受けとられるならば、幸甚これ過ぐるものではありません。

ロータリー創立 75 周年委員会委員の川名(委員長)、故・森田、青山(委員長代行)、藤代各パストガバナーおよび編集委員の本部(委員長)、宮下、土屋、関根、国松、高長谷、大木、杉田、さらに後半に就任された杉本、川口各委員のご努力の結果を今このような形で世に送ることが出来ましたことは、私にとって名誉の上もありません。ことに健康を害されて、なおも、ご尽力くださった本部委員長のロータリー精神には頭の下がる思いが致します。また、資料をお寄せくださいました各クラブに厚く御礼申し上げます、発刊の辞と致します。

口 絵	III
ロータリー 綱領	XI
この地区史を読まれる皆さんへ	XII
発刊の辞	XIII

(付録・県内 RC 創立系統図)

目 次

第 1 章	ロータリー序章	1
第 2 章	日本ロータリーの年譜	7
第 3 章	千葉県下 RC の誕生と拡大発展	13
第 4 章	各ロータリークラブの奉仕活動の歩み	16
	1. 社会奉仕	17
	2. 青少年奉仕	34
	3. 国際奉仕	38
	4. 職業奉仕	47
第 5 章	地区ロータリーの諸活動	53
	○ I・G・F 開催概要一覧	54
	○ GSE 研究グループの交換について	59
	○ 地区インターアクトの展望	62
	○ インターアクトクラブ実践の歩み	63
	○ 地区ローターアクトの展望	65
	○ RYLA と REX について	66
	歴代ガバナー思い出の記	67
資 料 篇		107
	数字で見た世界と日本のロータリー	109
	国際ロータリーの歩み	110
	年度別地区大会一覧	118
	地区協議会開催	120
	ロータリー財団寄付額表	122
	ロータリー財団功労者・功労クラブ	123
	ポール・ハリス・フェロー	124
	国際ロータリー第 279 地区ロータリー財団奨学生	131
	財団法人ロータリー米山記念奨学会寄付金納入明細表	134
	第 279 地区米山功労者・功労クラブ一覧	135
	第 279 地区米山奨学生一覧表	136
	国際青少年交換	139
	相互訪問の記録	148
	出席成績優秀クラブ	151
	第 279 地区(千葉県)ロータリー拡大の歩み	152
	姉妹クラブ・親交(友好)クラブ締結状況一覧	154
地 区 組 織 図		155
279 地区クラブ名簿		169

第1章 ロータリー序章

1980年2月23日は、ロータリー創立75周年の記念日である。国際ロータリーは今や世界153カ国、1万8000を超えるロータリー・クラブと、その会員85万名を持つ世界最大の国際的奉仕団体となっている。今日、この全世界のロータリアンは、75年にわたる発展と活動の跡を顧みて歓呼の声をあげて、この記念日を祝福し、また将来に向かっての団結と奉仕を誓い合っている。

ロータリーは、その発生の起源において、誰が、この壮大な成果を予測したであろうか。ロータリーの創始者ポール・ハリス (Paul・Percy・Harris) は生前、幾度となく「ロータリーを初めて創ったときから今日のようなことを予想していたか…」と尋ねられたが、1946年(彼の没する前年)の創立記念日に彼が与えた最後の回答も「NO、であったという。

しかし、彼の脳裏には期するものがあつたにちがいない。即ち、彼はクラブ創立2年後に会長となったが、この時、初めて同様のクラブを他の都市にも持ちたいと考えたことが記録されている。75年前(1905年)の2月23日の夜、アメリカ合衆国シカゴ市ディアボーン街のユニティビルにあつた鋳山技師・スターバス・ローア (Gustavas・Loehr) の事務所に4人の主客が集まつた。仕立屋のハイラム・ショーレー (Hiram・Shorey) と弁護士ポール・ハリス、そして石炭商シルベスター・シール (Silvester・

Shiele) である。彼らは、生まれ故郷を遠く離れて、この街にやってきた互いに見知らぬ相手ばかりであつた。偶然、落ち合つた4人であつたが、当然、友人となつて助け合いたいという想いは同じであつたにちがいない。この夜の4名の集まりが、ロータリーの発端であつたことは事実であるが、はじめにロータリーありき…ではなかつたけれど、この時期と場所に生まれるべくして、生まれたものであつたことは確かである。

ポール・ハリスは、その著書「This Rotarian Age、(ロータリーの理想と友愛) = 米山梅吉訳 = の中で、「ロータリーの如き運動の発芽期として20世紀初頭ほど絶好の時期はなく、同時にそれを育成して確固たる方向を示すべき土地としては、この攻撃的な、男性的な、しかも似非(えせ)理屈の多いシカゴの地ほど適切な都市はなかつた」としている。19世紀末に大火に遇つて傷跡もまだ癒えないシカゴの街には悪臭がみなぎり、シカゴ川は汚濁の水たまりとなり、「悪徳と腐敗の町。—これがポール・ハリスのいうロータリーの温床として、これほど「適切な都市、はなかつたし、「絶好の時期、はなかつたのである。そして「育成し、確固たる方向を示すべき土地」としてシカゴがあつたともいえるであろう。

この感想は友愛と奉仕を理想とするロータリーの起源として誠に当を得たものといえる。無

論、ロータリーのような社交と友情をもって活動する団体は古くからアメリカにも、ヨーロッパにも多種多様に発生していたようである。しかし、ポール・ハリスは、このことについても「これらのものと、ロータリーとちがうところは奉仕の理想を追求する熱意の激しさと強さにあるのだ」と強調している。

1905年は明治38年、日露戦争終結の年で中国では孫文の革命が起り、インドでは国民会議派の結成など世界は大きく揺れ動いていた時代である。しかし、この2月23日の夜の集まりは、だから直直しを図るのだという大きさなものでもなく、始めは身近の友情を深め、相互に仕事を助け合おうというにすぎなかったようである。クラブとして発足したのは、それから1カ月ほど経てからだが、4人のほかに印刷屋と不動産屋が加わって6人となって形が整えられた。クラブの名称も、それぞれの職業の異なる仕事場で廻り持ちの会合を開くことにしたり、役員も1年交代というやり方から“ロータリー”と名付けられた。だんだんと会員も増加し、回り持ちの会合も、3カ月ほどしてレストランで食事を共にすることとなった。

翌1906年1月、クラブ規約が作られ、①「会員の職業上の利益の増進」②「親交と社交のクラブに普通付帯する望ましい事柄の増進」……の二つを目的としていたが、まもなく、③「シカゴ市の最善の利益を振興し、会員間に市民としての誇りと忠誠の精神を鼓舞すること」の条項が加えられた。この3項目に盛り込まれたクラブ

の柱となる思想は今日の国際ロータリーにおいて背柱となっている綱領や定款の中でも、最も重要な部分である。

また、ポール・ハリスは「クラブをはつらつと動かして行くためには工夫が必要だ」としてクラブ会員の資格を1年ごとに切り、その成績によって次の年の会員をきめることとしたが、これはまもなく欠席を4回以上続けるか、半年間の出席率が60%に満たない時に会員資格を失うこととなって、このやり方は現在も変わっていない。

1908年、同じ目的規約を持つクラブが、サンフランシスコに誕生した。このあと、米国東西に同じクラブが続々と生まれたが、いずれも自然発生ではなく、一人の若い法律家ホーマ・ウッド(Homer・Wood)の努力によるものであったといわれる。その中で、オークランドのクラブが初めて週1回の規則正しい午餐会を例会とすることにきめたのも、現在のロータリー・クラブの行事として最も重要な例会の形となっている。

1908年、シカゴ・ロータリー・クラブに入会したチェスリー・ペリー(Chesley・R・Perry)は、1910年から32年間、70歳になるまで国際ロータリーの幹事、事務総長を務めたが、1910年8月、シカゴで14クラブの代表60名が集まった会合を司会し、全米ロータリー・クラブ連合会(National Association of Rotary Club)の結成を見たのであった。当時のクラブ数は16、会員総数1,800人であった。この会合で次の五

つのがきめられた。

①全米内のロータリー・クラブが加入する組織によってロータリーの原則を拡大発展させる。

②全米加入ロータリー・クラブの業務と原則を統一する。

③市民としての誇りと忠誠を喚起し、これを奨励する。

④進歩的で尊敬すべき商取引の方法を推進する。

⑤加入ロータリー・クラブの個々の会員の商業上の利益を増進する。

ここにロータリー・クラブの連合体が初めて生まれ、その活動と思想が、この5項目に要約されたのであったが、この時の初代の連合社長がポール・ハリス、幹事がチェスリー・ペリーで事務所はペリーのいたファースト・ナショナル・バンク・ビルに置き、ここが長年にわたる国際ロータリーの本拠となったのである。

同年(1910)、ロータリーはアメリカの国境を越えてカナダにもクラブが誕生し、その翌年(1911)に大西洋を越えて英国ロンドンおよびマンチェスターにつくられ、同時にアイルランドでもクラブが結成されて、ロータリーの国際性は本格的な拡大発展へと向かった。

この年、アーサー・フレデリック・シェルドン(Arthur・Frederick・Sheldon)の演説の一節から`He Profits Most Who Serves best、が生まれ、また、フランク・コリンズ(Frank Collins)の言葉から`Serves Not Self、が非公

式ながらロータリーのモットーとなり、今でもロータリーの看板文字とってよいほど最もよく知られている。1912年、ミネソタ州での大会には41クラブから代表が集まり、カナダからも出席があって、名称をロータリー・クラブ国際連合会(The International Association of Rotary Club)と改められ、ポール・ハリスは名誉会長に推された。この時のクラブ数は50、会員総数5,000人であった。

1914年、第1次大戦が起こりイギリス、アイルランドのロータリー・クラブは、ベルギーの避難民げ収容救済する仕事を始めた。これより先、1913年の国際大会で「倫理規定」を設けることを決めていたが、これが1915年のサンフランシスコの大会で、11カ条の倫理訓(The Rotary DodeefEthics)として採用された。

「倫理訓」

第1.わが職業は価値あるものであり、世に奉仕する絶好の機会が与えられていると考えるべきこと。

第2.わが身を修め、わが能率を向上し、わが奉仕を拡大すべきこと。そうすることによって最も良く奉仕するもの最も多く報いられるというロータリーの基本原則に対して忠実なることを立証すべきこと。

第3.われは実業人であり成功の野心を抱いていることを認める。同時に道徳を重んずる人間であり、最高の正義と道義に基づかざる成功は、これを欲するものではないと自覚すべきこと。

第4. わが商品、わがサービス、わが創意工夫を、利益を目的として他と交換するのは合法にして道徳に基づくとの信念をもつべきこと。ただし、すべての当事者がこの交換によって利益を受けることを前提とする。

第5. わが職業の標準を向上させるため最善の努力をいたし、その結果、わが業務の進め方は賢明にして利益をもたらし、この事例にならば幸福への道が開かれることも同業の者に悟らしむよう実践すべきこと。

第6. わが競争者と同等ないし、それ以上の完全なサービスをなし得るような方法をもって業務を運営すべきこと。もし疑わしい際には厳格な意味の責任義務を越えて一層のサービスを行うこと。

第7. 専門家あるいは実業人の最大の資産のひとつは、その友人であることを理解すべきこと。そして友情を通じて得られたものこそ妥当なものであることを理解すべきである。

第8. ほんとの友人は互いに強要するものではなく、利益のためにみだりに友人の信頼を用いることはロータリーの精神に一致せず、倫理訓を汚すものである。

第9. 他人が行わないような不正の方法によって機会を利用して得た成功は合法的でなく道徳にも反する。また道徳的に疑わしいため他の人の採らない機会に乗じて得る成功などは欲しないこと。

第10. われは一般の人以上にロータリアンたる友人を拘束することはしない。ロータリー

の原則は競争ではなく協力であるからである。党派心はロータリーのごとき制度においてはあってはならない。人格はロータリー内に限られるものではなく広く人類一般に深く根ざすものであることを確認し、すべての人や社会制度を、この高遠な理想に向かわしめるためにロータリーは存在するものである。

第11. 最後に「すべて人にせられんと思うことは人にもその通りせよ」という黄金律の普遍性を信じ、地上の天然資源に対して、すべての人に均等な機会を与えられてこそ人類社会は最後の状態になるということを主張するものである。

これによってロータリーの互惠主義が、他人への奉仕に切り変わったといわれている。しかし、その表現や配列に問題があるとして1927年、その頒布を中止したけれども、後にロータリーの綱領、その他に含まれていることが、ほとんどこの倫理訓に包含されており、1978年のサンフランシスコ国際大会で再び使用することを認めることとなった。

1915年に開かれたサンフランシスコ国際大会では、さらに重要な前進があったことは見逃がせない。つまり、ロータリーの綱領の整備や、新しく結成されるロータリー・クラブのための標準定款および細則の作成である。このなかで初めてアディショナル会員制を定めたりした。この年から第1次世界大戦の渦に巻き込まれたロータリーは、そのためにヨーロッパへの拡大が阻まれたけれども米国西岸から太平洋を西へ

伸びてホノルルのクラブが生まれ、また、キューバではロータリー・クラブ結成に一度は失敗しながらも、1916年にこれが成功を収め、英語を話さない国での最初のクラブとなって、ロータリーは、国境・民族・言語を越えて、いよいよその国際性を拡大すると共に広く人類の友愛と進歩に貢献する姿を整えてきたものといえる。

1918年、第1次世界大戦は終結した。太平洋を西へ進んだロータリーはマニラ、上海、カルカッタにクラブが設置、そして1920年、日本に上陸、東京ロータリー・クラブの誕生を見た。その前年には国際連盟が成立したが、ヨーロッパでは1920年にスペインのマドリッドにクラブが結成されて欧州大陸最初のクラブとなった。翌1921年、ロータリー国際大会は初めて米本国を離れ、スコットランドのエジンバラで開催されたが、ここで政治家でもなく商人でもない「平等の人間」として集まった人々によってロータリーの綱領に「平和と善意」が加えられた。当時、すべてのロータリーを律する定款の要望が強かったのであるが、1922年、多くの日数と衆知を傾けた原案が同年のロスアンゼルス大会に提出せられて決定をみた。

今日の全世界のロータリー・クラブとロータリアンを律する定款と細則は、ほとんどそのまま現在も引き継がれたものであり、例会出席のメイクアップ制度も、これによって実現した。このロスアンゼルス大会では、また、それまでのロータリー・クラブ国際連合会の名称を国際ロータリー (Rotary International) と改められ

今日に至っている。ロータリーは成立してから一貫して、その綱領の中で職業に関する倫理的向上を主張し続けてきたが、1913年、当時の会長が社会奉仕を奨励し、また、身体不自由児対策を実行することがロータリアン活動を特色づける看板事業のようになる傾向が出てきたことから、社会奉仕の仕事がロータリーを慈善クラブ化する姿が見られるようになったという。

これについては、ロータリーの1人一業は、それぞれの職業を通じての奉仕によって意義があるとして、社会奉仕はそこから出てくるものであるから、これを綱領からははずすべしとの論さえ飛び出てきた。ロータリー発生の原点からすれば、一応もっともな所論であるけれども、発生以来10有余年を経てロータリーの理想も社会に奉仕することで理解せられるものだとする主張も有力であり、この両論にはまた、奉仕の主体をクラブに置くか、会員個々の活動にまつかについても論争があり、やがて、これらの対立がロータリーそのものの危機を招きかねないとして、1923年、セントルイス大会で、いわゆる23-34号決議として「社会奉仕活動に対する方針」が定まった。

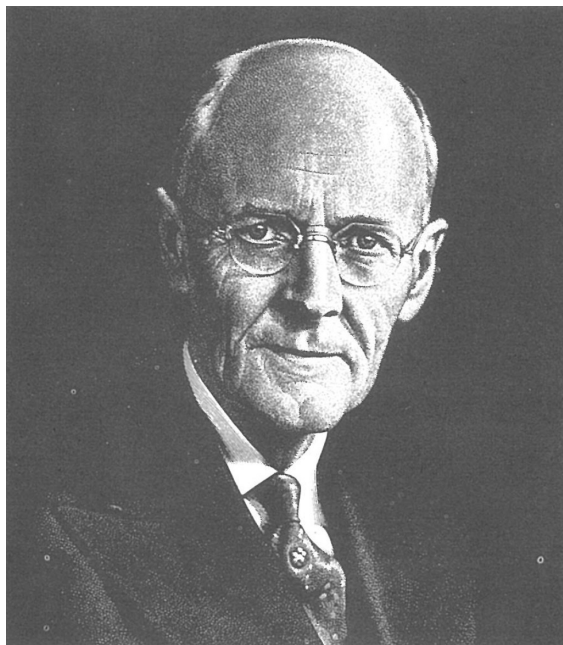
ボランティア団体として地域社会のニーズに応え、あるいは自ら進んで社会改良のことに資するのは当然であるが、元来、ロータリーは自由であって、会員やクラブが個々の考えに基づいて活動し、ときには相反する所論でぶつかることも、また、進歩であることを思えば、23-34号決議が当時、妥協の産物であったではあろう

が、そこにロータリーの融通無碍の体質と進歩的の性格を見ることができる。したがって23-34号決議は社会奉仕の原則をうたったものとして重要であるばかりでなく、ロータリーの本質を示すものとして国際ロータリーの歴史の中で今日的意義も大きく存在している。

1923年9月1日に起こった関東大震災で東京横浜の壊滅は、全世界に直ちに伝えられたが、国際ロータリーは間髪を容れず、救援の行動を起こし、米・英・加をはじめ各国の503におよぶロータリー・クラブから義援金や物資が送られてきた。このことは、日本においてロータリーが如何なるものかを知らせもし、そして、その後の日本のロータリー活動に大きな影響を与えた。

1927年国際ロータリーは総合企画委員会を設

けて奉仕を四つに区分することとし、ここにクラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕の形が定まった。1930年、ロータリーは創立25周年を迎え、発祥の地・シカゴで記念国際大会が開かれ、58カ国から1万1,008人が参加した。1933年、国際ロータリー・クラブの数は3,603、会員総数14万7,000人に成長し、ソ連や、一部の回教国を除いて、北米・南米大陸、ヨーロッパ、アジア、アフリカの多くの国に拡大してロータリーの真価を発揮しつつあった。しかし、1929年、ニューヨークのウォール街を襲ったパニック（世界経済恐慌）の打撃は、ロータリーにも影響をおよぼし国際ロータリーのクラブ数、会員数が共に減少（1931～32年）したのは、このころと、その後の第2次世界大戦中（1940～42年）だけである。



第2章 日本ロータリーの年譜

(東京クラブから千葉クラブまで)

1918年(大正8年)三井銀行の米山梅吉は日本からの財政調査団の一行に加わって米国を旅していたが、当時、テキサス州のダラスに滞在、ダラスロータリー・クラブの会員であった福島喜三次(三井物産)に会いロータリー・クラブの話聞いて大いに心が動いたという。当時の日本は第1次世界大戦に加わり、いわゆる成金景気に湧いていたが、1919年、戦争終結とともにニューヨーク・ウォール街に始まった経済恐慌の影響をうけて日本国内はひどく動揺した時代であった。

1920年、福島喜三次は帰国したが、この時、日本国内にロータリー・クラブをつくる委任を受けていた。ポール・ハリスによるロータリーの創立が新天地を求めた開拓精神の旺盛な人々の互惠主義と仲間意識から出てきたものであるだけに、古い殻から漸く抜け出た大正初期の日本の社会に、これが受け入れられるには容易ならぬものがあったにちがいない。おそらくはデモクラシーや自由の概念を取り入れることから出発せねばならなかったであろう。しかし、米山梅吉や福島喜三次、それにシカゴから応援に駆けつけた米国・船会社の横浜支店長ウィリアム・L・ジョンストン(William・L・Johnstone)らの熱意が実ったのであろう。1920年10月20日、東京で24名の会員によって創立総会が開かれ、東京ロータリー・クラブがこ

こに誕生した。国際ロータリーへの加盟承認は、翌年春の、4月1日付けで行われ、登録番号・第855号のクラブとして正式に発足した。初代会長は米山梅吉、幹事は福島喜三次であった。

かくしてロータリーの日本上陸は成功した。これを活力あるものとするためには、なお年月を要することであろうと思われた。しかし、皮肉にも前章でも述べたように1923年9月1日の関東大震災はロータリーを日本に印象づける最初の機会となった。この時、国際ロータリーは直ちに救援の事業を起し、米・英・加をはじめ多くの国から503クラブの義援金や物資の救援が相次ぎ、日本国民に深い感銘を与えた。このことは、また、東京ロータリー・クラブの活動にも大きな影勝を与えたことは想像に難くない。

これより先、東京ロータリー・クラブに在籍していた福島喜三次は大阪に転勤したが、そこで星野行則と対面する機会を得た。星野も1921年、訪米実業団の一員として渡米し、1922年の春、シカゴの国際ロータリー本部を訪れてロータリーのことを教えられ、大阪にロータリー・クラブをつくることを委任された。こうして1922年11月、25名の創立会員をもって大阪ロータリー・クラブが生まれた。初代会長は星野行則、幹事は福島喜三次であったが、大阪ロータリー・クラブは活発に行動したといわれている。

1924年、米国では排日法案が強化され、他方、ロシア革命の成功は日本でも左翼思想台頭の時代となっていたのに、ロータリーがシカゴに誕生してから15年余を経て、日本で実業界を中心として受け入れられ、今日の発展の基礎づくりがなされたことは、当時の指導層の遠見に基づくものとはいえ、その過程においては世界のロータリー史上で特徴的な現象をみることができ。即ち、東京、大阪の両クラブを頂点として、その後、各地に多くのロータリー・クラブが生まれていったのであるが、各都市ともに会員にその地の一流の名士を選ぶ方針をとった。このことは米山梅吉がとった指導方針として、会員選考基準には「国際的感覚をもつ一流の国家的人物」と表現したといわれているが、今日のロータリーを知る者にとっては時代を感じざるを得ないとともに、また、日本ロータリーの伝統には今なお何処かに、この思想が生きているやに見受けられるからである。1業一人としてその地元業界の代表的人物を充てることはロータリーの本流であるけれども、ややもすればロータリーが有閑紳士の昼食会であるとか、特権階級の集まりであるとかの誤解が今日でも存在しないとはいいい切れぬ面を持っている所以でもあろう。

シカゴの市井の庶民の間に生まれたロータリーが日本では、その発展過程にこのような傾向を持っているのは、日本ロータリーの特徴的な性格を表わしている。もっともロータリー初期においては、あながち日本だけに誤解が生じた

ものでもないようである。

1922年、シンクレア・ルイスの小説に、「ロータリーのために個性を失い、美辞巧言で瞞着に陥っている偽善者の姿」としてロータリアンを描いたものがあり、その後、ルイスが「ロータリーの実績は社会改良家のものよりも大きい」（日本ロータリー50年史）といった由であるが、世間は誤解に満ちているといってしまうまでである。「ロータリーよ何処へ？昼食へ」といったバーナード・ショーの言は皮肉である。誤解と皮肉は消さねばならない

1924年、神戸ロータリー・クラブが誕生したが、この時、米国から送られて来たハーディング大統領の祝福の文中に「もし、世界の各地域にロータリーを植えつけることができれば世界の平和と進歩とを保証することができる」とあり、この発言は今日、全世界に拡大されたロータリーの活動に終始変わらぬ目標を与えている。同年のロータリー創立記念日に東京ロータリー・クラブは、前年の関東大震災救援に感謝するため各国の大使・公使を主賓として招き、外務大臣や東京府知事らも出席して日本のロータリーにとって最初のロータリー創立記念行事となった。

日本のロータリアンとして最初に国際大会に出席したのは、1924年6月のトロント大会に東京ロータリー・クラブの前々会長宮岡恒次郎であったが、彼はそこで5分間のスピーチを行い、また、この大会から日本の天皇へも表敬の電報が打たれたという。

関東大震災復興後の日本国内では、革新政党が生まれ、あるいは大正デモクラシーの歪みから巷にエロ、グロ、ナンセンスといった自暴自棄の姿が溢れ、頹廢の空気は著しいものがあつた。ここで米山梅吉の言を記しておく。「ロータリーは見えないところに仕事があり、目立たないところに妙味がある」……

1925年、4月に名古屋、9月に京都の各ロータリーが発足した。翌1926年、京都を訪問した英国皇太子（後のウインザー公）が、唐突に京都ロータリー・クラブの例会に出席され、新聞に報道されるやロータリー・クラブの存在は一般に広く知られるに至った。

1926年5月、日本のロータリーは、その初の会合をインターシティ・コンフェレンスとして大阪で開催した。参加者は5クラブの会員138名であった。そして、この年の12月25日、大正天皇は崩御され、直ちに摂政官が踐祚、年号は大正から昭和へと移った。

1927年に京城ロータリー・クラブ、翌1928年には大連ロータリー・クラブが発足、いわゆる外地への勢力拡大政策に乗った形で朝鮮、満州へとロータリーは拡大の途についていたが、後に外務大臣として当時の国際連盟脱退（1933年）の立役者であった松岡洋右は大連ロータリー・クラブの初代会長である。かくて1928年7月、日本ロータリーは日本、満州、朝鮮を併せて第70区として発足（初代ガバナー米山梅吉）し、奉天、ハルピン、新京などのロータリー・クラブを生んだ。

1930年のロータリー創立25周年記念のシカゴ国際大会には、日本から徳川家達が出席して英語のスピーチをしたという。この年、第70区は10クラブ・520名の会員だった。越えて1931年には満州帛変が起こった。このころから暗い昭和の時代が始まり、左翼弾圧が行われる一方、浜口雄幸首相の狙撃事件などが相次ぎ、遂に1932年、いわゆる5・15事件により犬養毅首相は「話せばわかる」の説得に対し、「問答無用」の銃弾に倒れた。

この年、広島と札幌でロータリー・クラブが誕生、翌1933年の第5回第70区地区大会で井坂孝ガバナーが「ロータリーは外来の思想ではなく人間本来持っている善い種の芽生えたもので、これを一つの形式にまとめて人間活動の指針としたものは米国の智恵である」といったといわれるが、この時代のロータリーに対する一つの代表的発言をみることができる。同じ年の大阪での地区協議会では村田省蔵ガバナーは「人口5千人以上の都市には、すべてロータリーを創りたい」と述べている。この時分からロータリーの拡大発展には「質より量」の米山提案があつて特に若い会員の獲得を強調したというが、無論、ロータリーの質より量への転換ではなく、質・量ともに拡大をいったものであろう。

1933年、日本は国際連盟を脱退し、ドイツも脱退したが、この時点から日本は国際社会から孤立した存在となった。しかも、国内では軍部と右翼による思想弾圧が表にあらわれ、ロータリーに対する問題が起つてきた。即ち、右傾

団体によるロータリー排撃が決議され、「ロータリーは国家思想に反するフリーメンソンの外郭団体である」ときめつけられてきた。これは京都で起こったことであったが、九州でも同様の抗議がなされ、神戸ではマルクス主義の卓話を会報に載せられたために左翼と関係ありとして取り調べをうけたという。このような空気の中で1935年のマニラでの第5回太平洋地域大会へ出席するポール・ハリスが日本へ立ち寄った。短時間であったが、東京、横浜、京都、大阪、神戸を廻ってロータリー創始者として大いに歓迎を受けた。マニラの地域大会でポール・ハリスは特に“*He Profits most who serves best*”にふれ、「この profits はドルでも、セントでもなく、それは人生の Something だ」と強調したという。

1936年、2・26事件、翌1937年、盧溝橋事件に端を発した日華事変は次第に日本を悪い方へ走らせ、世論もロータリーに対する誤解が多くなってきた。これには国際ロータリーからも各国からも日華の友好を希望する電報が寄せられたというが、日本政府の不拡大方針にもかかわらず、戦争はますます拡大していった。この情勢に対して日本のロータリアンがロータリーを通じて日本の立場に理解を求めて東奔西走したが、事態は悪化の一途をたどり、経済統制が始まり、遂に1938年の国家総動員法が発令されて、日本は完全に戦時体制に入った。かくて1939年、ナチス・ドイツのポーランド侵攻により第2次世界大戦が始まり、日本のロータリーも遂に軍

当局によって「日本帝国に対する反逆」と極言せられるに至って、国内のロータリー・クラブは解散離脱するもの相次ぎ、日満ロータリー連合会も国際ロータリーを離脱、解散しないロータリーはいずれも、その名称を改め、ようやく余命をつないで、大戦後に復帰するまで残っていたものは19クラブであった。国際ロータリーは、1937年以降5年間、ドイツ、イタリアその他枢軸国軍の侵入または圧迫によって33カ国において484クラブ1万6千700名の会員を失ったという。1943年の調査によれば、国際ロータリーはクラブ数5,238、会員数21万4千500名となっているが、そのうち214クラブ、7千500名が活動を停止していた。

1940年、大政翼賛会が結成され、その翌年の12月、真珠湾攻撃に始まる、いわゆる大東亜戦争はますます苛烈を極め、1945年8月、広島が原子爆弾による悲惨を生むまで続いたが、8月15日の終戦詔勅によって戦争は終わりを告げた。その後に来たものは国民の困窮と食糧難と致命的な経済の混乱と、そしてインフレと失業の重苦しい時代となった。

また、そこには占領政策による、にわか仕立のアメリカ・デモクラシーが横行し、国民の思想は、かつてない混沌たるものとなっていた。この終戦の年に、先ず最初に国際ロータリーへ復帰したのはグアムロータリー・クラブであった。この年から翌年にかけてヨーロッパやアジアの多くのクラブが復活し、枢軸国ではイタリアのクラブが戻ってきたという。

日本においても終戦まもなく国際ロータリーへ復帰の希望が沸き起こって、東京をはじめ大阪、京都などが動き始めた。1946年、日米協会の会長小松隆は、GHQを通じて国際ロータリーに手紙を送り、日本の戦前のロータリー・クラブが名称を変えて残っている状況を説明し、国際ロータリーへ復帰希望の強いことを報告したが、この時の国際ロータリーの反応は、これを記録にとどめるにすぎなかったという。

1947年、戦前のクラブの有志が東京に集まって「ロータリー復帰協議会」を設け、小松隆が会長となって復帰の準備をすることになった。その第1回協議会にはGHQからも出席があり、現状報告をきいた。この折の戦後のクラブ数は18、会員数1,050名であった。

1948年9月、後の事務総長ジョージ・ミーンズが来日して国内のクラブの状況を視察、翌1949年に再び来日、日本が国際ロータリーへ復帰が可能になった旨を通告してきた。その条件としては、

- ①残存するクラブは解散する。
- ②国際ロータリーの定款・細則を厳守する。
- ③国際ロータリーへの義務を履行する。

の三点であった。

かくて、1949年3月、新生の東京仮ロータリー・クラブが発足した。会長は小林雅一。旧登録番号855号で再登録された。続いて同年中に京都、大阪、名古屋、神戸、福岡、札幌の6クラブが復活され、東京と併せて7クラブで第60区を形成することとなった。初代ガバナーは、

東京ロータリー・クラブの手島知健であったが、このロータリー復活を「新日本における最も幸福な出来ごと」といい、国際社会から閉め出された日本が再びその仲間入りをすることの喜びを最もよく表わしている。戦後の日本で国際団体へ加入が認められたのは宗教関係を除けばロータリーが最初のものであるとGHQ総司令官だったマッカーサー元帥は、この時のステートメントで述べている。

こうして日本ロータリーは、この年、即ち、昭和24年7月1日、第60区として再出発したが、同月、東京で開かれた地区協議会で手島ガバナーは、国際大会および国際協議の報告の中で特にロータリー情報とロータリー財団の重要性を強調している。その後の復活第1号は、同年7月27日に登録された横浜ロータリー・クラブである。その年、国際ロータリー会長パーシー・ホジソン(Percy Hodgson)が9月に来日して東西2回にわたるインターシティー協議会に出席して、彼は17年間100%の出席記録を持ち「出席は習慣」「友愛は微笑と温かい手」といい、「ロータリーの真髄は自ら欲するところを人に施せという黄金律」に尽きるといっている。その翌年(1950年)第60区の第1回地区大会が京都で開催され、参会者30クラブ、681名であった。ここで手島知健が再びガバナーに選ばれたが、「ロータリアンは平和国家として恒久的な世界平和の建設に貢献するため最大の努力をする」という決議を採択している。

1950年6月、突如として朝鮮戦争が始まった。

その直前には中共の毛沢東とソ連のスターリンとが中ソ友好同盟相互援助条約を締結調印したばかりであるのに朝鮮半島は南下した共産軍によって釜山まで陥落され、前年に復帰したばかりの韓国ロータリー・クラブでは多くのロータリアンが共産主義の敵として拉致されて殺されるという難に遭ったという。逆に日本では朝鮮戦争における特需景気が起り、経済は急速に進展して日本経済復興の最初の転機を迎えるに

至った。

ロータリー財団奨学制度は1947年に亡くなったポール・ハリスを記念して始められたもので、1948年に18名が初めて選ばれた。次いで1950年には、日本から第1号として米国へ留学する清水長一が紹介されている。

1950年度の日本ロータリーは、クラブ数64、会員総数2,304名となっているが、別表のように、その拡大の速度は次第にピッチをあげてきた。

意義ある業績賞と特別賞

1975～76年 市川 RC

1977～78年 新千葉 RC

1978～79年 本埜 RC

1979～80年 館山 RC

ポールハリスガバナー賞

1962～63年 八日市場 RC

ガバナー特別賞

1975～76年 我孫子 RC

鈴木子平（印西 RC）

1978～79年 衛藤五郎（茂原 RC）

= 財団に1万ドル寄付 =

第3章 千葉県下RCの誕生と拡大発展

千葉県に国際ロータリーが入って来た経緯については前章で述べたように、日本ロータリーが発足した時と誠によく類似している。すなわち日本ロータリーの先駆となった米山梅吉が福島喜三次とともに、その実現を果たしたと同様に千葉県においては、千葉県下第1号のロータリークラブ「千葉RC」の結成に多大の尽力を捧げたのは古荘四郎彦と斎藤武の2人であった。日本ロータリーは、太平洋戦争が終末を告げてから四年目の1949年3月に国際ロータリーに復帰した。それ以後、日本全国各地に続々とロータリークラブ組織され、次々と名乗りをあげた。

東京に近い千葉市でもその進生をのぞむ声が聞かれた。千葉ロータリー・クラブ結成のリーダーとなったのは千葉銀行頭取の古荘四郎彦であった。古荘は千葉銀行の初代頭取として名声も高く中央の政財界にも知己の多い異色の銀行家であった。出身は九州の熊本県ではあったが、郷土にも奉仕に熱心な人が多く、熊本県としての血を継いだ彼自身も千葉にあっては善行会や国連協会千葉支部をはじめ多くの団体を主宰していたし、また、ロータリーに対しても十分なる理解があった。たまたま彼が理事をしていた世界連邦建設同盟がスイス

のジュネーブで国際会議を開くに当たって日本代表として参加し夫人同伴で1950年に外遊したが、そこで欧米におけるロータリー・クラブの活躍の状況を見聞して共鳴し、翌年2月に帰国すると同時に友人である高橋サッポロビール社長から、また、東京RC柏原孫左衛門会長（千葉RC結成時のスポンサークラブ特別代表）から斎藤武を通じ古荘四郎彦に強い働きかけがあってクラブ結成が具体化へ向かった。

古荘の意を体して立ち働いたのは斎藤武、花岡和夫ら千葉RCのチャーターメンバーとなった21名の人々であった。とくに斎藤武は後に古荘四郎彦が会長在籍5年というロータリー・クラブとしては珍しく長期にわたった間の幹事をつとめ、かつて国内の勤務先でロータリアンの経験も豊富であったからこそ、その手腕は遺憾なく発揮され、ロータリー・クラブの発展拡大に最も力を注いだ先駆的人物であった。ロータリー日本上陸果たした時の米山、福島の関係と同様のパターンであったといえる。かくしてロータリー・クラブが千葉市に生まれた。当時の創立会員は次の人々であった。

千葉RCチャーターメンバー

古荘四郎彦（商業銀行）
花岡 和夫（内科医）

出田嘉次郎(製粉業)
伊藤恒太郎(造花製造)
国松真三郎(医薬販売)
古山春司郎(弁護士)
平塚 六郎(無尽会社)
飯田 信夫(建築訥負)
小林 啓善(新聞発行)
松井 正明(楽器販売)
中村 健吉(魚網製造)
斎藤 武(信用保証)
三平 良(商業組合)
白井 莊一(映画館)
山本 秀一(でん粉業)
田谷 一(通運業)
中村 茂富(電気供給)
坂本 義照(飼料製造)
杉本郁太郎(百貨店)
山越 大亮(漁業)
横山 康吉(菓子製造)

以上 21 名

千葉県内初のロータリー・クラブの幕明けは、以上のような経緯で発足した。この千葉 RC 誕生の1951年5月以後、30年間に千葉県内80カ市町村(26市47町7村)に56のロータリー・クラブが結成され、3,000人におよぶロータリアンが奉仕の灯を掲げて活動している。千葉県におけるロータリー・クラブの結成と拡大発展の状況は別掲の

資料篇に収録の、ロータリー・クラブ系統図、などによって見る事ができるが、ロータリー・クラブの設置状況を市町村別に見ると、市部42RC、町部13RC、村部1RCとなっている。

このように日本ロータリーが拡大発展するのと併行して千葉県内で急速な展開を示してきたのは、国際ロータリーの中にある人間性の発揚と善意とがロータリーのほかの人々にも理解せられるものであるからにはほかならない。また、ロータリーの内部反省としても、ロータリー外にある人々に十分の理解を求めるにしても、国際ロータリーの総てにわたるその理念なり、結成と活動の実態がどんなものであるかをハラの中に収めておく必要がある。

国際ロータリーは150カ国余にわたって1万8,000のロータリー・クラブと85万人を超えるロータリアンを擁している現状は、国際ロータリー創立75周年を経た今日のいつわらざる貞の姿なのである。こうした彪大な組織機構を持つ団体となるに至ったカゲのそこには一つの理念となっている綱領や活動に一貫した原則が存在しているからだ。このワクをはずさない限りは世界中どのクラブにしても全く自由な活動を奨励している。

国際ロータリーの組織は、このようにして世界中のロータリー・クラブが国際ロータリーのメンバーとして奉仕活動を行って

いるが、いずれのクラブも共通の定款細則によってガードされている中で全く自主的なクラブ活動にゆだねられていて、各クラブはそれぞれの持つ理事会によって運営管理されており、これらのクラブ活動を指導してゆく地域的な組織として全世界をゾーンおよび地区に分割し、この各地区が、みずからのガバナーを選出して地区内各クラブの活動や事業の面倒をみることとなっている。このことは組織上の形としてあるのみでなく、近年においては国際ロータリーみずから事業を実施し、あるいは地区みずから奉仕活動を展開してゆく度合が多くなってきている。しかし、地区の活動にしても、クラブ単位の活動にしても、さらにはメンバー個々の奉仕にしても、いずれが優先的に取り扱われるかを決めているわけではない。これはロータリー内部でも75年の歳月の中で個人活動か、集団活動か、そのいずれを優先させるべきかについて論議があるけれども、ロータリーという一元の集団の中では、これをいずれにするかはケース・バイ・ケースによるが、個人優先の考え方をとっている。

ロータリー・クラブの奉仕は、次のような区分をしている。すなわち、社会奉仕、職業奉仕、国際奉仕の三つであるが、社会奉仕の中でも、あるいは職業奉仕ないしは国際的な奉仕事業の中でも次代を担う青少年問題は最も重要なものとして、とく

に青少年奉仕は別の枠として取り上げるようになってきている。このようにロータリアンあるいはロータリー・クラブの奉仕活動は、国際ロータリーと各地区で取り上げた課題をも相協力して行っている。そのうち最も恒常的で重要な事業は、国際ロータリーが全世界で行っている「ロータリー財団」による青少年の留学生援助の制度および国際間の研究グループの交換などがあり、地区ごとの事業としては高校生の交換があり、わが国独自のものとしては、日本へ留学している大学生に対する学費援助「米山記念奨学生」の事業がある。ここで注意することは、ロータリー・クラブがボランティア事業や国際的に相互援助を行っている中で、金品を集めてする慈善事業的性格のものがとくにクラブ単位で行れるためにロータリーは慈善団体であるとか、「金持ち」の寄付拠出であるにすぎないなどの批判があり、今日では随分と少なくなったけれどもロータリーが1業一人の親睦団体であるとするところから「名士の昼めし会」などの誤解があることは残念である。

この史誌は地区史であるから地区の歴史的な経過や地区独自の事業を取り上げればよいのであろうが、ロータリーは以上述べてきたように、この組織の中でそれぞれの段階に応じて奉仕の事業を行ってきたから、その全貌は本誌の資料篇で知ることができる。

第4章 各ロータリークラブの奉仕活動の歩み

「奉仕の灯で道を照らそう、(LET SERVICE LIGHT THE WAY)…」 「奉仕」はロータリー精神の真髄である。全国23区に分かれて存在する各地区ロータリーの組織において、また、その傘下にある全国各地1470に達する単一ロータリーの組織においても、職業奉仕部門、社会奉仕部門、国際奉仕部門など担当諮問委員会、専門委員会が構成され、ロータリアン活動の真髄実践、に万全を期している。そして次代を担う青少年の健全育成にも目をそむけてはいない。青少年への奉仕の精神は、そのまま職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕の三部門の諸活動、プログラムのなかに青少年奉仕として織り込まれ、効果的な業績、実績をあげている。

千葉県のロータリアン活動は、1951年(昭26)の千葉RCの誕生からスタートした。それから30年…今日の千葉県下(第279地区)には、56クラブが存在し、その会員数も3000人に近いところまで拡大発展の実を結ぶに至っている。

次に掲げる社会奉仕、職業奉仕、国際奉仕、青少年奉仕の業績は地区内の新旧RCが実践して来た30年間にわたる奉仕活動の軌跡であるが、いずれも顕著な事例をアンケートに従って集約したものである。一部のRCが継続的に実践を積み重ねてきた「歳末たすけあい募金活動」「赤い羽根共同募金活動」「日赤募金活動」「緑化募金活動」など、関係機関・団体に対する支援・協力の奉仕活動の事蹟が一部省略されており、さらにネパールの結核撲滅を目的として端を発し、のちにバングラディシュ、インドネシアの救済にまで発展し、大きな貢献度の「わだち」を残した全RC一丸となつての「愛の古切手収集運動」の実践記録等は、すべて資料篇に一括集録した。

社会奉仕

1951年(昭26)～1956年(昭31)……〔第60地区時代〕

＝カッコ内は RC 名＝

- 1951年度** △県立ろうあ学校訪問、RI 創立記念日事業として2万円おくる(千葉) △オリンピック派遣選手資金として1万円おくる(千葉) △花岡和夫副会長が大阪の地区大会でコンピューター購入促進運動を提唱、その運動基金として各会員1000円、計3万円を集め、東京大学理学部へおくる(千葉) △市内在住の70歳以上の老人300人を千葉劇場に招待、高齢者慰安会を実施(千葉) △赤い羽根街頭募金運動に協力(千葉) △歳末たすけあいのため貧困者へ市役所を通じてノシモチをおくる(千葉)
- 1952年度** △RCの名を記した雨傘を国鉄千葉駅20本、同本千葉駅と京成千葉駅各10本、計40本をおくる(千葉) △赤い羽根街頭募金運動に協力(千葉) △歳末たすけあいのため貧困者300人にノシモチをおくる(千葉) △白い羽根街頭募金運動に協力(千葉)
- 1953年度** △九州・南紀風水害見舞金をおくる(千葉) △敬老寄付金を市へおくる(千葉) △千葉市出身のソ連抑留者へ慰門品をおくる(千葉) △赤い羽根街頭募金運動協力(千葉、木更津) △白い羽根街頭募金運動協力、募金後に上京してNHKを見学(千葉)
- 1954年度** △盲人協会を慰問し、1万円を寄付(千葉) △赤い羽根街頭募金運動協力。募金後に市川市平山の日本毛織工場を見学(千葉) △白い羽根街頭募金運動協力(千葉)
- 1955年度** △赤い羽根街頭募金運動協力(千葉) △新潟大火に対し見舞金をおくる(木更津)

1956年度 △北海道冷害地へ見舞金1万円をおくる（千葉）△市内の養老院を慰問、石炭暖房代をおくる（千葉）△オリンピック選手派遣資金を寄付（千葉）△赤い羽根街頭募金運動協力（千葉）△「約束時間を守りましょう」運動のPRポスターを市内に配る（木更津）

1957年（昭32）～1960年（昭35）……〔第355地区時代〕

1957年度 △九州風水害見舞金として1人あたり300円を拠出しておくる（千葉）△海岸通りに植樹、美化をはかる（木更津）△国鉄木更津駅に貸雨傘を寄贈（木更津）△太田山公園にツツジ300本を植樹（木更津）△国鉄市川駅に紙クズ箱を寄贈（市川）△歳末たすけあい運動に協力（佐原）△赤い羽根街頭募金運動に協力（千葉）

1958年度 △老人の日に古雑誌を養老院に寄贈（千葉）△赤い羽根街頭募金運動に協力（千葉）△街路植樹の補修実施（木更津）△盲人用点字本の点訳奉仕実施（木更津）市内の老人クラブへ火鉢を寄贈（木更津）△太田山公園へツツジを植樹（木更津）△国鉄佐原駅ほか市内6駅に貸雨傘を寄贈（佐原）△市内の米寿者に対し長寿を祝う記念品を寄贈（佐原）

1959年度 △市内の養老院2カ所を訪問、老人を見舞って慰問品をおくる（千葉）△赤い羽根街頭募金運動に協力（千葉）△東北地方津波被災地への見舞金3万円をNHKに委託（千葉）△国鉄木更津駅前の花壇に植樹、駅前の美化をはかる（木更津）△伊勢湾台風被災地へ見舞金をおくる（木更津、佐原、銚子）△市内の老人ホームへ炉撻を寄贈（市川）△創立5周年記念事業として船橋交通安全協会へ10万円寄付（船橋）△市内の米寿者に長寿を祝う記念品をおくる（佐原）△養護施設香取学園を訪問、収容児たちに慰問品をおくる（佐原）

1960年度 △赤い羽根街頭募金運動協力（千葉）△市内の戸定館に水洗便所を設置寄贈（松戸）△茂原青年会議所と共催で孤児を招待、慰問（茂原）△チリ津波被災地に義援金おくる（佐原）

1961年(昭36)～1966年(昭41)……〔第358地区時代〕

1961年度 △赤い羽根街頭募金連動協力(千葉) △市内小学校に対してコーモリ傘を寄贈する(木更津) △海岸にサクラを植樹(木更津) △松戸中部小学校講堂の施設改修に援助(松戸) △オリンピック東京大会基金運動協力(銚子) △市内の交通安全標識を寄贈(銚子) △茂原青年会議所と共催で合同献血運動を実施(茂原) △鴨川小学校講堂ステージの△帳を寄付(鴨川) △国鉄安房鴨川駅に雨傘を寄贈(鴨川) △親善野球大会開催の援助、歳末の福祉施設慰問の実施、市内各所にクズかごの設置寄贈など積極的に展開(成田) △市内の米寿者に長寿を祝う記念品贈呈(佐原)

1962年度 △赤い羽根街頭募金運動協力(千葉) △国鉄木更津駅前のグリーンベルトを整備、植樹を行う(木更津) △農村経営講座に補助金をおくる(木更津) △京葉高速道入口の船橋警察署前に交通安全大アーチを寄贈(船橋) △創立5周年記念事業として養老院建設援助金をおくる(佐原) △オリンピック東京大会基金を寄付(成田) △市内の水難危険個所に水難事故防止標識を寄贈(成田)

1963年度 △赤い羽根街頭募金運動協力(千葉) △市内の小学校へ楽器や交通安全用の横断小旗をおくる(木更津) △創立10周年記念事業として市に救急車1台をおくる(市川) △新潟地震被害地に対し救援金をおくる(銚子) △茂原青年会議所と共催で合同献血運動を展開(茂原) △市内の老人ホームを訪問、慰問の品をおくる(佐原) △国鉄安房鴨川駅にベンチを寄贈(鴨川) △市内の善意銀行に加盟、積極活動を展開することをきめる(成田) △国鉄八日市場駅の駅上屋建設に全面的協力をおこなう。これによりRIのポール・ハリス計画ガバナー賞を受賞する(八日市場)

1964年度 △全会員で日赤の集団献血運動に参加(千葉) △国際ロータリー60周年記念および例会700回記念事業として市内の警察署へオートバイ30台、市中央公園の植樹代30万円、同公園内のブロンズ像建設費助成20万円を寄贈(千葉) △木更津警察署へ拡声機を寄贈(木更津) △クリーン連動組織「江戸川を守る会」を発足(市

川) △国道 14 号線の照明灯寄贈 (船橋) △伊豆大島火災の被災者に救援金をおくる (銚子) △身体障害者授産所施設の建設資金の一部を助成寄付 (佐原) △福祉施設など市内各施設を慰問 (成田) △久留里小学校の梅園へ苗木を寄贈 (上総) △地域の体育大会へ資金援助 (上総) △国際ロータリー 60 周年記念事業として市にオートバイ 10 台をおくる (千葉南) △歳末たすけあい運動に協力、以後毎年度の継続事業とする (市原)

1965年度 △県立盲学校へ点字図書 16 冊、テープレコーダー 6 台を寄贈 (千葉) △赤い羽根街頭募金協力 (千葉) △国際ロータリー 60 周年記念事業として交通安全塔を市へ、未熟児保育箱を日赤へ、それぞれ寄贈 (市川) △創立 10 周年記念事業として 1 基あたり 13 万円の街路水銀灯を 12 基を市へ寄付 (船橋) △「街を明るくする運動」の展開を提唱するとともに街路水銀灯を建設して市へ寄贈 (銚子) △国鉄茂原駅にベンチ寄贈 (茂原) △伊豆大島大火被害に義援金をおくる (佐原) △国際ロータリー 60 周年記念事業として市内の小学校新入学児童全員に交通安全帽子をおくる (佐原) △市民会館前に掲示板を設置して寄贈 (旭) △地域内の国鉄線各駅に灰皿を寄贈 (上総) △香木原、福野など僻地小学校 2 校を訪問し、学用品その他を贈呈 (上総) △院内小学校言語障害児教育へ寄金する一方、市善行会の事業に積極協力 (千葉南) △伊豆大島大火被害に見舞金をおくる (市原)

1966年度 △赤い羽根街頭募金協力 (千葉) △市社教へ映写機を寄贈 (木更津) △交通安全用スピーカーを市川警察署へ寄贈 (市川) △船橋商工会議所建設資金の負担金助成 (船橋) △創立 10 周年記念事業として松戸警察署へ交通信号機、停止棒、ヘルメットを寄贈。さらに松戸身体障害者福祉会へ会旗と盲人用テープレコーダー 2 台、テープなどを寄贈 (松戸) △創立 10 周年記念事業として茂原警察署へ交通信号機を寄贈 (茂原) △市内老人ホームを慰問 (佐原) △鴨川交通安全協会へカーブミラーを寄贈 (鴨川) △国鉄大原駅と浪花駅へベンチ、伝言板、ゴミ箱など寄贈 (大原) △創立 5 周年記念事業として市民参加の文化大講演会を勝浦市民会館で開催 (勝浦) △美化運動の一環として公民館へロータリー標語入り灰皿をおくる (上総) △久留里小学校梅園へ苗木を寄贈して補植 (上総)

△沖縄の台風被害に対して見舞金をおくる（上総）△地域の体育大会へ資金援助（上総）△沖縄の台風被害に対し、とくに宮古島へ義援金をおくる（千葉南）△県結核予防会の活動に対し資金援助をおこなう（千葉南）△養老院など施設を慰問し、また、市に交通安全のための歩行者道路横断用小旗を寄贈（市原）△チャリティーサイン会を開催、益金を富津町社会福祉課におくる（富津）△町内の小、中学校8校に天幕を寄贈（千倉）△国鉄八街駅に水飲み場を設置して寄贈（八街）△交通安全運動の強化を町内の各団体機関と協力して実施（横芝）

1967年（昭42）～1972年（昭47）……〔第357地区時代〕

1967年度 △3 RC 合同で血液銀行採血車を日赤千葉県支部へ寄贈（千葉、千葉南、新千葉）△日赤へ第2回目の未熟児保育箱を寄贈（市川）△市内道路の歩行者横断用交通安全小旗入りポールを設置して寄贈（松戸）△千葉県肢体不自由児協会へ車イスを寄贈（松戸）△十勝沖地震災害地へ義援金をおくる（松戸）△交通安全協会者として市内在住の山口豊さんを表彰、さらに美化運動推進協力者として横山ツルさんをも表彰（松戸）△銚子市を紹介するパンフレット「郷土」を作成して関係方面に配布、郷上のためにつくす（銚子）△創立10周年記念事業として救急車ロータリー号を市当局に寄贈（佐原）△市内の老人ホームに鳩舎を寄贈（鴨川）△成田消防署を訪問、署員の労をねぎらう（成田）△市内の各福祉施設を慰問（成田）△社会奉仕事業の活動が顕著なるをもって「意義ある業績費」ガバナー賞を受賞（八日市場）△創立5周年記念事業として大原交通安全協会へ広報車ロータリー号を寄贈（大原）△町内の小、中学校8校へ第2回目の天幕を寄贈（千倉）△地域の主産業である農業と、その後継者問題について地方自治体に意見を開陳（上総）△市街地の駐車場について地区行政センターに助言をおこなう（上総）△消防署へ人工蘇生器を寄贈（我孫子）△沼南町の精薄児養護施設・桐友学園に対し資金援助（我孫子）△歳末たすけあい行事として母子家庭を慰問（我孫子）△国鉄大貫駅と佐貫町駅に列車発着時刻板をつくって寄贈（富津中央）△県立君津商業高校の校庭に池を造成して寄贈（富津中央）△交通安全教育用の交通信号機を大佐和町内の小学校3校に寄贈（富

津中央) △東北災害見舞金として5万円をおくる(印西) △行事実施の際の時間厳守を励行しようと地域内に呼びかけをおこなう(小見川) △地域内の福祉施設を慰問(小見川)

1968年度 △木更津市民会館建設基金の一部を資金援助で寄付(木更津) △五香六実消防署へテレビ寄贈(松戸) △千葉県社会福祉協議会「奉仕に働く人の慰労会」へ資金援助のため寄付(松戸) △千葉県肢体不自由児協会の「おんもに出よう」運動に協賛援助(松戸) △中部小学校特殊学級へテレビ寄贈(松戸) △松戸市内の交通規制地図を作成して松戸警察署へ寄贈(松戸) △十勝沖地震災害地へ見舞金をおくる(佐原) △市内の農村研修センターへテレビ寄贈(佐原) △市内の小学校へ雨傘を寄贈(鴨川)

△歳末たすけあいの行事として市内の各福祉施設を慰問(成田) △歩行者の車道横断用の交通安全小旗をおくる(柏) △町内の老人ホームへカラーテレビ寄贈(大原) △学園美化のため地域内各学校へ花の種子をおくる(上総) △地域内の国鉄各駅へゴミ箱を設置しておく(上総) △公民館に優良図書を寄贈(上総) △地域内の僻地小学校へ洋傘を寄贈(上総) △千葉県肢体不自由児協会へ車イス1台分拍当の金額を寄付(千葉南) △創立5周年記念事業として車イスを施設に寄贈(市原) △市内道路の要所にカーブミラーを設置して寄贈(市原) △チャリティーバザーを開き、その益金を関係機関に寄付(富津) △国鉄千倉駅と国鉄バス白浜駅にベンチを寄贈(千倉) △敬老の日の行事として市内在住の老人に真綿のチャンチャンコをおくる(我孫子) △歳末たすけあいのチャリティーバザー売り上げの益金を市社会福祉事務所に寄付(我孫子) △町の文化財を保護しようと積極運動を展開(横芝) △町をきれいにしようと美化運動を提唱して積極的に活動を展開(横芝) △大佐和町役場へ広報車を寄贈(富津中央) △15条の憲章を印刷して町内の全世帯へ配る(印西) △幼児の血液型検査と災害緊急連絡カードの配布をおこなう(多古) △学童に交通安全帽を贈呈(小見川) △米寿を迎えた老人にお祝いの座ぶとんを贈呈(小見川) △「川をきれいにしよう」と河川クリーン運動を積極展開(小見川) △市内の身体障害者に車イス、その他の品を寄贈(市川東)

1969年度 △市内の中学校へ国旗掲揚台を寄贈(木更津) △市内道路の要所に交通安全カーブミラーを寄贈(市川) △千葉県社会福祉協議会「奉仕に働く人の慰労会」へ資金援助のため寄付(松戸) △市内の小、中学校校庭に植樹のための苗木 20 本を寄付(松戸) △松戸市盲人会の結成発足に伴い資金援助のため寄付(松戸) △市立図書館の花壇を整備、美化につとめる(佐原) △飲酒運転追放の特別市民運動展開に伴い積極的に参加協力(勝浦) △バザーの益金を千葉県結核予防会、千葉県対がん協会などに寄付(千葉南) △市内要所に交通安全灯を設置して寄贈(市原) △国鉄内房線の全線電化開通を記念して国鉄千倉駅に花壇を設置して寄贈(千倉) △市内の小、中学校 9 校に洋傘を寄贈(我孫子) △身体障害者レクリエーションに資金援助のため寄付(八街) △寝たきり老人の家庭を慰問(横芝) △第 8 幸栄丸遭難に対し義援金をおくる(富津中央) △創立 10 周年記念の向こう 10 年間の継続事業として町内のバス停留所に待合所を設置して寄贈(印西) △印旛少年院を慰問(印西) △公民館の図書室に書棚を寄贈(多古) △幼児の血液型検査と災害緊急連絡カードの配布実施(多古) △国鉄線の各駅に雨傘を寄贈(小見川) △米寿を迎えた老人にお祝いの座ぶとんを贈呈(小見川)

1970年度 △創立 15 周年記念事業として交通安全道路標識をおくる(船橋) △市内の老人ホームにテレビをおくる(船橋) △創立 15 周年記念事業として植樹用の苗木 500 本を市へ寄贈(館山) △市役所へ指揮連絡用のジープ 1 台を寄贈(銚子) △夷隅郡大多喜町の集中豪雨被害に対し大多喜 RC へ見舞金を贈る(茂原) △市内の各小学校へ交通安全器具を寄贈(佐原) △創立 10 周年記念事業として市役所に広報車を寄贈(鴨川) △創立 10 周年記念事業として成田警察署にパトカー 1 台と交通巡査人形 15 体を寄贈(成田) △市立図書館に画報 12 巻をおくる(勝浦) △市内の川津にある官軍塚へアジサイ 250 本を植樹(勝浦) △千葉県南部集中豪雨被害地へ救援金をおくる(上総) △千葉県肢体不自由児協会へ車イスを寄贈(上総) △地域住民の体育大会に資金援助で寄付(上総) △天羽町にクズかごを寄贈(富津) △チャリティーサイン会を開催し益金を関係機関に寄付(富津) △国鉄和田浦駅に花壇を造成して寄贈(千倉) △創立 5 周年記念事業として交通安全指導車ロータリー号を寄贈(我孫子) △交通巡査人形を寄贈(八

街) △千葉県南部集中豪雨被害地へ見舞金をおくる(富津中央) △国鉄大貫駅と佐貫町駅に伝言板を寄贈(富津中央) △創立5周年記念事業として町へ救急車を寄贈(印西) △寝たきり老人と90歳以上の老人を慰問(印西) △町内の不幸な未亡人16人に対し慰問激励(印西) △町内のバス停に待合所を設けて寄贈(印西) △印旛少年院を慰問(印西) △歳末警戒の警察官を慰問(印西) △公民館の図書室に優良図書をおくる(多古) △幼児の血液型検査と災害緊急連絡カードの配布実施(多古) △日の丸掲揚運動の普及徹底をはかる活動を展開(小見川) △交通安全につくす緑のおばさんを表彰(船橋西)

1971年度 △市内美化、交通災害防止など千葉国体支援体制を強化(千葉) △県産品愛用推進運動を卒先して展開(千葉) △老人ホーム建設基金として40万円をおくる(木更津) △国鉄木更津駅に大時計を寄贈(木更津) △交通事故防止のため安全灯を寄贈(市川) △準看護婦学院へ図書費を寄付(船橋) △創立15周年記念事業として国鉄新茂原駅に記念樹を植える(茂原) △25号台風被害地へ義援金をおくる(成田) △肢体不自由児に車イス寄贈(成田) △交通巡査人形5体を寄贈(勝浦) △老人ホームを慰問(上総) △寝たきり老人対象にテレビ10合をおくる(上総) △交通安全用スコッチテープを学童に配布(上総) △千葉県肢体不自由児協会へ車イス、その他を寄贈(千葉南) △千葉生実学校へプールサイド用イスを寄贈(千葉南) △市内要所にカーブミラーを設置、交通安全運動に寄与(茂原) △植樹を呼びかけ緑化推進運動に積極協力(市原) △ゴミ箱を各所に配置して寄贈(富津) △市内美化のため花いっぱい運動を展開、花のタネなど寄贈(我孫子) △千葉国体への協力体制を固める(新千葉) △地域美化のための作文、ポスターを掲載したパンフレットを発行(八街) △地域内の小、中学校に国旗をおくる(横芝) △交通安全標識100本と富津中央公民館の演壇を寄贈(富津中央) △老人を招待してボウリング大会を開催(印西) △寝たきり老人と90歳以上の老人を慰問△町内のバス停に待合所を設けて寄贈(印西) △印旛少年院を慰問(印西) △歳末警戒の警察官を慰問(印西) △多古町文化祭に協力、資金の一部を寄付(多古) △幼児の血液型検査と災害緊急連絡カードの配布実施(多古) △交通安全帽子とワッペンを学童筆におくる(小見川) △黒部川の浄化、を提唱、クリーン運動展開(小見川) △公害防止対策の推進を呼

びかけ、植樹運動展開（市川東）△国鉄木更津駅に雨傘と傘立てを寄贈（木更津東）△チャリティーバザーを開き、その益金を寄付（松戸東）

1972年度 △市内の指定文化財説明板を作成して市に寄贈（市川）△船橋小学校創立 100 周年の祝賀行事に対し資金援助などで積極協力（船橋）△青少年のシンナー遊びなど非行化防止看板を作成して寄贈（船橋）△創立 15 周年記念事業として市へ天幕 10 張を寄贈（松戸）△養護老人ホームへ理容器具を寄贈（松戸）△松戸市民運動会へトロフィー寄贈（松戸）△市内の公園などにクズかごを配置して寄贈（佐原）△地域内の小学校に雨傘を寄贈（鴨川）△創立 10 周年記念事業として柏警察署にパトカーを寄贈（流山）△地域内の僻地小学校に運動用具を寄贈（上総）△老人クラブに交通安全杖をおくる（上総）△創立 10 周年記念事業として防犯と交通安全のため地域内に防犯灯を設置して寄贈（上総）△古切手の収集と提出（上総）△施設へ車イスを寄贈（市原）△地域内小、中学校特殊学級に教育資材・用具購入資金をおくる（富津）△非行少年善導運動と交通道德高揚運動を実施展開（横芝）△公害対策文集「太陽が見あたらない」を発行するとともに文集入選者の表彰をおこなう（富津中央）△町内の老人を招待して演芸大会を開催（印西）△老人招待ボウリング大会開催（印西）△寝たきり老人と 90 歳以上の老人を慰問（印西）△印旛少年院を慰問（印西）△町内のバス停に待合所を設けて寄贈（印西）△歳末警戒の警察官を慰問（印西）△社会福祉団体へ資金援助のため寄付（多古）△幼児の血液型検査と災害緊急連絡カードの配布実施（多古）△学童へ交通安全帽子をおくる（小見川）△孤児身障者へ資金援助のため寄付（小見川）△高齢者の長寿を祝って記念品を贈呈（小見川）△重度身体障害者へ慰問品をおくる（市川東）△創立 5 周年記念事業として市役所前にステンレス製の広報用ボックスを寄贈（木更津東）△千葉県国体開催にそなえ天幕 10 張を市に寄贈（松戸東）△印西警察署に警察犬をおくる（印旛本埜）△創立記念の植樹を実施（銚子東）△市内の各学校に洋傘を寄贈（銚子東）△利根川河口に風向風速表示機を設置して寄贈（銚子東）

1973年(昭48)～1976年(昭51)……〔第349地区時代〕

1973年度 △千葉国体を成功させようと協賛体制を固め積極的に協力(千葉) △創立20周年記念事業として市ヘレントゲン車を寄贈(木更津) △創立20周年記念事業として市ヘオーバーヘッド・プロジェクター1台を寄贈(市川) △創立20周年記念事業として市川警察署へ事故処理車を寄贈(市川) △市役所前庭に県木マキの木を植樹しておく(船橋) △公園にベンチを配置して寄贈(船橋) △衛生センターに救急車を寄贈(船橋) △千葉国体を成功させようと協賛体制を固め積極的に協力(館山) △館山市民センターに国旗掲揚塔を建設、市へ寄贈(館山) △寝たきり老人の援護活動資金援助のため30万円を寄付、さらに寝たきり老人・独居老人を世話するホームヘルパーを招き、その労をねぎらう(松戸) △松戸市民運動会ヘトロフィーを寄贈(松戸) △松戸市手をつなぐ親の会のバザーに対し資金援助のため寄付(松戸) △南伊豆地震の被害地へ見舞金をおくる(松戸) △市内の道路要所にカーブミラーを設置して市へ寄贈(銚子) △大原交通安全協会へ交通安全教育指導用の天幕を寄贈(大原) △千葉国体を成功させようと協力体制を固め、県国体局にタオル5,000本を寄贈(大原) △テリトリー内小学校特殊学級に教育機器を寄贈(上総) △君津市を中心として地域内の心身障害児と親で結成されている「手をつなぐ会」へ資金援助のため寄付(上総) △千葉国体を成功させようとの願いをこめた煙草の吸いガラ入れとゴミ箱を配置して寄贈(千葉南) △市内の精薄児施設へ教育器具などをおくる(市原) △チャリティーバザーを開催、益金を関係方面に寄付(富津) △国鉄南三原駅に文化財案内版を設置して寄贈(千倉) △市内に滞在したことのあるバーナード・リーチの碑を建立して寄付(我孫子) △ロータリー美術館を近隣の小、中学校へ贈呈(横芝) △公害防止対策の一環として河川汚染度調査と騒音調査を実施(横芝) △寝たきり老人と90歳以上の老人慰問(印西) △老人招待のボウリング大会および演芸大会を開催(印西) △町内のバス停待合所を建設して寄贈(印西) △歳末警戒の警察官慰問(印西) △印旛少年院慰問(印西) △地域内の老人に敬老事業として慰問と資金の寄付をおこなう(多古) △町の文化祭に資金援助(多古) △千葉国体を成功させるため協力体制を固める(小見川) △町美化と緑化の運動を積極推進(小見川) △衛生センターへ夜間診療自動車

を寄贈（船橋西）△市川消防署へ「関東大震災の記録」の映画フィルムを寄贈（市川東）△松戸消防署へ消防広報車を寄贈（松戸東）△身体障害児にケーキなどを寄贈して慰問（君津）△市民テニスコートを造成して寄贈（銚子東）

1974年度 △市役所へ火災警報サイレンを寄贈（木更津）△第2回目の寄贈品としてオーバーヘッドプロジェクターを市におくる（市川）△国鉄市川駅にクリーンボックスを寄贈（市川）△松戸養護学校施設に30万円をおくる（松戸）△地域の老人ホームへカラーテレビ寄贈（銚子）△県立大原高校生へのクラブ奨学金制度を廃止して代りにロータリー文庫を創設し地域につくす（大原）△地域の身障児親の会「手をつなく会」へ資金援助のため寄付（上総）△地域内の小学校へ交通安全教育のための機器をおくる（上総）△市制施行20周年を記念して各方面に記念品を贈ったり、資金援助のための寄付を実施（習志野）△千葉南青少年センター創設に伴い資金援助のため寄付（千葉南）△創立10周年記念事業として関係方面に交通安全指導車、言語治療教育機器を寄贈（富津）△国鉄千歳駅に花壇を造成して寄贈（千倉）△交通安全標語入りの標識塔を市内6カ所に設置、交通巡査人形を市内に配置、いずれも警察署に寄贈（我孫子）△地域の美化を推進して海岸の清掃作業を実践（富津中央）△集中豪雨の被害地に対する義援金5万円をNHKに委託（印西）△町内の招待してボウリング大会と演芸大会開催（印西）△寝たきり老人と90歳以上の老人を慰問（印西）△印旛少年院慰問（印西）△歳末警戒の警察官を慰問（印西）△町内のバス停に待合所を設けて寄贈（印西）△市内の緑化運動を推進するため「緑と太陽」をテーマに一般市民に植木を配布（八千代）△町内の高齢者を慰問するとともに資金援助のため関係施設、機関へ寄付おこなう（多古）△町を明るくする運動の一環として防犯灯を設置して寄贈（小見川）△関係機関と協力して緑化運動を積極推進（小見川）△宮城まり子制作の映画を中心にしたチャリティー・ショーを開催、益金を関係方面に寄付（船橋西）△海神小学校へ写真を寄付（海神西）△日赤など関係団体と協力して献血運動を積極的に推進（市川東）△交通遺児の育成資金として市に寄付金をおくる（木更津東）△佐倉市制施行20周年を祝して市に花時計を寄贈（佐倉）△地域内の本埜中学校にタイムカプセル「希望の塔」を寄贈（印旛本埜）△地域内の義務教育校特殊学級へカラーテレビを寄

贈（君津）△国鉄君津駅に大時計を寄贈（君津）△市内の犬吠埼・君が浜海岸に鉄骨造りの交通安全標語塔を建設して寄贈（銚子東）△市役所庁舎内に身障者売店の販売台を設けて寄贈する（銚子東）

1975年度 △創立 25 周年を記念して市内の公園にブロンズ像を寄贈（千葉）△「タバコ吸いながら投げ捨て防止運動」を積極推進したことにより地区で初めての「意義ある業積賞」を受ける（市川）△創立 20 周年記念事業として船橋警察署に広報車 1 台、青少年非行化防止明画のフィルムをおくる（船橋）△創立 20 周年記念事業として市ヘグランドピアノを寄贈（館山）△ユウカリ学園へ資金援助のため 3 万円を寄付（松戸）△地域内のマザーズ・ホームへ訓練器具を寄贈（佐原）△創立 15 周年記念事業として市に観光客歓迎塔を建設して寄贈（鴨川）△創立 15 周年記念事業として市役所前に青春像ブロンズを建立しておく（成田）△市内の養護施設を慰問（成田）△創立 15 周年記念事業として市内の交通事故多発地帯に交通安全標識を設置して寄贈（旭）△会員の大川時雄君が熱意ある老人奉仕によりロータリアンとして地区表彰を受け、地域の模範となる（八日市場）△地域内に住む僻地の子供の日常生活をフィルムに長期間記録した映画を自主製作、これを地域内の RC 主催会合で上映、多くの住民に感銘を与えた（上総）△地域内の小、中学校 10 校にゴミ箱を寄贈（富津）△創立 10 周年記念事業として朝＝地区教育委員会へ広報車 1 台寄贈（千倉）△創立 10 周年記念事業として柏警察署に防犯パトカー寄贈（我孫子）△創立 10 周年記念事業として町の保健センターへ門柱を設置して寄贈（八街）△交通安全運動を展開（横芝）△地域の老人ホームを慰問（横芝）△地域の交通事故防止のため交通安全標識と大型看板を設置して寄贈（富津中央）△寝たきり老人と 90 歳以上の老人慰問（印西）△老人を招待して演芸大会開催（印西）△町内のバス停に待合所を設けて寄贈（印西）△印旛少年院慰問（印西）△歳末警戒の警察官を慰問（印西）△栗山川浄化のクリーン運動を積極的に協力奉仕（多古）△高齢者の慰問実施（多古）△地域の交通安全運動に積極協力する（小見川）△住民の体力づくりをねらいとする「歩け歩け運動」に協賛し積極協力する（小見川）△日ごろ恵まれぬ母子家庭を対象にローターアクトクラブと協力して母と子を海水浴に招待する（船橋西）△大東亜戦争開始の暗号「ニイタカヤマノボレ」の無線電信を発した船

橋無線塔の記念碑建立運動をおこす（船橋西）△第2回目の献血運動を実施（市川東）△市内の美化運動に協力（市川東）△市立図書館にロータリー文庫を3万円で設置、この文庫を充実するため毎年継続して補助金の寄付をきめる（木更津東）△交通安全運動に協力するためNHKフィルム「交通犯」を寄贈（松戸東）△佐倉警察署、交番に自転車を送贈（佐倉）△地域内の印旛中学校にタイムカプセル「希望の塔」を送贈（印旛本埜）△学校の交通安全を守るため通学路に交通標識送贈（岩津）

1976年度 △市へ鑑識車を送贈（木更津）△身体障害者に車イス5台送贈（船橋）△船橋西RCと協力して船橋無線塔の記念碑建立運動をおこす（船橋）△創立20周年記念事業として市役所すぐやる課へライトバン機動車1台、無線通信機4台を送贈、松戸養護学校へ校旗をおくる（松戸）△17号台風災害地へ義援金をおくる（松戸）△創立20周年記念事業として老人いこいの家へピンポン台を送贈、国鉄銚子駅へタバコ吸いがら入れを送贈（銚子）△創立20周年記念式典を挙行、一般を対象とした記念講演会を催す（銚子）△市内の交通公園に時計をおくる（茂原）△ロータリー菜園完成（佐原）△成田市献血互助会の運動に積極協力（成田）△創立15周年記念事業として山本有三の「真実一路」の碑を建立（大原）△ノルウェーのガンダール合唱団を招き、一般市民を対象とした市民音楽会を開催（勝浦）△環境美化運動の一環として学童の描いた優秀作品ポスター500枚を市内各所に配り掲示する（勝浦）△社会教育の場としての青年館に環境美化運動の一環として苗木を植える（上総）△地域内の義務教育校特殊学級へ教育器材器具を贈呈（上総）△地域内の4町にクズかごを送贈して美化をはかる（千倉）△図書送贈運動を展開（我孫子）△国旗掲揚塔を設置して送贈（我孫子）△柏警察署に防犯パトカーを送贈（我孫子）△ノルウェーのガンダール合唱団を迎え音楽会開催（新千葉）△17号台風被害地へ義援金を贈る（新千葉）△横芝交通安全協会へオートバイを送贈（横芝）△創立10周年記念式を挙行、大佐和RCを富津中央RCと改称したのを記念して陶芸家土肥満氏の作品「想跡」を文化遺産の保護顕彰に資すべく富津市へ送贈（富津中央）△町内のバス停に待合所を設置して送贈（印西）△寝たきり老人と90歳以上の老人慰問（印西）△老人招待の演芸大会開催（印西）△創立10周年を記念して町役場に記念の植

樹を寄贈（印西）△歳末警戒警察官を慰問（印西）△町内の名松、多古経塚の松の復元に協力、資金援助をおこなう（多古）△ロータリー文庫を創設（多古）△タバコ吸いがら入れを市内のスタンドなどに設置しておく（小見川）△横断歩道の交通安全用黄色の小旗を作成して寄贈（小見川）△町内の中学校にベンチを寄贈（小見川）△船橋警察署にミニ・パトカー寄贈（船橋西）△市川南 RC と協力して市内美化運動を実施（市川東）△中部地方水害地と洒田市大火の被災者に義援金おくる（市川東）△映写機と映写フィルムを購入して市役所交通課の交通安全教室に寄贈（木更津東）△地域内の4小学校へ優勝旗を寄贈（印旛本埜）△創立5周年記念事業として市役所前に記念植樹、さらに交通事故発生状況を知らせる掲示板を寄贈（君津）△茂原市教委に16台の映写機を寄贈（茂原東）△17号台風の被災地へ義援金おくる（茂原東）△市内のバス停にタバコ吸いがら入れを寄贈（柏西）△環境美化と浄化をはかる「クリーン柏作戦」に参加して積極協力（柏西）

1977年（昭52）～1979年（昭54）……〔第279地区時代〕

1977年度 △千葉中央 RC 創立スポンサークラブ担当記念事業として地域警察署へ移動交番寄贈（千葉）△創立25周年記念事業として市に救急車寄贈（木更津）△市川東 RC、市川南 RC と合同して悪書追放運動を展開、市内の国鉄各駅と私鉄各駅に白ポストを寄贈（市川）△江戸川清掃のクリーン作戦運動に全会員が参加（市川）△環境美化運動の標語を掲示（船橋）△身心障害児を招待してピクニックを催す（館山）△松戸市学校保健会へ人体模型など100万円相当を寄贈（松戸）△創立20周年記念事業として市に消防指揮車を、松戸警察署にロータリー文庫を寄贈（佐原）△市民会館の落成を記念してエレクトーンを寄贈（鴨川）△創立1周年記念事業として流山市社会福祉協議会へ50万円寄付（流山）△地域内の国鉄各駅に寄贈済みのベンチにペンキ塗り補修作業奉仕実施（千倉）△柏警察署に覆面パトカーを寄贈（我孫子）△環境美化をねらいとした市内クリーン作戦に協力参加（我孫子）△環境美化の標語作文集を作成して町内関係方面に配布（横芝）△献血運動実施（横芝）△老人ホームを慰問しテレビを寄贈（横芝）△寝たきり老人と90歳以上の老人を慰問（印西）△老人招待の演芸大会開催（印

西) △町内のバス停に待合所を設けて寄贈 (印西) △歳末警戒の警察官慰問 (印西) △創立 10 周年祝賀式典を挙行するとともに記念の植樹を実施して緑化運動推進する (多古) △創立 10 周年記念事業として町ぐるみゴミを出さない運動を展開、とくにタバコの吸いながら投げ捨て防止を大々的に推進 (小見川) △創立 10 周年記念事業として県民の森造成資金援助のため寄付 (船橋西) △創立 10 周年記念植樹を実施、市内の緑化をはかる (市川東) △創立 10 周年記念事業として市内の太田山公園でサクラの植樹を実施 (木更津東) △本埜中央公民館へ会議用の机 25 脚を寄贈 (印旛本埜) △地域内の署察駐在所狩官を慰問、記念品をおくる (印旛本埜) △チャリティオークションを開催、純益金 54 万 6 千 500 円を銚子市社会福祉協議会へ寄付 (銚子東) △市内小学校への新人学児童に対しランドセルカバーを寄贈 (茂原東) △老人ホーム「長生共楽園」を慰問、以後、毎年 9 月 15 日敬老の日の恒例行事とする (茂原東) △地域再検討の一環として自然破壊と公害問題をスライドにとり、クラブ例会、IGF、その他で上映し、問題提起をはかる (上総) △町内のバス停に待合所を設けて寄贈 (沼南) △敬老運動と歳末たすけあい運動に資金援助のため寄付 (沼南) △国鉄本八幡駅前に街路灯 2 基寄贈 (市川東)

1978年度 △千葉刑務所講堂にカラーテレビ寄贈 (千葉) △環境美化運動に協力、市へクリーン木更津のボードを寄贈 (木更津) △公民館へ姿見鏡、ベンチ、図書を寄贈 (船橋) △「松戸まつり」に資金援助のため 10 万円寄付 (松戸) △国鉄松戸駅前の早朝清掃奉仕を 6 回にわたり実施 (松戸) △松戸養護学校施設充実に資金援助のため寄付 (松戸) △市消防署に救助ネット寄贈 (鴨川) △天津小湊町 公民館落成記念に時計を寄贈 (鴨川) △常備消防署発足にあたり国際ロータリー創立 75 周年記念事業の一環として救急車を寄贈 (大原) △社会奉仕運動および環境美化運動の一環として国鉄上総興津駅前に総工費 70 万円をかけて噴水池を造成して寄贈 (勝浦) △創立 15 周年記念事業として南部図書館に図書を寄贈、県立美術館前庭にタマイブキを植樹して寄贈、市にタバコ吸いながら入れを寄贈 (千葉南) △地域内の 4 町 8 カ所に交通安全の願いをこめた看板を設けて寄贈 (千倉) △市内美化運動のクリーン作戦を展開、手賀沼のほとりに植樹する (我孫子) △市街地の花いっぱい運動を推進、久留里のメインストリートへ鉢植え

の草花を配る（上総）△地区中学校英語コンテストに協力援助（上総）△ロータリー文庫へ図書などの補充を実施、寝たきり老人に対しグラフNHKを寄贈（八街）△環境美化の標語看板を町内数ヵ所に設置して寄贈（横芝）△富津市の老人ホームへカセットコーダー寄贈（富津中央）△富津警察署へ防犯捜査用自動車を寄贈（富津中央）△富津市鍼灸マッサージ師会に白衣を寄贈（富津中央）△印西警察署へ広報車寄贈（印西）△寝たきり老人と90歳以上の老人を慰問（印西）△老人招待の演芸大会開催（印西）△歳末警戒の警察官を慰問（印西）△町内のバス停に待合所を設けて寄贈、既設のバス停待合所の補修も実施（印西）△町民の生活改善運動に協力（多古）△町ぐるみゴミを出さない運動に協力、とくにタバコ吸いながら投げ捨て防止の呼びかけを徹底的に実践（小見川）△チャリティオークションを開催、純益金を身体障害児に寄付（船橋西）△献血運動に協力（市川東）△スモーキング・クリーン作戦に積極的協力（市川東）△老人に対する交通安全指導の会を開催（松戸東）△印旛村と本埜村の役場、印旛中学校、本埜中学校に計4本の優勝旗を贈る（印旛本埜）△印西RC、白井RCと合同して印西警察署へ防犯車寄贈（印旛本埜）△地域の環境美化クリーン作戦に協力（君津）△世界平和記念碑を市内に建立して寄贈（銚子東）△松戸養護学校、松戸交通安全協会へ資金援助のため寄付（松戸北）△茂原市内および長生郡内の各小学校新入学生にランドセルカバーを寄贈（茂原東）△老人ホーム長生共楽園を慰問（茂原東）△印西RC、印旛本埜RCと合同して印西警察署に防犯車寄贈（白井）△地域内のバス停に待合所を設けて寄贈（沼南）△地域の国鉄・私鉄各駅とバス停に無人貸出の洋傘を備えて寄贈（沼南）△敬老運動と歳末たすけあい運動に資金援助のため寄付（沼南）△野田消防署に消防指令車を、野田交通安全協会に広報車をそれぞれ寄贈（野田東）

1979年度 △交通・住宅地図を船橋警察署へ寄贈（船橋）△市立図書館へロータリー文庫寄贈（佐原）△市消防署へ救急者ロータリー号寄贈（東金）△大原交通安全協会へ新法規説明フィルム寄贈（大原）△会員一丸となって「捨てない、よごさない、迷惑をかけない、運動を全市に展開する（勝浦）△小学生を対象に交通公害・交通事故の防止について作文を募集、交通マナー改善の足がかりとし、優秀な作品の作者は例会に招いて表彰（上総）△新しく完成の亀山ダムサイド

にサクラの若木 75 本を記念植樹する（上総）△母親教育のため母子共同参加による教育講演会開催（上総）△県立美術館へベンチ寄贈（千葉南）△地域の 4 役場公民館にクリーンボックス計 6 個を寄贈（千倉）△県立我孫子養護学校の施設充実資金援助のため寄付（我孫子）△我孫子市民会館オープンを記念して 30 万円を寄付（我孫子）△市の社会福祉事業に積極協力（我孫子）△市ヘトイレハウス寄贈（新千葉）△国際ロータリー創立 75 周年記念事業として①海保漁村石碑建立②寝たきり老人独居老人へ慰問金贈呈③海水浴場清掃奉仕④交換学生を囲む懇談会⑤献血運動の実施など積極的に展開（横芝）△国際ロータリー創立 75 周年を記念して町内各小中学校へ植樹実施（多古）△交通事故防止運動および環境美化運動に積極協力（多古）△船橋無線塔の記念碑を建設（船橋西）△印西 RC、白井 RC と合同で印西消防署に広報車を寄贈（印旛本埜）△国鉄線の各駅前に交通安全標示塔を設けて寄贈（君津）△市役所長生き課へ老人福祉施設のために寄付（松戸北）△老人ホーム長生共楽園を慰問（茂原東）△茂原市総合市民センターの落成を祝い茂原 RC と合同で 80 号の油彩絵画を寄贈（茂原東）△国際ロータリー創立 75 周年と国際児童年を記念しその事業として市内小学校 25 校に対して自転車を 50 台寄贈（柏西）△環境美化をねらいとしたクリーン柏の市民運動に協力（柏西）△稲毛の浜の海岸清掃奉仕活動を実施（千葉西）△印西 RC、印旛本埜 RC と合同で印西消防署に広報車を寄贈（白井）△国際ロータリー創立 75 周年の記念植樹実施（千葉中央）

〔継続奉仕活動について〕

△松戸 RC では、創立以来、歳末たすけあい募金、赤い羽根共同募金、白い羽根日赤募金、その他公的な社会福祉募金活動を毎年度の恒例事業として継続。
△多古 RC では創立以来幼児の血液型検査と災害緊急連絡カードの贈与を毎年度の恒例事業として継続。

青少年奉仕

1951年(昭26)～1956年(昭31) ……〔第60地区時代〕

1951年度 }
 } 顕著なる事業なし
1956年度 }

1957年(昭32)～1960年(昭35) ……〔第355地区時代〕

- 1957年度** △養豚事業奨励のためメス豚1頭を購入、青年農家に飼育を委託、出産後、1頭を回収し、順次、他の青年農家に飼育を委託する方法で拡大をはかり、青年農家に貢献することをきめる(千葉)
- 1962年度** △市内のボーイスカウトに天幕を寄贈(市川) △新聞少年に対し記念品をおくり慰労する(銚子) △奨学生制度を開始(鴨川)
- 1963年度** △奨学生制度を開始(佐原) △県立大原高校の生徒に対し、毎年度の継続事業として奨学金の寄贈をきめる(大原)
- 1964年度** △新聞少年を招待し、記念品をおくって日ごろの労苦をねぎらう(成田) △奨学生制度の開始を決定(旭) △国際ロータリー60周年記念行事として青少年健全育成をねらいに県立勝浦高校生を対象にした記念講演会を開催する(勝浦)
- 1965年度** △ボーイスカウト松戸第1団へ天幕を寄贈(松戸) △ボーイスカウトの育成強化をはかるため積極的な援助をおしまぬことをきめる(市原)

1966年度 △新聞少年に対し記念品をおくり、日ごろの労苦をねぎらう（佐原）

1967年（昭42）～1972年（昭47）……〔第357地区時代〕

1967年度 △ボーイスカウト育成事業の活動開始（旭）△児童の血液型検査を開始。以後、継続事業とする（勝浦）△八街少年院にテレビを寄贈（八街）△町内の小、中学生に対する奨学金援助事業を開始。以後、継続事業とす（八街）△少年の非行化防止のためPTA、その他関係機関・団体と協力して運動を実施（横芝）△青少年健全育成のため公民館活動に資金援助（上総）△高校生への奨学金制度開始（小見川）

1968年度 △市内各保育園へクリスマス行事開催資金援助のため寄付（市川）△社会奉仕に密与した高校校生を表彰（松戸）△市内義務教育校の特殊学級児童生徒合同訓練に対し資金援助のため寄付（銚子）△地区高校生の奨学金制度開始（千倉）△青少年50人を富士登山へ引率奉仕、青少年の体力づくりに貢献（大原）△地域内の大貫、佐貫両中学校卒業生就職奨励会開催（富津中央）

1969年度 △子供会文庫を市内10町内会に寄贈（市川）△市内のボーイスカウトに資金援助のため寄付（佐原）△地区内の高校進学生に対し奨学金制度実施を開始（千倉）△ILO記念標語第1位入賞の田川伸子さんをクラブ表彰（富津中央）△中学卒業生就職者奨励会を開催（富津中央）△印旛少年院慰問（印西）

1970年度 △会員による一日里親を実施（銚子）△農村青少年との交歓懇談会開催（八街）△青少年健全育成の実践活動を他団体と協力して展開（横芝）△千葉県青少年海外派遣団に参加の平野弁一君、刈込えりかさんの奨励会を開催（富津中央）△印旛少年院慰問（印西）△スポーツ少年団への資金援助のため寄付（小見川）

1971年度 △善行の学童と大学生をクラブ表彰（松戸）△地域内の小、中学生を対象にして交通安全作文を募集、入選者を例会に招待して表彰（上総）△印旛少年院慰問

(印西) △藤原学園の子供たちを招待慰問(船橋西)

1972年度 △東京現科大学院生佐藤安則君へ向こう3年間、月額1万円の奨学金を援助(松戸) △中学生の情操教育および体力づくり奨励のため全県的美術展出品者や県体育大会出場者に対し、ロータリー賞としてメダルを贈って表彰する。以後、継続事業とする(大原) △京葉文化センターのユースパーティーに積極的援助開始(市原) △地域内の丸山中学校生徒会を長年にわたる善行の実践に対し表彰(千倉) △地域内の善行生徒に表彰状をおくる(富津中央) △市内社会人バスケットボール「わかば会」の善行に対し表彰状をおくる(富津中央) △印旛少年院慰問(印西) △地域内の少年野球振興のため優勝旗をおくる(八街)

1973年(昭48)～1976年(昭51)……〔第349地区時代〕

1973年度 △市内在住の江波戸操吉君が当クラブの大学院課程奨学生となり米国のニューヨーク大学留学へ送り出す(八日市場) △学童の情操教育と創造性を高めるため「こども創造教育」を開催(八街) △地域内の中学卒業就職者の奨励会を開く(富津中央) △印旛少年院慰問(印西) △交換学生として市内在住の鈴木孝君をオーストラリアに派遣(松戸東) △青少年健全育成のため青少年スポーツ大会を開催(銚子東) △日本全国および世界的な規模で開催される行事に参加する松戸ボーイスカウトに対して資金援助をおこなう(松戸)

1974年度 △市内のボーイスカウト、ガールスカウトに天幕を寄贈(木更津) △自転車少年団に協力奉仕(船橋) △市が結成した児童育成会へ資金援助のため寄付(松戸) △新聞少年に記念品を贈り、日ごろの勤労をねぎらう(成田) △長野県の大町RCと協力提携、夏休みを利用してインターアクトの県立大原高校生を引率してキャンプを実施(大原) △青少年健全育成のため地域の関係機関・団体と協力して積極的に運動を展開(横芝) △交換学生として市内在住の廉岡卓君オーストラリアへ派遣(富津中央) △地域の中学卒業就職者奨励会を開催(富津中央) △印旛少年院慰問(印西) △君津ボーイスカウトの結団発足にあたり天幕を寄贈(君津)

- 1975年度** △市の児童育成会へ資金援助のため寄付(松戸) △地域内の善行青少年を招待して表彰(松戸) △新聞少年を慰問(成田) △地域内の善行中学生を招待してクラブ表彰(勝浦) △地域内の学校のうち英語コンテストに参加する学校へ資金援助のため寄付(上総) △地域内の中学卒業就職者激励会開催(富津中央) △印旛少年院慰問(印西) △全国高校野球選手権大会千葉県大会で準優勝した県立君津高校野球部選手を例会に招待して応援旗をおくる(君津)
- 1976年度** △松戸ボーイスカウト第5団結成にあたり70万円を寄贈(松戸) △クラブ交換学生として市内在住の岡沢真紀子さんをオーストラリアへ(佐原) △創立10周年記念事業としてクラブの奨学金制度実施を開始、青少年の育成をはかる(横芝) △地域の中学卒業就職者激励会を開催、金一封と記念植樹の苗木をおくる(富津中央) △青少年健全育成のため青少年スポーツ大会を開催(銚子東)
- 1977年度** △をアメリカへ派遣(木更津) △青少年健全育成功労者を表彰(松戸) △オーストラリアへ英語研修生として成田高校生を派遣(成田)
- 1978年度** △東金ボーイクラブ結団に協力援助(東金) △成田高校インターアクトクラブの生徒3人をクラブ初めての海外研修生として派遣(成田) △京葉高校インターアクトクラブの生徒代表をクラブ初めての海外研修生として派遣(市原) △姉妹クラブ締結のハワイ・アラモアナ RC と相互に会員子弟の交流をはかり、クラブから8人、ハワイから3人がそれぞれ交換(我孫子) △茂原市子供ソフトボール大会に優勝カップを寄贈(茂原東)
- 1979年度** △千葉市少年スポーツ連盟にカップ寄贈(千葉) △クラブの交換学生として市内在住の青山めぐみさんをアメリカへ送り出す(松戸) △青少年交換学生候補者に県立君津農林高校2年生鈴木君が決定、オリエンテーションに参加(上総) △少年スポーツ大会に資金援助のため寄付(市原) △青少年サマーキャンプ開催(八街) △青少年オリエンテーリング開催(銚子東) △関東近県中学生選抜野球大会開催(銚子東) △姉妹クラブ締結の米国・トーラン RC へ市内在住の西沢裕子さん、志波直子さんの2学生を送る(富津中央)

国際奉仕

1951年(昭26)～1956年(昭31) ……〔第60地区時代〕

＝カッコ内は RC 名＝

1951年度

顕著なる事業なし

1956年度

1957年(昭32)～1960年(昭35) ……〔第355地区時代〕

1957年度 △ハワイ大学音楽グループの歓迎パーティーを開催、親善交流をはかる(船橋)

1958年度 千葉大学に学ぶ東南アジア留学生 4 人を例会に招待して歓談、親善を深める(千葉)

1959年度 顕著なる事業なし

1960年度 △東京・晴海で開催の国際大会に出席の諸外国ロータリアンのうち約 40 人を招待、習志野市谷津遊園で大会記念ホームホスピタリティールを実施(千葉) △東京・晴海で開かれた国際大会に出席の外国ロータリアン 39 人が市川市を訪問、市内で大会記念ホームホスピタリティールをおこなって親善を深める(市川) △東京開催の国際大会に参加したアメリカ、オーストリアの会員家族を家庭および谷津遊園、長安殿に招待し、ホームホスピタリティールを催す(船橋) △東京開催の国際大会参加のアフリカ・ロータリアンを招待してホームホスピタリティールを展開(松戸) △東京開催の国際大会参加の外国ロータリアン 3 家族を招

待、家旋会を開き親善友好を深める(銚子)

1961年(昭36)～1966年(昭41)……〔第358地区時代〕

- 1961年度** △米国ガーデナー市のガーデナー RC と姉妹クラブを締結(市川)
- 1962年度** △姉妹クラブ締結の米国ガーデナー市より市長が来訪、歓迎レセプションを開催(市川) △インドネシア実習生を例会に招待して歓談(銚子) △国際 RC 理解週間にちなみ広く作文の募集をおこなう(成田)
- 1963年度** △ブラジル国アブセリナ RC へ「新しい千葉」のパンフレットを贈呈(千葉) △タイ国トンブリ RC と姉妹クラブを締結。トンブリ RC からの留学生を受け入れ、1年6カ月の滞在期間中、世話をする(船橋) △アラスカ地震被害の現地へ救援金をおくる(銚子)
- 1964年度** △南ベトナム洪水被害に対し義援金1万円をおくる(千葉) △カナダ国ウォルキング RC へ松の種子を贈呈(千葉) △姉妹クラブ締結の米国ガーデナー市より親善交流少年13人を受け入れる(市川) △毎日グラフの東京オリンピック特集号を世界各国 RC へ贈呈(銚子) △国際交換学生として夏期実習2カ月間のフィリピン学生3人を工場および農場に受け入れる(千葉南)
- 1965年度** △フィリピン国ダール火山噴火爆発による被害地へ見舞金として100ドルをおくる(千葉) △アメリカ交換研究グループよりレッドウッドの鉢12個が寄贈され、船申武会員が栽培育成を担当する(千葉) △台湾の埔里 RC と姉妹クラブを締結(市川) △千葉大学で学ぶ行国留学生を招待し、交換パーティーを開催(成田) △セイロン島出身の在日留学生を例会に招待して卓話を開く。年度中に東京工業大学のチャンドラ君とエーカーナイカ君、千葉大学のカンタ君、東京水産大学のサラット君ら4人を招く(上総) △国際がん会議へ積極協力(上総) △RIの東半球部長ウォーレン・マッシューズ氏からクラブ活動を称賛する書簡が大村丈夫会長あてに届けられた(上総) △フィリピン国ダール火山噴火爆発の被害

地に対し見舞金をおくる（千葉南）△国際奉仕活動理解のため市原市を紹介する英文パンフレットを作成 世界各国 RC におくる（市原）

1966年度 △韓国から農業技術交流研究生 11 人が訪れ、その受け入れと接待につとめる（千葉）△台湾の屏東 RC と姉妹クラブ締結、次いで米国のベリンハム RC とも姉妹クラブを結ぶ（館山）△東南アジア留学生 3 人を招待、パーティーを開催（大原）

1967年（昭42）～1972年（昭47）……〔第357地区時代〕

1967年度 △国際理解週間にちなみ 3RC 合同で講演会を奈良屋で開催、駐日アメリカ大使館参事官の講演を聞く（千葉、千葉南、新千葉）△千葉大学園芸学部に通う台湾、マレーシア、フィリピンの留学生を招待して歓談、滞日感想を聞く（松戸）△オーストラリア交換学生マリス・リデル君とジョン・ポーター君の二人を受け入れる（松戸）△フィリピン国のダバオにおける救済事業に資金援助のため寄付（松戸）△創立 5 周年記念事業としてアラブ連合駐日大使サレ・カリル氏を招き講演を聞く（大原）△アメリカ、カナダからの親善交流学生を受け入れ（勝浦）△フィリピン国ダバオ市のブロークシャイアー病院に顕微鏡 8 台をおくる（千葉南）△西ドイツの留学生を例会に招待して歓談（上総）△組み合わせ地区の RC へ上総 RC の紹介パンフレットをおくる（上総）

1968年度 △米山記念館建設資金援助のため寄付（松戸）△英国チプトン RC との文通による親善交流開始（佐原）△台湾の台北東 RC と姉妹クラブ締結（勝浦）△千葉大学に通う外国留学生を例会に招き卓話を聞く（上総）△クラブ紹介のパンフレットを写真入りで作成、組み合わせ地区の外国 RC へおくる（上総）△東南アジア留学生 15 人を招待して交歓パーティー開催（八千代）△台湾の学童に船橋市内小学生の児童画作品をおくり、親善交流を深める（船橋西）

1969年度 △国際理解週間にちなみ 3RC 合同講演会を開催、共同通信社長・福島慎太郎氏の講演を聞く（千葉、千葉南、新千葉）△米山記念館建設資金援助のため寄付

金をおくる（木更津）△千葉大学に学ぶネパール出身の留学生を招いて歓談（上総）
△台湾の豊原 RC と姉妹クラブを締結（我孫子）△台湾の鳳山 RC と姉妹クラブを
締結（新千葉）△第 101 地区より交換研究グループが来訪、接待にあたる（新千葉）
△東南アジア留学生 18 人を招待して交歓パーティー開催（八千代）△姉妹クラブ
締結の米国ガーデナー市を親善訪問（市川東）△台湾の女子学生団技能オリンピッ
ク入賞者を例会に招待して歓談、親善友好を深める（船橋西）

1970年度 △国際理解週間にちなみ 3 RC 合同例会で朝日新聞社論説顧問森恭三氏の講派を
聞く（千葉、千葉南、新千葉）△ネパール医療使節団へ資金援助のため寄付（千葉）
△オーストラリア交換学生 2 人、10 日受け入れる（木更津）△2 RC 合同でペルー
地震被害地へ見舞金をおくる（市川、市川東）△スコットランド交換研究グループ
が来訪、各地 RC が接待にあたる（千葉、市川、船橋、茂原、八千代、市原、木
更津東）△東パキスタン災害へ義援金をおくる（茂原）△韓国の順天 RC と姉妹ク
ラブを締結（佐原）△国際理解週間にちなみ外国からの留学生を招待して歓談（勝
浦）△東南アジア各 RC への親善訪問旅行を実施（上総）△ネパール結核児童救
済のため義援金をおくる（千葉南）△東パキスタン災害へ義援金をおくる（千葉南）
△ペルー地震被害地へ見舞金をおくる（新千葉）△ネパールへ医療基金援助のため
寄付金をおくる（新千葉）△東南アジア留学生 13 人を招待して交歓パーティーを開
催（八千代）△オーストラリア第 280 地区からの交換学生クリスティン・ホーデンさ
ん受け入れ（市川東）

1971年度 △国際青年交流のアメリカ学生 6 人を 1 週間受け入れる（木更津）△姉妹クラブ締
結の韓固・順天 RC へ親善訪問（佐原）△スコットランドから交換研究グループ 7
人が来訪、接待にあたる（八千代）△日華学園で学ぶ台湾留学生を招待して親善
パーティーを開催（船橋西）

1972年度 △マグアナ市の震災に対し見舞金をおくる（成田）△スコットランドのダンディ
RC と姉妹クラブを締結（千葉南）△国際親善交流のため東南アジア各 RC への
歴訪旅行実施（大多喜）△姉妹クラブ締結の台湾・豊原 RC の創立 10 周年記念式

典参列のため訪問（我孫子）△ブラジル国のリオクラーロ RC よりクラブ照会あり、交流が始まる（上総）△韓国の京城東 RC と姉妹クラブを締結（立川東）△例会場にロータリー財団ボックス設置、小銭募金の実施を開始（松戸）△クラブ奨学生としてベトナム留学生ユンバ・ニッツ君を千葉大学園芸部へ（松戸）△中南米地震災害地へ義援金をおくる（松戸）

1973年（昭48）～1976年（昭51）……〔第349地区時代〕

1973年度 △マニラ水害とマグアナ地震の被害地へ見舞金をおくる（千葉）△GSE のニューヨーク州立大学教授 J・ロナルド・ジェンタイル博士を受け入れ（松戸）△米山奨学生としてベトナム招学生ユンバ・ニッツ君を千葉大学園芸部へ（松戸）△マグアナ市の地震被害に義援金をおくる（茂原）△姉妹クラブ締結の韓国・順天 RC の公式訪問一行が来佐、盛大な歓迎をしく（佐原）△GRE チームの来訪で歓迎会を開催（成田）△古切手収集に努力（上総）△ブラジル国のリオクラーロ RC へ友情のしるしとして上総 RC 名入りのウチワを贈呈（上総）△姉妹クラブ締結のスコットランド・ダンディ RC へ公式訪問、友好を深める（千葉南）△アメリカ、カナダの第 709 地区からの GSE 一行が来訪、盛大な歓迎陣をもって友好を深める（市原）△ハワイのアラモアナ RC と姉妹クラブ締結のためハワイ訪問（我孫子）△韓国の李方子殿下が運営する社会福祉事業施設への資金援助に協力して寄付（新千葉）△韓国の日本図書センターへ書籍の寄贈を開始（鋸南）△第 709 地区からの GSE 一行を招いて交歓パーティーを開催（八千代）△第 79 地区からの GSE 一行を受け入れ、盛大な歓迎陣をしく（銚子東）△交換学生の受け入れを開始（松戸北）

1974年度 △姉妹クラブ締結の台湾・屏東 RC 創立 20 周年を祝う記念式典に斎藤任会長以下 22 人が公式訪問して式典に参列（館山）△ハリケーン被害地のホンジェラスに義援金をおくる（松戸）△ブラジル国リオクラーロ RC との交流を活発にするため地域内の小櫃小学校、小櫃中学校両校代表のブラジル訪問に際し、会員の手紙や地元の物産品を託して贈る（上総）△リオクラーロ RC から現地小、中学生がはるばる来訪、例会に招待して記念品贈呈（上総）△韓国の漢陽 RC へ書籍を

おくる（千葉南）△マレーシア国のペタリングジャ RC と姉妹のクラブ締結のため訪問（市原）△オーストラリアからの交換学生グレートン・ロング君受け入れ（勝浦）△オーストラリアの交換学生ジョー・マッカラム君受け入れ（我孫子）△姉妹クラブ締結の台湾・鳳山 RC 創立 5 周年記念式典参列のため訪問（新千葉）△タイ国皇太后陛下を表敬訪問（新千葉）△オーストラリアの交換学生ミス・セーラー受け入れ（八街）△オーストラリア国オーベリ RC からの交換学生アンナ・ウィンター 君受け入れ（富津中央）△オーストラリアの交換学生ローザリー・ステリングさん受け入れ（松戸東）

1975年度 △台湾の屏東 RC と姉妹クラブを再締結（館山）△米国マレー RC の国際バザールに玩具を寄贈（松戸）△創立 20 周年を記念して今年度以降、ロータリー財団へ会員 1 人あたり 3,000 円を、さらに米山奨学会へ会員 1 人あたり 2,000 円の拠出をきめる（松戸）△ベトナム留学生のゴ・フーン君、ター・シュー・クアン君、ファン・コン・タム君ら 3 人の千葉大学園芸学部への受け入れについて資金援助実施（松戸）△グアテラマ地震災害地へ義援金 1,000 ドルをおくる（松戸）△交換学生計画に参加を開始、オーストラリアからの交換学生ジェンファー・ギルバート君を受け入れ（銚子）△グアテラマ地震災害地へ義援金をおくる（銚子）△姉妹クラブ締結の韓国・順天 RC へ公式訪問実施（佐原）△オーストラリアからの交換学生クレートン・ロング君の両親がはるばる来日、全会員で盛大な歓迎パーティー開催（勝浦）△フィリピン国バターン市へ医療用レントゲン車を寄贈（市原）△姉妹クラブ締結の台湾・豊原 RC を通じて豊原市に時計塔を寄贈（我孫子）△フィリピン国アルバイ州のレガスピ RC と姉妹クラブ締結のため大内恭平会長以下 21 人が現地を訪問する（銚子東）

1976年 △オーストラリアからの交換学生ロビン・スタン君受け入れ（木更津）△オーストラリアのインターアクトクラブとローターアクトクラブの合同訪問受け入れ（館山）△米山奨学生資金による台湾からの留学生頼明珠さんを千葉大学園芸学部へ受け入れ、資金援助（松戸）△オーストラリアからの交換学生メアリー・ダイアルさん受け入れ（佐原）△ノルウエーのガンダー合唱団を迎えて市民音楽会開催（勝浦）△会員の海外旅行に際し、メイクアップをすすめ、クラ

ブから二人の会員がパリ、そのほか数箇所 RC を訪問させ、メイクアップを依頼する（上総）△地域内の小櫃小学校と小櫃中学校の国際姉妹校ブラジル国のハンタヤ小学校、松柏学園との親善交流を実施、その援助を積極的におこなう（上総）△韓国・東仁川 RC と親交クラブ締結（千葉南）△韓国・東仁川 RC の李方子妃殿を表敬訪問（千葉南）△スコットランドの姉妹クラブ・ダンディ RC 会員アンドリュー・カイユ氏が来方、歓迎会開催（千葉南）△マレーシア国姉妹クラブ・ペタリングジャヤ RC 訪問（市原）△ノルウェーのガンダール合唱団を迎え音楽会と歓迎会を開催（新千葉）△カナダのプリンマジョージ RC からの交換学生マリアン・E・コーフランさん受け入れ、資金援助（富津中央）△オーストラリアに交換学生を送っている両親とともに会員も同行して謝礼の意を表すため現地を訪問（佐食）△ロータリー財団の寄付ボックスを設置して＝金開始（茂原東）

1977年(昭52)～1979年(昭54)……〔第279地区時代〕

1977年度 △韓国・温陽 RC と姉妹クラブ締結（木更津）△国際ロータリー東京大会参加の外国ロータリアン 6 家族を招いて歓迎パーティーを開催、ホームホスピタティーを受け持つ（松戸）△ベトナム留学生フェンチ・トウエ・アレス君を受け入れて資金援助、千葉大学園芸部へ入学させる（松戸）△姉妹クラブ締結の韓国・順天 RC が創立 10 周年記念式典挙行に伴い祝福の意を表すため参加訪問（佐原）△ポール・ハリス・フェローになる会を結成し、会員 51 人中 42 人が参加（大原）△オーストラリアからインターアクトクラブ会員が来訪、歓迎会を開催（勝浦）△姉妹クラブ締結のブラジル国リオクラーロ RC との交流を活発化するため上総地区の歴史、地理的特色とクラブ紹介を兼ねた資料をブラジル訪問の学生団に託す（上総）△親交クラブ締結の韓国・東仁川 RC へ吉原三郎会長ほか 5 人の会員が表敬訪問（千葉南）△親交クラブ締結の韓国・東仁川 RC より会員 4 人が来訪、歓迎会開催（千葉南）△韓国の李方子妃殿下が手がける社会事業に資金援助のため寄付（千葉南）△姉妹クラブ締結のマレーシア国ペタリングジャヤ RC より会員が来訪、歓迎会開催（市原）△姉妹クラブ締結の台湾・豊原 RC の豊原市で大火災発生、豊原大火見舞のため現地を訪問する（我孫子）△姉妹クラブ

締結の台湾・豊原 RC と会員子弟交換をおこない、親善交流をはかる（我孫子）
△米国のトーランス RC と姉妹クラブ締結のため榎本庄壺会長以下会員 6 人が
渡米（富津中央）△国際ロータリー東京大会に参加した姉妹クラブ締結の米国
トーランス RC の会長夫妻を迎えて東京・帝国ホテルで歓迎パーティー開催（富
津中央）△国際ロータリー東京大会に参加の外国 10RC のロータリアン 19 人
を招待して藤村会員宅で歓迎パーティーを開催、ホーム・ホスピタリティーを
担当（富津中央）△笠原文雄団長以下 12 人の会員が韓国を訪れ、各地 RC を
歴訪する親善旅行を実施（富津中央）△オーストラリア駐日大使夫妻を例会に
招いて歓迎パーティーを開催（船橋西）△オーストラリアのシェバトン RC 会
員 25 人が来訪、歓迎パーティーを開いてホーム・ホスピタリティーをおこな
う（佐倉）△バングラデシュ独立記念式典に会員が参加（印旛本埜）△千葉大
学留学生寮を慰問（印旛本埜）△千葉大学留学生寮の留学生 27 人を招いて家
族旅行実施（印旛本埜）△フィリピンのアラルツロン財団に参加し、中山ミシ
ン 5 台を寄贈（君津）△姉妹クラブ締結のフィリピン国レガス RC 会員一行が
来訪、歓迎パーティー開催（銚子東）△オーストラリアからの交換学生 1 人
を受け入れ（鎌ヶ谷）△台湾の高雄北 RC と姉妹クラブ締結（千葉西）△国際ロー
タリー東京大会参加の外国ロータリアンを招待、ホーム・ホスピタリティーを
受け持ち、親睦を深める（市川南）△オーストラリアからの交換学生男女 2 人
を受け入れる（市川南）△韓国ウントウ中学校へ奨学金寄贈（市川東）

1978年度 △姉妹クラブ締結の韓国・温陽 RC との交流が本格的に始まり、温陽 RC 創立 1
周年記念式典挙行に際し 22 人の会員が公式訪問する（木更津）△台湾留学生黄
淑美さんを受け入れ、奨学金援助によって東京大会人文科学国語国文学専攻へ
（松戸）△衛藤五郎会員がロータリー財団へ 1 万ドル寄付（茂原）△オーストラリ
アからの交換学生メアリー・ドワイヤーさんを受け入れ（佐原）△会員 8 人が
ポール・ハリス・フェロー 8,000ドルを寄付（柏）△飯田豊一郎会員以下 22 人がポー
ル・ハリス・フェローに参加（旭）△台湾の台北 RC を訪問、親睦友好を深め
る（大多喜）△ハワイのワイキキ RC を親善訪問（新千葉）△セイモア RC と
姉妹クラブ締結（船橋西）△ベトナム難民に対する救援金を寄付（船橋西）△千
葉大学留学生寮の留学生 24 人を招待して家族親睦旅行を実施（印旛本埜）△フ

フィリピン国のケソン RC と姉妹クラブ締結（君津）△フィリピン国レガスピ RC との姉妹クラブ締結期間を更新（銚子東）△タイ国バンコク市のトンブリ RC と姉妹クラブ締結（野田東）

1979年度 △姉妹クラブ締結の韓国・温陽 RC に会口 15 人訪問（木更津）△3H プログラムの運動推進をはかり、米山奨学会に 100 万円寄付（松戸）△アメリカからの交換学生デボラ・リンケン・ショールさんを受け入れ（松戸）△千葉大学に学ぶ留学生 7 人を祭礼に招待、房総のまつりの一つを味わってもらう（八日市場）△姉妹クラブ締結の韓国・仁川東 RC を表敬訪問、李方子妃殿下下の社会事業施設に資金援助のため寄付（千葉南）△姉妹クラブ締結の米国・トーランス RC より交換学生 2 人を受け入れる（富津中央）△台湾の台北 RC より交換学生として女子高校生・酪敏玲さん、円柑帝さんの 2 人を受け入れ、1 カ月間にわたり島田明会員がホスト担当（富津中央）△姉妹クラブ締結のタイ国バンコク市トンブリ RC に医療器具などを寄贈（野田東）

古切手収集成績優秀クラブ

(349地区)				(279地区)			
年次	順位	クラブ名	枚数	年次	順位	クラブ名	枚数
1973～74年	第1位	木更津	150,000 枚	1977～78年	第1位	市川南	504,088 枚
	2	佐原	65,882		2	柏	379,612
	3	八街	65,610		3	東金	228,243
1974～75年	第1位	八街	96,448 枚	1978～79年	第1位	市川南	541,173 枚
	2	木更津	87,525		2	東金	300,000
	3	柏	85,766		3	柏	220,910
1975～76年	第1位	銚子東	210,293 枚	1979～80年	第1位	市川南	787,914 枚
	2	市川南	205,744		2	市川	560,552
	3	東金	158,851		3	館山	473,689
1976～77年	第1位	市川東	360,201 枚				
	2	館山	245,559				
	3	東金	197,963				

職業奉仕

1951年(昭26)～1956年(昭31) ……〔第60地区時代〕

＝カッコ内は RC 名＝

1951年度 顕著なる事業なし

1952年度 △千葉銀行、千葉製粉、奈良屋、松田屋楽器店、千葉日産自動車、井上病院、飯沼本家など所属会員各事務所、各職場団体の優良従業員をクラブ表彰(千葉)

1953年度

顕著なる事業なし

1955年度

1956年度 △電話交換手を例会に招待して慰労、席上、優良交換手3人をクラブ表彰(千葉) △地域内の優良交通警察官1人と功労消防士1人をクラブ表彰(千葉)

1957年(昭32)～1960年(昭35) ……〔第355地区時代〕

1957年度 △所属会員の職場、市内各施設、進出企業工場などの見学会を開始、第1回目として千葉刑務所の見学会を催す(千葉) △ロータリー精神の高揚をはかるため市内小、中学校に「4つのテスト」を配る(船橋)

1958年度 顕著なる事業なし

1959年度 △国鉄木更津駅前のグリーンベルトに「4つのテスト」を刻んだ石碑を建立、ロータリー精神の周知徹底をはかる（木更津）

1960年度 △所属会員の職場で働く従業員を例会場に招き、ロータリアン活動を見学してもらい、RCの理解を深めてもらう（木更津） △国鉄市川駅前に「4つのテスト」の石碑を建立、ロータリー精神の理解普及をはかる（市川）

1961年（昭36）～1966年度（昭41）……〔358地区時代〕

1961年度 顕著なる事業なし

1962年度 △優良警察官、優良郵便局員、優良消防士をクラブ表彰（千葉） △ロータリー「愛の鐘」を市に寄贈（鴨川）

1963年度 △運転手、車掌など優良従業員を表彰（千葉） △所属会員の職場における優良従業員や店員を表彰（成田）

1964年度 △所属会員職場における優良従業員を表彰（千葉） △4つのテストを印刷して市内小学校の全児童に配布、ロータリー精神の普及をはかる（船橋） △国際技能オリンピック金メダル受賞者永島君を表彰（上総） △地域内に進出した各企業工場群の職場見学を開始（上総） △所属会員事業所における永年勤続従業員を表彰。昭和42年度まで継続（松戸）

1965年度 △上総公民館新築落成を記念して同館前に4つのテスト碑を建立、ロータリー精神の高揚をはかる（上総） △所属会員事業所における永年勤続従業員を表彰（松戸）

1966年度 △職場教育の一環として「応待のしかた」のパンフレットを作成、各事業所に配布（上総） △4つのテストを印刷して地域住民に配布、普及をはかる（上総）

△所属会員事業所における永年勤続従業員を表彰（松戸）△所属会員事業所で働く優良従業員を表彰（横芝）△所属会員事業所で働く優良従業員を表彰。以後毎年の継続事業とする（富津中央）

1967年（昭42）～1972年（昭47）……〔第357地区時代〕

1967年度 △優良運転手 15 人の表彰をおこなう（千葉）△所属会員の事業所における 20 年以上勤続従業員 12 人の表彰をおこなう（千）△所属会員の職場における優良従業員 3 人を表彰（上総）△会員とその従業員、一般をふくめた職業教育講演会を開催（上総）△クラブ内外職業人による職業奉仕意欲高揚のための卓話をおこなう（上総）△町内各事業所の永年勤続従業員を表彰（印西）△町内各職場の慰問実施（印西）

1968年度 △市原市の三井造船工場を家族とともに見学を実施（千葉）△市役所の優良清掃職員を例会に招いてクラブ表彰をおこなう（船橋）△地域内の優良事業所訪問、見学（上総）△所属会員事業所の優良従業員を表彰（上総）△町内職場を慰問（印西）△町内各事業所の永年勤続従業員を表彰（印西）

1969年度 △市役所の優良清掃職員を例会に招いてクラブ表彰（船橋）△所属会員職場の永年勤続優良従業員をクラブ表彰（横芝）△所属会員職場の見学（上総）△優良従業員を表彰（上総）△町内職場を慰問（印西）△町内各事業所の永年勤続従業員を表彰（印西）

1970年度 △会員相互の職場訪問開始（千葉）△所属会員各事業所の見やすい所に 4 つのテストを掲示（上総）△優良従業員表彰（上総）△進出企業を見学し、地域社会のための職業奉仕のあり方を研修する会の実施（上総）△無料法律相談の実施（我孫子）△地域のロータリー協力者を表彰（八街）△町内職場訪問（印西）△町内永年勤続従業員表彰（印西）

1971年度 △各事業所の新規採用職員を激励のため例会に招待して懇談（上総）△「奉仕こそ我がつとめ」のパンフレットを会員事業所の従業員に配布（上総）△市内の優良事業所を表彰（我孫子）△中学卒業就職者を招いて激励会開催（富津中央）△町内職場慰問（印西）△町内永年勤続従業員表彰（印西）△地域内の優良従業員表彰（船橋西）

1972年度 △職業奉仕事例集のパンフレット発行（佐原）△地域内の優良従業員表彰（富津中央）△町内職場慰問（印西）△町内永年勤続従業員表彰（印西）

1973年（昭48）～1976年（昭51）……〔第349地区時代〕

1973年度 △所属会員中の医師の奉仕により「体カテスト」と健康維持のための諸検査を実施することをきめる。以後、継続事業とする（松戸）△所属会員の事業所における永年勤続従業員を表彰（銚子）△地域内の優良事業所を見学訪問（佐原）△市内各所にロータリー標語のパネルを設置（鴨川）△4つのテストをクラブの封筒に印刷、職業奉仕精神の浸透をはかる（旭）△目立たぬところで、ひっそりと、みずからの仕事に熱意をもって専心している5人の職業人を選び、例会に招待して表彰（上総）△創立10周年記念事業として千葉港の港公園で鵜のブロンズ像と10周年記念碑を建立、除幕式を挙げる（千葉南）△町内の職場を慰問（印西）△町内の永年勤続従業員を表彰（印西）△所属会員事業所の見学訪問を開始す（佐倉）

1974年度 △初代会長山崎直氏死去に伴う寄付金をもとに山崎記念基金を設置（木更津）△水郷ロータリー研修会発足（佐原）△所属会員の事業所を見学訪問（上総）△非会員の事業所を訪問して見学交歓（上総）△地域の善行者と優良従業員を表彰（富津中央）△地域内の佐貫地区駐在所お巡りさん、和田英次郎巡査部長に対し日ごろの苦労をねぎらって感謝状を贈呈（富津中央）△町内の永年勤続従業員表彰（印西）△市川市役所の優良職員をクラブ表彰（市川東）△所属会員の後藤栄三氏が身体障害者に職場をと深い関心を示し、自己経営の株式会社新光製作所に16人の身障者を採用し、雇用の門を開いたことから地区ガバナーが

これを称替して表彰（松戸北）

1975年度 △地域内の優良従業員を表彰（上総）△市原市の三井造船工場を見学し、同工場製作のホーバークラフトに試乗（新千葉）△地域内の職場における優良従業員を表彰する（富津中央）△母の日に会はの健在母堂 17人を例会に招待し、記念品と花束をプレゼント（富津中央）△町内職場を慰問（印西）

1976年度 △新聞少年を慰問（成田）△毎月の第 1 回例会日を「職業奉仕の日」ときめ、職業上から見たロータリー観、職業倫理についての卓話を実施（上総）△町内の職場を慰問（印西）

1977年（昭52）～1979年（昭54）……〔第279地区時代〕

1977年度 △健康管理功労者の立原茂郎会員、不動産相談無料奉仕功労者の金田至弘会員と藤井徳太郎会員、市役所すぐやる課への無料奉仕功労者の鈴木卯之助会員をそれぞれクラブ表彰（松戸）△ロータリーの歴史、活動ぶりを記録したパンフレットを作成して関係方面へ配布（旭）△特殊学級および、言語障害児担任教師を例会のゲストスピーカーとして招待し、日ごろの苦勞に対して記念品をおくり慰勞する（上総）△「私の職業奉仕事例集」を発行して関係方面に配布（八街）△町内の職揚を慰問（印西）△かくれた善行者を表彰（印西）△街の善行者を選考して表彰（佐倉）△クラブが音頭とりとなって銚子市親切運動推進協議会の設立を実現させる（銚子東）△ロータリー・クラブの標語の看板を立てロータリー精神の普及をはかる（白井）△地域内の優良警察官を表彰（白井）

1978年度 △職業奉仕についてローターアクトクラブとの交流を活発化する（木更津）△創立 25 周年を記念して 3H プログラムに基金を寄付（木更津）△ 3H プログラムに基金を寄付（佐原）△ 3H プログラムに積極参加をきめ、基金を寄付（旭）△天羽中学校へロータリー記念碑を建立して寄贈（富津）△十数年間にわたり国鉄久留里線小櫃駅で清掃奉仕を続けた身体障害老人の田中さんに記念品を贈り、感謝の意を表わす（上総）△数年間にわたり天羽老人ホームを訪れては老人た

ちに慰問の調髪奉仕を続けていた国鉄久留里駅前の理髪店主田中重雄会員に対し、ロータリアンの模範として職業奉仕表彰をおこなう（上総）△地域内の優良従業員表彰（横芝）△「帰らざる青春の遺書」の青年感想文集と「一隅を照らす」のパンフレットを発刊、地域住民に配布（富津中央）△かくれた並行者を選考して表彰（印西）△町内の職場を慰問（印西）△職業奉仕週間の行事として老人ホームに理髪無料奉仕をした床屋さんたちに理容道具を乗せるワゴンと姿見鏡を贈り表彰する（木更津東）△クラブの3H運動に基金を寄付（松戸北）△住民に奉仕した市役所清掃係職員1人と交通安全課を表彰（柏西）△千葉市民生委員と母子福祉推進委員に記念品と感謝状を贈り、日ごろの苦勞をねぎらう（千葉西）

1979年度 △地域の社会福祉事業功勞者8人を招いて表彰（市原）△15条の憲章を印刷して町内全世帯に配布、ロータリー精神の普及をはかる（印西）△社会奉仕活動功勞者を表彰（小見川）△3Hプログラムの参加と強力推進をはかるため会員1人あたり5,000円の拠出をきめ、基金とする（茂原東）△国際ロータリー75周年を記念し、クラブ基金1,000万円の積立開始をきめる（千葉西）

第5章 地区ロータリーの諸活動

Intercity General Forums のあゆみ

千葉県に初めてのロータリー・クラブとして千葉 RC (スポンサークラブ東京 RC) が誕生した 1951 年 (昭和 26)、当時はまだ全国一区の第 60 地区時代だったが、この年の 2 月 17 日、初のインターシティ・ゼネラル・フォーラム (Intercity General Forums) = 近隣都市一般討論会 = が開かれた。これは関東地区が静岡県熱海市で開催したものだが、引き続き名古屋、大阪で開かれ、千葉県の RC 第 1 号千葉 RC が参加したのは同年 11 月 21 日に東京・日本工業クラブで開かれた関東地区 IGF (ホストクラブ東京 RC・フォーラムリーダー手島知健) のときからであった。以来、IGF は全国が 23 地区に分割された現在でも各地方都市 (各分区) を中心にして開催は継続されており、地域社会の進展に貢献、その原動力となっている。

インターシティ・ゼネラル・フォーラムは、名称のように近隣のいくつかの RC が集まって、会員全体が参加し、ロータリーの一般性格や活動のプログラムを評論、討議する会合である。通例として在任中のガバナーまたは元ガバナーが主宰することになっている。さらにゼネラル・リーダーとして十分資格のあるロータリアンを国際ロータリー会長が指名するのである。開催は年 1 回、時間は午後または午後と夕刻を当てることにしており、まる 1 日をつぶさないことを原則としている。クラブ全員参加が望ましいとされているが、実際上むずかしいので、各部門の委員のほか一般会員からの希望者が参加している。新入会員はなるべく出席して勉強することになっている。参加総人数は 150 人ぐらいまでが理想的とされている。参加クラブの組み合わせは別に規制されていないが、近隣の 8～10 クラブが分区として合同実施している。

I・G・F開催概要一覽

地区	第 60 地区		1951 年 (昭 26) ～ 1957 年 (昭 32)						
対象地域	開催年月日			ホスト クラブ	開催会場	フォーラム リーダー	参加 クラブ RC	参加 人数 名	
	年	月	日						
関 東	1951 (昭 26)	11	21	東 京	日本工業クラブ	手 島 知 健	11	66	
関 東	1952 (昭 27)	10	16	新 潟	イタリヤ軒	手 島 知 健	17	130	
第 2 回 関 東	1953 (昭 28)	6	29	千 葉	千葉銀行本店	小 林 雅 一	22	106	
関 東	())	10	25	甲 府	舞鶴公園	宮 脇 富	20	106	
関 東	1954 (昭 29)	4	3	川 崎	味の素川崎工場	宮 脇 富	25	139	
関 東	1955 (昭 30)	3	12	水 戸	水戸市公会堂	柳 瀬 省 吾	17	140	
南 関 東	1956 (昭 31)	2	18	東 京 北	上野精養軒	小 林 雅 一	17	20	
千 葉 県 下	1957 (昭 32)	2	18	千 葉	奈良屋百貨店	小 林 雅 一	7	115	

地区	第 355 地区		1957 年 (昭 32) ～ 1961 年 (昭 36)						
千 葉 県	1957 (昭 32)	10	19	木 更 津	観光温泉ホテル	小 松 隆	9	101	
千 葉 県 下	1958 (昭 33)	12	4	市 川	市川商工会議所	伊藤次郎左衛門	10	125	
千 葉 県 下	1960 (昭 35)	2	19	船 橋	船橋ヘルスセンター	東ヶ崎 潔	11	171	
千 葉 県 下	1961 (昭 36)	2	19	館 山	館山シーサイドホテル	柳 瀬 省 吾	11	143	

地区	第 358 地区		1961 年 (昭 36) ～ 1967 年 (昭 42)						
千 葉 県 下	1961 (昭 36)	11	11	野 田	野田市清水公園	宮 脇 富	16	164	
千 葉 1.2 3 分 区 合 同	1962 (昭 37)	12	8	松 戸	松戸市立中部小学校	佐久間 長吉郎	17	223	
千 葉 1 分 区	1963 (昭 38)	12	7	柏	柏市民会館	永 沼 政 久	7	150	
千 葉 2 分 区	())	12	14	銚 子	銚子市内	柏原 孫左衛門	5	140	
千 葉 3 分 区	19654 (昭 39)	1	25	茂 原	茂原市内	佐久間 長吉郎	8	215	
千 葉 1 分 区	())	12	14	流 山	キッコーマン工場	中 村 米 平	10	169	
千 葉 2 分 区	())	12	19	佐 原	香取神宮	永 沼 政 久	5	111	

千葉3分区	1965 (昭40)	1	16	東 金	東金市公民館	永 沼 政 久	8	210
千葉3 4分区	1966 (昭41)	3	3	鴨 川	竹乃屋旅館	中 村 米 平	12	289
千葉1 2分区	(〃)	4	2	習志野 千葉南	千葉相互銀行本店	田 誠	13	342
千葉1分区	1967 (昭42)	3	14	我 孫 子	我孫子市公民館	神 守 源一郎	8	133
千葉2分区	(〃)	3	11	上 総	県立君津農林高校	竹 田 恒 徳	7	138
千葉3分区	(〃)	3	18	大 原	県立大原高校	湯 浅 恭 三	8	149
千葉4分区	(〃)	4	7	成 田	成田山第二信徒会館	中 村 米 平	6	130

地区	第 357 地区		1967年(昭42)～1972年(昭47)					
千葉4分区	1968 (昭43)	2	20	勝 浦	行川アイランド	松 方 三 郎	6	115
千葉1分区	(〃)	2	14	松 戸	松戸農協会館	神 守 源一郎	6	131
千葉5 6分区	(〃)	2	23	旭	旭市市民会館	松 方 三 郎	10	206
千葉3分区	(〃)	2	25	天 羽	鋸山観光ホテル	柏原 孫左衛門	7	217
千葉2分区	(〃)	2	27	市 原	出光会館	永 沼 政 久	7	185
千葉2分区	1969 (昭44)	2	17	新 千 葉	千葉相互銀行	川 名 正 義	7	210
千葉1分区	(〃)	2	20	柏	柏商工会議所	田 誠	7	210
千葉3分区	(〃)	2	23	千 倉	白浜海岸南海荘	川 名 正 義	8	212
千葉4分区	(〃)	3	2	大 多 喜	中野西中学校	川 名 正 義	6	180
千葉5分区	(〃)	3	16	八日市場	県立匠瑳高校	川 名 正 義	5	156
千葉6分区	(〃)	4	10	佐 原	香取神宮神徳館	川 名 正 義	5	145
千葉4分区	(〃)	10	27	茂 原	茂原市公民館	広 沢 輝 雄		
千葉3分区	(〃)	11	23	大 左 和	大佐和町社会体育館	川 名 正 義		
千葉1分区	1970 (昭45)	2	17	市 川 東	市川勤労福祉会館	広 沢 輝 雄		
千葉6分区	(〃)	3	21	成 田	北総会館5階	広 沢 輝 雄		
千葉2分区	(〃)	3	24	船 橋	ホテル三田浜楽園	広 沢 輝 雄		
千葉5分区	(〃)	4	19	八 街	八街農協会館	川 名 正 義		
千葉3分区	(〃)	11	15	鋸 南	富山町前芝荘	川 名 正 義		

千葉4分區	1970 (昭45)	12	8	東 金	東金中央公民館	森 田 勝 彦		
千葉1分區	(〃)	12	12	市 川	三菱銀行市川支店	森 田 勝 彦		
千葉2分區	1971 (昭46)	1	22	船 橋 西	ホテル三田浜樂園	川 名 正 義		
千葉6分區	(〃)	3	13	印 西	印西町農業協同組合	森 田 勝 彦		
千葉5分區	(〃)	4	18	横 芝	横芝中央公民館	森 田 勝 彦		
千葉2分區	(〃)	10	18	木更津東	木更津市民会館	広 沢 輝 雄		
千葉5分區	(〃)	10	24	銚 子	銚子青少年文化会館	川 名 正 義		
千葉3分區	(〃)	11	14	館 山	館山市民センター	森 田 勝 彦		
千葉7分區	1972 (昭47)	2	5	流 山	初石公民館	森 田 勝 彦		
千葉4分區	(〃)	2	15	鴨 川	鴨川ユニバースホテル	広 沢 輝 雄		
千葉1分區	(〃)	2	18	八 千 代	三田浜樂園	河 野 秀 夫		
千葉6分區	(〃)	4	16	多 古	多古町公民館	河 野 秀 夫		
千 葉 1. 10 分 区	1973 (昭48)	1	20	松 戸	松戸農協会館	青 山 幸 高		
千葉5分區	(〃)	1	27	館 山	館山市民センター	広 沢 輝 雄		
千葉4分區	(〃)	1	28	木 更 津	木更津信用金庫本店	川 名 正 義		
千 葉 8. 9 分 区	(〃)	1	28	小 見 川	小見川町社会教育 センター	青 山 幸 高		
千 葉 2. 3 分 区	(〃)	2	9	習 志 野 千 葉 南	千葉興業銀行本店	河 野 秀 夫		
千 葉 6. 7 分 区	(〃)	2	11	東 大 原 金 旭	東金九十九里センター	森 田 勝 彦		

地区	第 349 地区		1972年(昭47)～1977年(昭52)					
千葉4分區	1973 (昭48)	11	11	大 左 和	尾崎製作所会館	青 山 幸 高		
千 葉 2. 3 分 区	1974 (昭49)	1	18	船 橋 西 新 千 葉	船橋市三田浜樂園	川 名 正 義		
千 葉 8. 9 分 区	(〃)	1	23	八 街	八街商工会議所	森 田 勝 彦		
千 葉 1. 10 分 区	(〃)	2	3	松 戸 東 我 孫 子	松戸市常盤平市民 センター	河 野 秀 夫		
千 葉 6. 7 分 区	(〃)	2	7	茂 原 八 日 市 場	茂原市市民会館	半 田 利 一		
千葉5分區	(〃)	2	14	鋸 南	館山市民センター	広 沢 輝 雄		
千 葉 8. 9 分 区	(〃)	11	19	横 芝	横芝町中央公民館	藤 代 善 次 郎		

千葉4分區	1974 (昭49)	11	24	上 総	君津市上総公民館	森 田 勝 彦		
千 葉 1. 10 分 区	(〃)	12	9	野 田	野田市中央公民館	青 山 幸 高		
千 葉 2. 3 分 区	1975 (昭50)	1	18	船 橋 千 葉	千葉市千葉銀行本店	藤 代 善次郎		
千葉5分區	(〃)	1	19	勝 浦	勝浦市公民館	川 名 正 義		
千 葉 6. 7 分 区	(〃)	2	9	銚 子 東	銚子市青少年文化会館	青 山 幸 高		
千葉5分區	1976 (昭51)	1	17	館 山	館山市北条海岸海幸苑	藤 代 善次郎		
千 葉 1. 10 分 区	(〃)	1	20	市 川 東	市川市民会館	森 田 勝 彦		
千葉4分區	(〃)	1	24	天 羽	木更津信用金庫	川 名 正 義		
千 葉 6. 7 分 区	(〃)	4	14	茂 原	本納公民館	野 口 長太郎		
千 葉 8. 9 分 区	(〃)	4	21	本 埜	本埜村もとの荘	青 山 幸 高		
千 葉 2. 3 分 区	(〃)	4	27	市 原	千葉市千葉銀行本店	青 山 幸 高		
千葉2分區	(〃)	11	20	八 千 代	ホテル三田浜楽園	岡 野 正 雄		
千葉4分區	(〃)	11	21	木 更 津	木更津信用金庫	藤 代 善次郎		
千葉5分區	1977 (昭52)	1	23	鴨 川	鴨川シーワールド	岡 野 正 雄		
千葉1分區	(〃)	2	7	松 戸	松戸市ホテルニュー オータニ松戸	岡 野 正 雄		
千葉10分區	(〃)	2	18	我 孫 子	柏市市民会館	青 山 幸 高		
千葉3分區	(〃)	2	21	千 葉	千葉市千葉銀行本店	野 口 長太郎		
千葉6分區	(〃)	3	10	東 金	東金商工会館	森 田 勝 彦		
千葉7分區	(〃)	3	18	旭	旭市民会館	野 口 長太郎		
千葉9分區	(〃)	3	20	成 田	成田国際文化会館	藤 代 善次郎		
千葉8分區	(〃)	3	24	横 芝	佐原市香取神宮	青 山 幸 高		

地 区	第 279 地区		1977 年 (昭 52) ~ 1980 年 (昭 55)					
千葉2分區	1978 (昭53)	2	5	佐 倉	千葉市千葉ステー ションビル	青 山 幸 高		
千葉3分區	(〃)	2	15	市 原	千葉市千葉銀行本店	藤 代 善次郎		
千葉1分區	(〃)	2	18	松 戸 北	松戸市常盤平市民 センター	森 田 勝 彦		
千葉4分區	(〃)	2	19	富津中央	富津市中央公民館	藤 代 善次郎		

千葉5分区	1978 (昭53)	3	5	千倉	千倉公民館	青山幸高		
千葉9分区	(〃)	3	5	印西	印西農協会館	藤代善次郎		
千葉6分区	(〃)	3	11	茂原東	茂原市農協会館	森田勝彦		
千葉7分区	(〃)	3	12	八日市場	八日市場公民館	赤木諫夫		
千葉10分区	(〃)	3	17	野田	野田市興風会館	赤木諫夫		
千葉8分区	(〃)	4	18	多古	多古町公民館	赤木諫夫		
千葉5分区	1979 (昭54)	2	4	館山	館山市にしぎき荘	赤木諫夫		
千葉4分区	(〃)	2	7	木更津東	木更津信用金庫本店	青山幸高		
千葉2分区	(〃)	2	11	鎌ヶ谷	船橋市三田浜楽園	藤代善次郎		
千葉3分区	(〃)	3	13	千葉西	千葉市千葉共済会館	岡野正雄		
千葉9分区	(〃)	3	18	白井	白井町公民センター	藤代善次郎		
千葉8分区	(〃)	3	19	横芝	横芝町公民館	青山幸高		
千葉7分区	(〃)	3	25	銚子東	銚子市青少年文化会館	青山幸高		
千葉10分区	(〃)	3	28	柏	柏市民文化会館	藤代善次郎		
千葉6分区	(〃)	4	10	茂原	茂原中央公民館	赤木諫夫		
千葉1分区	(〃)	4	14	市川南	市川市行徳公民館	赤木諫夫		
千葉5分区	1980 (昭55)	2	3	鋸南	富山町農協会館	岡野正雄		
千葉6分区	(〃)	2	7	大原	大多喜町大多喜 中央公民館	岡野正雄		
千葉1分区	(〃)	2	8	松戸東	松戸東部市民センター	鈴木憲輔		
千葉3分区	(〃)	2	8	千葉南	千葉ニューパーク ホテル	赤木諫夫		
千葉8分区	(〃)	2	13	小見川	小見川町公民館	鈴木憲輔		
千葉9分区	(〃)	2	13	八街	八街町中央公民館	青山幸高		
千葉2分区	(〃)	2	16	船橋	船橋市三田浜楽園	岡野正雄		
千葉4分区	(〃)	2	17	君津	君津市中央公民館	赤木諫夫		
千葉7分区	(〃)	2	10	銚子	銚子市青少年文化会館	藤代善次郎		
千葉10分区	(〃)	2	23	流山	流山市西初石公民館	鈴木憲輔		

G S E

研究グループの交換について

①優秀な若い事業家および専門的職業人によって組織されたグループが諸外国を訪問、そこで開かれた研究と討議に参加することによって、その国、その国民を理解し、さらにその国の施設について研究できる機会を提供する②善意の人間が友愛の精神をもって相会し、語り合い、共に生活することを可能にし、かくて相互の問題と抱負を知り、かかる個人的接触を永続する友情にまで成熟せしめることによって国際的理解を増進する——これは RI 財団が実施している研究グループ交換事業の主旨である。この事業はクラブが単独で実施するものではないが、RI 財団への寄金の効果を考えるとき、各種の教育計画を持っている財団にとって、この研究グループ交換事業は、ロータリアンの国際奉仕として充実した立派な事業ということができよう。

25 歳～35 歳の実務経験が 2 年以上ある事業家または職業人によって研究グループが組織され、国際的な相互研究グループとして 2 カ月の相互交換がおこなわれるのが、この事業である。当地区にあつては、1969 年(昭 44)に千葉 RC の飯豊周二会員(現在、千葉南 RC 会員)を GSE 委員長として選任、第 101 地区(スコットランド)と第 357 地区(千葉・埼玉)との交換準備が進められ、翌年の 1970 年(昭 45)に第 357 地区からメンバー 6 名によるチームが編成され、引率するガバナー特別代表には千葉南 RC の越部平八郎会員が選ばれた。このチーム 6 名のうち 3 名は埼玉から選ばれ、千葉からは千葉 RC、千葉南 RC、市原 RC から一名ずつ選出された。そして、このチームは同年 5～6 月の 2 カ月間、スコットランドに滞在、国際的な交換研究の実をあげて 7 月に帰国した。

次いで、この年の秋、10～11 月の 2 カ月間、スコットランドから 6 名の研究グループがやってきた。チームのリーダーは第 101 地区のバスターガバナー T・L・ハンター・スコット氏で、団員はいずれも 20 歳代の元気の良い青年ばかりであった。一行は 10 月 24 日の千葉 RC 主催の歓迎レセプション、10 月 26 日の例会に出席した。いずれも遠く離れた国のロータリアンと、その研究グループとは、千葉県での勉強を通じて理解し合い、親睦を深め、意義ある効果を収めるに至った。リーダーのハンター・スコット氏は、帰国後、「われわれは光栄にも、2 カ月の間、世界で最も親切な、もてなしのよい、思いやりのある、寛大な、そして愉快きわまる人々の間で過ごす機会に恵まれた」との報告を寄せてきている。

このように RI 財団による世界的な国際奉仕の事業は、そのスケジュールの中でも価値あ

るものとして認められており、その後も1973年(昭48)3月下旬から5月下旬にかけて第357地区から6名のチーム(千葉3名、埼玉3名)が第709地区(アメリカおよびカナダ)へ派遣され、第709地区からはニューヨーク州立大学助教授ら一行6名が1974年(昭49)3月1日から4月30日まで当地区に滞在した。

第357地区時代		研究グループ交換の記録																										
年度	年 月 日	ガバナー	ホストクラブ	事 項																								
1969	昭 44.	森 田 勝 彦		・R I 第 357 地区にGSE 委員会発足。委員長に飯豊周二会員(千葉南 RC) が就任。																								
1969	昭 45. 4. 30) 45. 6. 30	森 田 勝 彦 (派遣チーム名簿)		・R I 第 101 地区(スコットランド)へ GSE チームを派遣。																								
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>氏 名</th> <th>職 業</th> <th>スポンサークラブ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>上 条 友 久</td> <td>富士石油 KK 袖ヶ浦工場</td> <td>市 原 R C</td> </tr> <tr> <td>森 山 邦 夫</td> <td>KK みかど育種農場</td> <td>千 葉 R C</td> </tr> <tr> <td>佐 藤 裕 也</td> <td>KK 千葉興業銀行</td> <td>千 葉 南 R C</td> </tr> <tr> <td>稲 葉 健 一</td> <td>KK 日立製作所習志野工場</td> <td>習 志 野 R C</td> </tr> <tr> <td>辻 田 宏</td> <td>東京鋼鉄工業 KK (埼玉)</td> <td>浦 和 北 R C</td> </tr> <tr> <td>梶 原 秀 文</td> <td>三輪精機 KK (埼玉)</td> <td>浦 和 R C</td> </tr> <tr> <td>越 部 平 八 郎</td> <td>ガバナー代理</td> <td>千 葉 南 R C</td> </tr> </tbody> </table>			氏 名	職 業	スポンサークラブ	上 条 友 久	富士石油 KK 袖ヶ浦工場	市 原 R C	森 山 邦 夫	KK みかど育種農場	千 葉 R C	佐 藤 裕 也	KK 千葉興業銀行	千 葉 南 R C	稲 葉 健 一	KK 日立製作所習志野工場	習 志 野 R C	辻 田 宏	東京鋼鉄工業 KK (埼玉)	浦 和 北 R C	梶 原 秀 文	三輪精機 KK (埼玉)	浦 和 R C	越 部 平 八 郎	ガバナー代理	千 葉 南 R C
氏 名	職 業	スポンサークラブ																										
上 条 友 久	富士石油 KK 袖ヶ浦工場	市 原 R C																										
森 山 邦 夫	KK みかど育種農場	千 葉 R C																										
佐 藤 裕 也	KK 千葉興業銀行	千 葉 南 R C																										
稲 葉 健 一	KK 日立製作所習志野工場	習 志 野 R C																										
辻 田 宏	東京鋼鉄工業 KK (埼玉)	浦 和 北 R C																										
梶 原 秀 文	三輪精機 KK (埼玉)	浦 和 R C																										
越 部 平 八 郎	ガバナー代理	千 葉 南 R C																										
1970	昭 45. 10. 1) 45. 11. 30	河 野 秀 夫 (受入れチーム名簿)		・R I 第 101 地区(スコットランド)からの GSE チームを受入れ。																								
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>氏 名</th> <th>職 業</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ダピッド・ドナルドソン</td> <td>銀 行 員</td> </tr> <tr> <td>ゴードン・グレイグ</td> <td>歯 科 医 師</td> </tr> <tr> <td>アンドリュー・イングルス</td> <td>建 築 技 師</td> </tr> <tr> <td>スチュアート・ピッケン</td> <td>牧 師</td> </tr> <tr> <td>アンソニー・サイクス</td> <td>機 械 技 師</td> </tr> <tr> <td>ヘンリー・ワトソン</td> <td>農 業</td> </tr> <tr> <td>ハンター・スコット</td> <td>ガバナー代理</td> </tr> </tbody> </table>			氏 名	職 業	ダピッド・ドナルドソン	銀 行 員	ゴードン・グレイグ	歯 科 医 師	アンドリュー・イングルス	建 築 技 師	スチュアート・ピッケン	牧 師	アンソニー・サイクス	機 械 技 師	ヘンリー・ワトソン	農 業	ハンター・スコット	ガバナー代理								
氏 名	職 業																											
ダピッド・ドナルドソン	銀 行 員																											
ゴードン・グレイグ	歯 科 医 師																											
アンドリュー・イングルス	建 築 技 師																											
スチュアート・ピッケン	牧 師																											
アンソニー・サイクス	機 械 技 師																											
ヘンリー・ワトソン	農 業																											
ハンター・スコット	ガバナー代理																											
		<table border="1"> <tbody> <tr> <td>市 船 茂 鴨 新 八 木</td> <td>川 橋 原 川 葉 代 東</td> </tr> </tbody> </table>			市 船 茂 鴨 新 八 木	川 橋 原 川 葉 代 東																						
市 船 茂 鴨 新 八 木	川 橋 原 川 葉 代 東																											

1972	昭 48. 3. 23 48. 5. 23	半 田 利 一		・R I 第 709 地区 (アメリカ・カナダ) へ GSE チームを派遣。																					
		(派遣チーム名簿)																							
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>氏 名</th> <th>職 業</th> <th>スポンサークラブ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小林 弘明</td> <td>管理薬剤師</td> <td>茂原 R C</td> </tr> <tr> <td>三浦 俊司</td> <td>KK 千葉相互銀行</td> <td>千葉 R C</td> </tr> <tr> <td>菅原 五郎</td> <td>KK みかど育種農場</td> <td>千葉南 R C</td> </tr> <tr> <td>小川 年之</td> <td>東京シリコン社 (埼玉)</td> <td>朝霞 R C</td> </tr> <tr> <td>小林 章治</td> <td>建築設計事務所 (埼玉)</td> <td>熊谷 R C</td> </tr> <tr> <td>佐野 康博</td> <td>ガバナー代理 (埼玉)</td> <td>大宮西 R C</td> </tr> </tbody> </table>			氏 名	職 業	スポンサークラブ	小林 弘明	管理薬剤師	茂原 R C	三浦 俊司	KK 千葉相互銀行	千葉 R C	菅原 五郎	KK みかど育種農場	千葉南 R C	小川 年之	東京シリコン社 (埼玉)	朝霞 R C	小林 章治	建築設計事務所 (埼玉)	熊谷 R C	佐野 康博	ガバナー代理 (埼玉)	大宮西 R C
氏 名	職 業	スポンサークラブ																							
小林 弘明	管理薬剤師	茂原 R C																							
三浦 俊司	KK 千葉相互銀行	千葉 R C																							
菅原 五郎	KK みかど育種農場	千葉南 R C																							
小川 年之	東京シリコン社 (埼玉)	朝霞 R C																							
小林 章治	建築設計事務所 (埼玉)	熊谷 R C																							
佐野 康博	ガバナー代理 (埼玉)	大宮西 R C																							
1973	昭 49. 3. 1 49. 4. 30	藤 代 善次郎		・R I 第 709 地区 (アメリカ・カナダ) からの GSE チームを受入れ。																					
		(受入れチーム名簿)																							
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>氏 名</th> <th>職 業</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>J Ronald. Gentile</td> <td>ニューヨーク州立大学助教授 (教育心理学)</td> </tr> <tr> <td>Gerald. N. Q'Nell</td> <td>Niagara Monawk 電力会社</td> </tr> <tr> <td>Tosegh. M. Watson</td> <td>建築会社</td> </tr> <tr> <td>Wilham. D. Stover</td> <td>工業技術者</td> </tr> <tr> <td>Corl. T. Zehr</td> <td>Hybrid Turkey Inc.</td> </tr> <tr> <td>Eddwin. L. Pfohl</td> <td>ガバナー代理</td> </tr> </tbody> </table>			氏 名	職 業	J Ronald. Gentile	ニューヨーク州立大学助教授 (教育心理学)	Gerald. N. Q'Nell	Niagara Monawk 電力会社	Tosegh. M. Watson	建築会社	Wilham. D. Stover	工業技術者	Corl. T. Zehr	Hybrid Turkey Inc.	Eddwin. L. Pfohl	ガバナー代理							
氏 名	職 業																								
J Ronald. Gentile	ニューヨーク州立大学助教授 (教育心理学)																								
Gerald. N. Q'Nell	Niagara Monawk 電力会社																								
Tosegh. M. Watson	建築会社																								
Wilham. D. Stover	工業技術者																								
Corl. T. Zehr	Hybrid Turkey Inc.																								
Eddwin. L. Pfohl	ガバナー代理																								
		銚 子 成 田 市 原 八 千 代 銚 子 東	}																						

第279地区時代				
1979	昭 54. 7. 20 54. 8. 13	斎 藤 任	富津中央	・台湾・台北市より招請学生として 2 名の女子高校生 (駱敏玲・曾稚帝) を受入れ。
1979	昭 54.	斎 藤 任	銚 子 東	・青少年オリエンテーリング開催。

Interact Club

地区インターアクトの展望

当地区内に初めてインターアクトクラブ設立の提唱がなされたのは、今から16年前の1963年(昭38)、私立成田高校においてであった。成田高校IACは、同年11月28日に創され、翌12月27日にチャーターナイトがおこなわれた。スポンサークラブは成田RCだった。以来、1969年(昭44)までに次々とIACが誕生、現在、地区内のIACは13クラブ、会員数は258名に達している。うち県立旭農業高校は休会中、県立千葉商業高校はクラブ再編成中で、その機能を停止している。

近年、ロータリーにおいては、青少年への奉仕をねらいとした各種のプログラムが急速に充実してきたが、インターアクトもその一環としての奉仕事業といえることができる。とくにロータリアンにとって、次代を担う高校生に対して重大な関心を寄せたことはいままでもないことで、彼らを指導育成していくことは焦眉の急務であった。そして最近では、青少年問題に無関心なロータリアンは、すでにロータリアンとしての資格を、みずから放棄したにも等しいといわれるようになった。地域社会の奉仕の理想は、まず、青少年問題の取組みからといっても過言ではない。このロータリアンの高校生に対する誠実と奉仕は、やがて世界を結ぶ大きな原動力となることであろう。

地区内のIAC

(13クラブ・258名)

インターアクトクラブ	スポンサークラブ	創立日および発会	会員数	学校所在地	例会日
私立成田高校	成田	1963年(昭38)11.28	51	〒286 成田市成田27	毎週金曜
〃 木更津中央高校	木更津東	1964年(〃39)10.28	15	〒292 木更津市太田853	毎週水曜
県立東金商業高校	東金	1965年(〃40)2.4	14	〒283 東金市松野郷字久我台1641-1	第1・3土曜
私立市川学園高校	市川東	1965年(〃40)2.15	15	〒272 市川市東菅野4-1-1	毎週水曜
県立勝浦高校	勝浦	1965年(〃40)6.18	15	〒299-52 勝浦市新官1380	月1回土曜
〃 旭農業高校	旭	1965年(〃40)11.9		(休会中)	
〃 千葉商業高校	新千葉	1965年(〃40)12.1		(再編成中)	
〃 大原高校	大原	1966年(〃41)2.12	20	〒298 夷隈郡這田町大原7985	毎週木曜
〃 市川工業高校	市川	1966年(〃41)3.3		(解散)	
〃 茂原農業高校	茂原	1966年(〃41)7.14	26	〒297 茂原市上林283	毎週木曜
〃 長狭高校	鴨川	1966年(〃41)12.20	35	〒296 鴨川市横渚100	第1・3土曜
〃 安房水産高校	館山	1967年(〃42)9.30	31	〒294 館山市長須賀155	第1・3金曜
〃 京葉高校	市原	1967年(〃42)10.1	20	〒290 市原市島野222	毎週水・土曜
〃 安房農業高校	千倉	1969年(〃44)4.6	16	〒299-27 安房郡和田町海発1604	毎週金曜

インターアクトクラブ実践の歩み

地区	第358地区	1963 年度～ 1966 年度	
年度	年 月 日	ホストクラブ	実 施 事 項
1964	昭 40. 2. 28	成 田	IC 地区連絡協議会を成田市内で開催。
1966	ㄱ 40. 2. 28	成 田	IC 地区年次大会を成田市で開催（第 2 回）。

地区	第357地区	1967 年度～ 1972 年度	
1968	昭 43.	成 田	成田高校と相洋高校の両 IC 交歓会開催。
1969	ㄱ 44. ㄱ 44. 8. 20	大 原 木 更 津 東	県立大原高校 IC 研修生を沖縄へ派遣。 IC 地区年次大会を鹿野山で開催。2泊3日（第3回）
1970	ㄱ 45.	大 原	県立大原高校 IC 研修生を沖縄へ派遣。
1971	ㄱ 46. 8. 25	勝 浦	IC 地区年次大会を勝浦高校で開催（2日間）。

地区	第349地区	1973 年度～ 1976 年度	
1973	昭 48. ㄱ 48. 8. 24 ㄱ 48. 12. 25 ㄱ 48. 12. 27	新 千 葉 大 原 勝 浦 成 田	県立千葉商業高校 IC 研修生1名を海外へ派遣。 IC 地区年次大会を大原高校で開催（2日間）。 県立勝浦高校 IC 研修生を海外へ派遣。 私立成田高校 IC 店立 10 周年記念大会を開催。
1974	ㄱ 49. 8. ㄱ 50. 3. 15 } 4. 5	大 原 地 区 共 通	県立大原高校 IC と大原 RA が合同、長野県大町 RC の世話でキャンプ実施。 第 1 回 IC 交換計画の実施により、地区内の研修生 10 名をオーストラリアに派遣。
1975	ㄱ 50. 8. 9 ㄱ 50. 12. 25 } 1. 6	埼 玉 ・ 浦 和 地 区 共 通	IC 地区年次大会を埼玉県内で開催。 地区内の IC 研修生をオーストラリアに派遣し、英語研修旅行を実施。

1976	昭 51.	市 川 東	私立市川高校 IAC 研修生を海外へ派遣 (英語研修 2 カ月間)。
	ㄥ 51.	市 川 東	IAC 交換学生 1 名をオーストラリアへ派遣。
	ㄥ 51.	木 更 津 東	IAC 交換学生 4 名、教師 1 名をオーストラリアか ら受け入れ。
	ㄥ 51.	木 更 津 東	IAC 交換学生 1 名をオーストラリアへ派遣。

地区	第279地区	1977 年度～ 1979 年度	
1968	昭 52.	勝 浦	IAC 交換学生 5 名、オーストラリアから受け入れ。
1978	ㄥ 53.	市 川 東	IAC 交換学生を米国ガーデナー市へ派遣。
	ㄥ 53.	成 田 市 原	IAC 交換学生 3 名を海外へ派遣。
	ㄥ 53.		IAC 交換学生を海外へ派遣。
1979	ㄥ 54.	千 葉 木 更 津 東	IAC 交換学生、米国ロスアンゼルスから受け入れ。
	ㄥ 54. 8. 2		IAC 地区年時大会を木更津市内で開催 (2 日間)。
	ㄥ 54.	成 田 木 更 津 東	IAC リーダーのビル・ロバート夫妻受け入れ。
	ㄥ 54.		第 528 地区 IAC 学生 4 名およびガバナー夫妻を受け入れ。

R A C の 歩 み

ローター アクトクラブ	ホストクラブ	実施年月日	実施事項
船 橋 西 松 戸 東 印 西 東 松 戸 印 西 柏	船 橋 西 松 戸 東 印 西 東 松 戸 印 西 柏	1975 年 (昭 50) 8.	・ RAC、RC 共同で母子家庭慰安海水浴実施。
		1977 年 (ㄥ 52) 6. 26	・ オーストラリア RAC 来訪。歓迎会開催。
		1977 年 (ㄥ 52)	・ RAC 会員を海外へ派遣。
		1978 年 (ㄥ 53)	・ オーストラリア RAC 来訪。歓迎会開催。
		1978 年 (ㄥ 53)	・ RAC 会員を海外へ派遣。
		1978 年 (ㄥ 53)	・ RAC 地区年次大会を開催。

Rotaract Club

地区ローターアクトの展望

国際ロータリーがローターアクトクラブ設立の提唱をおこなったのは1967～68年度であった。以来、現在に至るまで世界78カ国において3,168クラブが創設され、会員数も6万3,280名に達し、日本国内23地区においても370クラブ、会員数約8,000名にまで拡大発展を見ている。第279地区（本県）にあつては、1969年（昭44）4月12日創立、同年12月20日発会の館山RACのスタートから拡大を続け、7クラブ・153名に達している。

明るい未来を、明るい社会環境を青少年とともに作っていかうのではないかと、というのがローターアクトの持つ本質であるが、現代青少年が育っている社会環境を考えたとき、とりまく環境は厳しすぎるものがある。孤独、不安、不信が常に彼ら青少年につきまとっているという状態にあるということは否めないようだ。彼らの相談相手になってやれるのは学校教師はさることながら、社会経験も豊かで、学識もあるロータリアンこそが適格者であるということができよう。彼らに温かい手をさしのべ、彼らを理解しながら明るい未来づくり、明るい社会環境づくりに精進していかうのではないかと。現代青少年の社会参加を意義あらしめるように、われわれロータリアンの大いなる奉仕の灯を掲げよう。

地区内のRAC

(7クラブ・153名)

ローターアクトクラブ	スポンサークラブ	発足日	会員数	事務所所在地	例会日
館山	館山	1969年（昭44）12.20	18	〒294 館山市北条1823 千葉銀行館山支店内	第1・3金曜日
木更津	木更津	1971年（ㄥ46）8.7	21	〒292 木更津市中央2-1-20 木更津商工会議所内	第1・3火曜日
船橋西	船橋西	1972年（ㄥ47）9.10	32	〒273 船橋市湊町2-8-40 ホテル三田浜楽園内	毎週金曜日
千葉	千葉・千葉南 千葉西・新千葉	1973年（ㄥ48）4.16	25	〒280 千葉市富士見2-2-1 ニュー千葉ビル内	第1・3木曜日
柏	柏	1975年（ㄥ50）1.25	20	〒277 柏市柏2-10-19 伊藤商事KK内	第2・4火曜日
松戸東	松戸東	1977年（ㄥ52）6.26	18	〒270 松戸市常盤平5-21 千葉相互銀行常盤平支店内	第1・3火曜日
印西	印西	1977年（ㄥ52）10.16	19	〒270 -13 印旛郡印西町大森3877 千葉銀行印西支店内	第2・4金曜日

RYLA と REX について (青少年指導者養成セミナー) (帰国学生の集い)

RI理事会は、国際ロータリーの青少年活動プログラムの一環として青少年指導者養成プログラムを採択している。このプログラムは地区全体にわたり、若い人々とロータリアンを参加させる地区的な計画であり、若い人々の指導者および善良な市民としての資質を伸ばすことを目的としている。ロータリー青少年指導者養成計画は世界各地で、さまざまな方法、スケジュールでおこなわれてきている。オーストラリアとニュージーランドではロータリー・クラブがロータリー青少年指導者養成(RYLA)のセミナーに力をいれている。他の国々では、指導者キャンプだとか、ロータリアンと学生の懇談会・討論会だとか、その他さまざまな方法でコミュニケーションがはかられている。どんな形式のものであっても、このロータリー青少年指導者養成プログラムは、その地区のロータリアンに、若い人々のためというよりは、若い人々と一緒になって働くことを求めるものであり、また、青少年の指導者としての手腕を、現時点での諸問題との関連において伸ばしていくための方法として、すでに実験済みのものである。

RYLAとREXの記録

地区	第349地区			
年度	年 月 日	ガバナー	ホストクラブ	実 施 事 項
1975	昭 50.	岡 野 正 雄	新 千 葉	<ul style="list-style-type: none"> ・ロータリー青少年育成指導者養成セミナー (RYLA) を千葉市内で開催。 ・第 357 地区(埼玉)、第 349 地区(千葉)合同による REX キャンプを千葉県東金地区で開催。参加者 26 名で、うち外人学生の参加は 14 名。
	50. 7. 21 昭) 50. 7. 23	岡 野 正 雄	東 金	

地区	第279地区			
1978	53. 11. 18 昭) 53. 11. 19	鈴 木 憲 輔	地 区 共 通	<ul style="list-style-type: none"> ・第 279 地区の第 1 回 RYLA プログラムを南房総研修センターで開催。

歴代ガバナー
思い出の記



古き思い出

RI 第 355 地区パスト・ガバナー
(1958～59年)

佐久間 長吉郎
(東京南 RC)

国際ロータリー第279地区において国際ロータリー75周年記念として地区史の編纂をご計画になりましたことは、誠に時宜に適したこととご関係の方々のご苦勞を感謝し、ご成功をお祈りします。

私は1958年～59年の地区ガバナーとして、当時の355地区に所屈された千葉県の各クラブにお伺いいたしました。当時の千葉県下のロータリー・クラブは10クラブありました。何しろ20年も前のことですから当時の記憶は定かならず、また文献等も不精のため文書の保存もしてありませんので、ご要望の件は充分お答えできないと思います。当時、千葉ロータリーの中心は千葉クラブでありまして有名な古莊四郎彦・千葉銀行頭取が、昭和26年の創立から6年間も会長を続けられました。私のガバナーの時は、斎藤武さんが会長でありましたが、この方は古莊会長の厳しい薫陶を受けられた方であったので、私の如きは余り側にも寄せませんでした。すでに逝去された第2代目会長・花岡和夫氏、さらにご健在の第3代目会長・杉本郁太郎氏も熱心なロータリアンで、千葉県下のクラブはこれらの方々には指導されていたように記憶します。創立75周年記念誌RI第279地区史編纂委員長の本部真之氏は、当時、若手のロータリアンとして活動されていたのをよく覚えております。後のガバナー森田勝彦氏、白井莊一会員は、しばしば東京南クラブに出席されたのでよく記憶しております。千葉県下のクラブ全体に斎藤会長の威令がよくゆきわたっていたようでした。

木更津クラブは後のガバナー藤代善次郎氏が会長でありましたが、山崎直氏という畏しい人がおられました。山崎氏は、私の一高の大先輩で公式訪問の時に演壇の前に頑張られて大変に恐縮しました。しかし、木更津クラブは一人の旅行者を除いて公式訪問に全部出席されました。私が公式訪問したクラブの中では100%クラブは唯一のもので、山崎氏の統率力には感激しました。あんな嬉しい思い出はありません。

館山クラブは、川名正義氏が副会長で、至れり尽くせりの世話をしていただきました。後年の名ガバナーの片鱗をみたように思われます。その他記憶に残る人々は、館山クラブの大西鷹一郎氏、佐原クラブの小森準三会長、船橋クラブの右島四郎氏らで、船橋クラブでは一高の同級生岡田文秀君がおられて異郷で兄弟に会ったような懐しさを覚えました。

その当時は千葉県にはクラブの数が10クラブで離ればなれに設けられてあり、道路はほとんど舗装されてなく、大変難渋いたしました。最近、千葉は独立279地区となってクラブ数56、昔日の観はありません。これも私どもと一緒に苦勞した10クラブの先輩の方々のご努力の結果と思い、感激に堪えません。

数年前に本埜村にロータリー・クラブができたということを知り、村にロータリーは珍しい、どんな運営をされているか拝見したいと思い、メーカーアップをしました。ところが県下の道路はほとんど全部立派に舗装されて、会員の多くの方々は自家用車で例会に出席されるようでした。私のカバナー当時とくらべて誠に隔世の感があります。この交通の便利になったことが、地区内のクラブの拡大に大きな助けとなっているではありませんか。20年の間の千葉県の経済力の充実が、精神文化面にも大きな影響をあたえ、会員となる適格者が頻々とふえてきたのではないのでしょうか。千葉県の各ロータリー・クラブの拡大発展につれて有力なる人材が輩出していることは将来の279地区の発展を意味するもので誠に慶賀に堪えざるところ、21年前に地区ガバナーとして本当に僅かな力を拵げたのが実ってかくなったことは望外のしあわせであります。

ボルトリス 語録

ロータリーの理想の普遍性

ロータリーの構想が生まれる2世紀前、ロンドンには職業分類を基にした社交クラブがすでにあった。またベン・フランクリンもやはり職業分類を基にしたジャント・クラブをフィラデルフィアで結成している。大分以前にフランスのストラスブルに本部を置いて結成された慈善協会もまたその理念と目的をロータリーとほとんど同じくするものであった。



千葉県 の 思 い 出

RI 第 355 地区パスト・ガバナー
(1959年～60年)

柏原 孫左衛門
(東京 RC)

昭和26年(1951)の春、故小林雅一君から「千葉市のロータリー・クラブ設立準備が整ったので創立を手伝ってやってほしい。自分は所用のため外国に出かけてしまうのでよろしく頼む」との依頼がありました。当時、私は東京ロータリー・クラブの副会長在任中で、その前年、甲府市にRCが誕生した際のお手伝いのキャリアもあったことから、この依頼になったのです。千葉RCの設立準備は、小林君と千葉RCの初代幹事となった斉藤武君の二人の手で進められていたのです。

さっそく私は千葉へ乗り込んで創立総会を無事に済ませ、書類なども完備したうえ当時のガバナー手島知健君に提出、RIへの申請が行なわれ、やがて、その年の5月30日付けで千葉RCの認証がなされ、千葉RCは名実ともにRIの一員となりました。しかも、千葉県下では初めてのRC誕生となったのです。

私は昭和34年(1959)7月から翌年の6月までガバナーに就いていましたが、そのころまでには千葉県内でのRC創立が相次ぎ、千葉RCに次いで木更津、市川、船橋、館山、野田、松戸、銚子、茂原、佐原、東金にRCが生まれました。拡大の一途をたどると千葉県地区のために地区ロータリーの分区代理制度を初めて設け、斉藤武君に初代の分区代理になってもらいました。当時の忘れ得ぬ人として、千葉RCの森田勝彦会長、館山RCの川名正義会長がいます。

千葉県のRCは、今では279地区として千葉県だけで一地区になり、大きく飛躍しました。このように偉大なる発展と急速の進歩を遂げられたことは誠に慶賀にたえません。今後の御隆昌の御発展を切望するものであります。



千葉県のパターリーと私

元国際パターリー副会長
RI 第 358 地区バスター・ガバナー
(1962年～63年)

湯 浅 恭 三
(東京 RC)

私と千葉県のパターリー・クラブとの関係は、私がガバナーであった昭和37年～38年度を中心とすることになる。その頃は日本全国が8地区に分かれ、千葉県は東京都、神奈川県、山梨県、埼玉県と、さらに沖縄県を入れて358地区を構成していた。千葉県内のパターリー・クラブの数は、ガバナー就任の時は17で、在任中に3つ増えたので、公式訪問の際には合計20に達していた。その後、現在のように千葉県が279地区となり、クラブの数が急激に増えて56となった。その増加状況については、この記念誌に記載されていることと思うので私はふれない。

当時の公式訪問は原則としてガバナーは夫人同伴となっており、前日の午後、クラブ協議会、夜はクラブ会員の家族の方々と交えた親睦会、翌日の午前中は、クラブの会長と幹事との懇談会を開き、それに続いて例会に出席して公式訪問を果たすことになっていた。その間に時間があれば、クラブ地域内の会員の主宰する産業を見学したり、その土地の史跡や有名な観光地を見ることが多かった。したがって現在と違って、各クラブのパターリアンと親しく話し、その地域のことを見たり、聞いたりする時間が相当にあった。

さらに私のガバナーとしての一年間のハイライトは、358地区の地区大会が千葉市の体育館で催され、地区の内外から1200人を超えるパターリアンと、その家族が集まり、その当時としては盛大な地区大会であった。このような関係で私としては千葉県のパターリーの皆様とは深いつながりができ、当時お目にかかった千葉県内のパターリーの先輩諸兄、ことに、いろいろな面で優れた才能や功績をあらわされたパターリアンも多数存じあげている。当時は交通も不便であったが、しだいに鉄道や道路もよくなり、パターリーの数も年々増えて今日に至っていることは慶賀の至りである。

私の就任年度の国際パターリー会長は、インドのニティッシュ・C・ラハリー氏で、有名

な標語「内部に火を燃やせ。自身を発見せよ」を発表した方であり、東洋人として最初のRI会長であった。彼は私の在任中、1962年の11月に日本を訪れて天皇陛下から拝謁を賜わっている。私は彼の標語に基いて公式訪問のスピーチを各クラブでおこなったことはむろんのことである。東洋の国、哲学と宗数の国であるインドのラハリー会長の標語は、今でも我々の心に大きな光を与え、ロータリアンとして考え、実行すべきことを示している。

地区大会における会長代理は、当時は多くRIの元理事や役員をした外国の方であったが、千葉大会の時にも元RI理事であった米国のC・W・wood ward氏夫妻が見え、会長代理としてのスピーチをされた。

私の知っている当時の千葉県のロータリー・クラブは、多くの堅実な、真面目なロータリアンを中心として設立されていたから、将来の拡大発展は期して待つべきものがあると考えられていた。相当ちがった特徴のある町が多かったが、それなりにロータリアンとして立派な、進歩的な奉仕活動をされ、力強く感じさせるものがあつたことを覚えている。

ロータリー・クラブ創立75周年を祝う私たちは世界のRCが、ますます発展し、世界平和のために、人類の健全な成長のために力を尽すと同時に、千葉県のロータリー・クラブの皆様のますますの御発展と御活躍を祈るものである。



職業分類制度

職業分類による会員制度は各会員の持つ道徳的理念をその身辺を遥かに越えて、社会奉仕しているあらゆる実業、専門職業その他の職業の人々に伝える機会を与えている。各にロータリアンはロータリーの理念主義と各自の職業をつなぐ鎖である。

ロータリーの拡大

公共的な住民意識に関する限り、ほとんど死んだも同然であった数百の小さな都市や町にロータリー・クラブができる新しい生命が吹き込まれた。ロータリー・クラブ結成の専門家といったようなものは不要であった。どのロータリー・クラブでも、ロータリーが非常に有用なものであることを知り、他の都市や町にも是非同じものをつくりたいという衝動に魅せられたからである。



私の G 時代の国際ロータリー 第 279 地区の状況

RI 第 358 地区パスト・ガバナー
(1964年～65年)

神 守 源一郎
(東京東 RC)

国際ロータリー第279地区史を編纂されるそうであるが、私の場合、ガバナー時代は約15～6年前のことになるので、ともすれば記憶違いがあったり、興味本位になったり、あるいは感情が入り込んだり、なかなか正確に記述することはむずかしいと考えられる。よってここには「読み物」にはならないだろうが、当時の記録をたどり千葉県下のロータリー・クラブの精進ぶりを思い起こしてみることにした。(本稿では敬称を略させていた)

私のガバナー時代は、1964～65年(昭和39～40年)で、当時は全国10地区に分かれ、千葉県は私の第358地区に属し、東京・沖縄・埼玉・千葉の4都県で構成されていた。

①まず、私を助けてくれた分区代理は、第1分区は平田博(市川)で現ガバナーノミニ。第2分区は飯田順之助(佐原→小見川)で、からだの大きないい人であったが惜しくも逝去された。第3分区は内田収三(茂原)で真面目な人であった。ホームクラブ出席100%を続けておられた。

②地区資金委員は3名おられた。当地区は山下平兵衛(野田)

③ロータリーの友委員はなし。(地区に1名で東京からだった)

④ロータリー財団委員は川名正義(館山)。

⑤財団に対する寄与は、400%で野田が全地区の3位(第1位は東京東の800%)で、次いで200%の千葉・船橋・市川、100%が銚子・鴨川・勝浦・上総・木更津・松戸・茂原・流山・習志野・成田・大原・佐原・館山・八日市場・市原であった。また、ポールハリスフェローは茂木房五郎(野田)で、全世界では47名、全日本で11名、当地区だけで7名だった。

⑥米山奨学会委員は次の通り。(クラブ別)

加藤繁(旭)・平尾正寿(千葉)・中村民雄(千葉南)・鎌倉国松(銚子)・右島四郎(船橋)・川端文雄(市原)・矢彦沢秀司(市川)・石井壱郎(上総)・野村次郎(鴨川)・渋谷秀男(鴨川)・山越信(勝浦)・坂井四郎治(木更津)・小野市太郎(松戸)・篠田彦兵衛(茂原)・堀切紋次郎(流山)・広瀬秋之助(習志野)・川瀬信雄(成田)・中野栄三郎(野田)・荘司正夫(大原)・菅井与左衛門(佐原)・川名正義(館山)・森川要(東金)・太田昭吉(八日市場)

⑦IGFの状況は次の通り。

[第1分区] 12月14日・野田市キックマン工場で実施。ホストクラブは流山。リーダー中村米平。10クラブ出席。出席会員は169名(総会員数426名)。出席率39%。印象…柏、流山のクラブ全員出席。新クラブの千葉南は登録3名で実出席は1名。

[第2分区] 12月19日・佐原市香取神宮で実施。ホストクラブは佐原。リーダー永沼政久。5クラブ出席。出席会員は111名(総会員数194名)。出席率58%。印象：特になし。

[第3分区] 1月16日・東金市公民館で実施。ホストクラブは東金。リーダー湯浅恭三。8クラブ出席。出席会員210名(総会員数409名)。出席率51%。印象…インターアクト創立直前の東金高校より予定者全員25名出席。

⑧地区インターアクト委員は、川瀬信雄(成田)。新インターアクト・クラブ誕生は次の通り。

- (イ) 東金商業…20名(2月4日) 東金RC
- (ロ) 市川学園高校…15名(2月15日) 市川RC
- (ハ) 木更津中央高校…25名(3月12日) 木更津RC
- (ニ) 勝浦高校…36名(5月25日) 勝浦RC

⑨仮クラブ誕生の状況は次の通り。

- (イ) 大多喜クラブ(2月4日)。特別代表・市原正文。スポンサークラブは大原RC(尾本要三会長)。
- (ロ) 天羽クラブ(4月15日)。特別代表・杉井卯之助・スポンサークラブは木更津RC(鈴木四郎衛門会長)。

⑩チャーター伝達式の状況は次の通り。

- (イ) 千葉南クラブ(12月5日) 於県体育館。参加者は40クラブで450人。特別代表・川口幸造(千葉)。印象…うす曇りの寒い日であった。
- (ロ) 市原クラブ(3月27日) 於五井中学校。参加者は38クラブで477人。印象…全分

区代理出席。

①当時の会長名・会員数・年間出席率の現在との比較は次表の通り。

クラブ名	当時の会長名	当時の 会員数	当時の年間 平均出席率	現 279 地区内 だけで の順位	現在の 会員数	現在の年間 平均出席率	現在の 順 位
松 戸	及 川 好之助	48	100	1	61	93.35	32
館 山	三 平 宏	59	99.96	2	119	99.92	5
柏	染 谷 伝三郎	42	99.61	3	72	96.36	23
市 川	松 谷 誠 一	56	98.93	4	61	99.59	9
鴨 川	鈴 木 良	30	98.53	5	48	93.31	34
木 更 津	梶 伝持郎	58	98.30	6	91	100	1
八日市場	越 川 清	34	96.05	7	48	99.74	8
千 葉	増 田 正 二	84	95.73	8	85	96.41	22
佐 原	菅井 与左衛門	48	95.57	9	80	95.05	27
茂 原	衛 藤 五 郎	60	95.50	10	76	97.97	14
野 田	池 松 武之亮	38	94.64	11	59	97.40	17
千 葉	南 田 谷 一	37	94.56	12	79	97.66	16
流 山	秋 元 鶴 雄	28	94.51	13	55	95.58	26
東 金	森 川 要	42	92.91	14	54	93.43	31
船 橋	右 島 四 郎	57	92.90	15	54	96.74	21
習 志 野	田 中 聖 賢	31	92.80	16	55	97.34	18
旭	飯 田 耕 一	40	92.71	17	55	89.64	47
銚 子	茂 木 新 七	55	90.92	18	72	91.57	41
大 原	岩 瀬 桂十郎	35	90.64	19	51	91.65	40
勝 浦	君 塚 六 郎	34	90.16	20	40	90.44	43
上 総	真 田 達三郎	28	89.96	21	23	88.71	48
成 田	土 井 豊	38	88.25	22	63	85.52	52
市 原	宮 吉 長 門	30	85.69	23	57	93.34	33
大 多 喜	尾 本 要 三	29	85.78	24	24	84.76	56
大 羽	鈴木四郎右衛門	27	82.96	25	39	86.95	50

当時のクラブ数 25クラブが14年間経って現在（昭和54年） 56クラブに

〃 会員数 1,068 名が 〃 2,933 名に

会員数が増えたクラブ 館山・千葉南・流山・市原・柏・佐原・習志野
成田・鴨川・木更津・野田・大原

〃 同じクラブ 千葉・勝浦・市川

〃 減ったクラブ 船橋・上総・大多喜



過去を顧みて今後を思う

RI 第 358 地区パスト・ガバナー
(1965年～66年)

竹 田 恒 徳
(東京北 RC)

創立75周年を迎えた国際ロータリーは、欧米の例に慣って $\frac{3}{4}$ 世紀を盛大に祝い、画期的な発展を期しております。

今から15年前、私が皆様のご推挙によって第358地区（千葉を含む）のガバナーという大役を務めましたのは、ちょうどロータリー創立60周年に当たる年でした。そこで何事も10年を一区切りとする日本の習慣に従って『この記念すべき年に当たって、静かに過去を振り返ると共に、心を新たにして飛躍的な発展を期しましょう』と公式訪問ごとに各クラブに気合いをかけたことを思い出します。

ところで、ロータリーは創立記念日を祝うことでもわかるように過去を大切にし、特に原点を重視していますが、一方では時勢に応じてどんどん変化して行く、それが素晴らしい今日の発展を遂げた要因の一つだと私は思うのです。

その例を広報にとって見ますと、我々がガバナーを務めた15年前の頃には、ロータリーにおける広報は氷山のようなもので、ロータリーが一般に知られている所は氷山の海面上に現われている部分のように少なくとも、たくさんの良いものを隠れた海面下に持っている—それで良いのだといわれていたものです。ところが今はどうでしょう。ロータリーが、こんなに立派な奉仕をしている事実を、もっと、もっと広く一般に知らすことこそ、さらに奉仕の実を挙げる道であると、積極的な広報を奨励するようになっていきます。

国際奉仕を見ても、15年前は国際理解の域を余り出ない程度の奉仕が多かったように思いますが、やがて世界社会奉仕というプロジェクトが生まれるに及んで積極的に具体的な奉仕活動が推進されて来ました。しかして大きな成果を求めるあまり分区のクラブが協力したり、地区単位で実施する活動が多くなったことは事実ですが、ついに創立75周年を迎えるに当たって、これを記念した3H基金が設立され、広く各クラブまたは会員の協賛金を

集めて国際ロータリーみずから奉仕活動を具体的かつ効果的に展開するまでに至りました。変れば変ったと申しましょう。

しかし、これはロータリーが今までに立派な奉仕の成果を挙げて来た自信の上に立つてのことであり、また全世界の会員数がやがて100万人に達することによって大きな力を持つに至ったからでもありませんか。真相は偏狭・無知・病氣・飢餓など人間社会の暗い面が未だに余りにも深刻で、もはや手をこまねいて見逃すことが出来ず、あえて国際ロータリーが立ちあがったのであると思いますので、我々はその事情に共鳴し、両手をあげて協力すべきだと考えます。

ただ一つ、先に述べましたようにロータリーが常に重視して来た原点を大切にすることと、これとは別のことだと思うのです。すなわちロータリーの基本単位は、あくまでもクラブであり、そのクラブが行う奉仕こそ最も大切であるということは、75周年記念事業でも基金募集とは別にクラブが行う記念事業を特に推奨していることでも明らかです。しかもクラブが行う奉仕として、成果の点で小さいものばかりだとは決して言えないと思うからです。

そのことについては社会奉仕に例をとって見ても、その大原則を定めている決議第23-34が示唆しているように「ロータリー・クラブは地域社会に存在する問題を見つけ……他の人々にその解決の必要を悟らせ……それに関心を持っていると考えられる他の団体の協力を得るように努力する」ことを推奨しており、やり方によってはクラブの力または予算を遥かに越えた大きな成果を挙げることも出来ることを教えています。

15年前、話がガバナーの時にはポール・ハリス賞というのが設定され、最も立派な奉仕活動をしたクラブに、これが与えられましたが、その榮譽に輝いたクラブの一つに八日市場ロータリー・クラブがありました。これはその地域にとって大切な駅のプラットホームに上屋がないので、多くの乗客がとても困っているのに着目し、当時は未だ小さなクラブであったに拘わらず、敢然として大金を要するこの問題に取り組む決心をし、全会員が進んで、それぞれ応分の拠出をすると共に、会長指揮の下に交渉委員を選出して各方面に呼びかけ、地域社会をリードして募金に成功し、ついに、近代的かつ機能的な上屋を完成して地域社会の感謝的となったことに対して与えられたもので、これこそ正に前述の示唆に見事に応えたよい例だといえましょう。

それから15年、力強く生長したロータリーは、それなりに大きな奉仕活動を行うことも大切ならば、創立の原点に即したクラブ単位の奉仕、ひいてはロータリアン個人が行う奉仕を、創立75周年にを決起として、もっと、もっと盛んにすることを決して忘れてはならないとつくづく思うのです。



ガバナーの思い出

RI 第 357 地区パスト・ガバナー
(1967年～68年)

川名正義
(館山 RC)

千葉県にロータリー・クラブが出来たのは昭和25年、手島知健パストガバナー、古荘四郎彦会長が千葉市にロータリー・クラブを作ったのが初めてです。館山ロータリー・クラブが出来たのは昭和31年で小松隆ガバナーの時でした。その時、私も創立会員としてロータリーに関与するようになりました。昭和36年、中村米平ガバナーの時、千葉県の分区代理として中村ガバナーや宮脇富パストガバナーに、いろいろロータリーについて教をいただきました。そして千葉県下の各クラブを中村ガバナーのお供をしてみわり、各クラブ会員と親しくお話しをすることが出来ましたのでガバナーになった時、公式訪問の際の参考になりました。

昭和41年、松方三郎ガバナーの時、アシスタントガバナーとして東京、千葉、埼玉沖縄のロータリー・クラブに松方ガバナーの手伝いをいたしました。昭和42年、第357地区が千葉、埼玉両県で新しく創立するにあたり千葉県から初めてのガバナーとして私が推薦されました。レイク・プラシッドのロータリー国際協議会出席に次いで、ニースの国際大会およびメキシコ大会に出席し、ロータリーに関する知識を深めることが出来ました。千葉、埼玉両県下の各ロータリー・クラブを公式訪問し、ロータリーの為に努力をいたしましたが、この期間、各ロータリアンの友情の厚いのに心を打たれました。いまだに忘れることは出来ません。

現在は昭和48年から千葉県で一地区となり、クラブの数も非常に多くなり、奉仕活動も活発化し、いろいろな業績をあげていることを深く感銘しています。今後ますます友情を深め、各クラブの御発展をお祈り申し上げます。



思い出から

RI 第 357 地区パスト・ガバナー
(1968年～69年)

廣澤輝雄
(川越 RC)

国際ロータリー第357という地区は、昭和42年(1967年)から昭和47年までの6年間つづいた。千葉・埼玉両県をもって一地区として、川名、広沢、森田、河野、青山、半田の6代のガバナーがこれに奉仕したのである。両県をかけめぐったので相当の労働だったと覚えている。でも未知の千葉県へ訪問しても、みんな良い人たちばかりだったので楽しかった。感謝している。やがて地区分割の話がはじまったが、なんだか別れるのが惜しく、寂びしいので何とか、と思ったりしたのだが、発展のためなら一と心を新たにして今日の第257地区と第279地区が出来あがったのである。でも心の奥に寂しさと、懐しさがあるのは今も変わらない。

昭和55年はロータリー創立75周年の記念の年、ここに逢えるとはロータリアンとして何ともいえない光栄である。

私は明治38年(1905年)4月21日生まれで同年2月23日誕生のロータリーとは約2カ月ちがい。ドンピシャとまで行かないまでも差しづめニアピンというところである。この75年間で先輩方の築き上げられたロータリー城は大したものので厳然としている。手続要覧など立派なもので、これも絶えず改訂、改訂で勉強し、進歩してきたのである。ロータリーが崩れないのは不断の努力の賜物であらう。

ロータリーで大切にしている言葉の一つに「奉仕」がある。今年度のボーマー会長のテーマ「奉仕の灯で道を照らそう」も、実践すべき当を得たものといえよう。

ところで、約1100年前、伝教大師(僧最澄)は比叡山延暦寺において山家学生式をお書きになり、その中に「一隅を照らす、此れ即ち国宝なり」の聖句を示された。私はこの聖句と「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる→積善の家に必ず余慶あり」との二つをロータリーの教えに最適であると思い、これをもって公式訪問の際の卓話の主題とした。

奉仕の道を日本人向きにお話ししようと考えたのである。「奉仕の灯を…」と「一隅を照らす…」とは相通ずるものがある。私のガバナー任期が終わって、その翌々年、RIの社会奉仕諮問委員会の一メンバーに任命されたが、この一年間は各委員間の文通だけで何ら実績を挙げられなかったそこで、日本国内のその年度のガバナーにお願いして、社会奉仕の事例を報告していただき、それに、この「一隅を照らす、此れ即ち国宝なり」を付け加えることにした。海外へもお送りしようとして英訳することにした。さいわい千葉県八日市場クラブ員である奥田六兵衛さんの肝いりで大正大学の一島正男先生、群馬県前橋市の御住職であられる室生貞信先生のお二人がお骨折り下さって、

DO ONES BEST AT ONES POST

IS CALLED THE TREASURE OF NATION

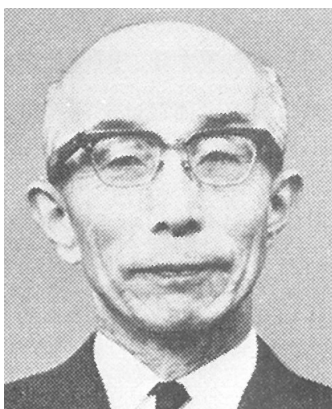
と翻訳され、お送りいただいた布教の御本によって、この聖句が少しわかったような気がしている。山家学生式とは人材養成の教育制度を確立しようとしてお書きになったもので、次のような意義があるということになる。

『誰でも偉くなりたい、だが、みんな偉くなってしまっではどうにもならない。たとえ縁の下の力もちでも自分の本分を尽す人こそ国宝というべきだ』…よくわかりませんが大師が開かれた天台宗は法華経を主にしてお開きになったもので、大乘仏教であり、これ以前の奈良の仏教は小乗仏教といって、自分一人の解脱を願い、仏教を修業する教えで一切衆生全部が仏となって救われる教えとは違うものです。まさに願わくは衆生と共にというのが大乘仏教の根本態度であって、世界全体が幸福にならないうちは個人の幸福はありえないということだそうです。

ロータリアンとしての日常の態度はどういうふうにもっていったらよいか、奉仕をどう考えてもっていったらよいか、思いやりの心、感謝の心、そして絶えず個人の奉仕を主にして考え、実行してゆきたい、自然に湧き出る奉仕で自分の本分を尽くすこと、背のびする必要はない、よくいわれる「小さな親切」に尽きると思う。何でもないことのようなものだが、ついうっかりしてやらないで、あとになって気をつくことが多い。習い性となるまでになってみたいものだ。

昭和44年(1969年)、森田ガバナー年度の大会の特別講演で茅誠司先生は、「小さな親切」を「一隅を照らす、此れ即ち国宝なり」を結びつけてお話し下さったことを覚えている。

歴代の国際ロータリー会長のテーマ、いずれも噛みしめるほど味わいのあるものばかりで、奉仕の道を学ぶにも教えるにも、よい手づるになると思っている。



ハーバート・テイラーの言葉

RI 第 357 地区パスト・ガバナー
(1969年~70年)

森田勝彦
(新千葉 RC)

私のロータリー歴も十世紀を越え、その間に私はガバナー役まで務めさせていただき、ロータリーについて沢山の良い思い出を持たせて貰った。私は毎年の地区大会開催のおり、RI会長代理の方のお話には、心から心服させられるものが多く、私の処世の上に役立つさせていただいた。なかでも昭和31年、私がまだ千葉クラブに在籍して、クラブ幹事を務めていた時のことだ。当時千葉クラブは、第60地区に属していた。仙台で地区大会の開かれた時、私は花岡和夫会長のお伴をして大会に参加した。

この年のRI会長代理として来日されたのは、ロータリーのファー・ウェイ・テストの創作者ハーバート・テイラー氏であって、この大会の三日目、閉会式にテイラー氏の述べられたお別れの挨拶の言葉は、その後、四半世紀を経た今日でも私の胸に深く刻みつけられて、真のロータリアンとは、こういう心の持ち主かと覚えさせられた。

その言葉とは次のような意味のものであった。『私はこの日本の地区大会に参加するに当たり遥か数千里の旅を続けて参りました。そして、当地区で多数のロータリアンの方々から厚い御好意あるおもてなしをうけ、お近づきを得て多くの方とお話合いをし、この三日間の地区大会も今まさに大成功裡に閉じんとしつつあります。この時に当たり、私と妻のグローリアの心に案じておりますことは、私どもがこうして、はるばる日本に参りましたことが日本のロータリアンの皆様方の為になったかどうか—ということであります。皆様、どうか日本のロータリーの将来の発展の為に、お役に立てばと祈り、お別れの言葉といたします』……

今、私のもとにこの大会の記録がないので、テイラー氏の述べられた言葉は前記のものとは多少異なっていることとは思いますが、これを聞いてから以来、私はロータリーに関しては、このテイラー氏の言葉に添うようにいつも私と接した方々が、テイラー氏が案じ

たと同じような気持ちで、私は皆様のお役に立つことを念じて、お務めして来ただいであります。

ポルハリス 語録

青少年

山は高いかも知れぬが、少年の意気は、それよりもなお高い。

幸福

幸福とは、どんなに一生懸命求めても得られないのに、来るときは求めずして、しかも思いもよらなかった場所で得られる人間の特質の一つである。

夢

良い夢を見て、それを実現するなら、夢を見るのも悪くない。

善隣

国境を接する国々の義務—それは、われわれ自身のなかにある至高なるものを引き出すことを求めている。この課題を受けて立とうではないか。

友情

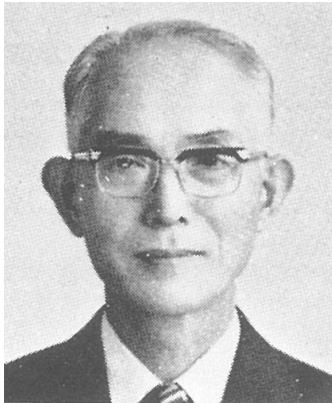
友情に境界はない。あらゆる障害を越え、どんな海でも航海していく。

交際

人間は他の人々と交わっていくことを大いに必要とする存在である。これは宇宙の摂理によるものであろう。人間は人間らしく交際しなければならない。

礼儀

礼儀正しく、やさしく話をする習慣を身につけることは粗雑に話すことの習慣を身につけるのと同じように易しい。



第357地区・1970～1971年度 の追憶

RI 第 357 地区パスト・ガバナー
(1970年～71年)

河野 秀 夫
(熊谷 RC)

私は、1970～71年国際ロータリー会長William walk年度に日本ロータリー第17地区のガバナーの一人として、レイク・プラシッドで開かれた国際協議会の研修を受けた。国際大会はアトランタで開催され、規定審議会の権限確定やRI理事の増員の提案により、ロータリー大会としては、まれに見る激論が数日にわたり繰りひろげられたが、この結果、アジア地域では日本に第1 および第3の二つのゾーンが承認され、日本から常時1名の理事が選出され得ることになったのである。

私の年度の地区業績を顧みると多岐にわたるが、地区組織の変化として同年から地区ガバナーは2年前からノミネーとして選定することを勧告されたので、年次大会で次年度の青山G・Nと再来年度の半田G・Nと2名のG・Nが決定紹介された。また、この年度から地区幹事の任命を認められたが、その職責が不明のため幹事1名、副幹事1名を任命したものの、ほとんど有名無実のまま終わった。この年7月、地区内の大多喜地域に洪水の災害が起り、社会奉仕の一端として多くのロータリアンの義援金が寄付された。同年は特に世界社会奉仕のプロジェクトに関心が寄せられ、救済援助にロータリアンの協力を得られたことは感銘にたえない。

その事例を挙げると、前年度からの継続事業としては、使用済み切手収集によるネパールの結核児童救済と韓国・李正子女史経営の明暉園救助があり、同年度実施事業としては、バレー地震被災義援および東パキスタンの風水害救済、またタイ国サワンカロクの学校建設寄金があり、さらに特筆すべきは、この年次大会においてネパールの結核児童救済寄付金として200万円を贈ることが決議されたことである。

次に国際奉仕活動として第101地区スコットランドとの間に前年度より実施された研究グループ交換活動が越部平八郎君（新千葉）を団長として渡英し、所期の目的を果たして同

年7月に無事帰国した。次いで10月1日、スコットランドからHUNTER SCOTT P・C (1977~78年度 RI・BI会長) を団長とするG・S・Eチームが来日し、綿密に計画された当地区のプログラムに従って行われ、彼我の理解と親善を深めた効果は素晴らしいものがあった。これについて私の感想を追録するとwalk会長のターゲット通りに日英両国間の隔りを取り除くために極めて効果的であったと思う。かつては同盟国の親交あった両国が第二次世界大戦を契機に離反し、戦争の古傷による悪感情の残渣が今なお多少見られた。これはSCOTT団長が帰国に先立ち婉曲な表現と謝辞の中にかがわれた。すなわち彼我チームの交換により、特に彼等が来日いらい受けた当地区ロータリアンの誠意溢れる歓待により、これが彼等の想像していた同一国民であろうかと疑うほど現日本国民の友好的態度に深く感銘し謝意を表している。

SCOTT団長が帰国後、RI・BIの機関雑誌ロータリーにも同様の感想を発表している。ただ我々はこの際、彼我の歓待程度がバランスを崩すほど日本側に過剰性が認められたことは反省すべきであった。その他いわゆる老大国とか斜陽国とか批判される彼等が質素堅実な経済的生活に徹する信念、古来、世界に範を示す紳士の態度と公衆道徳の身についたマナーは心ある日本ロータリアンに示唆を与うる点が少なくない。最後に経済事情の如何にかかわらず、王室を中心として古い伝統を誇り、毅然たる信念を保持している国民性に敬意を感じたのである。ロータリーの基本的特色の一項目に挙げられる「ロータリアンは、その信仰する宗教に誠実であり、その愛する祖国に忠誠であるべきことが期待される」という点を、我等日本ロータリアンもまた忘れてはならぬと考えさせられたしだいである。

次に私のG時代より少し遡るが、当地区に関係深い出来ごとなので、インターアクト・クラブ(IC)に女子会員加入の認められるに至った由来について付記する。ICはロータリーの画期的な青少年奉仕に事業として1962年RI理事会の決定により発足したが、最初はロータリー・クラブに準じ会員制度は男子に限定されており、その育成、拡大は甚だ低調であった。たまたま1966年7月第358地区(松方G年度)で中村PGカウンセラーおよび神守PGリーダーによりIC諮問委員長会議が開催されたが、その席上、私は成田、熊谷両クラブを代表して次のような意見提案を行った。

発言要旨(河野)… 女子加入問題は議論し尽くされた感があるが、現実にはまだ納得できない。

その理由① ICは若人の育成奉仕とされているが、男子のみを対象とするのは若人半分だけの不十分な奉仕である。

② 日本ではICの結成にも、クラブ育成にも男女一緒のほうが達成し易い。ことに男女共学高校において然り。

③ ロータリーと同様の目的で他に男女一緒に始める奉仕団体があるなら、恐らくICは後れをとるに至るだろう。

以上の理由から日本ロータリーのRI役員は我々の希望が実現するように積極的に働きかけてほしい。

回答要旨（神守リーダー）… わかったが、現在のところ実現は無理である。しかし、実際には女子を準会員として入会させているICもあるようだから、然るべく善処されたい。

回答要旨（中村カウンセラー）… 実情はよくわかるが、基本的には女子を入れるはよくない。これはRIで検討の結論である。（以上1966年ホスト東京日本橋RC発行のインターアクト諮問委員長会議議事録よりの抄録）

しかし、このあと関係委員のご尽力により日本の意見が漸次是認採択され、翌年度から女子、半数以下加入承認、さらに会員構成は男子自由となり、同様制度で続いて1968年からローターアクト・クラブが設立されるに至ったのである。

ポルハリス 語録

旅 行

旅行は精神的な近視を癒すのに良い。ただし旅人が偏見を捨てて旅する気になればである。

ビジネス

ロータリーでは、ビジネスは重要な一部とされるが、すべてではない。視野が自分の業界だけにしかおよばない人は哀れむべきである。



思い出すままに

RI 第 357 地区パスト・ガバナー
(1971年～72年)

青山幸高
(市川東 RC)

私がこの地区のガバナーを務めさせていただいたのは1971～72年度で早くも10年になろうとしている。その後、地区も拡大増強を続け、今では私がガバナー退任後入会された会員も多くなったので、今回ロータリー創立75周年を記念して地区史を刊行されることとなった機会に当時を思い返し、将来の展望におよびたいと思う。

当時はこの地区が東京地区（現第258地区）から分離して5年目であり、埼玉県と共に第357地区を形成し、就任時のクラブ数は千葉県内40クラブ、埼玉県内40クラブ（うち1クラブ未承認）の計80クラブであった。就任後まもなく前年度末に創立総会を終了していた蓮田クラブが承認され、10月に佐倉、2月に志木、本埜（現印旛本埜）、3月に新所沢、4月に加須、桶川、5月に君津、銚子東クラブが、それぞれRI加盟を承認され、退任後は両県各44の計88クラブに達した。本州最東端の銚子東クラブから秩父クラブまで広範囲に散在する88クラブの公式訪問はRIが要望する上半期末までに終了できず最後の熊谷ロータリー・クラブに対する公式訪問は2月4日となった。その後、1月以降に承認せられた7クラブの公式訪問を実施し、期末近くまで公式訪問が続いた。幸か、不幸か私は住所が東京都練馬区であったので地区のほぼ中央に住んでいたのが両県に分散したクラブを公式訪問するには最適であった。川口、戸田、浦和、大宮あたりまでの埼玉県のクラブまでの距離は、私のホームクラブである市川東より近いくらいであったが、これらの埼玉県のクラブに何うと必ずといってよいほど「遠路わざわざ」と挨拶されて恐縮したものである。

公式訪問で最も印象に残っているものは、多古クラブの公式訪問で、おりから25号台風が接近して多古クラブ訪問に周囲の道路が逐次通行不能となり、訪問終了時には八日市場に通ずる道路一本しか通行できず、やっとの思いで多古を脱出、国鉄総武本線で千葉へ出て、翌日の訪問先である木更津東ロータリー・クラブに向かったが、その夜は25号台風の

直撃を受けた。さいわい木更津東クラブで準備して下さった宿舎は山の上とはいえ、鉄筋コンクリートのホテルであったので被害は受けなかった。このホテルで8月に創立されたばかりの女性のみの木更津ローターアクトのメンバーとの面接式が行われたことも心に残っている一つである。

この年には、当地区にとって初めてのロータリー財団奨学生として沼田睦子さん（現スーリエ夫人）をフランスに、武津由美さん（現ゴレイ夫人）をスイスに送った。また「地区ガバナー指名委員会規程」、「地区表彰規程」、「ロータリー・クラブにおける勘定科目と仕訳の指針」を地区内ベテランロータリアンのご協力を得て作成し、後任の故半田パストガバナーに申し送ることが出来たのは幸いであった。ポールハリスフェローも18名（現在から見ると極めて低い数字であるが、ポールハリスフェロー制が出来て以来、前年度末までの累計が12名であったことからみれば大躍進といえる）、オノラリーフェロー1名、メモリアルコントリビューター3名という財団寄付成績を記録し得た。

この年度の地区大会は第358地区（現第258地区）との連合地区大会を東京の武道館を中心として開催、登録総数約5,000名という2地区連合大会としては未曾有の大会となり、部門別協議会も都内数個所に分散して行われたが、交通委員会の適切な計画により少しの支障もなく実施され、第2日目の帝国ホテルにおける本会議も3,500名出席という好成績を挙げた。

このようにロータリー歴9年余でガバナーに就任した私として、これだけの成果を挙げ得たことは当時のRI会長アーンスト・G・ブライトホルスさんが提唱された「善意は、先ず貴方から」というテーマを地区内全ロータリアンが積極的に具顕されたからで、いまもって心から地区内全ロータリアンの奉仕のおかげと感謝している次第である。

地区内クラブ数も88となり、そろそろ地区分割をすべきだという声が起こり、特に森田パストガバナーの時に地区分割が承認され、藤代パストガバナーの時代に、ついに長年にわたり共に奉仕の道を歩んで来た埼玉県と別れ、ここに全国で2番目の1県1地区となるに至り、埼玉県側は元の第357地内を継承し、当地区は349地区という日本で最も小さい地区番号を与えられた。これが4年後、RIの地区番号整理により今度は第279地区という日本で最も大きい地区番号を与えられることとなった。なんだか地区番号の面で継子（ままこ）扱いされたように思えてならない。現在では56クラブとなり、ここ数年、ちょっと拡大のテンポが落ちてはいるが、やがてその反動として大きな拡大が予想せられ、再び千葉県も二つの地区に分割せざるを得ない時が来るかも知れないが、クラブ数の増加とともに各ク

ラブ会員の奉仕の実践が、より積極化してこそ「奉仕の灯で道を照らそう」という現ボーマーRI会長のテーマが実を結ぶものと思う。心から今後の地区の発展を祈るものである。



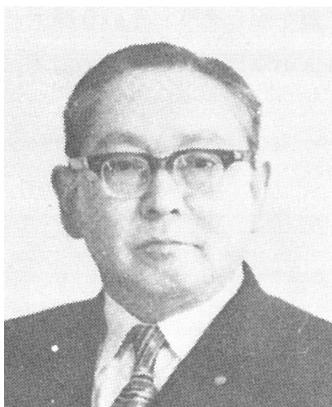
ポルハリス 語録

親睦

親睦はロータリーの礎石であり、寛容は親睦をかためる要素である。`親睦はロータリーの雰囲気のかなかでますます深まる。ロータリーでは形式や気取りを去り、身分や地位に関係なく対等の立場で交わるからである。親睦は伝道的な力であり、多くの人々がロータリー精神で生まれ変わっている、一。

ロータリーとは宗教か

ロータリーは宗教でもなければ、宗教に代るものでもない。現代の生活、とくに実業および国際関係における宗教的な衝動から出た活動である。私の生涯を通してみると、ビジネスの方法は、いちじるしく変化しているが、そこにもロータリーの影響が強く感ぜられる。



所 感

RI 第 349 地区パスト・ガバナー
(1973年～74年)

藤 代 善次郎
(木更津 RC)

国際ロータリー創立75周年の記念すべき年に当たって私共の地区は地区史の編纂を計画されました。私自身がロータリアンとなってから26年を過ぎたところですから、国際ロータリーの歴史からみれば、ちょうど½に過ぎません。ただ地区という点から考えれば、現在のRI第279地区（最初は第349地区）の当初のガバナーであっただけに感慨の深いものがあります。以下、少しく所感を書き記したいと思いますが、記憶の誤りを避けてガバナー時代に発行した月信の記録を中心として書きます。

私は、私のガバナー月信第1号（昭和48年7月1日）の巻頭に次のように書き記しました。

「新年度からは第357地区（埼玉県）と第349地区（千葉県）の二つに分割されることになりました。従って私は従来半分の組織と力をもって新しい地区を建設し、その運営と活動にあたるべく運命づけられたのであります。このことは大変な仕事であります…」そして同じ月信第14号（昭和49年6月30日）には「旧RI第357地区が二つに分割されたのは、既に飽和点に達しておったので、分割されるべきものが分割されたのであると素直に受けとめたのであります。そしてその当然の結果として両地区は、夫々の地区内のロータリアンの好む方向に従って発展すべきであったのであります。ちょうど一年前に、この考えに立ち到った私は、`新生第349地区の土台をいかに築き、いかに発展の舵取りをすればよいか、という大きな命題に直面したのであります。更にはその経済力は半減されたのであります。対外的とくに新第357地区との関連性の深い問題（例えばG・S・E青少年交換、西豪英語研修グループの派遣、その他…）があると同時に新生地区自身として独自に行うべき奉仕事業も沢山あるのです。そして夫々の奉仕活動を通して地区の奉仕活動の基盤を築くことによって、第349地区の特色ある活動と発展を企画せねばならないので本当に苦悩いたしま

した…」

この一年の活動の実際が第349地区の永遠の発展の一里塚ともなれば心からの喜びであります。

なお、青山パストガバナーのご高配によって、三笠宮崇仁親王殿下に年次大会の席上で特別講演を載せ、更に殿下を日本ロータリーの最初（否、RIにおいても類例の少ない）の名誉ガバナーとしてご掲載申し上げることのできたことを無上の光栄といたします。更に4月2日、G・S・Eのエド君以下5名の団員を引率して東宮御所に参上し、皇太子殿下に接見を許され、ご歓談のご接待を載くなど誠に曠古の光栄と感激するところであります。

この1年を省みると、私は本当に幸福であったと、しみじみ感じております。天の時、地の利にもまして人の和を得られたことが私自身の健康を含めて、この光栄ある1年（一生に二度と経験することのできない）を感激に浸りながら務め得たことであります。そして私自身の心底においてはロータリーの真実の鈴を振りながら、真実一路の旅を続けることによって、この1年、カーター会長のいう「Untapped Potential」に近づくという感激に没っています。

そして、これに引き続いて地区の諸活動を記録した表と数字が数頁にわたって記載されています。この表と数字を昨年度の鈴木憲輔ガバナーの月信第14号に記載されたそれと比較してみると、奉仕諸活動の数字は飛躍的増加をしています。このことは地区の歴代ガバナーと、ロータリアンの格段のご尽力によるものと感謝し、敬服しています。同時に新生地区の土台を築き、発展の方向を定めるべく苦悩した私にとっては、この上ない喜びであります。殊に国際奉仕（ロータリー財団、青少年交換、西豪英語研修グループの派遣、米山財団等を含む）の発展は、わが国の国力の伸展に伴ったものではあります。国民外交の基盤をなすものとして高く評価されるべきものでありましょうか。

私のガバナー任期中、サイゴン市にあるポールハリス診療所の窮状を援助（RI世界社会奉仕第625号）するために75万円を送金しました。パストガバナー斎木委員長の報告によれば、ポールハリス児童診療所の開所式には、カーターRI会長も出席されて盛大に行われ、世界社会奉仕として意義ある事業であることを知りました。ただ、その後、ベトナムの国情の変革によって現在どうなっているのか知る由もありません。ロータリーの綱領に「奉仕の理想に結ばれた実業人と専門職業人の世界的親交によって国際間の理想と親善と平和を推進すること」という最高目標があります。私は、この寂しい一事例だけでロータリーの国際奉仕を云々しようとは考えません。ただ世界情勢の大変革期に際してボーマーRI会

長のいうように、奉仕と灯とで照らされた道をひたすら歩むということが大切であることを忘れてはならないでしょう。そして、そうでなければ必ず大きな限界にぶつかってしまうだろうことを私は案じます。



ポルハリス 語録

現実的理想主義

ロータリーは創造的でなければならず、単に受動的であってはならない。「同胞愛」という言葉を現実的なものたらしめる新たな方法手段の発見に向かって大実業家の才を発揮集中しなければならない。

外 交

国のなかにおいてすらマナーが悪いのは不幸なことだ。まして国際的な事柄とすればマナーの悪いのは致命的である。一国を代表して海外に赴くものは教養と洗練された品性の持ち主でなければならない。紳士の素質を持ったものでなければならない。



創立75周年に想う・1975～76 年度への回顧

RI 第 349 地区パスト・ガバナー
(1975年～76年)

岡野正雄
(柏 RC)

輝かしい伝統に包まれた思い出の地レイク・プラシッドから会場をボカラトーンに移して開催された国際協議会は、冒頭、ロビンス会長の「歴史あるレイク・プラシッドから、お別れの悲しみをこめた声が聞こえてきます。という挨拶のもとに点鐘されました。

1975～76年度ガバナーノミニーとして出席した私にとって、このフロリダの地で初めて開催された国際協議会は、こうした意味合いを含め意義深い体験として今もなお、その脳裏に刻み込まれています。この会議を通して作りあげることができた初めて逢う各国のロータリアンとの温もりのある友情の交換は、まさにロータリーのボキャブラリーには赤の他人という言葉はないという実証を体験させてくれました。このことは帰国後、ガバナーとして各クラブのロータリアンの皆さまとの出会いの中で、一層なまなましい肌を通じた体験として、同時に友愛の情というありふれた人間の資質に着目した創始者ポール・ハリスの素朴な、そして偉大なる発想を確かめることができました。

私にとっても地区の皆さまにとりまして、二度と巡り逢いのない絶好の機会を迎えるワンチャンネルとしての的確な指導力を、やさしく示唆してくれた高齢の一人のアメリカのパストガバナーとお逢いすることができたこともその一つに数えることができます。もし、私たちが結果を尊重するならば、その結果を産む過程も尊重しなければなりません。ロータリーの第一の仕事は、人を造ることにあります。献身的な、専念没頭する人を造るということです。あなた方が人々の成長するのを助けるのです。そして、あなた方が他の人々の成長を助ける時、あなた自身もそれにつれて成長するのです。ロータリーには「山々に似つかわしい人々を造るという、すぐれた伝統があります。…ロビンス会長が説いたこの直截的な言葉も私にとって印象的な心の体験といえます。

亡き半田パストガバナーのサジェスションをいただき、当時、第357地区山口ガバナーノ

ミニと一緒に、この年度に実現した日豪ローターアクト相互訪問プロジェクトという日本では初めての企画への布石を築いたのも、この国際協議会での楽しい思い出です。ボカラトーンから国際大会に出席のためモントリオールに向かった私は、会場でホームクラブである懐かしい柏ロータリー・クラブのメンバーの顔を発見することができました。この素晴らしい仲間は、ガバナー・ミニとしての研修を完了した私を励ますために、わざわざツアーを組んでこの美しい都市を訪れてくれたのです。

青山パストガバナーも出席された夕食会の席上、この素晴らしい仲間の顔を見つめながら「皆さん、ありがとう。」と話しかけようとする自分の喜びを伝えようとする私の言葉は、こみあげてくる涙によってしばしば絶句しました。こらえようのない涙の中で私は、久し振りに迫力のある感情に浸りました。館山で開催された地区協議会から公式訪問、品川パシフィック・ホテルに2100名を超える出席者をお迎えし、盛況のうちに挙行された地区年次大会に至るガバナーとして歩み続けた私の道のりは、常にこうしたホームクラブの皆さまの温かい友情に支えられてきました。ハードなスケジュールに疲れる時、ワンチャンネルとしての信念にたじろぎを覚える時、ロータリーの友情は包みこむような愛情によって私を勇気づけてくれました。

この年、インバッサイ・デ・メロ新会長は、ロータリアンの心の高揚について「人間に威信を、というメッセージで表現し、人類の生活に対する脅威という言葉を使い、私たちの心の中に燃える善意の火種を結集し、あらゆる困難なる要素に取り囲まれ、危機感をはらむ現代に挑戦しようと呼びかけました。私はこのメッセージを受け「貴方自身が主役になろう。」と提唱しました。この実践方針は地区の皆さまのご理解と共感を賜わり、飛躍的な数字を示したロータリー財団への貢献、6クラブの誕生をみた拡大、青少年プログラムへの意欲的な開発、この地区として初めて市川ロータリー・クラブが受賞した意義ある業績賞を含め、各奉仕活動に充実した成果を示しました。鮮明な記憶として私の心をよぎる「You are Rotary、と説いたエド・マックラウリン元会長の言葉は、クラブとのパイプ役として見事なご活躍をいただいた分区代理の皆さまと共に、いつも私にとって良きパートナーとしての役割を果たしてくれました。小さな善意としてのロータリー財団への貢献、地区翻訳事務所の設置、身近な生活の原理としてロータリーは家庭からと、各クラブのご婦人の皆さまとの懇談の機会を呼びかけた婦人プログラム、こうした公式訪問での私の提案は、各クラブの会長・幹事の皆さまを頗る悩ませながらも、好意に満ちたご配慮をいただき、それぞれ効果ある足跡を記すことができました。

1977～78年、アクティングガバナーとしての年度、SAAとして東京国際大会で体験した友情の記録を回顧しながら今、私は、この大会の席上、クレム・レスフ会長の次の言葉を思い起こしました。〘人間の犯した最大の罪は、他人を憎むという事より、他人に無関心であるということであり、そして人間は、意志の力でいくらかでも引き出せる未知数の可能性が潜在している、…この言葉は75年という歴史の上に立って私たちロータリアンへの明日を指向する問いかけではないだろうか。私たちは絶えず未完成な希望を秘めたロータリーというチームの変革に対し、一人一人の責任に基づき注目し、一人一人の価値感を見つめ直すこと、そうした私たち明日への心の道標を、この言葉は示唆しているのではないだろうか…そう思いました。

これからも皆さまと新しい時代の、新しいロータリーを求め、歩み続けたいという願いをこめ、私の感想に代えたいと思います。

ポルハリス 語録

善き仕事

善い仕事だけがロータリーのすべてではない。善い仕事とは、その裏に秘められた何物かの表現にすぎない。ロータリーの善い仕事の裏には目に見えない力がある。それは善意の力だ。

積極性

ロータリーにおける「出来る」と「出来ない」との間の葛藤において「出来ない」例が恒久的な勝利を得たことは一回もない。広い視野、より高尚な目的が常に勝利を収めてきた。



1976～77年度を顧みる

RI 第 349 地区パスト・ガバナー
(1976年～77年)

赤木 諫 夫
(船橋 RC)

読み返して見ると、この稿は地区の運営活動に関する記録が少なく、私事にわたる部分が多くて、年史という常識からは、いささか外れているように思うが、私にとっては印象深い出来ごとなので、あえて書き残しておくことにした。

今になって思えば私のガバナー就任は如何にも不運であったとしか考えられない。青山パストガバナーは、私の年度の月信第14号に次の如く書いておられる。「歴代ガバナーのうち、赤木ガバナーほど不幸であったガバナーは珍しいのではないか。私（青山）はノミニの期間が1年3カ月、半田ガバナーは1年11カ月、これにくらべて赤木ノミニは僅か6カ月、スタートからこのハンデに挑戦せねばならなかった。これが第一の不幸であった……」。続いて第二、第三の不幸についても直截簡明に記述されている半面、後輩の私に友愛溢るる感想を寄せられている。

私にもう少し肉体的な若さと、バイタリティーが残っていたら半年の期間で刻苦研修、おくれた分を取り返すことも出来たかも知れない。当時の私には15年のロータリー歴はあったものの、極めて不勉強の仲間の一人であった。イト アンド ランの仲間といわれても反発できる点はなかったと思う。齢は73歳、老軀残生というにふさわしい年輩であった。ロータリーの理想を高揚し、その実行に挺身するには自ら限界に来ていると考えるに至り、いくたびか辞退を決意し、申し出たのではあったが、ハネ返ってくる答えはNO.！であり、「頑張れ」の激励だけであった。かくてついに、あきらめとなり、気を取り戻して、おくれた分に追いつくべく努力した。やがて進むべき道筋にやっと見当がつき、これからという時に第二の不幸が偶発した。

吉種地区副幹事が交通事故によって重傷という事態が起り、私は自分の片腕を失った思いであった。そして、第三の不幸…。平田地区幹事の急逝であった。日ごろ健康で医者

にかかったことはないといっていた本人だったが…。この人を杖とも、柱とも頼りにしていた私にとって、その悲しみは如何ばかりであったか！。彼が急遽入院となってから私は時間をさいては病院に見舞った。驚くほど急ピッチな衰弱の身でありながら、細い声でロータリーの事務処理について報告するその責任感の強さに心を打たれ、深い感動を覚えながら私は手を握って感謝した。溢れ出る涙をこらえることが出来なかったこともある。

さらに私事にわたるが、平田君と私とは、旧制高校も大学も共に同校・同学。ただ年齢が一廻り違うだけの間柄で、以前より親しい仲間であった。彼は私の立場をよく理解し、自らの社業を放り出して一筋に献身され、不在がちな私にどれだけ安心感を与えてくれたことか、ただただ感謝の念で一杯である。その平田君が永眠した。ご夫人をはじめ一族縁者のほかに最も悲しい思いをした者は恐らく私ではなかったろうか…と思うのである。

クラブ事務所には有能な女子事務員ただ一人残り、近隣クラブの習志野から安房さん、船橋西から竹口さん兩名の来援を得て、残る4カ月を乗り切ることが出来たのは、せめてもの幸せであった。

私のクラブ例会は余り形式張らず、硬くならず、柔軟性ある笑いの多い例会となって貰いたいと考え、卓話の時も、クラブ協議会の時も、なるべく理論や議論からは遠ざかり、卑近な事象から話題を引き出そうと努力し、目的の半分は達成できたように考えている。他面、100%のロータリーアンがいわゆるように、多くの良き友人を得たことはかけがえない貴重な収穫であった。

地区活動の統計については他地区のそれと比較して数字は、やや小さいながら、地区会員は2799名となり、109名の増加、ポール・ハリス・フェローは82名となり、17名の増加、前年度に比し、前者は及ばなかったが、後者は上回った。国際部門においては、岡野パストガバナーの活動によって、オーストラリア・メルボルン地区との交流が始まった。我々の次代を担う青少年の相互訪問のプログラムは、国際理解と親善に大きな効果をもたらしたことはいうまでもない。このプログラムは逐年盛大に進展していることは嬉しい限りである。

思えばロータリーの道は奥深く、そして遠い。この遠い道を歩くことが私の宿命であった。道中に起こる諸々の運命に挑み、そして今はその使命に燃えている。けれども常に先頭に立って実技するには、しみじみとバイタリティーの不足を感じるのであるが、この欠点を補うものとして数多くの立派なロータリアンがおることに気づいた。中でも年若く、そしてアクティブな青年層、壮年層が存在する。この人々を媒体とし、この層の指導と育

成に力を注ぐならばロータリーの綱領は実現され、私の所望は達成できると思う。みずからは、いわゆる「口舌の徒」に堕し、何もしない「他力本願」の輩となるのではなくて、青・壮年層と一心同体となり、片棒を担ぎつつ残生を歩くことにした。

ポルハリス 語録

意見の対立

意見の完全な一致を期待するのは無理である。人の考えは色々にあって、色彩の違いよりも遥かに多様であり、これを変えることは難しい。人間の信念は気性、遺伝、環境、経験など多くのものの影響を受けている。指導者は忍耐と寛容をもって判断しなければならない。ロータリーも独断的になっては役立たない。

変化の必要

ロータリー精神は時々刻々、日々そして年々、ルネッサンスの精神であらねばならない。分子、原子、電子を探究する顕微鏡的な視野の人が必要であるが、同時に、また星を探究する遠大な視野の持ち主も必要である。

和 解

ロータリーは利害の対立するもの同士を和解させる点で特に努力し、友好的な雰囲気の中に対立者あるいはライバル同士を集めるといった簡単なやり方で驚くべき成果を収めている。悪意の炎が燃えあるいは燻っているところこそロータリーの出番なのである。



地区史の刊行に寄せて

RI 第 279 地区パスト・ガバナー
(1977年～78年)

岩 城 長 保
(千葉 RC)

ロータリー創立75周年を記念して地区史が刊行される。必ずや素晴らしい立派なものが出来ることと確信し、同時に今後のロータリー発展に十二分に活用されることを願しながら私の雑感を書き記すことにした。

数年前のこと、パリーで一女性からこんな話を聞かされた。「パリーを訪問された大勢の方々をご案内したが、政治家で国民のための施策について話し合われたのを耳にしたことは一度もありません。お話はすべて票がどうのこうのということで、これでは国民は気の毒だと思います。海外に長く住むと愛国心が強くなるといわれるが、日本のことが心配でたまりません。国内におられてどうでしょうか」…こうした質問に、それは杞憂だと、残念ながらいい切れなかったことが今も記憶に新たである。

古来「法三条」ということが最も良い治世を表現するために用いられるが、それかあらぬか、中国に倣って官庁に〇〇省と「省」の字が付いている。`省みて省く、意味と聞く。

このごろ「ニーズ」という言葉がしきりに使用される。政治とは国民のニーズに応えることだと一般に認識されているようだ。然し国民の気儘な欲求は数限りがない。いちいち応えては收拾がつかなくなる。そこで省の字が示すように各官庁が自らを簡素化し、国民の無数の欲求を整理して不必要なものを省いてやる。そのためには、確固たる政治理念をもって指導する必要がある。もちろん政治に対する国民の信頼を失っては指導は出来ない。いたずらにニーズ、ニーズと迎合しては、ますます国民の信を失うことになりかねない。官庁の簡素化にしても、行政整理が叫ばれてから久しいが、一向に埒(らち)があかないばかりか、かえってニーズに応えることを理由に複雑化し、人員の増加、事務の煩雑化、そして法規の氾濫、これでは国民は何も彼も政府に下駄を預け、ひいては免れては恥無しでは果たして法治国家といえるであろうか。ことに政治も金次第ということに

でもなれば、民主々義は自滅の外あるまい。

ロータリーは創立75周年を迎えて、との目覚ましい繁栄を謳歌することは大変結構であり、ニーズに引き回されているなど豪も思わぬが、それが奢りに通じては大変である。古来「驕れる平家は久しからず」といわれる。

このところ、また、「ルーツ」という言葉が流行っている。盆栽をやっている方は良くおわかりのことだが、盆栽のルーツは文字通り根である。目に見えない存在だけに、つい油断をして根を傷め、盆栽を台無しにしてしまう。

ロータリールーツは職業奉仕にある。自己顕示欲を満足させる華やかな奉仕に熱心なのは良いが、仮にもルーツである職業奉仕を空気や水のように重要性が忘れられては本末転倒である。我々の生活はかかって各自の職業にある。もし職業奉仕で総論賛成・各論反対、建て前と本音は別と、利己本位の行動がとられたら結果はどうであろうか。いたずらにマッチポンプの愚を為すことになりはすまいか。長期にわたって世界のリーダーであった米国も、今や四面楚歌の観があり、日本も仏教に、いわゆる末世の様相なしとしない。物質文明の危機に起死回生のメスを入れ得るものは、ロータリーを措いて外にないのではあるまいか。

ここで最も必要と思われることは教育である。「三つ子の魂百まで」といわれるが、かつては乳幼児の時から自立精神を育てるために、冷たく突き離れた方が良いという教育論が行われ、実施された結果、勝てば官軍の英才が育った。先日、若い人たちが「情けは人のためならず」…を情けをかけることはその人のためにならない、かえってその人を駄目にする意味に受け取っていると聞いて、驚いて辞書を繙いて見た。現在では乳幼児の間に人間としての基礎が大部分出来あがるとされる。自然、乳幼児の仕付けは家庭で、しかも母親でなくては出来ない。

如何に立派な施設が出来ても、母親の慈悲心がなくては、仏つくって魂いれずである。慈母・悲母といわれる母親が天与の慈悲心を失っては、立派な人間形成は不可能である。文化の高さは隣人に対して、その幸福を願って行動する度合に比例するといわれている。今日の母親は果たして正しい仕付けをする教養を身につけているだろうか。母親教育即女性教育を徹底的にやり直す必要がないか。徳川時代、武士階級の女性教育が熱心に行われ、立派な成果を取めたといわれる。日本のロータリーが女子教育について、世界のお手本になってもよいのではあるまいか。

以上、いわずもがなのことを取り留めもなく書いたが、自ら省みて地区の輝かしい発展

の歴史に一頁はおろか一行も加えるものがなく、いまさらながらお恥かしい限りである。

ポルリス 語録

知 識

人類全体の知識の向上に貢献する人には、単に一国を利するにとどまらない。そのような人は全世界の恩人である。他人の思想や意見を学ぶことは、健康の維持に食物が必要であるように精神の健康に必要なことである。

無 知

無知は平和を脅かす。他のすべてが等しい場合、知性の一般的水準が高いほど、おせっかい、批判、横柄といった傾向が少なくなる。個人も国家も知識を持つことは自己および世界に対する義務である。



75周年と今後における躍進 の方途

RI 第 279 地区パスト・ガバナー
(1978年～79年)

鈴木 憲 輔
(八千代 RC)

ロータリーは、今日まで大きな発展を遂げてまいりました。特に、ここ数年間におけるロータリー財団、青少年奉仕、3H計画等の展開は、まことに目覚ましいものがあり、これらは今回の75周年を特長づける最も大きな変化といえるでしょう。このような変化は明らかにロータリーが世界の現実に即応して発展してきた結果だと思えます。もともとロータリー財団は、国際奉仕の一部として興り、青少年奉仕は、社会奉仕の中から未来社会建設における要請として発展してきたものです。また、3H計画は、世界協同体に対するロータリアンの深奥の志向から生まれ来ったものといえるでしょう。そして、これらは単に四大奉仕の実践というような抽象的な目標の追求に止まるものでなく、明確な限定された目標のもとに、その行動に徹するところに特色があるのです。要は、その目的の実現であって行動主体などには余りとらわれず、クラブ、地区、RIなどが、それぞれの立場において最大限に協力し合い、その達成を図るのです。以上のような今日のロータリーの特色は、今後の躍進における方途を示唆するものだと思います。

私は、最近、国際ロータリー第260地区において、豊橋市の3クラブが中心となって推進しつつある「530（ゴミゼロ）運動、について見聞する機会を得ました。「自分のゴミは、自分で持ち帰りましょう」を合言葉とする同運動は、200有余の官民団体の加盟のもとに素晴らしい成果を挙げております。そして今や地区内のクラブはもとより地区外にも拡がりつつあります。この運動において注目すべき点は、先進過密社会における時代的な要請に合致する新しい形態であることと、手続要覧の決議23-34の主旨が見事生かされていることです。私は、この種の運動が今後ますます興り、ロータリーの新時代の到来を強く待望いたします。



今、ロータリーにとって必要なものは…

(地区史発行に当たって)

RI 第 279 地区パスト・ガバナー
(1979年～80年)

齋藤 任
(館山 RC)

国際ロータリー会長ジェームス・L・ボーマンJr氏のもとに、私たちはロータリー創立775周年という輝かしい年度を迎えております。その意義については、1979年6月11日に開催されたローマ国際大会でのボーマンRI会長の浪説が最も適切に表わしているものと思いますので、その要旨と印象を記すことに致します。

私たちは先輩のロータリアンから奉仕の灯を受け継いだのですが、私たちの務めは、その先輩たちが築いた奉仕の土台を更に堅固にすることです。

ロータリーが過去75年間に蓄積した財産は色々ありますが、例えばロータリー財団、世界社会奉仕、青少年奉仕運動、また保健、飢餓追放、人間性尊重の業積を回顧しますと、私たちは人間対人間のつながりを尊重したプログラムに大きな誇りを持つことが出来ます。

しかし将来はどうでしょうか？ 国際間の理解を増進させ、平和な世界を築こうとする目標は余りにも遠すぎるようにさえ見えるわけです。もしそうだとすれば、将来に向かっては、いったい私たちに何が必要か、当然疑問が湧いてきます。そこで、ボーマン RI会長の強調されることはこうです。

『今、ロータリーに必要なのは、その活動力と判断力、さらに視度である。特に重要なのは視度であって、それが欠けていると、ロータリーの目的を前進するに当たって最も重大な障害となるであろう。それ故に私は75周年記念度の私のテーマとして、奉仕の灯で道を照らそう…を選んだ』

… Let Service Light the way …

このテーマには「鍵」となる三つの言葉が含まれております。オ1は奉仕という言葉です。これは超私の奉仕という感覚の、私たちの当然の務めであります。オ2は灯です。言葉を代えていえば、知識、行く先の明るいこと、エネルギー、そして視度といって良いで

しょう。灯には太陽の恵みもあるし、科学的な光もありますし、また私たちの内部に輝く灯もありますし。この場合、とくに私たちの心の中に輝くものこそ最も重要でありましょう。オ三の言葉は道であり、それは私たちの進むべき道ということでもあります。色々な道があります。

1937年にポール・ハリスが「この世は変遷する。ロータリーは変遷する世と共に変わって行かなければならない。ロータリーの物語は幾度も幾度も書き換えられなければならないだろう」と喝破しておりますが、そのためには奉仕の灯で行き先を照らし出さなければ失敗いたします。

ボーマーRI会長は、奉仕の灯をロータリーの世界の内部に、更にはロータリーの外に広がる偉大な世界に照らしてみよう。その結果、私たちの定款規定が来るべき21世紀に堪え得るものであるかどうかも確かめる必要があろう。そして、21世紀を、また、ロータリー100周年を活溢れて迎え得るようにロータリーを開放しなければならないと断言しております。

更にバーナード・ショウの劇「人と超人」的一幕を引き合いに出しました。「理性のある人は自身を世の中に順応させる。けれど理不尽な人は、世の中を自分自身に順応させようとして押し通す。故にあらゆる進歩は、すべて理不尽な人間に依存する」… このショウの見方からすれば、私たちロータリアンは、現状を容認しないで少しでも全人類の為に、より良い世界を築こうと努力する、いわば理不尽な人間ということになります。それでいいではないかというわけであります。

こうして照らし出された私たちの道は、地域社会に対する各クラブの自主性を重んずると同時に、地域社会に対して視度を広めて国際性を強調するという結論とされました。ここでポール・ハリスの初期の言葉…

春浅き日、人がこれからどうなるかもわからない
苗木を植える時は、それがいつの日か、大きな木に
成長すると確信が持てるであろうか？
その人は、雨や太陽を、そして神の微笑を
勘定に入れるべきではなかったか？
ひとたび、最初の芽が出たら、彼は大樹と日蔭の夢を
見始めることが出来る

が思い出されます。

この地区史によって、私たちは75周年の夢と、更に将来への夢を見ることが出来るでしょう。そして私たちの忠実な友 — その名前は、Who（誰）、When（時）、Where（所）、Why（故）、What（何）、how（いかに）の6人（キップリング） — がすべて私たちの心を満たしてくれるであります。

編集に当たられた委員の方々には感謝を言い表わす言葉も知りません。有難うございました。

ポルハリス 語録

ロータリーの力

ロータリーは、世界60カ国において市民の生活の一部になった。もはや嵐が吹き荒れても倒れはしない。なぜだろうか、どうしてだろうか。ロータリーは恐怖とか、競争あるいは猜疑心に根ざしたものではなく、友情と寛容、そして有用性という永遠で、壊すことのできない礎石の上に築かれているからである。

ロータリーについての最後の言葉

1905年当時には、ロータリーが現在のような全世界的運動になろうとは予見しなかった。あまり大きくなりそうにない苗木を植えるとき、いつの日か、それが巨木な樹になるだろうなどと確信できるだろうか—若芽が初めて生え出るのを見るとき、その時こそ人は大いなる木陰の夢を見はじめることができるのだ。

資 料 篇

数字で見た世界と日本のロータリー

A D	昭 和	世 界		日 本		地 区 状 況 の 推 移		
		ク ラ ブ 数	会 員 数	ク ラ ブ 数	会 員 数	地 区	地 区 内 ク ラ ブ 数	地 区 内 会 員 数
1949 ~ 1950	(24 ~ 25)	6,834	329,342	31	1,226	第 60 地 区	31	1,226
1950 ~ 1951	(25 ~ 26)	7,113	341,716	64	2,394	〃	64	2,394
1951 ~ 1952	(26 ~ 27)	7,357	349,867	75	2,947	〃	75	2,947
1952 ~ 1953	(27 ~ 28)	7,574	361,641	106	4,149	第 60 地 区	56	2,251
1953 ~ 1954	(28 ~ 29)	7,841	374,855	140	5,268	〃	70	2,765
1954 ~ 1955	(29 ~ 30)	8,313	392,628	157	6,337	〃	82	3,360
1955 ~ 1956	(30 ~ 31)	8,780	418,933	188	7,559	〃	59	2,471
1956 ~ 1957	(31 ~ 32)	9,140	433,798	230	9,107	〃	77	3,652
1957 ~ 1958	(32 ~ 33)	9,507	499,758	257	10,379	第 355 地 区	56	2,280
1958 ~ 1959	(33 ~ 34)	9,878	464,245	308	12,591	〃	65	2,644
1959 ~ 1960	(34 ~ 35)	10,266	480,569	376	15,406	〃	91	3,588
1960 ~ 1961	(35 ~ 36)	10,701	498,616	445	18,619	第 355 地 区	108	4,289
1961 ~ 1962	(36 ~ 37)	11,021	513,059	509	21,724	第 358 地 区	77	3,586
1962 ~ 1963	(37 ~ 38)	11,309	528,569	558	24,968	〃	92	4,214
1963 ~ 1964	(38 ~ 39)	11,550	542,432	606	27,947	〃	105	5,098
1964 ~ 1965	(39 ~ 40)	11,804	554,500	682	31,865	〃	81	4,222
1965 ~ 1966	(40 ~ 41)	12,114	581,434	739	35,006	第 358 地 区	94	4,793
1966 ~ 1967	(41 ~ 42)	12,460	599,950	798	38,379	〃	111	5,597
1967 ~ 1968	(42 ~ 43)	12,906	620,827	868	41,527	第 357 地 区	70	3,044
1968 ~ 1969	(43 ~ 44)	13,324	639,140	931	44,851	〃	74	3,300
1969 ~ 1970	(44 ~ 45)	13,853	660,259	1,015	49,403	〃	75	3,439
1970 ~ 1971	(45 ~ 46)	14,364	682,183	1,068	52,940	〃	79	3,704
1971 ~ 1972	(46 ~ 47)	14,890	706,372	1,122	56,241	〃	88	4,069
1972 ~ 1973	(47 ~ 48)	15,375	725,271	1,174	60,339	〃	94	4,583
1973 ~ 1974	(48 ~ 49)	15,748	742,493	1,222	64,428	第 349 地 区	47	2,403
1974 ~ 1975	(49 ~ 50)	16,087	761,074	1,276	67,961	〃	47	2,544
1975 ~ 1976	(50 ~ 51)	16,520	779,373	1,333	71,851	〃	53	2,742
1976 ~ 1977	(51 ~ 52)	16,917	796,806	1,373	74,403	〃	55	2,829
1977 ~ 1978	(52 ~ 53)	17,364	813,704	1,412	77,043	第 279 地 区	56	2,920
1978 ~ 1979	(53 ~ 54)	18,246	851,500	1,451	79,762	〃	56	2,948
1979 ~ 1980	(54 ~ 55)	18,409	853,000	1,469	81,163	〃	57	2,992
1980 ~ 1981	(55 ~ 56)		(1979.12.31 現在)					
1981 ~ 1982	(56 ~ 57)							

国際ロータリーの歩み

1868	ポール・P・ハリス (Paul・P・Harns) が米国・ウイソコンシン州レーシンに生まれる (4月19日)。				
1905 (2月23日)	石炭商のシルベスター・シール (Silvester・Schiele) と鉱山技師のガスターバス・ローア (Gustavus・Loehr) と仕立屋のハイラム・ショレー (Hiram・Shorey) の3人、それにポール・ハリスが加わり、ローアの事務所で会合を開き、職業の異なった実業人でクラブを作った。結成当初、クラブの名称は「ブースター」(Booster) と名付けられたが、まもなく「ロータリー」(Rotary) と改められた。				
1908	2番目のロータリー・クラブが米国のカリフォルニア州サンフランシスコに結成された。				
	米国の各地、オークランド、シアトル、ロスアンゼルス、ニューヨークと順次、ロータリー・クラブが結成された。				
1910	ロータリー拡大の波紋は国境を越え、カナダにもウイニベグ RC が出来て国際的となるに至った				
年次	歴代 RI 会長	国際大会開催地	参加者 総数	日本会員 出席者	開催期間
1910 } 1911	ポール・P・ハリス } Paul P Harns (アメリカ)	シカゴ (米国・イリノイ州)	名 60	名	1910年(明43) 8.15 } 8.17
1911 } 1912	ポール・P・ハリス } Paul P Harns (アメリカ)	ポートランド (米国・オレゴン州)	149		1911年(明44) 8.21 } 8.23
1912 } 1913	グレン・C・ミード } Glenn C Mead (アメリカ)	デュールス (米国・ミネソタ州)	598		1912年(大元) 8.6 } 8.9
1913 } 1914	ラッセル・F・グレイナー } Russell F Greiner (アメリカ)	バッファロー (米国・ニューヨーク州)	930		1913年(大2) 8.18 } 8.21
1914 } 1915	フランク・L・マルホランド } Frank L Mulholland (アメリカ)	ヒューストン (米国・テキサス州)	1,288		1914年(大3) 6.22 } 6.26
1915 } 1916	アレン・D・アルバート } Allen D Albert (アメリカ)	サンフランシスコ (米国・カリフォルニア州)	1,988		1915年(大4) 7.18 } 7.28
1916 } 1917	アーチ・C・クラムク } Arch C Klumph (アメリカ)	シンシナチ (米国・オハイオ州)	3,591		1916年(大5) 7.16 } 7.20

年次	歴代 R I 会長	国際大会開催地	参加者 総数	日本会員 出席者	開催期間
1917 } 1918	E・レズリー・ビジョン E Leslie PIdgeon (カナダ)	アトランタ (米国・ジョージア州)	2,588		1917年(大6) 6.17 } 6.21
1918 } 1919	ジョン・プール John Poole (アメリカ)	カンサスシティー (米国・ミズリー州)	4,145		1918年(大7) 6.24 } 6.28
1919 } 1920	アルバート・S・アダムス Albert S Adams (アメリカ)	ソールトレークシティー (米国・ユタ州)	3,038		1919年(大8) 6.16 } 6.20
1920 } 1921	エステス・スネデコーア Estes Snedecor (アメリカ)	アトランティックシティー (米国・ニュージャージー州)	7,213		1920年(大9) 6.21 } 6.25
1921 } 1922	クロフォード・D・マックロー Crawford D McCullough (カナダ)	エジンバラ (スコットランド)	2,523		1921年(大10) 6.13 } 6.16
1922 } 1923	レーモンド・M・ヘブンス Raymond M Havers (アメリカ)	ロスアンゼルス (米国・カリフォルニア州)	6,096		1922年(大11) 6.5 } 6.9
1923 } 1924	ガイ・ガンデーカー Guy Gundaker (アメリカ)	セントルイス (米国・ミズリー州)	6,779		1923年(大12) 6.18 } 6.22
1924 } 1925	エベレット・W・ヒル Everett W Hill (アメリカ)	トロント (カナダ・オンタリオ州)	9,173	2	1924年(大13) 6.16 } 6.20
1925 } 1926	ドナルド・A・アダムス Donald A Adams (アメリカ)	クリーブランド (米国・オハイオ州)	10,216	1	1925年(大14) 6.15 } 6.19
1926 } 1927	ハリー・H・ロジャーズ Harry H Rogers (アメリカ)	デンバー (米国・コロラド州)	8,888	2	1926年(大15) 6.14 } 6.18
1927 } 1928	アーサー・H・サップ Arthur H Sapp (アメリカ)	オステンド (ベルギー)	6,412	2	1927年(昭2) 6.5 } 6.10

年次	歴代 R I 会長	国際大会開催地	参加者 総数	日本会員 出席者	開催期間
1928 } 1929	I・B・トム・サットン I B Tom Sutton (メキシコ)	ミネアポリス (米国・ミネソタ州)	9,428	3	1928年(昭3) 6.18 } 6.22
1929 } 1930	M・ユージン・ニューサム M Eugene Newsom (アメリカ)	ダラス (米国・テキサス州)	9,508	3	1929年(昭4) 5.27 } 5.31
1930 } 1931	アルモン・E・ロス Almon E Roth (アメリカ)	シカゴ (米国・イリノイ州)	11,008	2	1930年(昭5) 6.23 } 6.27
1931 } 1932	シドニ・W・パスカル Sydney W Pascal (イギリス)	ウィーン (オーストリア)	4,296	3	1931年(昭6) 6.22 } 6.26
1932 } 1933	クリントン・P・アンダーソン Clinton P Anderson (アメリカ)	シアトル (米国・ワシントン州)	5,182	3	1932年(昭7) 6.20 } 6.24
1933 } 1934	ジョン・ネルソン John Nelson (カナダ)	ボストン (米国・マサチューセッツ州)	8,430	5	1933年(昭8) 6.24 } 6.30
1934 } 1935	ロバート・E・リー・ヒル Robert E Lee Hill (アメリカ)	デトロイト (米国・ミシガン州)	7,377	3	1934年(昭9) 6.25 } 6.29
1935 } 1936	Ed・R・ジョンソン Ed R Johnson (アメリカ)	メキシコシティー (メキシコ)	5,330	1	1935年(昭10) 6.17 } 6.21
1936 } 1937	ウイル・R・マニエー Jr Will R Manier Jr (アメリカ)	アトランティックシティー (米国・ニュージャージー州)	9,907	4	1936年(昭11) 6.22 } 6.26
1937 } 1938	モーリス・ジュペレー Maurice Duperrey (フランス)	ニース (フランス)	5,790	12	1937年(昭12) 6.6 } 6.11
1938 } 1939	ジョージ・C・ヘイガー George C Hager (アメリカ)	サンフランシスコ (米国・カリフォルニア州)	10,432	6	1938年(昭13) 6.19 } 6.24

年次	歴代 R I 会長	国際大会開催地	参加者 総数	日本会員 出席者	開催期間
1939 } 1940	ウォルター・D・ヘッド Walter D Head (アメリカ)	クリーブランド (米国・オハイオ州)	9,241	3	1939年(昭14) 6.19 } 6.23
1940 } 1941	アーマンド・ド・アルダール・ペレーラ Armando de Arruda Pereira (ブラジル)	ハバナ (キューバ)	3,713	2	1940年(昭15) 6.9 } 6.14
1941 } 1942	トム・J・デービス Tom J Davis (アメリカ)	デンバー (米国・コロラド州)	8,942		1941年(昭16) 6.15 } 6.20
1942 } 1943	フェルナンド・カルバジャール Fernando Carbajal (ペルー)	トロント (カナダ・オンタリオ州)	6,599		1942年(昭17) 6.21 } 6.25
1943 } 1944	チャールス・L・ホイラー Charles L Wheeler (アメリカ)	セントルイス (米国・ミズリー州)	3,851		1943年(昭18) 6.17 } 6.18
1944 } 1945	リチャード・H・ウエルズ Richard H Wells (アメリカ)	シカゴ (米国・イリノイ州)	403		1944年(昭19) 5.18 } 5.22
1945 } 1946	T・A・ワレン T A Warren (アメリカ)	シカゴ (米国・イリノイ州)	141		1945年(昭20) 6.12 } 6.19
1946 } 1947	リチャード・C・ヘドケ Richard C Hedke (アメリカ)	アトランティックシティ (米国・ニュージャージー州)	10,958		1946年(昭21) 6.2 } 6.6
1947 } 1948	S・ケンドリック・ガンジー S Kendrick Guernsey (アメリカ)	サンフランシスコ (米国・カリフォルニア州)	14,678		1947年(昭22) 6.8 } 6.12
1948 } 1949	アンガス・S・ミッチェル Angus S Mitchell (オーストラリア)	リオデジャネイロ (ブラジル)	7,511		1948年(昭23) 5.16 } 5.20
1949 } 1950	パーシー・ホジソン Percy Hodgson (アメリカ)	ニューヨーク (米国・ニューヨーク州)	15,961	1	1949年(昭24) 6.12 } 6.16

年次	歴代 R I 会長	国際大会開催地	参加者 総数	日本会員 出席者	開催期間
1950 } 1951	アーサー・レグー Arthur Lagueux (カナダ)	デトロイト (米国・ミシガン州)	6,949	10	1950年(昭25) 6.18 } 6.22
1951 } 1952	フランク・E・スペイン Frank E Spain (アメリカ)	アトランティックシティ (米国・ニュージャージー州)	8,543	5	1951年(昭26) 5.27 } 5.31
1952 } 1953	H・J・ブルニエー H・J・Brunnier (アメリカ)	メキシコシティ (メキシコ)	6,804	2	1952年(昭27) 5.25 } 5.29



ロータリーの民主主義

民主主義的な精神こそロータリーの生命である。絶対に単なる金持ちクラブであってはならない。民主主義的な組織を常に純粹に保持しつづけるなら、われわれは実業の倫理水準の高さにおいて、これまで夢想だにしなかった高みに到達することができよう。

寛容

われわれの、このロータリーに単なる暇つぶし以上のものたるべき使命があるとすれば、それは皆さんと私がお互いの欠点を我慢し合うことの大切さ、寛容という価値を学び識ったからである。

平和

ロータリーの確固たる友情と寛容と有用性の基盤に立つならば、世界の平和は達成され恒久的なものとなると断言するのを躊躇しない。

年次	歴代 R I 会長	ターゲット・テーマ	国際大会開催地	参加者 総数	日本会員 出席者	開催期間
1953 ＼ 1954	ホアキン・セラトサ・シビルス Joaquin Serratosa Cibils (ウルグアイ)	クラブが増えれば、友人が増す。友人が増えれば、奉仕の機会を増す。	パリ (フランス)	10,107	8	1953年(昭28) 5.24 ＼ 5.28
1954 ＼ 1955	ハーバート・J・テーラー Herbert J Taylor (アメリカ)	六つの目標 ① 過去の研究を将来に生かせ。 ② ロータリーを他に分け与えよ。 ③ 4つのテストで身を固めよ。 ④ ロータリアンが青少年の模範に。 ⑤ 国際間の理解と親善に前進せよ。 ⑥ よきロータリアンは、よき市民である。	シアトル (米国・ワシントン州)	8,015	2	1954年(昭29) 6.6 ＼ 6.10
1955 ＼ 1956	A・Z・ベーカー A Z Baker (アメリカ)	われらの資源を開発しよう。 ① ロータリアンをふやし育てることによって。 ② 職場にロータリアンを活かすことによって。 ③ 社会にロータリアンを実践することによって。 ④ 国際的な理解を深めることによって。 ⑤ 将来にそなえ、青少年を導くことによって。	シカゴ (米国・イリノイ州)	14,312		1955年(昭30) 5.28 ＼ 6.2
1956 ＼ 1957	ジャン・パオロ・ラング Glan Paolo Lang (イタリア)	① ロータリーは簡潔に。 ② ロータリーは、もっとロータリアンを。 ③ おたがいに、もっと知り合おう。	フィラデルフィア (米国・ペンシルバニア州)	10,003		1956年(昭31) 6.3 ＼ 6.7
1957 ＼ 1958	チャーレス・G・テンネント Charles G Tennent (アメリカ)	動員・拡張・探究・奉仕。	ルサーン (スイス)	9,702		1957年(昭32) 5.19 ＼ 5.23
1958 ＼ 1959	クリフォード・A・ランダル Clifford A Randall (アメリカ)	① 現在に直面する大胆であれ。 ② ロータリーの綱領を分けあえ。 ③ 平和に、貴下の個人的進路を見出せ。 ④ われらの世襲財産を強化せよ。	ダラス (米国・テキサス州)	14,035		1958年(昭33) 6.1 ＼ 6.5
1959 ＼ 1960	ハロルド・T・トーマス Harold T Thomas (ニュージーランド)	① 生気を与えよ。 ② 身につけよ。 ③ 友愛の橋をかけよ。	ニューヨーク (米国・ニューヨーク州)	15,475		1959年(昭34) 6.7 ＼ 6.11
1960 ＼ 1961	J・エド・マックロウリン J Edd Mclaughlin (アメリカ)	① あなたはロータリアンです。—それを表現して下さい。 ② あなたはロータリアンです。—それを膨張させましょう。	マイアミ・ビーチ (米国・フロリダ州)	11,354	89	1960年(昭35) 5.29 ＼ 6.2

年次	歴代 R I 会長	ターゲット・テーマ	国際大会開催地	参加者 総数	日本会員 出席者	開催期間
1961 ＼ 1962	ジョセフ・A・エービー Joseph A Abey (アメリカ)	① 行動に努めよ。 ② 理解に途を求めよ。 ③ 指導力を高めよ。	東 京 (日 本)	20,366		1961年(昭36) 5.28 ＼ 6.1
1962 ＼ 1963	ニティッシュ・C・ラハリー Nitjsh C Laharry (インド)	① 内部に火を燃やせ。 ② 自身を発見せよ。 ③ 力を伸ばせ。 ④ 目的を表示せよ。	ロスアンゼルス (米国・カリフォルニア州)	22,302		1962年(昭37) 6.3 ＼ 6.7
1963 ＼ 1964	カール・P・ミラー Carl P Miller (アメリカ)	① 個人対個人 ② クラブ対クラブ ③ 地区対地区	セントルイス (米国・ミズリー州)	10,779		1963年(昭38) 6.9 ＼ 6.13
1964 ＼ 1965	チャールズ・W・ペッテンギル Charles W Pettengill (アメリカ)	ロータリーに生きよう ……ロータリーを分かち合うことにより ……あらゆる職業関係において ……貴地域社会の指導的任務を通じて ……世界的友好を通じて	トロント (カナダ)	14,661	120	1964年(昭39) 6.7 ＼ 6.11
1965 ＼ 1966	C・P・H・ティーンストラ C P H Teenstra (オランダ)	行動・強化・継続性	アトランティックシティ (米国・ニュージャージー州)	9,368		1965年(昭40) 5.30 ＼ 6.3
1966 ＼ 1967	リチャード・L・エバンス Richard L Evans (アメリカ)	ロータリーでよりよい世界を… ① 新会目をふやすことによつて、ロータリーを分かちあうこと。 ② 新クラブを結成することによつて、ロータリーを分かち合うこと。 ③ ロータリーの友好を享受すること。 ④ 貴地域社会が要求していることを見出し、奉仕すること。 ⑤ 青少年へ奉仕すること。 ⑥ 貴下の事業ないし専門職業を、よりよくすること。 ⑦ 効果的広報を推進すること。 ⑧ ロータリーの国際性を強調すること。 ⑨ 世界奉仕に参加すること。 ⑩ ロータリー財団を支援すること。	デンバー (米国・コロラド州)	12,929		1966年(昭41) 6.12 ＼ 6.16
1967 ＼ 1968	ルーサー・H・ホッジス Luther H Hodges (アメリカ)	ロータリアンとしてのあなたの資格を効果的に…… ① ロータリーの活動に進んで自らを参加せしめること。 ② あなたの職業に成功を収めることにより指導力を発揮すること。 ③ あなたの地域社会や国家に対し忠誠を捧げ、あらゆる機会に奉仕すること。 ④ 他国の人々の問題に、よく通じ、これが理解を深めること。	ニース (フランス)	19,362	304	1967年(昭42) 5.21 ＼ 5.25

年次	歴代 R I 会長	ターゲット・テーマ	国際大会開催地	参加者 総数	日本会員 出席者	開催期間
1968 ＼ 1969	東ヶ崎 潔 Kiyoshi Togasaki (日本)	参加し敢行しよう ① 参加し敢行すること… 貴クラブにおいて ② 参加し敢行すること… 地域社会づくりに ③ 参加し敢行すること… 職業を通じて ④ 参加し敢行すること… 国際的接触を通じて	メキシコシティー (メキシコ)	11,840		1968年(昭43) 5.12 ＼ 5.16
1969 ＼ 1970	ジェームス・F・コンウェイ James F Conway (アメリカ)	再検討し、刷新しよう	ホノルル (米国・ハワイ州)	14,684	3,801	1969年(昭44) 5.25 ＼ 5.29
1970 ＼ 1971	ウィリアム・E・ウォーク Jr William E Walk Jr (アメリカ)	隔りを除こう ・人と人との間を… ・諸国の… ・人とその生活環境の…	アトランタ (米国・ジョージア州)	10,803		1970年(昭45) 5.31 ＼ 6.4
1971 ＼ 1972	エルンスト・G・ブライトホルツ Ernst G Breitholtz (スウェーデン)	善意は、先ずあなたから	シドニー (オーストラリア)	17,220		1971年(昭46) 5.16 ＼ 5.20
1972 ＼ 1973	ロイ・D・ヒックマン Roy D Hickman (アメリカ)	もう一度見直そう	ヒューストン (米国・テキサス州)	13,287		1972年(昭47) 6.11 ＼ 6.15
1973 ＼ 1974	ウィリアム・C・カーター William C Carter (イギリス)	今こそ行動のとき!	ローザンヌ (スイス)	17,187		1973年(昭48) 5.13 ＼ 5.17
1974 ＼ 1975	ウィリアム・R・ロビンズ William R Robbins (アメリカ)	ロータリーの精神を 振り起こせ	ミネアポリス・セントポール (米国・ミネソタ州)	10,015	484	1974年(昭49) 6.9 ＼ 6.13
1975 ＼ 1976	エルネスト・インバッサイ・デ・メロ Ernesto Imbassahy de Mello (ブラジル)	人間に威信を!	モントリオール (カナダ・ケベック州)	12,975	1,848	1975年(昭50) 6.8 ＼ 6.12
1976 ＼ 1977	ロバート・A・マンチェスター, II Robert A Manchester, II (アメリカ)	奉仕 ロータリーを私は信奉する	ニューオーリンズ (米国・ルイジアナ州)	13,935		1976年(昭51) 6.13 ＼ 6.17
1977 ＼ 1978	W・ジャック・デービス W Jack Davis (バミューダ)	全人類を 結びつける為に奉仕せよ	サンフランシスコ (米国・カリフォルニア州)	14,168	2,070	1977年(昭52) 6.5 ＼ 6.9
1978 ＼ 1979	クレム・レスフ Clem Renouf (オーストラリア)	手をさし伸べよう…	東京 (日本)	40,155	29,978	1978年(昭53) 5.14 ＼ 5.16
1979 ＼ 1980	ジェームス・L・ボーマー, Jr James L Bomar, Jr (アメリカ)	奉仕の灯りで道を照らそう	ローマ (イタリア)	14,429	2,152	1979年(昭54) 6.10 ＼ 6.14

年度別地区大会一覧

全国区分	年度	開催月日	地区ナンバー	区域	ホストR C	地区大会々場	参加クラブ数	参加者数	地区ガバナー	RI 会長代理
1	1950	昭26年 4月8～9日	第60地区	全 国	京 都	・同志社栄光館 ・醍醐三宝殿	30	679	手 島 知 健	A・S・Mitchell
	1951	昭27年 4月7～8日	第60地区	全 国	東 京	・上野精養軒 ・日本工業クラブ	54	1,477	手 島 知 健	手島 知健
	1952	昭28年 4月25～26日	第60地区	全 国	大 阪	・大阪中央公会 堂 ・宝 塚	74	1,529	星 野 行 則	G・E・Marden
2	1952	昭27 11月8～9日	第60地区	日本東部	名 古 屋	名古屋会堂	61	829	小 林 雅 一	H・T・Thomas
	1953	昭28 9月30 ～10月1日	第60地区	日本東部	札 幌	中央創成小学校	57	1,006	宮 脇 富	O・D・A・Oberg
	1954	昭29 10月16～17日	第60地区 第61地区 } 合同	日本東部	京 都	京都市勤業館	147	3,106	柳 瀬 省 吾 小 菅 金 造	A・S・Mitchell
4	1955	昭30 10月10～11日	第60地区	日本東部	東 京	帝国ホテル	65	418	小 松 隆	F・E・Spain
	1956	昭31 10月6～7日	第60地区	日本東部	仙 台	仙台公会堂	82	738	伊 藤 文 吉	H・J・Taylor
5	1957	昭32 9月28～29日	第350地区 第355地区 第360地区 } 合同	関 東・ 新 潟	東 京	東京都体育館	179	2,276	佐 藤 幸 三 東 崎 盛 田 秀 平	G・R・Means
	1958	昭33 10月27～28日	第355地区	関 東・ 新 潟	前 橋	前橋商工会議所	71	656	佐 久 間 長 吉 郎	H・B・Knapp
6	1959	昭34 10月29～30日	第355地区	関 東・ 新 潟	川 崎	川崎市民会館	76	970	柏 原 孫 左 衛 門	S・K・Guernsey
7	1960	昭35 9月28～29日	第350地区 第352地区 第355地区 第360地区 } 合同	関 東・ 新 潟	東 京	・東京都体育館 ・東京宝塚劇場	261	3,616	坂 牛 直 太 郎 佐 佐 木 孝 三 郎 田 山 岸 勇 次 郎	A・W・Dakin
8	1961	昭36 10月2～3日	第358地区	東 京・ 近 畿	甲 府	山梨県民会館	62	713	中 村 米 吉	A・Thevathasan
	1962	昭37 9月28～29日	第358地区	東 京・ 近 畿	千 葉	千葉県体育館	86	1,296	湯 浅 恭 三	C・W・Woodward
	1963	昭38 9月27～28日	第358地区	東 京・ 近 畿	浦 和	埼玉県立大宮体育館	107	2,077	永 沼 政 久	S・K・Guernsey
10	1964	昭39 11月10～11日	第358地区	東 京・ 近 畿	東 京	ホテル・ニュー オータニ	162	3,000	神 守 源 一 郎	北沢 敬二郎
11	1965	昭40 10月12～13日	第350地区 第352地区 第355地区 第358地区 第359地区 } 合同	東 京・ 埼 玉・ 千 葉	東 京	国立代々木競技場	402	8,283	嵯 峨 晏 保 佐 野 野 徹 安 齊 井 恒 広 竹 田 正 太 郎 恒 助 徳 郎	C・W・Pettengill
	1966	昭41 11月17～18日	第358地区	東 京・ 埼 玉・ 千 葉	東 京 西	ホテル・オークラ	160	2,674	松 方 三 郎	松本 兼二郎
13	1967	昭42 10月14～15日	第357地区	埼 玉・ 千 葉	館 山	千葉県立館山高校体育館	91	1,774	川 名 正 義	C・H・Miller
14	1968	昭43 10月19～20日	第357地区	埼 玉・ 千 葉	川 越	川越市民館・体育館	78	1,984	広 沢 輝 雄	空地 純一
	1969	昭44 10月9～10日	第357地区	埼 玉・ 千 葉	新 千 葉	千葉県文化会館	82	2,285	森 田 勝 彦	W・H・Godbey
17	1970	昭45 10月4～5日	第357地区	埼 玉・ 千 葉	熊 谷	立正大学・体育館	80	2,587	河 野 秀 夫	O・R・Sadick

全国区分	年 度	開催月日	地区ナンバー	区域	ホ ス ト R C	地区大会々場	参加クラブ数	参加者数	地区ガバナー	RI 会長代理
18	1971	昭・46 昭和 47 年 3月25～26日	第 357 地区 } 合同 第 358 地区 }	埼 玉・ 千 葉	東京日本橋	・東京都日本武道館 ・帝國ホテル	262	4,833	青 山 幸 高	G・R・Means
	1972	昭・47 昭和 48 年 3月11～12日	第 357 地区	埼 玉・ 千 葉	浦 和	浦和市埼玉会館	101	2,492	半 田 利 一	A・G・Breitholtz
20	1973	昭・48 昭和 49 年 3月9～10日	第 349 地区	千 葉	木更津・上 総・君 津・ 木更津 東	木更津市市民会館	85	1,732	藤 代 善次郎	W・E・Walk, Jr
21	1974	昭・49 昭和 50 年 5月10～12日	第 349 地区	千 葉	佐原・横芝・ 多古・小見川	・佐原信用金庫 ・千葉県立佐原女子高校		1,522	野 口 長太郎	F・C・Belgado
	1975	昭・50 昭和 51 年 3月6～7日	第 349 地区	千 葉	柏・我孫子・ 野田・流山	東京品川ホテル パシフィック		2,122	岡 野 正 雄	平島 健次郎
	1976	昭・51 昭和 52 年 4月1～2日	第 349 地区	千 葉	船 橋・ 習 志 野・ 八 千 代・ 西 船 橋・ 鎌 ケ 谷	千葉県文化会館		1,800	赤 木 諫 夫	原田 秀雄
22	1977	昭・52 昭和 53 年 4月1～2日	第 279 地区	千 葉	千 葉	千葉県文化会館		1,774	岩 城 長 保	竹田 恒徳
23	1978	昭・53 昭和 54 年 5月2～3日	第 279 地区	千 葉	八 千 代・ 習 志 野・ 佐 倉	習志野文化ホール	66	2,915	鈴 木 憲 輔	神野 太郎
	1979	昭・54 昭和 55 年 3月8～9日	第 279 地区	千 葉	館 山	館山市民センター			齋 藤 任	M・A・T・Caparas

ポルタリス 語 録

戦 争

戦争はどんな場合でも恐るべき大失敗である。勝者でさえも負けである。

ロータリアニズム

ロータリアンになると物の見方が変わる人が非常に多くなる。国内や海外での奉仕の機会を見つけることを学ぶからであろう。――。

地区協議会開催

開催年月日		地区 ナンバー	区 域	ホスTRC	地区協議会々場	地区ガバナー	ガバナー 所属クラブ
1950	昭・25 7月21～22日	第60地区	全 国	東 京	日本工業クラブ	手 島 知 健	東 京 R C
1951	昭・26 7月28～29日	第60地区	全 国	京 都	ホテル・洛陽	星 野 行 則	大 阪 R C
1952	昭・27 6月27～28日	第60地区	日 本 東 部	東 京	帝国ホテル	小 林 雅 一	東 京 R C
1953	昭・28 5月1～2日	第60地区	日 本 東 部	仙 台	プラザ一軒	小 林 雅 一	東 京 R C
1954	昭・29 4月16～17日	第60地区	日 本 東 部	横 浜	ニューグランドホテル	宮 脇 富	札 幌 R C
1955	昭・30 4月9～10日	第60地区	日 本 東 部	東 京 南	日本工業クラブ	柳 瀬 省 吾	横 浜 R C
1956	昭・31 4月14～15日	第60地区	日 本 東 部	東 京 南	八重洲口観光ホテル	小 松 隆	東 京 R C
1957	昭・32 4月13～14日	第60地区	日 本 東 部	宇 都 宮	日光・金谷ホテル	伊 藤 文 吉	新 潟 R C
1958	昭・33 4月19～20日	第355地区	関 東・新 潟	小 田 原	箱根・富士屋ホテル	東ヶ崎 潔	東 京 R C
1959	昭・34 4月17～18日	第355地区	関 東・新 潟	甲 府	山梨県民会館	佐久間 長吉郎	東 京 南 R C
1960	昭・35 4月23～24日	第355地区	関 東・新 潟	東 京 銀 座	上野・精養軒	柏 原 孫左衛門	東 京 R C
1961	昭・36 3月24～25日	第355地区	関 東 東 部 新 潟・沖 縄	東 京 羽 田	上野・精養軒	田 誠	東 京 R C
1962	昭・37 4月25～26日	第358地区	東 京 都・近 畿 沖 縄	横 浜	グランドホテル	中 村 米 吉	東 京 北 R C
1963	昭・38 4月26～27日	第358地区	東 京 都・近 畿 沖 縄	東 京 品 川	高輪ホテル	湯 浅 恭 三	東 京 R C
1964	昭・39 4月24～25日	第358地区	東 京 都・近 畿 沖 縄	東 京 西 北	東京会館	永 沼 政 久	横 浜 R C
1965	昭・40 6月26日	第358地区	東 京 都・近 畿 沖 縄	東 京 北	プリンスホテル	神 守 源 一 郎	東 京 東 R C
1966	昭・41 6月27日	第358地区	東 京・埼 玉 千 葉・沖 縄	東 京 銀 座	ヒルトンホテル	竹 田 恒 徳	東 京 北 R C
1967	昭・42 6月16日	第358地区	東 京・埼 玉 千 葉・沖 縄	川 越	東京・ヒルトンホテル	松 方 三 郎	東 京 R C
1968	昭・43 6月14日	第357地区	埼 玉・千 葉	新 千 葉	東京・プリンスホテル	川 名 正 義	館 山 R C
1969	昭・44 6月10日	第357地区	埼 玉・千 葉	浦 和	浦和・埼玉会館	広 沢 輝 雄	川 越 R C
1970	昭・45 6月28日	第357地区	埼 玉・千 葉	市 川	東京・ホテルニューオータニ	森 田 勝 彦	新 千 葉 R C
1971	昭・46 6月12日	第357地区	埼 玉・千 葉	大 宮	東京・プリンスホテル	河 野 秀 夫	熊 谷 R C

開催年月日		地区 ナンバー	区 域	ホスト R C	地区協議会々場	地区ガバナー	ガバナー 所属クラブ
1972	昭・ 47 6月24～25日	第357地区	埼玉・千葉	船 橋	新宿・京王プラザホテル	青 山 幸 高	市川東 R C
1973	昭・ 48 6月10日	第357地区	埼玉・千葉	川 口	東京・帝国ホテル	半 田 利 一	浦 和 R C
1974	昭・ 49 6月23日	第349地区	千 葉	千 葉	千葉市千葉銀行本店	藤 代 善次郎	木更津 R C
1975	昭・ 50 6月22日	第349地区	千 葉	館 山	館山市館山市民センター	野 口 長太郎	佐 原 R C
1976	昭・ 51 6月27日	第349地区	千 葉	野 田	千葉市千葉銀行本店	岡 野 正 雄	柏 R C
1977	昭・ 52 6月19日	第349地区	千 葉	市川 千葉西	千葉市千葉共済会館	赤 木 諫 夫	船 橋 R C
1978	昭・ 53 6月4日	第279地区	千 葉	松 戸	千葉市千葉銀行本店	岩 城 長 保	千 葉 R C
1979	昭・ 54 6月24日	第279地区	千 葉	銚 子 銚 子東	銚子市銚子青少年文化会館	鈴 木 憲 輔	八 千 代 R C
1980	昭・ 55 6月22日	第279地区	千 葉	茂 原	茂原市総合市民センター	斉 藤 任	館 山 R C

ロータリー財団寄付額表

1980年5月31日現在

分 区	クラブ名	会 員 数	累 計 寄 付 額 (単 位 ド ル)	%	次 の % ま で の 額 (単 位 ド ル)	分 区	クラブ名	会 員 数	累 計 寄 付 額 (単 位 ド ル)	%	次 の % ま で の 額 (単 位 ド ル)
I	市 川	62	18,442.41	2,900	157.59	V	鋸 南	31	5,343.05	1,700	236.95
	市 川 東	53	27,724.41	5,200	365.59		館 山	121	34,895.57	2,800	194.43
	市 川 南	45	12,316.56	2,700	283.44	VI	茂 原	76	24,965.02	3,200	114.98
	松 戸	61	34,478.24	5,600	291.76		茂 原 東	41	6,241.98	1,500	318.02
	松 戸 東	58	19,738.50	3,400	561.50		大 多 喜	24	3,243.76	1,300	116.24
	松 戸 北	45	9,038.33	2,000	411.67		大 原	50	17,356.68	3,400	143.32
II	船 橋	55	17,111.75	3,400	2,138.25	VII	東 金	54	13,013.11	2,400	486.89
	船 橋 東	41	11,062.51	2,600	7.49		旭	55	28,717.43	5,200	432.57
	船 橋 西	58	10,634.12	1,800	385.88	銚 子	74	19,157.68	2,500	82.32	
	鎌 ヶ 谷	33	12,431.87	3,700	108.13	銚 子 東	72	20,165.98	2,800	714.02	
	習 志 野	56	24,618.64	4,300	21.36	八 日 市 場	48	14,549.22	3,000	330.78	
	佐 倉	27	10,040.13	3,700	219.87	VIII	小 見 川	42	9,000.24	2,100	239.76
	八 千 代	55	28,890.19	5,200	259.81		佐 原	80	21,495.12	2,600	104.88
	船 橋 南						多 古	35	6,570.42	1,900	429.58
III	千 葉	85	29,815.17	3,500	784.83	IX	横 芝	38	13,761.82	3,600	298.18
	千 葉 中 央	30	5,940.67	1,900	59.33		印 旛 本 埜	26	5,475.10	2,100	244.90
	千 葉 南	80	23,995.97	2,900	4.03	印 西	48	23,278.95	4,800	241.05	
	千 葉 西	61	12,161.31	1,900	38.69	成 田	60	36,787.65	6,100	412.35	
	市 原	57	19,132.01	3,300	247.99	白 井	28	2,825.97	1,000	254.03	
	新 千 葉	82	40,793.31	4,900	206.69	八 街	51	20,722.09	4,000	187.91	
IV	富 津	32	5,483.11	1,700	276.89	X	我 孫 子	61	30,046.17	4,900	453.83
	富 津 中 央	44	12,338.20	2,800	421.80		柏	72	27,331.59	3,900	1,468.41
	上 総	24	5,769.63	2,400	230.37		柏 西	34	30,628.91	9,000	311.09
	君 津	58	13,229.87	2,200	110.13		流 山	54	12,652.21	2,300	307.79
	木 更 津	92	38,014.82	4,100	625.18		野 田	59	24,586.18	4,100	193.82
	木 更 津 東	80	26,684.15	3,300	515.85		野 田 東	41	21,417.16	5,200	312.84
	袖 ヶ 浦	32	4,463.09	1,300	16.91		沼 南	28	11,936.10	4,200	103.90
V	千 倉	37	12,903.76	3,400	46.24				2,800		
	鴨 川	51	16,357.82	3,200	472.18	地区合計	2937	999,240.19			
	勝 浦	40	9,436.48	2,500	963.52	会員数 (1978年12月最終例会日現在の会員数)					

ロータリー財団功労者・功労クラブ

<p>1973～74年 八千代ロータリークラブ 柏 ヌ</p>	<p>沼南 ヌ 大原 ヌ 野田東 ヌ 旭 ヌ 千葉南 ヌ</p>
<p>1975～76年 森田勝彦 (新千葉 RC) 青山幸高 (市川東 RC) 野田ロータリークラブ</p>	<p>1978～79年 青山幸高 (市川東 RC) 榎本 赳 (柏 RC) 茂原ロータリークラブ 佐原 ヌ 流山 ヌ 船橋東 ヌ 松戸北 ヌ 上総 ヌ</p>
<p>1976～77年 岡野正雄 (RC) 石丸 実 (市原 RC) 天羽 (富津) ロータリークラブ 千倉 ヌ 船橋 ヌ 市原 ヌ 鎌ヶ谷 ヌ 松戸 ヌ 松戸東 ヌ 横芝 ヌ</p>	<p>1979～80年 鈴木憲輔 (八千代 RC) 衛藤五郎 (茂原 RC) 鋸南ロータリークラブ 印旛本埜 ヌ 君津 ヌ 小見川 ヌ 多古 ヌ 市川南 ヌ 茂原東 ヌ 千葉中央 ヌ</p>
<p>1977～78年 森田勝彦 (新千葉 RC) 岡野正雄 (柏 RC) 船橋ロータリークラブ 銚子 ヌ 銚子東 ヌ</p>	

ポールハリス・フェロー

年度	1962～63年度	ガバナー	湯 浅 恭 三(東 京)		
所 属 ク ラ ブ	会 員 氏 名	所 属 ク ラ ブ	会 員 氏 名	所 属 ク ラ ブ	会 員 氏 名
野 田	茂 木 房五郎				

年度	1967～68年度	ガバナー	川 名 正 義(館 山)		
成 田	諸 岡 謙 一				

年度	1968～69年度	ガバナー	広 沢 輝 雄(川 越)		
成 田	諸 岡 謙 一				

年度	1969～70年度	ガバナー	森 田 勝 彦(新千葉)		
成 田	諸 岡 謙 一	館 山	角 田 博		

年度	1970～71年度	ガバナー	河 野 秀 夫(熊 谷)		
成 田	森 田 勝 彦	館 山	安田 誠之助	船 橋	白 鳥 茂 雄

年度	1971～72年度	ガバナー	青 山 幸 高(市川東)		
成 田 々 柏	黒 川 光 治 吉 田 善 哉 野 口 菊 治	八日市場 館 山 東 金	大 木 精 一 川 名 正 義 浅 井 利 勇	木 更 津 山 流 佐 倉	星 野 隆 輝 碓 田 廣 明 宮 下 宙之進

年度	1972～73年度	ガバナー	半 田 利 一(浦 和)		
成 田 八日市場 市川南	山 崎 一 雄 大 木 清 青 山 幸 高	東 金 茂 原 松 戸 東	滝 本 義 雅 黒 田 実 及 川 好之助	茂 原 南 千 葉 津東 木 更 津東	宮 崎 勝 治 今 関 倉之助 小 高 恵 一

木更津 〃 〃 〃 松戸	平野 鈴木 藤代 湯浅 大原	要之郎 健善次 要蔵栄	新千葉 柏志野 習松戸	湯青池 木田坂 金田	泰柳忠 篤篤至	仁助美 義弘	八千代 〃 〃 〃 館山	山本靖 溝上代 大西	郎介 一雄 鷹
--------------------------	----------------------------	-------------------	-------------------	------------------	------------	-----------	--------------------------	------------------	---------------

年度	1973～74年度		ガバナー	藤代善次郎(木更津)						
千流成 八日八 〃 〃 〃 〃 〃 野	葉山田 市場代	綿貫專郎 根本保 橋昌夫 太昭吉 秋義夫 山岡英 高橋重 鈴木憲 鈴木義 佐々木 作本 池松	山 柏 〃 〃 〃 〃 〃 〃 市 我 木	伊藤 神小 北榎 木日 平丸 岩小 浪	藤野 笹村 本藤 暮野 本井 熊久	正義三 千	太郎一 郎秋 越将 夫七 郎行 夫寿	木更津 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 新千	平野愛 宮崎庄 白鳥弘 三代川 立立 三橋 白鳥 中村 岩藤 飛田	助司恒 作德 光重 郎磨 勇

年度	1974～75年度		ガバナー	野口長太郎(佐原)						
佐勝 〃 〃 旭 八日	原浦 市場	寺野欣一 小島長 松本幸 屋代喜 佐々木 井橋敦 力	北山 戸倉 川津 更	後藤 飯宮 土間 本時	藤田 沢屋 宮野 田	栄利三 亮良 三文	三郎茂 平二 郎蔵	八千代 八成 〃 孫志 千	小野泉 土崎 藤井 鈴木 田中 島津	一雄 豊春 喜賢 敏

年度	1975～76年度		ガバナー	岡野正雄(柏)					
我孫子 千葉 〃 〃 千銚 倉子	染谷正 中野夫 熊野之 鈴木一 安啓 杉榮 丸武 鉄	谷村一 野龍 木啓 田榮 野武 島鉄	我孫子 〃 柏西 〃 〃 〃	畠山 橋田 岡坂 小谷 染木 鈴部 岡	山雅 田隆 坂敏 谷英 木伝 部千 久	夫雄男 隆郎 三定 人	天羽 〃 〃 〃 〃 〃 〃	重田吉 笹生謙 山崎行 都築勝 都築大 長隆 有阪	輝三夫 雪佑 春甲

印	西	角	頼	弥	成	田	藤	崎	雅	春	横	芝	椎	名	豊
々	々	真	仲	登	々	々	指	田	龍	蔵	々	々	押	尾	代
々	々	石	川	榮	々	々	松	崎	昭	鷹	々	々	々	喜	治
		長	塚	男			宮	宮	広	郎					

年度	1977～78年度				ガバナー				岩 城 長 保 (千 葉)										
我	孫	子	酒	井	正	行	市	川	東	遠	藤	日	基	成	田	駒	林	清	一
々	々	々	関	野	博	明	々	々	々	伊	藤	榮	郎	野	東	小	林	武	雄
々	々	々	菊	地	源	八	鎌	ヶ	ヶ	岩	川	喜	郎	野	原	藍	野	一	六
々	々	々	飯	泉	一	雄	鴨	ヶ	ヶ	椎	名	房	男	大	々	市	原	正	文
旭	葉	葉	尾	上	吉	之	々	々	々	相	原	秀	一	々	々	中	村	嘉	昭
千	南	南	阿	部	斐	文	々	々	々	君	塚	貫	郎	々	々	大	矢	惣	郎
千	倉	倉	福	井	孝	太	々	々	々	川	上	善	一	々	々	佐	藤	一	乾
千	子	子	平	尾	正	郎	々	々	々	福	原	重	郎	々	々	吉	川	勘	仁
銚	橋	橋	吉	名	三	浩	柏	西	津	山	口	悦	夫	々	倉	能	瀨	篤	操
々	々	々	川	崎	三	郎	木	更	東	関	根	菊	治	千	原	田	中	登	一
々	々	々	浜	口	儀	衛	々	々	々	清	水	一	正	々	葉	小	森	安	三
々	々	々	伊	藤	英	之	木	津	東	高	橋	久	吉	ヶ	浦	島	田	太	美
々	橋	橋	茂	木	新	七	更	々	々	藥	丸	省	己	ヶ	山	市	川	祐	郎
々	西	西	根	本	和	郎	津	々	々	山	本	比	志	ヶ	街	川	口	市	次
船	津	津	大	里	庄	善	々	々	々	秋	元	呂	治	ヶ	浦	鶴	岡	輝	夫
船	原	原	三	浦	信	治	々	々	々	重	城	良	昇	ヶ	山	伊	藤	太	郎
富	々	々	服	部	貞	元	松	戸	東	仲	坂	益	造	ヶ	街	木	嶋	市	英
市	々	々	佐	川	一	孝	松	戸	野	真	平	正	敏	ヶ	代	高	木	輝	典
々	々	々	糟	谷	光	明	々	々	々	三	名	和	夫	ヶ	市	朝	橋	太	志
々	々	々	菊	池	芳	昭	松	東	野	椎	村	忠	家	ヶ	場	高	高	正	郎
々	々	々	寺	島	芳	光	松	東	野	島	内	仁	司	ヶ	市	朝	朝	健	一
			石	川	芳	光	松	東	野	竹	釜		俊	ヶ	場	朝	朝	健	一
							松	東	野	七			德	ヶ	場	朝	朝	健	一
							松	東	野				士	ヶ	場	朝	朝	健	一

年度	1978～79年度				ガバナー				鈴 木 憲 輔 (八千代)										
我	孫	子	吉	野	佐	平	印	西	今	井	三	四	子	流	山	鎬	木	寿	夫
々	々	々	井	上	圭	司	々	川	伊	藤	長	郎	郎	々	々	兼	子	喜	松
々	々	々	土	川	寛	峰	々	々	滝	田	映	治	治	々	山	崎	清	代	八
々	々	々	飯	田	敏	一	鴨	々	加	藤	達	穂	穂	々	吉	場	長	長	義
々	々	々	飯	田	豊	郎	々	々	浦	田	陽	介	介	々	久	力	清	博	治
々	々	々	飯	島	六	兵	柏	々	青	木	常	雄	雄	々	田	中	博	孝	孝
々	々	々	加	瀨	幸	之	々	々	石	戸	農	作	作	々	三	橋	昌	訓	訓
々	々	々	片	山	安	五	々	々	長	谷	能	雄	雄	々	黑	川	家	家	家

市川東西	山本野	登甲子治	流山	海老原信二	池田讓吉	八日市場	山	椎名泰	実治
------	-----	------	----	-------	------	------	---	-----	----

年度	1979～80年度			ガバナー	齋藤任(館山)							
市川東西	長落早前水	嶋合川島野	洋清悦敏久	鎌習千野	菅波渡田久	波辺保豊	満爾三二	千野	清小大土	水黒賀田	光寛常正	任平明道
市川東西	水洪柳田	谷内中辺本	久正金正	野千野	飯山高山	下橋口生	二一治治	野田	須賀田	木木木	佐守通	茂吉博
市川東西	渡山岡小	倉村本原	仁紀久	葉千	朝窪松須	丸田沢木	三治治	野田	小嶋山羽	光川狩口	義三和	蔵夫朗
市川東西	橋笠金大	野井本藤	幸文久邦	葉千	池鈴本辻	田木宮野	三治治	野田	山羽永竹	方瀨田	藤金秋	郎夫助
市川東西	原山佐鈴	木田泉口	昭弘平正	葉千	深関石鎌	井形田田	三治治	野田	秋百山莊	葉瀨口	弘貞一	夫次也
市川東西	恩小関立	原中辺井	茂伸芳徳	葉千	関石鎌芝	田山松島	三治治	野田	中露石今	司村崎野	春正公	夫男夫
市川東西	田渡藤永	中辺井瀬	徳武泰八	葉千	芝遠小川	田山松島	三治治	野田	宮飯板石	野関合倉	幸毅	夫茂一
市川東西	本稻川平	瀬橋葉並	八弘邦勝	葉千	小川池鈴	田山松島	三治治	野田	根富森伊	川来沢下	富康俊	雄人夫
市川東西	小深山	野倉山田	邦勝	葉千	横須横星	田山松島	三治治	野田	長谷平加	野野野	正恭	海司二
市川東西				葉千	須荒松石	田山松島	三治治	野田	吉西	藤橋村	房嗣玄	浩四朗
市川東西				葉千	大	木	三治治	野田	西			篤

松	戸	発	地	良	英	印	西	小	林	允	彦	富	津	中	央	三	枝	一	雄
館	山	湯	浅	成	義	富	柏	坂	本	嘉	孝	新	千	川	葉	高	田	信	郎
々	々	渡	辺	福	太	津	中	青	木	一	郎	鴨	々	田	川	宗	像	三	郎
々	々	立	沢	淳	三	々	々	志	波	嘉	克	成	千	葉	竹	石	四	公	信
々	々	保	科	榮	男	々	々	町	沢	清	郎	新	千	葉	藤	倉	静	男	男
々	々	伊	沢	一	夫	々	々	石	渡	弑	郎	千	葉	森	田	千	枝	子	子
々	々	佐	木	弘	上	八	千	松	内	和	雄								
		渡	辺				代	辻			勝								

国際ロータリー第 279 地区ロータリー財団奨学生

氏 名	年度	推薦 RC	留学国及学校	出 身 校	住 所	勤 務 先
(現姓 Soulle) 沼田 睦子	1971	市川東	(仏) グルノーブル大学	東京外国語大学 大学院フランス 語科	市川市 (実家)	(大阪転勤)
(現姓 Golay) 武津由美	1971	千葉南	(スイス) ジュネーブコンセル ヴェットワール 音楽学校	東京芸術大学音楽 科	Switzerland	
(現姓 Martinez) 米田 恵子 ※	1972	船橋	(メキシコ) メキシコ国立人 類歴史学大学	神奈川大学外国語 学科スペイン語学 科	船橋市 (実家)	国立人類学歴史 学研究所 (メキ シコ)
林 俊男 ○	1972	千葉南	(米) ルットガース大学	千葉大学教育学部	千葉市	(株)グローリ 03-567-0277
高品 渉 △	1973	千葉南	(米) サウスウエスタン 大学	上智大学外国語学 部英語学科	千葉市	PHP (筑波大学大学院 生)
金子和枝 *	1973	新千葉	(米) 聾中央研究所	千葉大学教育学部	千葉市	東京教育大学教育 学部付属聾学校幼 稚部
平田勇夫 ○	1973	新居浜	(米) ミルウォーキー工 科大学	熊本県立熊本工業 高校機械科	船橋市	Petrochemical Corporatmo of Singapore (Private) Limited.
墨田佳久 ※	1974	茂原	(米) ナイヤガラ大学	明治学院大学文学 部英文科	木更津市	
秋葉京子 ※	1974	新千葉	(西独) フライブルグ大学	東京芸術大学大学 院ドイツ語科	千葉市	二期会会員
(現姓 Dupas) 斎藤 幸子	1974	千葉	(西独) フライブルグ大学	上智大学外国語学 部ドイツ語科	千葉市 (実家)	
(現姓 平野) 中尾 いづみ	1974	柏	(米) キャサリン・キプ ス・スクール	千葉県立東葛高校	川崎市	
鈴木 真	1975	新千葉	(米) カリフォルニア大 学	東京大学大学院工 学系研究科	千葉市	川崎製鉄千葉製鉄 所
江波戸 操 吉	1975	八日市場	(米) ニューヨーク大学	国際キリスト教大 学大学院	八日市場市	ニューヨーク在住
森 邦子	1975	茂原	(米) アメリカン大学	早稲田大学 第一文学部	茂原市	日立製作所 電子管事業部
仁科 みつ子	1975	木更津	(米) オクラホマ大学	立正大学史学部	木更津市	昭和中学校教諭
山口 睦子	1976	新千葉南	(英) セントアンドリュース 大学	明治学院大学 文学部英文科	千葉市	船橋市立三田中学 校教諭

氏名	年度	推薦RC	留学国及学校	出身校	住所	勤務先
綾野克俊	1979	我孫子	(米) ニューヨーク州立 大学	筑波大学大学院	我孫子市	
越川芳明	1979	銚子東	(米) ウイスコンシン 大学	筑波大学大学院 在学中	銚子市	
嘉山のぞみ	1979	習志野	(米) ボストン大学	慶應義塾大学在学 中	習志野市	
高木章雄	1979	銚子	(仏) パリ第3大学	上智大学在学中	銚子市	
田村恵子	1979	市川	(仏) ポールヴァレリー 大学	上智大学大学院在 学中	市川市 福井市	
下羽友幸	1979	千葉中央	(米) フライブルグ大学	法政大学在学中	千葉市	
田辺春美	1980	千葉南	(米) プリンストン大学	東京外国語大学	千葉市	
松野尾あゆみ	1980	船橋	(米) ミシガン州立大学	国際基督教大学	船橋市	
小柴満信	1980	市原	(米) ウイスコンシン 大学	千葉大学大学院	市原市	
西川由比子	1980	柏西	(印) デリー大学	筑波大学大学院	柏市	
恩田恭子	1980	柏西	(西独) ギーゼン大学	東京外国語大学	柏市	
小泉弥生	1980	八千代	(伊) 国立ミラノ音楽学 院	東京芸術大学 大学院独唱科	八千代市(自宅) 杉並区	二期会会員

財団法人ロータリー米山記念奨学会
寄付金納入明細書

昭和55年6月30日現在(単位:円)

279区

クラブ名	年間 1名当り	54/7月~55/6月期間入金分		過去累計		クラブ名	年間 1名当り	54/7月~55/6月期間入金分		過去累計		
		普通寄付金	特別寄付金	合計	普通寄付金			特別寄付金	合計	普通寄付金	特別寄付金	合計
我孫子	2000	126,000	300,000	426,000	999,350	松戸東	2000	112,000	60,000	172,000	871,750	1,041,750
旭	2000	105,000		105,000	1,137,550	茂原	2000	157,000		157,000	1,654,100	1,659,100
千葉	2000	170,000	100,000	270,000	1,895,600	茂原	2000	83,000		83,000	2,745,000	2,745,000
千葉中央	1500	56,250		56,250	118,250	印旛本整	2000	45,000		45,000	267,000	297,000
千葉南	2000	159,000		159,000	1,256,800	流山	2000	112,000		112,000	823,250	855,950
千葉西	2000	128,000		128,000	374,000	習志野	2000	108,000	465,000	573,000	1,117,650	2,141,666
千倉	2000	79,000		79,000	798,750	成田	2000	126,000		126,000	1,061,050	1,961,050
千漣子	2000	146,000	10,000	156,000	1,346,200	野田	2000	180,000		180,000	1,725,000	1,725,000
漣子東橋	2000	150,000	70,000	220,000	968,250	野田東	4000	176,000	30,000	206,000	519,500	549,500
船橋	3000	156,000	26,000	182,000	1,645,000	小見川	2000	85,000		85,000	608,900	608,900
船橋西	2000	111,000		111,000	997,000	原倉	2000	104,000		104,000	865,300	865,300
船橋東	2000	83,000	378,000	461,000	202,000	大倉	2000	51,000	24,000	75,000	459,300	24,000
富津	3000	108,000		108,000	749,900	喜倉	2000	56,000		56,000	485,400	585,400
富津中央	2000	90,000		90,000	836,100	佐原	2000	163,000	100,000	263,000	1,603,550	1,703,550
富津原	2000	107,000		107,000	1,130,800	白井	3000	70,500		70,500	228,500	228,500
市川東	2000	128,000		128,000	1,233,200	沼南	3000	104,000	150,000	254,000	279,500	579,500
市川南	3000	162,000	43,940	205,940	1,169,900	千葉浦	2000	164,000	310,000	473,000	1,414,250	2,189,250
市川西	2000	93,000		93,000	302,000	袖ヶ浦	2000	62,000		62,000	284,750	284,750
市川西	2000	95,000		95,000	706,500	多古	2000	70,000		70,000	571,550	571,550
鎌ヶ谷	3000	103,500		103,500	488,800	館山	3000	360,000	850,000	1,210,000	2,893,650	4,393,650
鴨川	2000	94,000		94,000	1,054,000	東金	2000	107,000		107,000	990,050	1,441,000
柏	2000	144,000	100,000	244,000	1,357,750	八千代	2000	94,000		94,000	849,350	1,30,770
柏西	2000	74,000	257,902	331,902	248,500	八千代	2000	108,000	361,000	469,000	625,000	1,601,700
柏浦	1500	60,000		60,000	583,700	八日市場	2500	115,000		115,000	979,200	1,579,200
上総	2000	53,000		53,000	537,450	横芝	2000	81,000		81,000	675,950	127,000
君津	2000	123,000		123,000	865,000	年次大会事務局						311,115
木更津	2000	184,000		184,000	1,996,700	船橋南						
木更津東	2000	151,000		151,000	1,148,650							
船橋南	2000	60,000		60,000	527,250							
船橋南	2000	60,000		60,000	527,250							
松戸	2000	126,000	1,426,000	1,552,000	1,332,500	計		6,404,250	5,361,842	11,766,092	51,096,050	14,161,490
松戸北	2000	86,000	300,000	386,000	410,000							65,257,540

第 279 地区米山功労者・功労クラブ一覧

米 山 功 労 者			米 山 功 労 ク ラ ブ		
年 月 日	氏 名	所属クラブ	年 月 日	クラブ名	備 考
昭 48. 8. 7	森 田 勝 彦	新 千 葉	昭 54. 3. 31	習志野 R C	
♪ 49. 8. 16	浅 井 利 勇	東 金			
♪ 49. 9. 17	山 崎 一 雄	成 田			
♪ 49. 9. 26	橋 昌 夫	♪			
♪ 50. 2. 17	諸 岡 謙 一	♪			
♪ 51. 6. 19	川 名 正 義	館 山	昭 54. 10. 4	松 戸 R C	
♪ 51. 6. 30	平 山 辰 己	八日市場	昭 54. 11. 9	館 山 R C	
♪ 52. 1. 17	岡 野 正 雄	柏			
♪ 52. 6. 1	太 田 昭 吉	八日市場			
♪ 53. 9. 16	三代川 開 作	習 志 野			
♪ 54. 3. 30	坂 戸 篤 義	♪			
♪ ♪ ♪ ♪	白 鳥 利 重	♪	昭 54. 12. 19	習志野 R C (2 回目)	
♪ 54. 6. 8	富 沢 道 次	館 山			
♪ 54. 8. 8	安 田 誠之助	♪			
♪ 54. 10. 22	林 安 次	習 志 野			
♪ 54. 11. 9	斉 藤 任	館 山			
♪ 54. 11. 20	小 熊 勝 夫	我 孫 子	計 3RC (昭 55. 6.30 現在)		
♪ 55. 1. 4	成 瀬 茂	館 山			
♪ 55. 2. 23	土 屋 亮 平	松 戸			
♪ 55. 4. 25	後 藤 栄 三	松 戸 北			
♪ 55. 5. 16	森 田 千 枝子	新 千 葉			
♪ 55. 5. 22	渡 貫 専 太 郎	千 葉	計 23 名 (昭 55. 6.30 現在)		
♪ 55. 6. 25	倉 本 一	八 千 代			

第 279 地区 米山奨学生一覧

(自1962年4月 至1980年3月)

氏 名	性	国籍	支給年度	大学名 専攻	ホストクラブ
朱 力行	男	香 港	1962 1964～ '66	千葉大 (M) 都立大 (D) 放射線化学	千 葉 東 京 世 田 谷
韓 培 元	男	香 港	1966～ '67	千葉大 (インターン) 医 学	千 葉
カンワール・ ジット・シン	男	イ ン ド	1969～ '71	早大 (D) 機械工学	千 葉 南
簡 煥 期	男	台 湾	1971	千葉大 (D) 肺外科 博士号取得	千 葉
嚴 瑞 仁	男	台 湾	1971～ '72	千葉大 (D) 公衆衛生学	新 千 葉
林 益 忠	男	台 湾	1972～ '73	東 大 (D) 製剤学	我 孫 子
劉 孝 雄	男	台 湾	1972～ '73	千葉大 (D) 神経解剖学 博士号取得	新 千 葉
ユン・バ・ニッツ	女	ベトナム	1973	千葉大 (M) 生物化学	松 戸
李 淑 美	女	台 湾	1973～ '74	日本女子大 (M) 食物栄養学	館 山
グエン・ヴァン・ サット	男	ベトナム	1973～ '74	東 大 (研) 反応化学	八 千 代
安 乘 烈	男	韓 国	1974	早 大 (M) 会計学	館 山
廖 文 星	男	台 湾	1974～ '75	東 大 (M) 製薬化学	館 山
王 賢 徳	男	台 湾	1974～ '75	東京教育大 (D) 東洋史学	館 南

チャン・ウト	男	ベトナム	1974～ '75	千葉大 (u) 合成化学	習志野
陳哲士	男	台湾	1975	早大 (M) 都市計画	館山
徐金次	男	台湾	1975	日本大 (M) 管理工学	八千代
フアム・クオック・ ハー	男	ベトナム	1975 (10月)	千葉大 (M) 農芸化学	松戸東
方淑恵	女	台湾	1975～ '76	千葉大 (u) 国語	新千葉
莊祥敏	男	台湾	1976	東京大 (D) 薬品製造化学 博士号取得	我孫子
簡曜平	男	ポルトガル	1976	千葉大 (u) 電子工学	千葉西
タイ・アン・トウアン	男	ベトナム	1976	千葉大 (u) 印刷学	千葉南
チュン・アン・ユン	男	ベトナム	1977	千葉大 (u) 機械工学	千葉
頼明珠	女	台湾	1977	千葉大 (M) 園芸学	松戸
林右崇	男	台湾	1977	大東文化大 (M) 中国学	館山
グエン・カン・アン	男	ベトナム	1977	千葉大 (u) 農業生産管理	松戸東
岳書南	男	香港	1976～ '77	筑葉大 (D) 農林工学	松戸東 東京目黒
林泰山	男	台湾	1978	東京農業大 (D) 農業経済学	館山
王捷輝	男	台湾	1977～ '78	千葉大 (u) 電子工学	船橋西
江敏煌	男	台湾	1978～ '79	千葉大 (u) 医学	新千葉

黄 健 哲	男	台 湾	1978~ '79	千葉大 (u) 医 学	千 葉 南
黄 无 忌	男	台 湾	1978	千葉大 (M) 工業意匠学	千 葉 西
林 三 吉	男	台 湾	1979	早 大 (M) 経営経済	茂 原
セレスター・ラマ・ ドーサー	男	ネ パ ール	1979	千葉大 (研) 外 科	八 千 代
田中 リディア マキ	女	ボ リ ビ ア	1979	千葉大 (u) 音 楽	市 原
李 誠 国	男	韓 国	1979	東京大 (D) 保健疫学	大 原
謝 大 衡	男	ポ ル ト ガ ル	1980	千葉大 (u) 数 学	新 千 葉
陳 素 卿	女	台 湾	1980	千葉大 (u) 看護学	市 原
陳 一 心	男	台 湾	1980~ '81	東 大 (D) 農業生物学	館 山
邱 文 顕	男	台 湾	1980~ '81	千葉大 (u) 医 学	千 葉
洪 瑞 全	男	台 湾	1980~ '81	千葉大 (u) 建築学	船 橋 西
劉 維 禎	男	台 湾	1980~ '81	千葉大 (u) 工業化学	千 葉 西
林 達 文	男	台 湾	1980	千葉大 (u) 画像学	千 葉 中 央
劉 家 煒	男	台 湾	1979~ '80 (9月)	東 大 (M) 工業化学	船 橋 東
干 志 嘉	女	台 湾	1979~ '80	東 大 (M) 東洋史学	我 孫 子

※注 () 内の(D)博士課程(M)修士課程(u)学部課程

国際青少年交換(1)

受入学生

派遣学生氏名	ホスト クラブ	受入高校	出身国	年度
クリストファー・フラシスコポーランド	市川	市川学園	オーストラリア	1966～67
マリス・ケアーリデル	習志野	国府台女子学院	〃	1969～70
ジョアー・マッカラム	柏	国府台女子学院	〃	1970～71
ジョン・リー	館山	安房高校	〃	1971～72
ケイス・セツジマン	千倉	〃	〃	〃
クリスティン・ホルデン	市川	国府台女子学院	〃	〃
マウリス・G・セイブ	東金	成東高校	〃	〃
メレアディス・ベック	大原	大原高校	〃	1972～73
リンネ・パウトン	新千葉	千葉東高校	〃	〃
アドリン・ドルセア・ロッセ	東金	東金高校	〃	1973～74
ロザリーマーガレットステリング	松戸東	国立高校	〃	〃
ロバート・デビット・マン	市川東	市川学園(市川高校)	〃	〃
サラ・ジェーン・ウイルソン	八街	八街高校	〃	〃
ジュニファー・ライン・ウイルソン	八千代	八千代高校	〃	〃
ジュディス・メリーヘイウッド	市川	国府台女子学院	〃	〃
フィリップ・アントニーシウエル	茂原	長生高校	〃	〃
リン・アン・ウイリアム	新千葉	千葉東高校	〃	〃
メリー・カトリナ・デイビス	松戸北	小金高校	〃	〃
キャロル・ムアー	天羽	木更津東高校	アメリカ	〃
ロバート・アラン・ミッシェル	東金	東金高校	〃	1974～75
ナンシー・ハイト	松戸北	国府台女子学院	〃	〃
キャシー・A・ピーターソン	東金	九十九里高校	〃	〃
マーナ・K・フレッシェル	千葉南	千葉東高校	〃	〃
バーグリニア・レッドモナハリス	東金	東金高校	オーストラリア	1975～76

派遣学生氏名	ホスト クラブ	受 入 高 校	出 身 国	年 度
リンダメイ・フォー リー	佐 倉	千葉明德高校	オーストラリア	1975～76
ロビン・リー・カメ ロン	鴨 川	長狭高校	〃	〃
ジェニファー・ソルト マーシュ	横 芝	松尾高校	〃	〃
ジャン・マーガレット・ ソリー	佐 倉	四街道高校	〃	〃
アドリアン・アヘル ン	茂 原	長生高校	〃	〃
メアリー・エリザベ ス・メディアル	佐 原	佐原女子高校	〃	〃
ジェームス・ヘン リー・クック	柏	日の出学園高校	〃	〃
マーク・クリフォード・ グレイ	大 多 喜	大多喜高校	〃	〃
キャサリン・ダウン・ レイナー	新 千 葉	千葉高校	アメリカ	〃
ジェニ・ファー・スー ザン・ウォーカー	大 原	大原高校	〃	〃
サンドラ・ロー・メイ ニー	天 羽	天羽高校	アメリカ	〃
リサ・ボゲル	成 田	成田高校	〃	〃
カレン・ジョアンヌ・ ジメス	松 戸 北	帰 国	〃	〃
ジェニファーギルバ ート	銚 子	市立銚子	オーストラリア	〃
ブレンダエリザベス ムッフイー	茂 原	長生高校	〃	〃
マンナ・マリーウイ ンター	大 佐 和	天羽高校	〃	〃
グレアム・アトキン ソン	新 千 葉	千葉経済高校	〃	〃
クレイトン・ジョー ジロング	勝 浦	勝浦高校	〃	〃
スーザン・ジェニー ファー・ウォーカー	船 橋	国府台高校	〃	〃
ジュディ・パウエル	新 千 葉	千葉東高校	〃	〃
クレア・エリザベス ウェブスター	大 多 喜	大原高校	〃	〃
ピーターズ・ショー	習 志 野	習志野高校	〃	1976～77
アンドレア・ニコル ソン	船 橋	船橋学園	〃	〃
マークラム	茂 原	長生高校	〃	〃
ダイアン・モーティス	横 芝	松尾高校	〃	〃
アン・カミング	袖 ヶ 浦	袖ヶ浦高校	〃	〃

派遣学生氏名	ホスト クラブ	受 入 高 校	出 身 国	年 度
リン・ドネラン	千 葉	千葉東高校	オーストラリア	1976～77
アン・サースティン	多 古	成田高校	〃	〃
ゴードン・ダフ	鴨 川	長生高校	〃	〃
ギリアン・ヒッグス	八 千 代	八千代高校	ニュージーランド	〃
マリアン・コーコラン	富津中央	君津商業高校	カナダ	〃
スーザン・オルソン	新 千 葉	千葉経済学園	〃	〃
ケリー・ファーガソン	新 千 葉	千葉経済学園	〃	〃
デブラ・マレンジャー	千 倉	安房農業高校	アメリカ	〃
ロビン・スターン	木 更 津	清和女子短大付属高校	〃	〃
ダナ・マクラマン	大 原	大原高校	〃	〃
マーガレット・M・ ビートン	柏	柏南高校	カナダ	1977～78
アニタ・Y・ヘイルズ	千 葉 南	千葉南高校	〃	〃
カーラ・A・メイヤー ズ	多 古	多古高校	アメリカ	〃
ルザーン・リッチモ ンド	茂 原	茂原高校	〃	〃
ダニエル・エピソン	〃	〃	〃	〃
ジョン・ロジャーズ	八 街	八街高校	〃	〃
ダナ・L・マーレイ	松 戸 北	松戸高校	〃	〃
アン・W・アカーマン	大 多 喜	大多喜高校	〃	〃
デブラカーマイケル	千 葉	千葉東高校	オーストラリア	〃
ダイアン・コリンズ	八 千 代	八千代高校	〃	〃
スーザン・ローレンス	袖 ヶ 浦	袖ヶ浦高校	〃	〃
ジュニファー・マー ティン	鎌 ヶ 谷	鎌ヶ谷高校	〃	〃
ジュニファー・ワッツ	新 千 葉	千葉東高校	〃	〃
ピーター・リンフォ ード	茂 原	長生高校	〃	〃
アンドリュアー ノット	鴨 川	長狭高校	〃	〃
マリー・ドワイヤー	佐 原	佐原女子高校	〃	〃

派遣学生氏名	ホスト クラブ	受 入 高 校	出 身 国	年 度
カレン・ウィッグ	東 金	東金高校	オーストラリア	1977～78
ビッキー・パイ	船 橋	国府台女子学院	ニュージーランド	〃
ギリアン・カップ	佐 倉	千葉女子高校	〃	〃
ピトナー・ナンシアン	柏	柏南高校	アメリカ	1978～79
デビットソンマリー ジュニア	新 千 葉	千葉東高校	〃	〃
エネス・マー サリー	佐 倉	八街高校	〃	〃
ピルキィ・セラジェーン	流 山	柏高校	カナダ	〃
ソレン・ソン・チャー ルズ	袖ヶ浦	袖ヶ浦高校	アメリカ	〃
スーターヘザー・メイ	佐 倉	佐倉高校	カナダ	〃
ヴァンダーホースト・ ウイリアムスコット	茂 原	長生高校	アメリカ	〃
ジャニス・コレット	千 葉 西	八千代高校	オーストラリア	〃
マイケル・キング	鴨 川	長狭高校	〃	〃
ジェフリー・グァーム	八 千 代	八千代高校	〃	〃
リンダ・サイモンドソン	佐 倉	千葉女子高校	〃	〃
パトリシア・デン・ プリンカー	八 千 代	日の出学園	〃	〃
オム・エドリー・パ ロット	千 葉 南	生浜高校	〃	〃
サリー・アン・ポー ドマン	船 橋	国府台女子学院	〃	〃
キャスリン・バレット	東 金	成東高校	〃	〃
リンディアン・ヒュッテ	船 橋 東	船橋芝山高校	〃	〃
タニア・ナップ	流 山	野田高校	ニュージーランド	〃
デボラ・リン・ケン ショール	松 戸	国府台高校	アメリカ	1979～80
ビバリー・アン・カー	市 川	国府台女子学院	カナダ	〃
キムベリー・パーク	流 山	柏南高校	アメリカ	〃
ローリー・アンヘス	横 芝	東金高校	〃	〃
カレン・カーフェルツ	千葉中央	千葉南高校	〃	〃
ジョン・クレイガー	市 川 南	日大千葉第一高校	〃	〃

派遣学生氏名	ホスト クラブ	受 入 高 校	出 身 国	年 度
ジョン・セリナ・モ フェット	船 橋	市立船橋高校	オーストラリア	1979～80
ミッシェル・リサ・ ウエスト	千 葉	千葉東高校	〃	〃
パトリシア・リー・ アンダーソン	袖ヶ浦	袖ヶ浦高校	〃	〃
クリストファー・ ジョン・レイモンド	上 総	君津農林高校	〃	〃
エリザベス・アン・ レスター	鴨 川	長狭高校	〃	〃
スーザン・マリー・ プリチャード	東 金	東金高校	〃	〃
リー・ケェアー	佐 原	佐原女子高校	〃	〃
マーチン・フィリップ・ スレイター	柏	市立柏高校	〃	〃
マイケル・ニール・マ ルタ	柏 西	柏南高校	〃	〃

国際青少年交換 (2)

派遣学生

派遣学生氏名	スポンサー クラブ	出身高校	行先国	年度
高木大輔	市川	練成中学(千代田区)	オーストラリア	1962~63
靱島きし子	〃	御茶ノ水女子学院	〃	1966~67
岩井ゆり子	〃	国府台女子学院	〃	〃
白鳥理一郎	習志野	都立九段高校	〃	1969~70
菊田文枝	柏	松戸高校	〃	1970~71
木村真理子	市川	国府台女子学院	〃	1971~72
福岡芳美	館山	安房南高校	〃	〃
間宮美幸	千倉	〃	〃	〃
高木淳	市川	暁星高校	〃	〃
安井千賀子	東金	東金高校	〃	〃
吉川京子	大原	大原高校	〃	1972~73
丸山裕子	新千葉	千葉女子高校	〃	〃
大吉力弥	天羽	天羽高校	アメリカ	1973~74
大井裕	松戸北	駿台学園	オーストラリア	〃
鈴木孝	松戸東	国分高校	〃	〃
里村美喜	市川	慶応義塾女子高校	〃	〃
野崎弘子	八街	八街高校	〃	〃
伊坂淳一	茂原	長生高校	〃	〃
竹村佳子	八千代	嘉悦女子高校	〃	〃
小沢明子	市川	川村短期大学	〃	〃
則安ゆかり	新千葉	千葉東高校	〃	〃
石井総子	東金	東金高校	アメリカ	1974~75
伊藤真澄	松戸北	国府台和洋女子大付属高校	〃	〃
三瀬摩里	東金	東金高校	カナダ	〃
木戸秋圭	千葉南	千葉東高校	アメリカ	〃
石田緑	東金	東金高校	オーストラリア	〃
佐久間正一	〃	〃	〃	1975~76
長沢正祐	佐原	明德高校	〃	〃
佐久間宗司	鴨川	長狭高校	〃	〃
花沢弘子	横芝	東金高校	〃	〃
長谷川享子	鴨川	四街道高校	〃	〃
佐藤順一	茂原	長生高校	〃	〃

派遣学生氏名	スポンサー クラブ	出身高校	行先国	年度
岡 沢 麻記子	佐 原	佐原女子高校	オーストラリア	1975～76
岡 田 直 子	柏	日の出学園高校	〃	〃
渡 辺 万利子	大多喜	大多喜女子高校	〃	〃
寺 島 洋 子	新千葉	千葉東高校	〃	〃
春 日 純 子	大 原	船橋高校	〃	〃
小 沢 正 信	千 倉	安房高校	〃	〃
重 田 吉 子	天 羽	木更津東高校	アメリカ	〃
土 井 豊 彦	成 田	成田高校	〃	〃
清 宮 久美子	松 戸 北	葛飾高校	〃	〃
金 杉 幸太郎	東 金	成東高校	カナダ	〃
星 敦 子	新千葉	三育学院高校	〃	〃
堺 敦 子	大佐和	天羽高校	〃	〃
杉 江 晶 子	茂 原	長生高校	オーストラリア	〃
秋 元 衛 子	新千葉	千葉経済高校	〃	〃
柴 田 玲 子	〃	千葉東高校	〃	〃
廉 岡 卓	大佐和	木更津高校	〃	〃
藤 岡 正 行	銚 子	市立銚子高校	〃	〃
露 崎 久美子	大 原	大原高校	〃	〃
君 塚 光 男	勝 浦	勝浦高校	〃	〃
宇 野 和 子	船 橋	国府台女子高校	〃	〃
脇 田 重 美	習 志 野	東海大付属浦安高校	〃	1976～77
新 橋 美智子	新千葉	千葉経済高校	アメリカ	〃
五十嵐 文 子	横 芝	松尾高校	オーストラリア	〃
小 川 文 乃	東 金	九十九里高校	〃	〃
三 枝 美津男	茂 原	長生高校	〃	〃
北 村 光 江	大 原	大原高校	アメリカ	〃
梅 田 信 男	袖ヶ浦	袖ヶ浦高校	オーストラリア	〃
安 藤 克 彦	多 古	佐原高校	アメリカ	〃
郡 司 弥生子	〃	成田高校	オーストラリア	〃
若 菜 優 子	船 橋	船橋東高校	〃	〃
加 瀬 広 海	千 葉	市立千葉高校	カナダ	〃
朝 戸 陽 子	八 千 代	跡見学園中3年	ニュージーランド	〃
鎌 田 悦 和	鴨 川	長狭高校	オーストラリア	〃
青 木 和 子	柏	柏南高校	カナダ	1977～78
大 坂 智 子	千 葉 南	千葉南高校	〃	〃
大 紫 るみ子	茂 原	茂原高校	〃	〃

派遣学生氏名	スポンサー ケ ラ ブ	出 身 高 校	行 先 国	年 度
岩 崎 澄 子	松 戸 北	松戸高校	アメリカ	1977～78
林 二 三 子	茂 原	茂原高校	〃	〃
平 井 芳 恵	木 更 津	木更津東高校	〃	〃
師 岡 栄 一	八 街	八街高校	〃	〃
宇賀治 淑 美	大 多 喜	大多喜高校	〃	〃
青 山 和 美	千 葉	千葉東高校	オーストラリア	〃
滝 山 美 恵 子	東 金	成東高校	〃	〃
林 アズサ	鎌 ケ 谷	鎌ヶ谷高校	〃	〃
正 林 東 栄	茂 原 東	長生高校	〃	〃
有 賀 裕 子	新 千 葉	千葉東高校	〃	〃
鈴 木 七 重	袖 ケ 浦	木更津東高校	〃	〃
川 島 宏 之	多 古	多古高校	〃	〃
能 勢 秀 夫	佐 倉	修徳高校	〃	〃
杉 浦 江 里 花	〃	千葉女子高校	ニュージーランド	〃
伊 藤 輝 美	船 橋	船橋学園	〃	〃
吉 見 久 美	袖 ケ 浦	千葉女子高校	アメリカ	1978～79
三 枝 稔 典	茂 原	茂原高校	〃	〃
平 川 純 子	流 山	流山高校	〃	〃
高 橋 佳 代	鴨 川	長狭高校	カナダ	〃
田 中 健 二	佐 倉	佐倉高校	〃	〃
大 葉 しのぶ	柏	柏南高校	アメリカ	〃
佐々木 薫	新 千 葉	千葉東高校	〃	〃
木 内 須 美 子	茂 原	麗沢高校	〃	〃
高 橋 祥 子	鴨 川	長狭高校	オーストラリア	〃
高 橋 美 保	佐 倉	千葉女子高校	〃	〃
山 崎 典 子	船 橋	和洋女子高校	〃	〃
中 嶋 敬 幸	千 葉 南	生浜高校	〃	〃
大 谷 弓 子	船 橋 東	芝山高校	〃	〃
花 沢 典 子	横 芝	東金高校	〃	〃
田 島 秀 美	流 山	柏南東高校	ニュージーランド	〃
三 井 佳 子	八 千 代	日の出学園高校	オーストラリア	〃
伊 藤 弘 美	千 葉 西	八千代高校	〃	〃
市 東 秀 之 進	八 千 代	〃	〃	〃
茅 場 通 江	市 川	国府台女子学院	カナダ	1979～80
長谷部 幸 子	千 葉 中 央	千葉南高校	アメリカ	〃
尾 籠 浩	茂 原	日大千葉第一高校	〃	〃

派遣学生氏名	スポンサー クラブ	出身高校	行先国	年度
青山めぐみ	松戸	国府台高校	アメリカ	1979～80
小野由美子	千葉南	千葉南高校	〃	〃
岡田静美	流山	柏南高校	〃	〃
岩崎弥美	船橋	市立船橋高校	オーストラリア	〃
宮下純子	千葉	川村学園高校	〃	〃
鈴木レナ江	新千葉	国府台女子学院	〃	〃
鈴木重宏	上総	君津農林高校	〃	〃
鈴木薫	袖ヶ浦	木更津東高校	〃	〃
平野静江	鴨川	長狭高校	〃	〃
山本佐知子	東金	大原高校	〃	〃
寺田由起子	茂原	麗沢高校	ニュージーランド	〃
畔蒜文子	佐原	佐原女子高校	オーストラリア	〃
村田敬子	多古	日の出学園高校	ニュージーランド	〃
岡田典久	柏	聖学院高校	オーストラリア	〃
白木景三	柏西	柏南高校	〃	〃

日本 オーストラリア 相互訪問の記録

◆ 第1回西オーストラリア英会話研修派遣団（訪問地……パース）

地区	第357地区	年 度	1972～73年度	ガバナ ー	半 田 利 一	期 間	1972年（昭47）12月25日から 1973年（昭48）1月5日まで
氏名		学校名	学年・職業	所属クラブ		スポンサークラブ	備考
山内京子	青野京子	大原高校	家事手伝い 2年	大原高校 IC	成田 RC		
手塚善久	田中広子	〃	教師	〃	大原 RC		
桜沢直	小倉妙子	千葉商業高校	2年	千葉商業高校 IC	新千葉 RC		
井上昭	猿田茂昭	〃	教師	〃	〃		
吉田啓二	小森嘉夫	勝浦高校	商業科2年	勝浦高校 IC	勝浦 RC		
江原祐一郎	松岡哲男	安房水産高校	3年	安房水産高校 IC	館山 RC		
松岡哲男	金子忠夫	〃	教師	〃	〃		
鈴木一夫	青柳典章	大宮工業高校	〃	大宮工業高校 IC	大宮西 RC		
黒沢文男	細野大	松山高校	2年	松山高校 IC	東松山 RC		
		〃	教師	〃	〃		
		所沢商業高校	商業科2年	所沢商業高校 IC	所沢 RC		
		〃	教師	〃	〃		
		春日部工業高校	機械科2年	春日部工業高校 IC	春日部 RC		
		浦和高校	2年	浦和高校 IC	浦和北 RC		
		〃	教師	〃	〃		
			ロータリアン	川口西 IC	川口西 RC	団長 顧問	

◆ 第2回西オーストラリア英会話研修派遣団（訪問地……パース）

地区	第349地区 第357地区	年 度	1973～74年度	ガバナ ー	藤 代 善次郎 繁 田 正 一	期 間	1973年（昭48）12月24日から 1974年（昭49）1月7日まで
久保周孝	小林正幸	安房水産高校	教師	安房水産高校 IC	館山 RC		
土田邦男	海老沼宏	茂原農業高校	〃	茂原農業高校 IC	茂原 RC		
木村公治	仲鉢朱美	長狭高校	〃	長狭高校 IC	鴨川 RC		
高梨健治	飯塚静江	勝浦高校	〃	勝浦高校 IC	勝浦 RC		
未吉和久		京葉高校	〃	京葉高校 IC	市原 RC		
		木更津中央高校	生徒	木更津中央高校 IC	木更津 RC		
		安房農業高校	〃	安房農業高校 IC	館山 RC		
		勝浦高校	〃	勝浦高校 IC	勝浦 RC		
		大原高校	〃	大原高校 IC	大原 RC		

岩崎よし子	千葉商業高校	生徒	千葉商業高校 IC	成田 RC	団 長 副団長 世話人 顧問
柴崎俊雄	長狭高校	〃	長狭高校 IC	鴨川 RC	
川本茂	春日部工業高校	教師	春日部工業高校 IC	春日部 RC	
村川文彦	熊谷農業高校	〃	熊谷農業高校 IC	熊谷西 RC	
戸口修	松山高校	生徒	松山高校 IC	東松山 RC	
野口貞保	春日部工業高校	〃	春日部工業高校 IC	春日部 RC	
岡崎弘子	草加高校	〃	草加高校 IC	草加 RC	
若松一博	大宮工業高校	〃	大宮工業高校 IC	大宮西 RC	
村上正憲	浦和高校	〃	浦和高校 IC	浦和 RC	
小池幸子	熊谷農業高校	〃	熊谷農業高校 IC	熊谷西 RC	
西山みさお	大宮商業高校	〃	大宮商業高校 IC	大宮 RC	
桑原茂裕	熊谷高校	〃	(I C)		
新井毅	〃	〃	(〃)		
望月真		KK 望月紙店	(RAC)		
飯田千秋		自 営 業	(〃)		
山田泰弘		千葉銀行	(〃)		
石井幸男		千葉相互銀行	(〃)		
熊倉幸太郎		千代田商工 KK	(〃)		
本吉章子			(〃)		
横山勉		東洋大学	(〃)		
長崎修		国際商科大学	(〃)		
本郷正秀		日本大学	(〃)		
寺尾和弘		藤浪木型製作所	(〃)		
時田君子			(〃)		
内田房次	(有) 松フォトサー ビス		東松山 RC		
星 亢	星 商 K K		新千葉 RC		
佐川一元	佐川税務会計事務所		船橋西 RC	(RAC)	
佐々原茂雄	松山高校	教師	松山高校 IC	東松山 RC (IC)	
上村敏夫	上尾高校	〃	上尾高校 IC	上尾 RC	

◆ 第 3 回西オーストラリア英会話研修派遣団 (訪問地……パース)

地 区	第 349 地区 第 357 地区	年 度	1974 ~ 75 年度	ガ バ ナ ー	野 口 長太郎 山 口 大	期 間	1974年 (昭49) 12月23日から 1975年 (昭50) 1月4日まで
-----	----------------------	-----	--------------	------------------	------------------	-----	--

第 357 地区 (埼玉県) 熊谷 RC の清水達也会員を団長にして実施。

第 357 地区 (埼玉県) より団長 1 名、ローターアクト (RAC) 6 名、インターアクト (IC) 8 名、顧問教師 4 名、計 19 名。

第 349 地区 (千葉県) より副団長 1 名、ローターアクト (RAC) 6 名、インターアクト (IC) 8 名、顧問教師 3 名、計 18 名。

総計 37 名が参加した。参加者氏名は略す。

◆ 第1回日豪ローターアクト相互訪問

◎第245地区来日団員

期間 = 1976年(昭51)1月16日～2月3日

(リーダー) John Pizey (男)。 Jessie Pizey (女)。							
氏名	性別	年齢	ホストクラブ	氏名	性別	年齢	ホストクラブ
Helen Hall	女	25	船橋西	Peter Williams	男	24	千葉
Geoff Hall	男	25	〃	Margaret Gillies	女	20	木更津
Neil Kupsh	男	18	〃	Stephanie Groasdale	女	22	〃
Margaret Clark	女	26	柏	Jenet Groasdale	女	17	〃
Catherine Hope	女	26	我孫子				

◎第279地区来日団員

期間 = 1976年(昭51)1月12日～1月30日

(リーダー) Don Andrews (プレストンRC会員)							
氏名	性別	年齢	ホストクラブ	氏名	性別	年齢	ホストクラブ
Jarice W. Knuckey	女	21	館山	John L. Ryan	男	25	千葉
Merryn Y. Fowler	女	20	〃	Christine A. Lowe	女	23	〃
Hugn T. Hamilton	男	20	〃	Andrea Moffatt	女	18	船橋西

出席成績優秀クラブ

(349 地区)	順位	クラブ名	通算出席率		順位	クラブ名	通算出席率
1973～74年	第1位	木更津	100%	1976～77年	第1位	市川東	100%
	第2位	木更津東	99.73%		〃	柏西	100%
	第3位	八日市場	99.65%		〃	木更津	100%
	第4位	市川	99.59%		第4位	市川	99.66%
	第5位	小見川	99.41%		第5位	木更津東	99.64%
	第6位	館山	99.40%		第6位	八日市場	99.57%
	第7位	船橋	99.80%		第7位	館山	99.56%
	第8位	市川東	98.65%		第8位	鎌ヶ谷	99.49%
	第9位	横芝	98.16%		第9位	松戸東	99.32%
	第10位	新千葉	97.18%		第10位	千葉	98.89%
1974～75年	第1位	館山	100%	(279 地区) 1977～78年	第1位	市川東	100%
	〃	木更津	100%		〃	市川南	100%
	第3位	柏	99.77%		〃	柏西	100%
	第4位	八日市場	99.71%		〃	木更津	100%
	第5位	市川東	99.68%		第5位	松戸東	99.52%
	第6位	木更津東	99.44%		第6位	鎌ヶ谷	99.51%
	第7位	松戸東	99.19%		〃	八日市場	99.51%
	第8位	小見川	99.13%		第8位	木更津東	99.45%
	第9位	市川	99.02%		第9位	横芝	99.01%
	第10位	新千葉	98.05%		第10位	野田東	98.81%
1975～76年	第1位	木更津	100%	1978～79年	第1位	市川南	100%
	〃	柏	100%		〃	柏西	100%
	〃	八日市場	100%		〃	木更津	100%
	第4位	木更津東	99.81%		〃	茂原東	100%
	第5位	市川	99.72%		第5位	館山	99.92%
	〃	松戸東	99.72%		第6位	市川東	99.88%
	第7位	館山	99.23%		第7位	木更津東	99.79%
	第8位	市川東	98.08%		第8位	八日市場	99.74%
	第9位	我孫子	97.94%		第9位	市川	99.59%
	第10位	千葉	97.41%		第10位	新千葉	98.71%
1979～80年	第1位	市川	100%	1972～80年	第1位	木更津	100%
	〃	市川東	100%		〃	茂原東	100%
	〃	市川南	100%		第8位	館山	99.74%
	〃	柏南	100%		第9位	新千葉	99.25%
	〃	木更津	100%		第10位	茂原	99.16%

姉妹クラブ・親交（友好）クラブ締結状況一覧

第 279 地区 クラブ名	姉 妹 ク ラ ブ				親交（友好）クラブ	
	クラブ名	国（県）名	クラブ名	国（県）名	クラブ名	国（県）名
1 木更津	温 陽	韓 国				
2 市川	ガーデナー	ア メ リ カ	埔 里	中 華 民 国		
3 船橋	ト ン プ リ	タ イ				
4 館山	屏 東	中 華 民 国	ベリンハム	ア メ リ カ		
5 佐原	順 天	韓 国	潮 来	(茨城県)		
10 鴨川	柏	(千葉県)				
12 柏	鴨 川	(千葉県)				
14 大原	大 町	(長野県)				
17 勝浦	台 北 東	中 華 民 国				
18 上総	リオクラーロ	ブ ラ ジ ル				
20 千葉南	ダ ン デ ィ	ス コ ッ ト ラ ン ド			東 仁 川	韓 国
22 市原	ベタリングジャヤ	マ レ ー シ ア				
23 我孫子	豊 原	中 華 民 国	アラモアナ（ハワイ）	ア メ リ カ		
26 新千葉	鳳 山	中 華 民 国				
28 富津中央	ト ー ラ ン ス	ア メ リ カ				
31 船橋西	セ イ モ ア	オ ー ス ト ラ リ ア				
37 市川東	ガーデナー	ア メ リ カ	京 城 東	韓 国	八 戸 北	(青森県)
38 松戸東						
40 君津	ケ ソ ン	フ ィ リ ピ ン				
43 銚子東	レ ガ ス ビ	フ ィ リ ピ ン				
44 千葉西	高 雄 北	中 華 民 国				
51 野田東	ト ン プ リ	タ イ				
		国 外	23 クラブ		国 外	1 クラブ
		国 内	4 クラブ		国 内	1 クラブ
		計	27 クラブ		計	2 クラブ
23 クラブ						

地区組織図

1968-'69 年度地区組織図

地区ガバナー 広 沢 輝 雄 川 越

○印は委員長

ロータリーの友
編集委員
池松武之亮(野田)

地区
ガバナーノミニ
森田勝彦(新千葉)

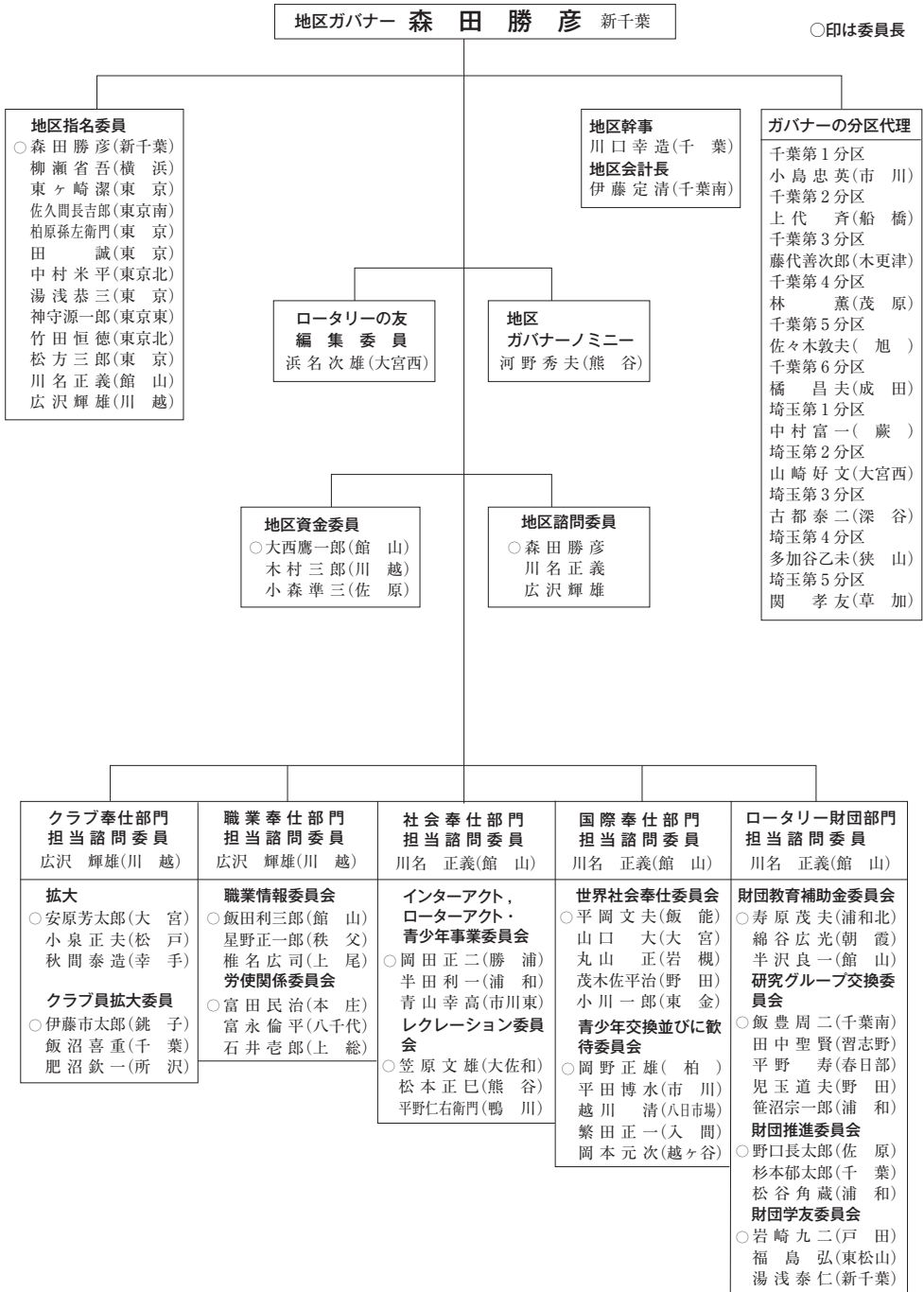
地区諮問委員
○広沢輝雄(川越)
真田達三郎(上総)
及川好之助(松戸)
吉岡重三(深谷)
岡本元次(越ヶ谷)
繁田正一(入間)

地区資金委員
○大西鷹一郎(館山)
伊藤定清(千葉南)
木村三郎(川越)

ガバナーの分区代理
千葉第1分区
岡野正雄(柏)
千葉第2分区
飯豊周二(千葉南)
千葉第3分区
飯田利三郎(館山)
千葉第4分区
岡田正二(勝浦)
千葉第5分区
伊藤市太郎(銚子)
千葉第6分区
野口長太郎(佐原)
埼玉第1分区
寿原茂夫(浦和北)
埼玉第2分区
安原芳太郎(大宮)
埼玉第3分区
富田民治(本庄)
埼玉第4分区
平岡文夫(飯能)
埼玉第5分区
岩崎九二(戸田)

クラブ奉仕部門 担当諮問委員 真田達三郎(上総)	社会奉仕部門 担当諮問委員 吉岡重三(深谷)	国際奉仕部門 担当諮問委員 岡本元次(越ヶ谷)	ロータリー財団部門 担当諮問委員
地区拡大委員 ○川名正義(館山) 藤代善次郎(木更津) 小此木忠七(熊谷) 地区レクリエーション 活動委員会 ○川名正義(館山) 笠原文雄(大佐和) 松本正己(熊谷) 平野仁右衛門(鴨川) 地区会員推薦委員会 ○広沢輝雄(川越) 星野正一郎(秩父) 小泉正夫(松戸)	地区インターアクト 諮問委員会 ○川名正義(館山) 山崎一雄(成田) 半田利一(浦和) ロータリーアクト委員会 ○川名正義(館山) 山崎一雄(成田) 半田利一(浦和) ロータリー海外奉仕 篤志家プログラム ○大塚作太(浦和北) 綿谷広光(朝霞) 福島弘(東松山) 杉本郁太郎(千葉) 田中聖賢(習志野)	国際学生交換計画委員 地区青少年交換委員 ○川名正義(館山) 平田博水(市川) 越川清(八日市場) 永瀬吉五郎(川口) 中村富一(蕨) 世界社会奉仕委員会 ○川名正義(館山) 相原茂吉(川越) 丸山正(岩槻) 茂木佐平治(野田) 川口幸造(千葉)	地区ロータリー財団 委員 ○川名正義(館山) A. 財団推進担当 諸岡謙一(成田) B. 大学院課程奨学 金担当 高橋三郎(浦和北) C. 大学課程奨学金 担当 佐藤幹(大原) D. 専門的訓練担当 山口大(大宮) E. 研究グループ交換 担当 森田勝彦(新千葉)

1969-'70 年度地区組織図



地区ガバナーの分区代理

地区ガバナーの
分区代理

地区ガバナー
河野 秀夫

地区協議会
市川 R C

地区大会
熊谷 R C

地区幹事
地区会計長 伊藤 定清

地区		委員会		員会	
クワラ	澤輝雄	職	業	社	会
<p>地区資金</p> <p>○大西 慶一郎(館山) 請岡 謙一(成田) 逸見 正夫(浦和)</p> <p>地区指名</p> <p>○河野 秀夫(熊谷) 柳瀬 省吾(横浜) 東ヶ崎 潔(東京) 佐久間長吉郎(東京) 柏原孫左衛門(東京) 田 誠(東京) 中村 米平(東京北) 湯浅 泰三(東京) 神守源一郎(東京東) 竹田 恒徳(東京北) 松方 三郎(東京) 川名 正義(館山) 広沢 輝彦(新千葉) 森田 勝彦(新千葉)</p> <p>広報</p> <p>○岡 孝友(草加)</p>	<p>◎森田 勝彦</p> <p>職業情報</p> <p>○山崎 好文(大宮西) 川口 幸造(千葉) 飯田利三郎(館山) 平井 利夫(熊谷) 沢田 治雄(所沢) 切替 尊文(市原)</p> <p>労働関係</p> <p>○多加谷乙乙(狭山) 富永 倫平(八千代) 富田 民治(本庄) 木藤 将(八街)</p> <p>青少年事業</p> <p>○林 薫(茂原) 岡田 正二(勝浦) 油木 恒久(朝霞) 辻坊左衛門(戸田)</p> <p>青少年交換並に接待</p> <p>○中村 富一(蕨) 岡野 正雄(相川) 平田 博永(市川) 佐久間長吉郎(熊谷)</p> <p>財団推進</p> <p>○上代 斉(船橋) 古部 泰二(深谷) 野口長太郎(佐原) 鈴木 或(川越)</p> <p>財団学友</p> <p>○佐々木敏夫(旭) 岩崎 久二(戸田) 越部平八郎(千葉南) 田辺 竜(浦和北)</p> <p>研究グループ交換</p> <p>○飯豊 周二(千葉南) 湯浅 泰二(新千葉) 平野 寿(春日部) 田中 聖賢(習志野)</p>	<p>◎川</p> <p>ソング・フック・ローター・フック</p> <p>○藤代 善次郎(水更津) 池田 良男(水更津) 佐野 康博(大宮西) 梅原松千代(春日部)</p> <p>◎森田 勝彦</p> <p>世界社会奉仕</p> <p>○古部 泰二(深谷) 丸島 鉄男(熊谷) 平岡 文夫(飯能) 長島 良治(行田)</p> <p>◎川名 正義</p> <p>財団教育補助金</p> <p>○橘 昌夫(成田) 寿原 茂夫(北浦和) 半沢 良一(館山) 飯塚 直次(川口)</p>	<p>◎森田 勝彦</p> <p>◎国際奉仕</p> <p>◎川名 正義</p> <p>◎財団</p> <p>◎広沢輝雄</p>	<p>◎川名 正義</p> <p>◎川名 正義(新千葉) 青山 幸高(市川東) 半田 利一(浦和)</p>	<p>◎川名 正義(新千葉) 青山 幸高(市川東) 半田 利一(浦和)</p>

註 ◎印 委員長
○印 小委員長

ガバナーの分区代理

埼玉 第1分区	半田 利一(浦和)
〃 第2分区	椎名 広司(上尾)
〃 第3分区	星野正一郎(秩父)
〃 第4分区	船貝 盛雄(東松山)
〃 第5分区	尾高 格三(川口西)
千葉 第1分区	青山 幸高(市川東)
〃 第2分区	男嗣 田雄(新千葉)
〃 第3分区	岡谷 正一(千倉)
〃 第4分区	滝本 義雄(東京)
〃 第5分区	奥田六兵衛(八日市場)
〃 第6分区	飯島 勝三(小見川)

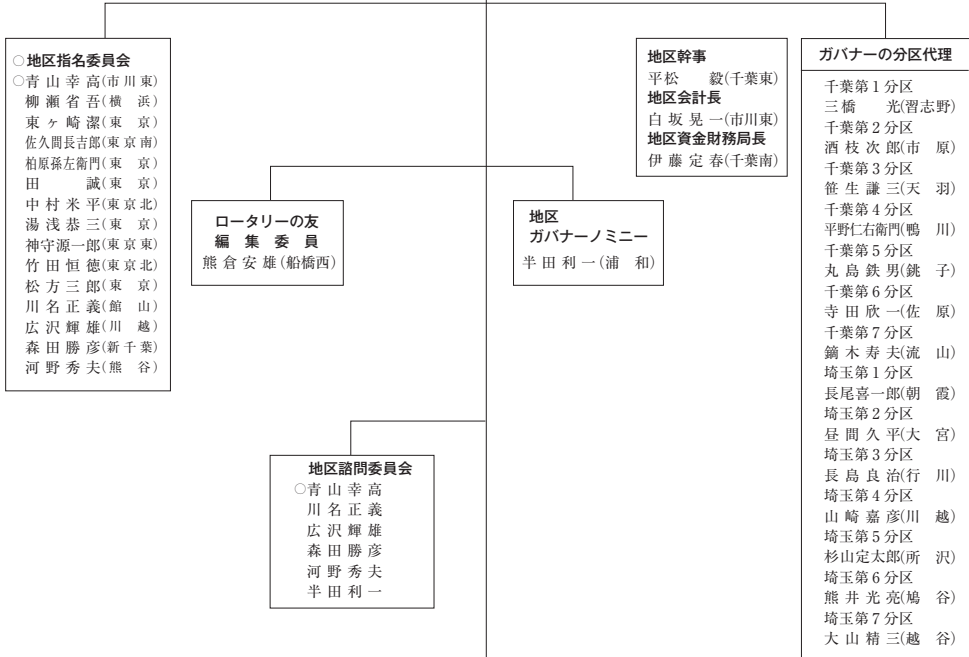
ロータリーの友編集委員

現玉 道夫(野田)
笹岡宗一郎(浦和)
井野清次郎(岩槻)
橋本安太郎(大宮)

1971-'72年度地区組織図

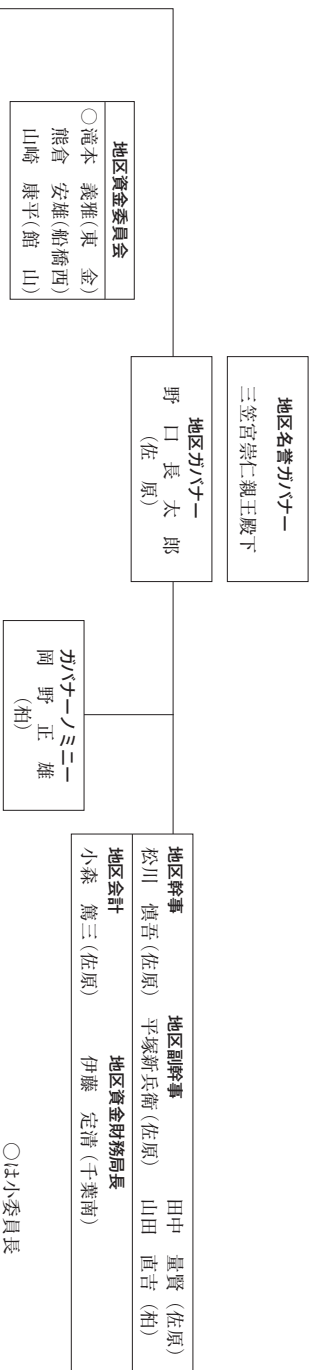
地区ガバナー 青山幸高 市川東

○印は委員長



クラブ奉仕部門 担当諮問委員 河野秀夫	職業奉仕部門 担当諮問委員 森田勝彦	社会奉仕部門 担当諮問委員 広沢輝雄	国際奉仕部門 担当諮問委員 川名正義	ロータリー財団部門 担当諮問委員 森田勝彦	米山記念奨学委員会 担当諮問委員
地区資金委員 ○逸見正夫(浦和) 吉崎寅之助(川越) 飯田利三郎(館山) 広報小委員会 ○尾高格三(川口西) 関孝友(草加) 鈴木寿平(印西) 職業分類小委員会 ○川名正義(館山) 広沢輝雄(川越) 森田勝彦(新千葉) 半田利一(浦和) 拡大 ○河野秀夫(熊谷) 湯浅泰仁(新千葉) 清水達也(熊谷)	職業奉仕小委員会 ○奥田久兵衛(八市市場) 畠山雅雄(我孫子) 吉村東一郎(大宮) 川口幸造(千葉) 沢田治雄(所沢)	インターアクト小委員会 ○関谷正一(千倉) 池田民男(木更津) 佐野康博(大宮西) ローターアクト小委員会 ○鮎貝盛雄(東松山) 関口正鏗(川越) 福岡保徳(館山) 青少年事業小委員会 ○椎名広司(上尾) 平野正男(与野) 大日方惟信(本郷東) 計画小委員会 ○男網由雄(新千葉) 牧内探(鳩ヶ谷) 鈴木憲輔(八千代)	世界社会奉仕小委員会 半田利一 世界社会奉仕小委員会 ○滝本義雅(東金) 長井恒太郎(八街) 駒沢吉則(戸田) 青少年交換小委員会 ○平田博永(市川) 白鳥利重(習志野) 長谷川茂(春日部)	財団教育補助金小委員会 ○飯島勝三(小見川) 高橋亮輔(蔵) 越部平八郎(千葉南) 財団推進小委員会 ○星野正一郎(秩父) 油木恒久(朝霞) 永野忠松(船橋) 財団学友小委員会 ○平野寿(春日部) 北野幸也(狭山) 岡正(茂原) 研究グループ交換小委員会 ○半田利一(浦和) 飯豊周二(千葉南) 渡辺道夫(浦和北)	ロータリー米山奨学事業委員会 ○川名正義(館山) 広沢輝雄(川越) 森田勝彦(新千葉) 河野秀夫(熊谷) 半田利一(浦和)

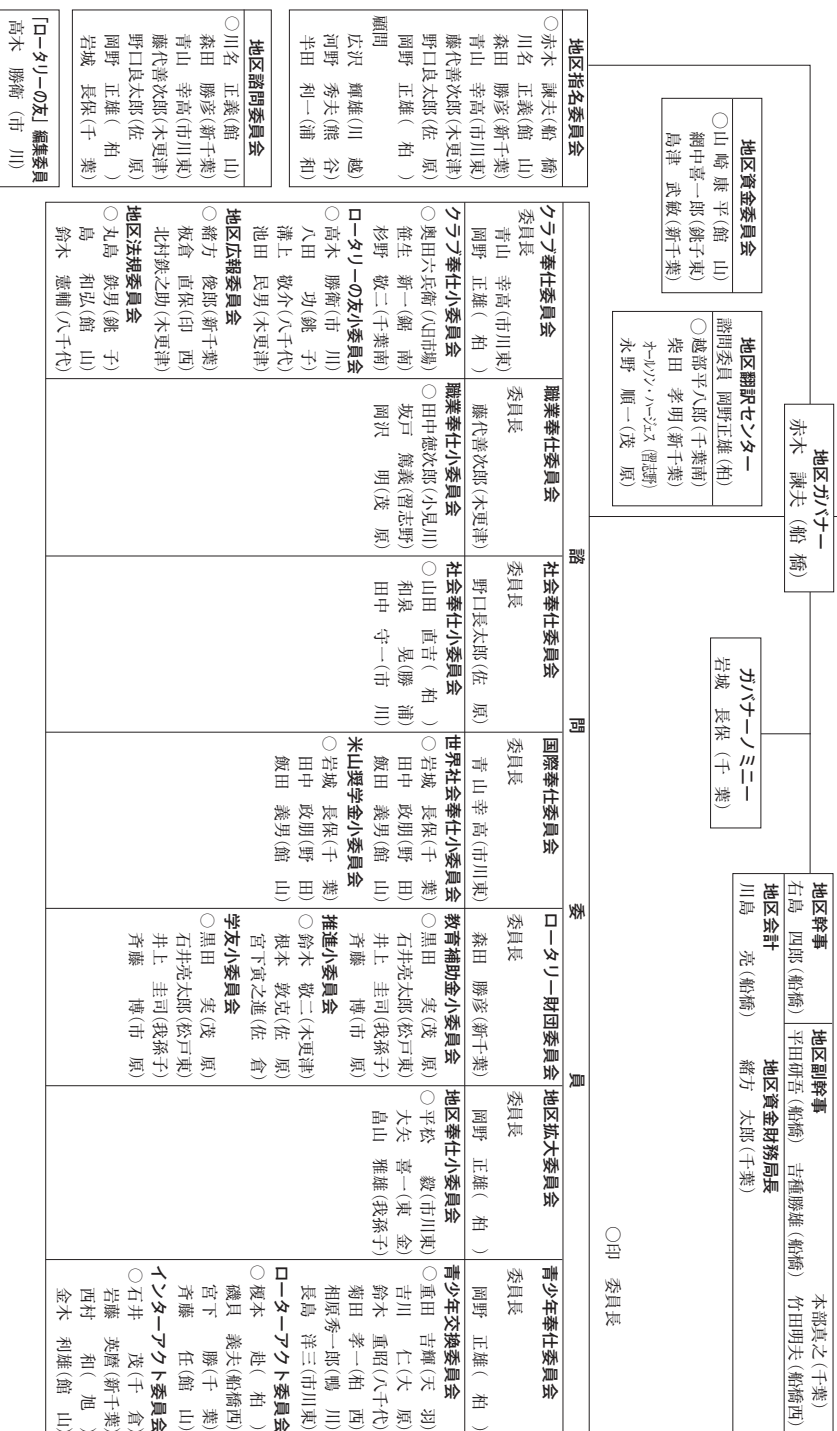
地区組織図表 国際ロータリー第349区(1974～1975)



地区指名委員会	会務奉仕委員会	職業奉仕委員会	社会奉仕委員会	国際奉仕委員会	ロータリー財団委員会	地区拡大委員会
○野口長太郎(佐原) 川名 正義(館山) 森田 勝彦(新千葉) 青山 幸高(市川東) 藤代善次郎(木更津) 河野 秀夫(熊谷) 半田 利一(浦和) 顧問 広沢 輝雄(川越)	委員長 藤代善次郎 (木更津) 会務奉仕小委員会 ○北村鉄之助(木更津) 高木 勝敏(市川) 鈴木 子平(印西) ロータリーの友小委員会 ○白鳥 利重(習志野)	委員長 森田 勝彦 (新千葉) 職業奉仕小委員会 ○山本 靖郎(八千代) 浩(千倉) 隆雄(我孫子)	委員長 川名 正義 (館山) 社会奉仕小委員会 ○笹生 新一(潮南) 八田 功(桃子) 宮下 勝(千葉) インターアクト小委員会 ○鈴木 孝輔(鴨川) 大塚 謙三(成田) 岩藤 英磨(新千葉) ローターアクト小委員会 ○星 允(新千葉) 磯貝 義夫(船橋西) 榎本 赴(柏)	委員長 青山 幸高 (市川東) 世界社会奉仕小委員会 ○岡野 正雄(柏) 中村 民男(千葉南) 飯田 義男(館山) 青少年交換小委員会 ○浅井 利男(東金) 熊倉 安雄(船橋西) 吉川 仁(大原)	委員長 藤代善次郎 (木更津) 教育補助金小委員会 ○石丸 実(市原) 井上 圭司(我孫子) 黒田 実(茂原) 推進小委員会 ○渡辺 進(成田) 網 兼次郎(船橋) 大槻 泰(勝浦)	委員長 藤代善次郎 (木更津) 地区拡大小委員会 ○川瀬 信雄(成田) 須田 義雄(千葉南) 仲 敏(木更津東) 地区広報委員会 ○川瀬 信雄(成田) 須田 義雄(千葉南) 仲 敏(木更津東)
地区諮問委員会 ○川名 正義(館山) 森田 勝彦(新千葉) 青山 幸高(市川東) 藤代善次郎(木更津) 岡野 正雄(柏)	委員長 勝敏(市川西) 高木 勝敏(市川西) 北村鉄之助(木更津) 高木 勝敏(市川西) 鈴木 子平(印西)			委員長 正雄(佐原) 地区会計 篤三(佐原)	委員長 実(市原) 井上 圭司(我孫子) 黒田 実(茂原)	委員長 信雄(成田) 義雄(千葉南) 敏(木更津東)

「ロータリーの友」編集委員
 白鳥 利重(習志野)

地区組織図表 国際ロータリー第349区(1976～1977)



○印 委員長

地区組織図表 国際ロータリー第279区(1977～1978)

地区名譽カバナー
三笠宮崇仁親王殿下

地区カバナー
岩城 長保

地区資金担当諮問委員
青山 幸高(市川東)
地区資金委員会
○網中喜一郎(銚子東)
島津 武敏(新千葉)
滝本 義雄(東金)

地区翻譯センター
諮問委員 岡野正雄(柏)
○越部平八郎(千葉南)
ネルソ・ハーヴェイ(留駐野)
溝上 敬介(八千代)
和弘(館山)

カバナー・ミニ
鈴木 憲輔
(八千代)

地区幹事	地区副幹事
本部 真之(千葉)	宮下 勝(千葉) 大木康司(千葉) 鈴木重昭(八千代)
地区会計	地区資金財務局長
滝田 格司(新千葉)	緒方 太郎(千葉)

○印 委員長

地区指名委員会	諮問 員 委				
○岩城 長保(千葉) 森田 勝彦(新千葉) 青山 幸高(市川東) 藤代善次郎(木更津) 野口良太郎(佐柏) 岡野 正雄(船橋) 赤木 謙夫(船橋) 顧問 正義(銚子東) 川名 輝雄(川越) 広沢 秀夫(熊谷) 河野 秀夫(熊谷)	クローチ奉仕委員会 委員長 赤木 謙夫(船橋)	職業奉仕委員会 委員長 藤代善次郎(木更津)	社会奉仕委員会 委員長 岡野 正雄(柏)	国際奉仕委員会 委員長 森田 勝彦(新千葉)	ロータリー一初回委員会 委員長 青山 幸高(市川東)
地区諮問委員会 川名 正義(館山) 森田 勝彦(新千葉) 青山 幸高(市川東) 藤代善次郎(木更津) 野口良太郎(佐柏) 岡野 正雄(船橋) 赤木 謙夫(船橋) 鈴木 憲輔(八千代)	クローチ奉仕委員会 ○丸島 鏡男(銚子) 緒方 俊郎(新千葉) 古川 寛(東金) ロータリー之友委員会 ○高木 勝衛(市川) 山本 良治(木更津) 水野 康己(磯芝)	職業奉仕委員会 ○坂戸 篤義(習志野) 原 明(茂原) 大野 邦雄(八街)	社会奉仕委員会 ○奥田六兵衛(市市場) 服部 貞治(船橋西) 秋元 泉(木更津東)	世界社会奉仕委員会 ○鈴木 憲輔(八千代) 飯島 勝三(小見川) 組合地区クローチ委員会 ○白鳥 利重(習志野) 大内 義平(銚子東) 飯田 義男(館山) 米山奨学金小委員会 ○鈴木 憲輔(八千代) 鈴木 孝輔(鴨川) 飯島 勝三(小見川)	教育補助金小委員会 ○黒田 実(茂原) 齊藤 博(市原) 古宮幸八郎(館山) 宇多川織太郎(我孫子) 推進小委員会 ○島村 俊(松戸) 柴井 正(我孫子) 小出善三郎(市原)
		地区拡大委員会 委員長 野口良太郎(佐柏)	地区奉仕委員会 ○畠山 雅雄(我孫子) 熊倉 安雄(船橋) 中村 嘉昭(大原)	青少年奉仕委員会 委員長 岡野 正雄(柏)	
		青少年交換小委員会 ○重田 吉輝(天羽) 柴田 孝明(新千葉) 鈴木 重昭(八千代) 菊田 孝一(柏西) 相原秀一郎(鴨川) 長島 洋三(市川東) 沢田 長治(多古)	青少年交換小委員会 ○斉藤 任(館山) 佐々木義三(八千代) 田中徳次郎(小見川) 榎本 赴(柏) 石井 茂(千倉) 利雄(館山) 石毛 実(旭) 岡野谷守利(市川東)		

地区組織図表 国際ロータリー第279区(1979～1980)

地区名譽ロータリー
三笠宮崇仁親王殿下

地区ロータリー
斉藤 任

○印 委員長

<p>地区ロータリー指名委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 斉藤 任(館山) 青山 幸高(市川東) 藤代善次郎(木更津) 岡野 正雄(柏) 赤木 謙夫(船橋) 岩城 長保(千葉) 鈴木 憲輔(八千代) 	<p>地区資金担当諮問委員</p> <ul style="list-style-type: none"> 青山 幸高(市川東) <p>地区資金委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 滝本 雅雄(東金) ○ 柳沢 政光(智志野) 山崎 儀雄(柏) 	<p>ロータリー創立75周年委員会・3H委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 川名 正義(館山) 森田 勝彦(市川東) 青山 幸高(市川東) 藤代善次郎(木更津) 	<p>地区幹事</p> <p>古宮幸八郎(館山)</p> <p>地区副幹事</p> <p>斉藤 一男(館山) 柴科 栄男(館山)</p> <p>加藤 六一(館山) 島田 克朗(館山)</p> <p>地区資金財務局長</p> <p>緒方 太郎(千葉)</p> <p>地区会計</p> <p>白石 英夫(館山)</p>
---	---	--	---

○印 分区幹事

<p>クワーツ奉仕委員会</p> <p>委員長 藤代善次郎(木更津)</p>	<p>職業奉仕委員会</p> <p>委員長 岩城 長保(千葉)</p>	<p>社会奉仕委員会</p> <p>委員長 鈴木 憲輔(八千代)</p>	<p>青少年奉仕委員会</p> <p>委員長 岡野 正雄(柏)</p>	<p>国際奉仕委員会</p> <p>委員長 森田 勝彦(千葉)</p>	<p>ロータリー一財回委員会</p> <p>委員長 青山 幸高(市川東)</p>	<p>地区拡大委員会</p> <p>委員長 赤木 謙夫(船橋)</p>
<p>クワーツ奉仕小委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 金本 利雄(館山) 川口 裕雄(新千葉) 片海 宣光(熊子東) <p>ロータリーの友小委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 奥田六兵衛(八日市市場) 重城 良造(木更津東) 斉藤 登(千葉南) <p>会員増強小委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 熊倉 安雄(船橋西) ○ 畠山 雅雄(我孫子) 岡沢 明(茂原) 	<p>職業奉仕小委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 菅井 康祐(佐八千代) 竹村熊治郎(八千代) 山口 菊治(鴨川) 	<p>社会奉仕小委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 秋元 昇(木更津東) ○ 大久保豊広(印旛本塾) 山崎 行夫(佐倉) 	<p>ロータリー・クラブ小委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 池野 秀雄(木更津) 尾崎 一元(船橋西) 吉田 至郎(千葉南) 山田 直吉(柏) <p>インター・クラブ小委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 酒枝 次郎(市川東) ○ 岡野谷守利(市川東) 大塚 恵章(千葉西) 川名 孝輔(鴨川) 鈴木 登(成田) 加藤 康之(市川東) 鈴木 L.A.小委員会 ○ 高木 勝衛(市川) ○ 新井 洋一(千葉南) 新城 洋一(千葉南) 鈴木 重昭(八千代) 佐藤 卓也(多古) 石井亮太郎(松戸東) 	<p>国際奉仕小委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 酒枝 次郎(市多) ○ 小林 良治(大多喜) 平田 博永(市川) ○ 酒枝 次郎(市川東) ○ 酒枝 秀夫(鎌子東) 土手 伊平(鎌子東) 平田 博永(市川) <p>世界社会奉仕小委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 酒枝 次郎(市川東) ○ 酒枝 秀夫(鎌子東) 土手 伊平(鎌子東) 平田 博永(市川) <p>組合せ地区クワーツ小委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 酒枝 次郎(市川東) ○ 秋元 秀夫(鎌子東) 土手 伊平(鎌子東) 平田 博永(市川) <p>青少年交換小委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 沢田 重田 吉頼(富津) ○ 吉田 孝一(柏) ○ 尾中 鏡夫(市川南) 米須 良二(市川) ○ 佐藤 卓也(多古) ○ 小林 九彦(大多喜) ○ 榎本 眞治(船橋西) 	<p>教育補助金小委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 石井 兼雄(我孫子) 山本 千秋(千葉) 斉藤 博(市川東) 坂戸 簡義(智志野) <p>推進小委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 藤崎 春夫(大原) 安間 秀雄(船橋東) 村松 春蔵(野田東) <p>学友小委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 石井 兼雄(我孫子) ○ 山本 千秋(千葉) ○ 山本 博(市川東) 坂戸 簡義(智志野) 	<p>地区拡大小委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 熊倉 安雄(船橋西) ○ 畠山 雅雄(我孫子) 岡沢 明(茂原)

「ロータリーの友」地区委員
奥田六兵衛(八日市市場)

地区諮問委員会

- 川名 正義(館山)
- 森田 勝彦(新千葉)
- 青山 幸高(市川東)
- 藤代善次郎(木更津)
- 岡野 正雄(柏)
- 赤木 謙夫(船橋)
- 岩城 長保(千葉)
- 鈴木 憲輔(八千代)
- 平田 博永(市川)

顧問

- 川名 正義(館山)
- 岩城 長保(千葉)
- 森田 勝彦(新千葉)
- 河野 秀夫(熊谷)

279 地区
クラブ名簿
1980.6.30 現在

地区内 創立 メンバー	No. 1	RC 名	千葉ロータリークラブ			RI 認 証 年 月 日	AD 1951年(昭26) 5月30日	
例 会 日	月 曜 日	例 会 場	京成ホテル(千葉市本千葉町)				TEL 0472 (22)2111	
創 立 年 月 日	AD 1951年 5月18日 (昭26)		認 証 状 伝 達 年 月 日	AD 1951年 10月29日 (昭26)		創 立 会 員 数	21 名	
創 立 時 ガバナー	手 島 知 健		スポンサー ク ラ ブ	東 京	R C	特 別 代 表	柏原 孫左衛門	
RI加盟承認番号	登録番号 7803							
インターアクト ク ラ ブ					ローターアクト ク ラ ブ	千葉 RAC		
クラブ事務所	〒280 千葉市富士見2-2-1 ニュー千葉ビル2F						TEL 0472 (25) 3201	

地区内 創立 メンバー	No. 2	RC 名	木更津ロータリークラブ			RI 認 証 年 月 日	AD 1953年(昭28) 6月22日	
例 会 日	金 曜 日	例 会 場	木更津温泉ホテル(木更津市富士見)				TEL 0438 (22)2171	
創 立 年 月 日	AD 1953年 6月12日 (昭28)		認 証 状 伝 達 年 月 日	AD 1954年4月 23日 (昭29)		創 立 会 員 数	20 名	
創 立 時 ガバナー	小 林 雅 一		スポンサー ク ラ ブ	千 葉	R C	特 別 代 表	古 莊 四郎彦	
姉妹クラブ締結	韓国・温陽 RC							
インターアクト ク ラ ブ					ローターアクト ク ラ ブ	木更津 RAC		
クラブ事務所	〒292 木更津市中央2-1-20 木更津商工会議所内						TEL 0438 (23) 3080	

地区内 創立 メンバー	No. 3	RC 名	市川ロータリークラブ			RI 認 証 年 月 日	AD 1954年(昭29) 2月16日	
例 会 日	木 曜 日	例 会 場	市川商工会議所(市川市市川)				TEL 0473 (24)0315	
創 立 年 月 日	AD 1954年 2月4日 (昭29)		認 証 状 伝 達 年 月 日	AD 1954年 11月6日 (昭29)		創 立 会 員 数	21 名	
創 立 時 ガバナー	宮 脇 富		スポンサー ク ラ ブ	千 葉	R C	特 別 代 表	古 莊 四郎彦	
姉妹クラブ締結	米国・ガーデナー RC。台湾・埔里 RC							
インターアクト ク ラ ブ	市川学園 IAC				ローターアクト ク ラ ブ			
クラブ事務所	〒272 市川市市川1-26-1 市川商工会議所						TEL 0473 (24) 0315	

地区内 創立 メンバー	No. 4	RC 名	船橋ロータリークラブ			RI 認 証 年 月 日	AD 1955年(昭30) 10月3日	
例 会 日	火 曜 日	例 会 場	ホテル三田浜楽園(船橋市湊町)				TEL 0474 (33)3751	
創 立 年 月 日	AD 1955年 9月13日 (昭30)		認 証 状 伝 達 年 月 日	AD 1956年 5月8日 (昭31)		創 立 会 員 数	20 名	
創 立 時 ガバナー	小 松 隆		スポンサー ク ラ ブ	千 葉	R C	特 別 代 表	古 莊 四郎彦	
姉妹クラブ締結	タイ国・トンブリ RC							
インターアクト ク ラ ブ					ローターアクト ク ラ ブ			
クラブ事務所	〒273 船橋市湊町2-8-40 ホテル三田浜楽園						TEL 0474 (33) 3751	

地区内立 創メンバー	No. 5	RC 名	館 山 ロータークラブ			RI 認 証 年 月 日	AD 1956年(昭31) 2月13日	
例 会 日	水 曜 日	例 会 場	鏡軒(館山市北条)				TEL 04702 (2)1141	
創 立 年 月 日	AD 1956年 1月23日 (昭31)		認 証 状 伝 達 年 月 日	AD 1956年 11月23日 (昭31)		創 立 会 員 数	20 名	
創 立 時 ガバナー	小 松 隆	スポンサー ク ラ ブ	千 葉 R C	特 別 代 表	古 莊 四郎彦			
姉妹クラブ締結	台湾・屏東RC。米国・ベリンハムRC							
インターアクト ク ラ ブ	館山水産高校 IAC			ローターアクト ク ラ ブ	館山 RAC			
クラブ事務所	〒294 館山市北条1823 千葉銀行館山支店					TEL 04702 (2) 4111		

地区内立 創メンバー	No. 6	RC 名	野 田 ロータークラブ			RI 認 証 年 月 日	AD 1956年(昭31) 6月12日	
例 会 日	月 曜 日	例 会 場	千葉銀行野田支店(野田市野田)				TEL 0471 (24)4111	
創 立 年 月 日	AD 1956年 5月29日 (昭31)		認 証 状 伝 達 年 月 日	AD 1957年 5月15日 (昭32)		創 立 会 員 数	26 名	
創 立 時 ガバナー	小 松 隆	スポンサー ク ラ ブ	千 葉 R C	特 別 代 表	古 莊 四郎彦			
姉妹クラブ締結								
インターアクト ク ラ ブ				ローターアクト ク ラ ブ				
クラブ事務所	〒278 野田市野田350 千葉銀行野田支店					TEL 0471 (24) 4111		

地区内立 創メンバー	No. 7	RC 名	松 戸 ロータークラブ			RI 認 証 年 月 日	AD 1956年(昭31) 12月17日	
例 会 日	水 曜 日	例 会 場	ホテルニューオータニ松戸(松戸市松戸)				TEL 0473 (65)7171	
創 立 年 月 日	AD 1956年 11月14日 (昭31)		認 証 状 伝 達 年 月 日	AD 1957年 4月21日 (昭32)		創 立 会 員 数	23 名	
創 立 時 ガバナー	伊 藤 文 吉	スポンサー ク ラ ブ	千 葉 RC。市川 RC	特 別 代 表	斎 藤 武			
姉妹クラブ締結								
インターアクト ク ラ ブ				ローターアクト ク ラ ブ				
クラブ事務所	〒271 松戸市松戸2301-9 板橋工務店					TEL 0473 (67) 1215		

地区内立 創メンバー	No. 8	RC 名	銚 子 ロータークラブ			RI 認 証 年 月 日	AD 1957年(昭32) 4月15日	
例 会 日	水 曜 日	例 会 場	銚子商工会議所(銚子市末広町)				TEL 0479 (24)6400	
創 立 年 月 日	AD 1957年 3月23日 (昭32)		認 証 状 伝 達 年 月 日	AD 1958年 4月25日 (昭33)		創 立 会 員 数	25 名	
創 立 時 ガバナー	伊 藤 文 吉	スポンサー ク ラ ブ	千 葉 R C	特 別 代 表	斎 藤 武			
姉妹クラブ締結								
インターアクト ク ラ ブ				ローターアクト ク ラ ブ	千葉 RAC			
クラブ事務所	〒288 銚子市末広町4-281 銚子商工会議所					TEL 0479 (22) 6400		

地区内立 創メンバー	No. 9	RC 名	茂原ロータリークラブ			RI 認 証 年 月 日	AD 1957年(昭32) 5月15日	
例 会 日	木 曜 日	例 会 場	茂原商工会館 (茂原市茂原)				TEL 04752 (2)3361	
創 立 年 月 日	AD 1957年 3月28日 (昭32)		認 証 状 伝 達 年 月 日	AD 1957年 11月 5日 (昭32)		創 立 会 員 数	23 名	
創 立 時 ガバナー	伊 藤 文 吉		スポンサー ク ラ ブ	木 更 津 R C		特 別 代 表	杉 井 卯 之 助	
姉妹クラブ締結								
インターアクト ク ラ ブ	茂原農業高校 IAC			ローターアクト ク ラ ブ				
クラブ事務所						〒297 茂原市茂原443 茂原商工会議所		
						TEL 04752 (2) 3361		

地区内立 創メンバー	No. 10	RC 名	佐原ロータリークラブ			RI 認 証 年 月 日	AD 1957年(昭32) 12月11日	
例 会 日	木 曜 日	例 会 場	佐原信用金庫本店 (佐原市佐原)				TEL 04785 (4)2121	
創 立 年 月 日	AD 1957年 11月26日 (昭32)		認 証 状 伝 達 年 月 日	AD 1958年 5月 26日 (昭33)		創 立 会 員 数	22 名	
創 立 時 ガバナー	東ヶ崎 潔		スポンサー ク ラ ブ	千葉RC。銚子RC		特 別 代 表	斎 藤 武	
姉妹クラブ締結		韓国・順天RC。潮米RC (茨城県)						
インターアクト ク ラ ブ				ローターアクト ク ラ ブ				
クラブ事務所						〒287 佐原市佐原イ525 佐原信用金庫本店		
						TEL 04785 (4) 2121		

地区内立 創メンバー	No. 11	RC 名	東金ロータリークラブ			RI 認 証 年 月 日	AD 1959年(昭34) 10月17日	
例 会 日	火 曜 日	例 会 場	東金商工会議所 (東金市東金)				TEL 04755 (2)1101	
創 立 年 月 日	AD 1959年 9月15日 (昭34)		認 証 状 伝 達 年 月 日	AD 1960年 3月 26日 (昭35)		創 立 会 員 数	28 名	
創 立 時 ガバナー	柏原 孫左衛門		スポンサー ク ラ ブ	茂 原 R C		特 別 代 表	立 石 徳 三 郎	
姉妹クラブ締結								
インターアクト ク ラ ブ	東金商業高校 IAC			ローターアクト ク ラ ブ				
クラブ事務所						〒283 東金市東金639 東金商工会議所		
						TEL 04755 (2) 1101		

地区内立 創メンバー	No. 12	RC 名	鴨川ロータリークラブ			RI 認 証 年 月 日	AD 1961年(昭36) 4月24日	
例 会 日	火 曜 日	例 会 場	鴨川ユニバースホテル (鴨川市前原)				TEL 04709 (2)1361	
創 立 年 月 日	AD 1961年 2月 2日 (昭36)		認 証 状 伝 達 年 月 日	AD 1961年 12月 12日 (昭36)		創 立 会 員 数	20 名	
創 立 時 ガバナー	田 誠		スポンサー ク ラ ブ	館 山 R C		特 別 代 表	川 名 正 義	
姉妹クラブ締結		柏RC (千葉県)						
インターアクト ク ラ ブ	長狭高校 IAC			ローターアクト ク ラ ブ				
クラブ事務所						〒296 鴨川市横清941-4 千葉銀行鴨川支店		
						TEL 04709 (2) 1211		

地区内 創立 メンバー	No. 13	RC 名	成 田 ロータリークラブ			RI 認 証 年 月 日	AD 1961年(昭36) 5 月 8 日	
例 会 日	金 曜 日	例 会 場	シャンボール米屋 (成田市上町)				TEL 0476 (22)3336	
創 立 年 月 日	AD 1961年 3月16日 (昭36)		認 証 状 伝 達 年 月 日	AD 1962年 4月 27日 (昭37)		創 立 会 員 数	21 名	
創 立 時 ガバナー	田 誠		スポンサー ク ラ ブ	千 葉	R C	特 別 代 表	杉 本 郁 太 郎	
姉妹クラブ締結								
インターアクト ク ラ ブ	成田高校 IAC			ローターアクト ク ラ ブ				
クラブ事務所						〒286 成田市成田1 成田山第2信徒会館3F		
						TEL 0476 (24) 0474		

地区内 創立 メンバー	No. 14	RC 名	柏 ロータリークラブ			RI 認 証 年 月 日	AD 1961年(昭36) 5 月 27 日	
例 会 日	水 曜 日	例 会 場	柏そごう本館 (柏市柏)				TEL 0471 (63)2111	
創 立 年 月 日	AD 1961年 3月18日 (昭36)		認 証 状 伝 達 年 月 日	AD 1962年 4月 3日 (昭37)		創 立 会 員 数	22 名	
創 立 時 ガバナー	田 誠		スポンサー ク ラ ブ	松 戸	R C	特 別 代 表	染 谷 茂 三 郎	
姉妹クラブ締結		鴨川 RC (千葉県)						
インターアクト ク ラ ブ				ローターアクト ク ラ ブ		柏 RAC		
クラブ事務所						〒277 柏市柏 2-10-19 伊藤商事株式会社内		
						TEL 0471 (63) 5102		

地区内 創立 メンバー	No. 15	RC 名	旭 ロータリークラブ			RI 認 証 年 月 日	AD 1961年(昭36) 6 月 28 日	
例 会 日	金 曜 日	例 会 場	旭市民会館 (旭市口)				TEL 04796 (2)1348	
創 立 年 月 日	AD 1961年 5月19日 (昭36)		認 証 状 伝 達 年 月 日	AD 1962年 5月 27日 (昭37)		創 立 会 員 数	25 名	
創 立 時 ガバナー	田 誠		スポンサー ク ラ ブ	銚 子	R C	特 別 代 表	秋 山 寅 雄	
姉妹クラブ締結								
インターアクト ク ラ ブ	旭農業高校 IAC			ローターアクト ク ラ ブ				
クラブ事務所						〒289-25 旭市口 729 旭市民会館内		
						TEL 04796 (2) 1348		

地区内 創立 メンバー	No. 16	RC 名	八日市場 ロータリークラブ			RI 認 証 年 月 日	AD 1962年(昭37) 3 月 23 日	
例 会 日	土 曜 日	例 会 場	千葉興業銀行八日市場支店 (八日市場市イ)				TEL 04797 (2)1561	
創 立 年 月 日	AD 1962年 1月13日 (昭37)		認 証 状 伝 達 年 月 日	AD 1962年 10月 12日 (昭37)		創 立 会 員 数	21 名	
創 立 時 ガバナー	中 村 米 平		スポンサー ク ラ ブ	東 金	R C	特 別 代 表	能 瀬 剛	
姉妹クラブ締結								
インターアクト ク ラ ブ				ローターアクト ク ラ ブ				
クラブ事務所						〒289-21 八日市場市イ 2470 千葉銀行八日市場支店		
						TEL 04797 (2) 1241		

地区内 創立 メンバー	No. 17	RC 名	大 原 ロータリークラブ			RI 認 証 年 月 日	AD 1962年(昭37) 10月22日	
例 会 日	土 曜 日	例 会 場	千葉銀行大原支店 (夷隅郡大原町)				TEL 04706 (2)1211	
創 立 年 月 日	AD 1962年 9月26日 (昭37)		認 証 状 伝 達 年 月 日	AD 1963年 5月22日 (昭38)		創 立 会 員 数	28 名	
創 立 時 ガバナー	湯 浅 恭 三	スポンサー ク ラ ブ	茂 原 R C	特 別 代 表	内 田 収 三			
姉妹クラブ締結	大町(長野県) RC							
インターアクト ク ラ ブ	大原高校 IAC			ローターアクト ク ラ ブ				
クラブ事務所	〒298 夷隅郡大原町 866 千葉銀行大原支店					TEL ()		

地区内 創立 メンバー	No. 18	RC 名	勝 浦 ロータリークラブ			RI 認 証 年 月 日	AD 1963年(昭38) 5月13日	
例 会 日	金 曜 日	例 会 場	千葉相互銀行勝浦支店 (勝浦市勝浦)				TEL 04707 (3)1230	
創 立 年 月 日	AD 1963年 4月19日 (昭38)		認 証 状 伝 達 年 月 日	AD 1964年 3月27日 (昭39)		創 立 会 員 数	28 名	
創 立 時 ガバナー	湯 浅 恭 三	スポンサー ク ラ ブ	館 山 RC。鴨 川 RC	特 別 代 表	川 名 正 義			
姉妹クラブ締結	台湾・台北東 RC							
インターアクト ク ラ ブ	夷隅高校 IAC。勝浦高校 IAC			ローターアクト ク ラ ブ				
クラブ事務所	〒299-52 勝浦市勝浦 173 千葉相互銀行勝浦支店					TEL 04707 (3) 1230		

地区内 創立 メンバー	No. 19	RC 名	流 山 ロータリークラブ			RI 認 証 年 月 日	AD 1963年(昭38) 5月27日	
例 会 日	水 曜 日	例 会 場	千葉銀行流山支店 (流山市流山)				TEL 0471 (58)2511	
創 立 年 月 日	AD 1963年 5月10日 (昭38)		認 証 状 伝 達 年 月 日	AD 1964年 4月12日 (昭39)		創 立 会 員 数	25 名	
創 立 時 ガバナー	湯 浅 恭 三	スポンサー ク ラ ブ	野 田 R C	特 別 代 表	池 松 武 之 亮			
姉妹クラブ締結								
インターアクト ク ラ ブ				ローターアクト ク ラ ブ				
クラブ事務所	〒270-01 流山市流山 2-316-1 千葉銀行流山支店					TEL 0471 (58) 2511		

地区内 創立 メンバー	No. 20	RC 名	上 総 ロータリークラブ			RI 認 証 年 月 日	AD 1963年(昭38) 6月24日	
例 会 日	木 曜 日	例 会 場	山徳旅館 (君津市久留里市場)				TEL 043927 ()2003	
創 立 年 月 日	AD 1963年 6月10日 (昭38)		認 証 状 伝 達 年 月 日	AD 1964年 5月10日 (昭39)		創 立 会 員 数	26 名	
創 立 時 ガバナー	湯 浅 恭 三	スポンサー ク ラ ブ	木 更 津 R C	特 別 代 表	杉 井 卯 之 助			
姉妹クラブ締結	ブラジル・リオクラール RC							
インターアクト ク ラ ブ				ローターアクト ク ラ ブ				
クラブ事務所	〒294-04 君津市久留里市場 182 千葉銀行久留里支店					TEL 043927 () 2511		

地区内 創立 メンバー	No. 21	RC 名	習志野 ロータリークラブ			RI 認 証 年 月 日	AD 1963年(昭38) 11月 29日		
例 会 日	水 曜 日	例 会 場	千葉銀行津田沼支店 (習志野市津田沼)				TEL 0474 (76)2112		
創 立 年 月 日	AD 1963年 10月12日 (昭38)		認 証 状 伝 達 年 月 日	AD 1964年 5月 20日 (昭39)		創 立 会 員 数	25 名		
創 立 時 ガバナー	永 沼 政 久		スポンサー ク ラ ブ	船 橋 R C		特 別 代 表	右 島 四 郎		
姉妹クラブ締結									
インターアクト ク ラ ブ			ローターアクト ク ラ ブ						
クラブ事務所							〒 275 習志野市津田沼 4-1253 千葉銀行津田沼支店		TEL 0474 (76) 2112

地区内 創立 メンバー	No. 22	RC 名	千葉南 ロータリークラブ			RI 認 証 年 月 日	AD 1964年(昭39) 3月 2日		
例 会 日	木 曜 日	例 会 場	千葉ニューパークホテル (千葉市千葉港)				TEL 0472 (42)1111		
創 立 年 月 日	AD 1964年 1月10日 (昭39)		認 証 状 伝 達 年 月 日	AD 1964年 12月 5日 (昭39)		創 立 会 員 数	27 名		
創 立 時 ガバナー	永 沼 政 久		スポンサー ク ラ ブ	千 葉 R C		特 別 代 表	川 口 幸 造		
姉妹クラブ締結 スコットランド・ダンディ RC (姉妹)。韓国・東仁川 RC (親交)									
インターアクト ク ラ ブ			ローターアクト ク ラ ブ			千葉 RAC			
クラブ事務所							〒 280 千葉市富士 2-2-1 ニュー千葉ビル 2F		TEL 0472 (25) 3201

地区内 創立 メンバー	No. 23	RC 名	市 原 ロータリークラブ			RI 認 証 年 月 日	AD 1964年(昭39) 6月 22日		
例 会 日	水 曜 日	例 会 場	ロイヤルホテル (市原市姉ヶ崎)				TEL 0436 (61)2245		
創 立 年 月 日	AD 1964年 6月 13日 (昭39)		認 証 状 伝 達 年 月 日	AD 1965年 3月 27日 (昭40)		創 立 会 員 数	31 名		
創 立 時 ガバナー	永 沼 政 久		スポンサー ク ラ ブ	千 葉 R C		特 別 代 表	本 部 真 之		
姉妹クラブ締結 マレーシア・ベタリングジャヤ RC									
インターアクト ク ラ ブ			ローターアクト ク ラ ブ			京業高校 IAC			
クラブ事務所							〒 299-01 市原市姉ヶ崎 584 ロイヤルホテル内		TEL 0436 (61) 2245

地区内 創立 メンバー	No. 24	RC 名	大 多 喜 ロータリークラブ			RI 認 証 年 月 日	AD 1965年(昭40) 3月 10日		
例 会 日	火 曜 日	例 会 場	千葉銀行大多喜支店 (夷隅郡大多喜町)				TEL 04708 (2)3111		
創 立 年 月 日	AD 1965年 2月 4日 (昭40)		認 証 状 伝 達 年 月 日	AD 1965年 11月 3日 (昭40)		創 立 会 員 数	25 名		
創 立 時 ガバナー	神 守 源 一 郎		スポンサー ク ラ ブ	大 原 R C		特 別 代 表	市 原 正 文		
姉妹クラブ締結									
インターアクト ク ラ ブ			ローターアクト ク ラ ブ						
クラブ事務所							〒 298-02 夷隅郡大多喜町新丁 91 千葉銀行大多喜支店		TEL ()

地区内立 創メンバー	No. 25	RC C名	富 津 ロータリークラブ			RI 認 証 年 月 日	AD 1965年(昭40) 5月22日
例 会 日	火 曜 日	例 会 場	万歳館(富津市湊)			TEL 04396 (7)0551	
創 立 年 月 日	AD 1965年 4月15日 (昭40)		認 証 状 伝 達 年 月 日	AD 1965年 11月30日 (昭40)		創 立 会 員 数	27 名
創 立 時 ガバナー	神 守 源一郎		スポンサー ク ラ ブ	木 更 津 R C	特 別 代 表	杉 井 卯之助	
姉妹クラブ締結							
インターアクト ク ラ ブ				ローターアクト ク ラ ブ			
クラブ事務所						〒299-16 富津市湊223 天羽商工会議所	
						TEL 04396 (7) 0625	

※1977年(昭52)4月、天羽RCからクラブ名変更。

地区内立 創メンバー	No. 26	RC C名	我 孫 子 ロータリークラブ			RI 認 証 年 月 日	AD 1966年(昭41) 1月8日
例 会 日	金 曜 日	例 会 場	千葉銀行我孫子支店(我孫子市緑)			TEL 0471 (82)3111	
創 立 年 月 日	AD 1965年 12月12日 (昭40)		認 証 状 伝 達 年 月 日	AD 1966年 11月13日 (昭41)		創 立 会 員 数	24 名
創 立 時 ガバナー	竹 田 恒 徳		スポンサー ク ラ ブ	柏 R C	特 別 代 表	岡 野 正 雄	
姉妹クラブ締結 台湾・豊原RC。ハワイ・アラモアナRC							
インターアクト ク ラ ブ				ローターアクト ク ラ ブ			
クラブ事務所						〒270-11 我孫子市緑1-5-3 千葉銀行我孫子支店	
						TEL 0471 (82) 3111	

地区内立 創メンバー	No. 27	RC C名	千 倉 ロータリークラブ			RI 認 証 年 月 日	AD 1966年(昭41) 1月15日
例 会 日	金 曜 日	例 会 場	魚拓荘鈴木屋(安房郡千倉町)			TEL 04704 (4)2811	
創 立 年 月 日	AD 1965年 12月1日 (昭40)		認 証 状 伝 達 年 月 日	AD 1966年 11月6日 (昭41)		創 立 会 員 数	35 名
創 立 時 ガバナー	竹 田 恒 徳		スポンサー ク ラ ブ	館 山 R C	特 別 代 表	川 名 正 義	
姉妹クラブ締結							
インターアクト ク ラ ブ				ローターアクト ク ラ ブ			
クラブ事務所						〒295 安房郡千倉町2798 千葉銀行千倉支店	
						TEL 04704 (4) 1511	

地区内立 創メンバー	No. 28	RC C名	新 千 葉 ロータリークラブ			RI 認 証 年 月 日	AD 1966年(昭41) 6月6日
例 会 日	水 曜 日	例 会 場	コックドール(千葉市富士見)			TEL 0472 (24)4884	
創 立 年 月 日	AD 1966年 4月20日 (昭41)		認 証 状 伝 達 年 月 日	AD 1966年 10月30日 (昭41)		創 立 会 員 数	30 名
創 立 時 ガバナー	竹 田 恒 徳		スポンサー ク ラ ブ	千 葉 R C	特 別 代 表	伊 藤 恒太郎	
姉妹クラブ締結 台湾・鳳山RC							
インターアクト ク ラ ブ				ローターアクト ク ラ ブ			
クラブ事務所						〒280 千葉市富士見2-2-1 ニュー千葉ビル	
						TEL 0472 (25) 3201	

地区内 創立 メンバー	No. 29	RC 名	八 街 ロータリークラブ			RI 認 証 年 月 日	AD 1966年(昭41) 6月14日	
例 会 日	水 曜 日	例 会 場	角屋ホテル(印旛郡八街町)				TEL 0434 (44)3311	
創 立 年 月 日	AD 1966年 5月22日 (昭41)		認 証 状 伝 達 年 月 日	AD 1967年 4月23日 (昭42)		創 立 会 員 数	28 名	
創 立 時 ガバナー	竹 田 恒 徳		スポンサー ク ラ ブ	成 田 R C		特 別 代 表	山 崎 一 雄	
姉妹クラブ締結								
インターアクト ク ラ ブ					ローターアクト ク ラ ブ			
クラブ事務所						〒289-11 印旛郡八街町ホ224 八街商工会議所		
						TEL 0434 (43) 3201		

地区内 創立 メンバー	No. 30	RC 名	横 芝 ロータリークラブ			RI 認 証 年 月 日	AD 1966年(昭41) 11月21日	
例 会 日	月 曜 日	例 会 場	千葉銀行横芝支店(山武郡横芝町)				TEL 04798 (2)1221	
創 立 年 月 日	AD 1966年 10月6日 (昭41)		認 証 状 伝 達 年 月 日	AD 1967年 10月8日 (昭42)		創 立 会 員 数	26 名	
創 立 時 ガバナー	松 方 三 郎		スポンサー ク ラ ブ	八 日 市 場 R C		特 別 代 表	福 島 辰 三 郎	
姉妹クラブ締結								
インターアクト ク ラ ブ					ローターアクト ク ラ ブ			
クラブ事務所						〒289-17 山武郡横芝町横芝1339 千葉銀行横芝支店		
						TEL 04798 (2) 1221		

地区内 創立 メンバー	No. 31	RC 名	富津中央 ロータリークラブ			RI 認 証 年 月 日	AD 1966年(昭41) 12月12日	
例 会 日	土 曜 日	例 会 場	さざ波館(安房郡千倉町)				TEL 04396 (5)3373	
創 立 年 月 日	AD 1966年 10月13日 (昭41)		認 証 状 伝 達 年 月 日	AD 1967年 11月5日 (昭42)		創 立 会 員 数	33 名	
創 立 時 ガバナー	松 方 三 郎		スポンサー ク ラ ブ	木 更 津 R C		特 別 代 表	北 見 日 吉	
姉妹クラブ締結		米国・トールランス RC						
インターアクト ク ラ ブ					ローターアクト ク ラ ブ			
クラブ事務所						〒299-14 富津市小久保2868 さざ波館		
						TEL 04396 (5) 3373		

※1976年(昭51)10月、大佐和RCからクラブ名変更。

地区内 創立 メンバー	No. 32	RC 名	鋸 南 ロータリークラブ			RI 認 証 年 月 日	AD 1967年(昭42) 1月22日	
例 会 日	木 曜 日	例 会 場	千葉銀行鋸南支店(安房郡鋸南町)				TEL 04705 (5)1611	
創 立 年 月 日	AD 1966年 12月21日 (昭41)		認 証 状 伝 達 年 月 日	AD 1968年 4月28日 (昭43)		創 立 会 員 数	25 名	
創 立 時 ガバナー	松 方 三 郎		スポンサー ク ラ ブ	館 山 R C		特 別 代 表	大 西 鷹 一 郎	
姉妹クラブ締結								
インターアクト ク ラ ブ					ローターアクト ク ラ ブ			
クラブ事務所						〒299-21 安房郡鋸南町竜島847-1 千葉銀行鋸南支店		
						TEL 04705 (5) 1611		

地区内 創立 メンバー	No. 33	RC 名	印 西 ロータリークラブ			RI 認 証 年 月 日	AD 1967年(昭42) 4月26日	
例 会 日	土 曜 日	例 会 場	千葉銀行印西支店 (印旛郡印西町)				TEL 0476 (42)2511	
創 立 年 月 日	AD 1967年 3月11日 (昭42)		認 証 状 伝 達 年 月 日	AD 1968年 3月24日 (昭43)		創 立 会 員 数	28 名	
創 立 時 ガバナー	松 方 三 郎		スポンサー ク ラ ブ	成 田 R C		特 別 代 表	木 下 敏 治	
姉妹クラブ締結								
インターアクト ク ラ ブ			ローターアクト ク ラ ブ			印西 RAC		
クラブ事務所							〒 270-13 印旛郡印西町大森 3877 千葉銀行印西支店	
							TEL 04764 (42) 2511	

地区内 創立 メンバー	No. 34	RC 名	多 古 ロータリークラブ			RI 認 証 年 月 日	AD 1967年(昭42) 6月6日	
例 会 日	火 曜 日	例 会 場	佐原信用金庫多古支店 (香取郡多古町)				TEL 047976 ()2411	
創 立 年 月 日	AD 1967年 5月16日 (昭42)		認 証 状 伝 達 年 月 日	AD 1968年 5月5日 (昭43)		創 立 会 員 数	26 名	
創 立 時 ガバナー	松 方 三 郎		スポンサー ク ラ ブ	佐 原 R C		特 別 代 表	野 口 長 太 郎	
姉妹クラブ締結								
インターアクト ク ラ ブ			ローターアクト ク ラ ブ					
クラブ事務所							〒 289-22 香取郡多古町多古 2752 佐原信用金庫多古支店	
							TEL 047976 () 2411	

地区内 創立 メンバー	No. 35	RC 名	八 千 代 ロータリークラブ			RI 認 証 年 月 日	AD 1967年(昭42) 6月19日	
例 会 日	金 曜 日	例 会 場	千葉興業銀行八千代支店 (八千代市八千代台北)				TEL 0474 (84)2181	
創 立 年 月 日	AD 1967年 5月12日 (昭42)		認 証 状 伝 達 年 月 日	AD 1968年 4月21日 (昭43)		創 立 会 員 数	35 名	
創 立 時 ガバナー	松 方 三 郎		スポンサー ク ラ ブ	習 志 野 R C		特 別 代 表	山 中 聖 賢	
姉妹クラブ締結								
インターアクト ク ラ ブ			ローターアクト ク ラ ブ					
クラブ事務所							〒 276 八千代市八千代台北 1-11-1 千葉興業銀行八千代支店	
							TEL 0474 (84) 2181	

地区内 創立 メンバー	No. 36	RC 名	小 見 川 ロータリークラブ			RI 認 証 年 月 日	AD 1968年(昭43) 2月16日	
例 会 日	水 曜 日	例 会 場	千葉銀行小見川支店 (香取房郡小見川町)				TEL 04788 (2)2131	
創 立 年 月 日	AD 1967年 12月27日 (昭42)		認 証 状 伝 達 年 月 日	AD 1969年 4月20日 (昭44)		創 立 会 員 数	28 名	
創 立 時 ガバナー	川 名 正 義		スポンサー ク ラ ブ	佐 原 R C		特 別 代 表	小 森 準 三	
姉妹クラブ締結								
インターアクト ク ラ ブ			ローターアクト ク ラ ブ					
クラブ事務所							〒 289-03 香取房郡小見川町 268-1 千葉銀行小見川支店	
							TEL 04788 (2) 2131	

地区内立 創メンバー	No. 37	RC 名	船橋西ロータリークラブ			RI認 年証 月日	AD 1968年(昭43) 4月25日	
例会日	金曜日	例会場	ホテル三田浜楽園(船橋市湊町)				TEL 0474 (33)3751	
創立 年月日	AD 1968年 3月 1日 (昭43)		認証状 伝達年月日	AD 1968年 10月 27日 (昭43)		創立 会員数	29名	
創立時 ガバナー	川名正義	スポンサー クラブ	船橋	RC	特別 代表	右島四郎		
姉妹クラブ締結	オーストラリア・セイモア RC							
インターアクト クラブ				ローターアクト クラブ	船橋西 RAC			
クラブ事務所	〒273 船橋市湊町 2-8-40 ホテル三田浜楽園					TEL 0474 (33) 3751		

地区内立 創メンバー	No. 38	RC 名	市川東ロータリークラブ			RI認 年証 月日	AD 1968年(昭43) 6月8日	
例会日	火曜日	例会場	協和銀行市川支店(市川市八幡)				TEL 0473 (34)2139	
創立 年月日	AD 1968年 5月 28日 (昭43)		認証状 伝達年月日	AD 1968年 11月 17日 (昭43)		創立 会員数	30名	
創立時 ガバナー	川名正義	スポンサー クラブ	市川	RC	特別 代表	平田博永		
姉妹クラブ締結	米国・ガーデナー RC。韓国・京城東 RC							
インターアクト クラブ	市川学園 IAC			ローターアクト クラブ				
クラブ事務所	〒272 市川市八幡 2-6-13 協和銀行市川支店					TEL 0473 (34) 2139		

地区内立 創メンバー	No. 39	RC 名	木更津東ロータリークラブ			RI認 年証 月日	AD 1968年(昭43) 7月27日	
例会日	水曜日	例会場	ホテル八宝苑(木更津市太田)				TEL 0438 (23)0211	
創立 年月日	AD 1968年 6月 26日 (昭43)		認証状 伝達年月日	AD 1969年 4月 27日 (昭44)		創立 会員数	33名	
創立時 ガバナー	広沢輝雄	スポンサー クラブ	木更津	RC	特別 代表	藤代善次郎		
姉妹クラブ締結								
インターアクト クラブ	木更津中央高校 IAC			ローターアクト クラブ				
クラブ事務所	〒292 木更津市大和 2-3-1 木更津信用金庫本店					TEL 0438 (25) 0716		

地区内立 創メンバー	No. 40	RC 名	松戸東ロータリークラブ			RI認 年証 月日	AD 1970年(昭45) 9月1日	
例会日	金曜日	例会場	ホテルニューオータニ松戸(松戸市松戸)				TEL 0473 (65)7171	
創立 年月日	AD 1970年 6月 26日 (昭45)		認証状 伝達年月日	AD 1971年 4月 3日 (昭46)		創立 会員数	25名	
創立時 ガバナー	河野秀夫	スポンサー クラブ	松戸	RC	特別 代表	島村俊		
姉妹クラブ締結	八戸北 RC (青森県)							
インターアクト クラブ				ローターアクト クラブ	松戸東 RAC			
クラブ事務所	〒270 松戸市常盤平 5-21 千葉相互銀行常盤平支店内					TEL 0473 (87) 4116		

地区内立 創メンバー	No. 41	RC 名	佐 倉 ロータリークラブ			RI 認 証 年 月 日	AD 1971年(昭46) 10月14日	
例 会 日	木 曜 日	例 会 場	千葉銀行佐倉支店 (佐倉市新町)				TEL 0434 (84)2131	
創 立 年 月 日	AD 1971年 10月2日 (昭46)		認 証 状 伝 達 年 月 日	AD 1972年 5月6日 (昭47)		創 立 会 員 数	29 名	
創 立 時 ガバナー	青 山 幸 高	スポンサー ク ラ ブ	八 千 代	R C	特 別 代 表	山 本 靖 郎		
姉妹クラブ締結								
インターアクト ク ラ ブ			ローターアクト ク ラ ブ					
クラブ事務所						〒285 佐倉市新町17 千葉銀行佐倉支店 TEL 0434 (84) 2131		

地区内立 創メンバー	No. 42	RC 名	印 旛 本 埜 ロータリークラブ			RI 認 証 年 月 日	AD 1972年(昭47) 2月21日	
例 会 日	火 曜 日	例 会 場	本埜村公民館 (印旛郡本埜村)				TEL 04769 (7)0130	
創 立 年 月 日	AD 1972年 2月10日 (昭47)		認 証 状 伝 達 年 月 日	AD 1972年 10月23日 (昭47)		創 立 会 員 数	25 名	
創 立 時 ガバナー	青 山 幸 高	スポンサー ク ラ ブ	印 西	R C	特 別 代 表	鈴 木 子 平		
姉妹クラブ締結								
インターアクト ク ラ ブ			ローターアクト ク ラ ブ					
クラブ事務所						〒270-13 印旛郡本埜村中根1964 本埜タクシー内 TEL 04769 (7) 0025		

※1979年(昭54)7月、本埜RCからクラブ名変更。

地区内立 創メンバー	No. 43	RC 名	君 津 ロータリークラブ			RI 認 証 年 月 日	AD 1972年(昭47) 5月15日	
例 会 日	月 曜 日	例 会 場	君津開発君津クラブ (君津市坂田)				TEL 04395 (2)0191	
創 立 年 月 日	AD 1972年 3月9日 (昭47)		認 証 状 伝 達 年 月 日	AD 1972年 11月9日 (昭47)		創 立 会 員 数	25 名	
創 立 時 ガバナー	青 山 幸 高	スポンサー ク ラ ブ	木 更 津	R C	特 別 代 表	鈴 木 敬 二		
姉妹クラブ締結 フィリピン・ケソンRC								
インターアクト ク ラ ブ			ローターアクト ク ラ ブ					
クラブ事務所						〒299-11 君津市坂田1-3-403 千総興業君津ビル4F TEL 04395 (2) 8882		

地区内立 創メンバー	No. 44	RC 名	銚 子 東 ロータリークラブ			RI 認 証 年 月 日	AD 1972年(昭47) 5月23日	
例 会 日	火 曜 日	例 会 場	銚子商工会議所 (銚子市末広町)				TEL 0479 (22)6400	
創 立 年 月 日	AD 1972年 5月16日 (昭47)		認 証 状 伝 達 年 月 日	AD 1973年 4月15日 (昭48)		創 立 会 員 数	33 名	
創 立 時 ガバナー	青 山 幸 高	スポンサー ク ラ ブ	銚 子	R C	特 別 代 表	根 本 和 三 郎		
姉妹クラブ締結 フィリピン・レガスビRC								
インターアクト ク ラ ブ			ローターアクト ク ラ ブ					
クラブ事務所						〒288 銚子市末広町4-281 銚子商工会議所内 TEL 0479 (22) 6400		

地区内 創立 メンバー	No. 45	R C 名	鎌ヶ谷 ロータリークラブ			RI 認 証 年 月 日	AD 1973年(昭48) 3月20日	
例 会 日	木 曜 日	例 会 場	第一勧業銀行鎌ヶ谷支店(鎌ヶ谷市道野辺)				TEL 0474 (42)1121	
創 立 年 月 日	AD 1973年 1月23日 (昭48)		認 証 状 伝 達 年 月 日	AD 1973年 9月16日 (昭48)		創 立 会 員 数	24 名	
創 立 時 ガバナー	青 山 幸 高	スポンサー ク ラ ブ	船 橋	R	C	特 別 代 表	右 島 四 郎	
姉妹クラブ締結								
インターアクト ク ラ ブ			ローターアクト ク ラ ブ					
クラブ事務所						〒 273-01 鎌ヶ谷市道野辺 952 第一勧業銀行鎌ヶ谷支店内 TEL 0474 (42) 1121		

地区内 創立 メンバー	No. 46	R C 名	松戸北 ロータリークラブ			RI 認 証 年 月 日	AD 1973年(昭48) 4月12日	
例 会 日	火 曜 日	例 会 場	松戸公産ファミリーランド(松戸市二ツ木)				TEL 0473 (44)5696	
創 立 年 月 日	AD 1973年 4月2日 (昭48)		認 証 状 伝 達 年 月 日	AD 1973年 10月10日 (昭48)		創 立 会 員 数	28 名	
創 立 時 ガバナー	半 田 利 一	スポンサー ク ラ ブ	松 戸	R	C	特 別 代 表	福 岡 芳 弘	
姉妹クラブ締結								
インターアクト ク ラ ブ			ローターアクト ク ラ ブ					
クラブ事務所						〒 270 松戸市二ツ木 548-3 松戸公産ファミリーランド内 TEL 0473 (44) 5696		

地区内 創立 メンバー	No. 47	R C 名	袖ヶ浦 ロータリークラブ			RI 認 証 年 月 日	AD 1974年(昭49) 4月8日	
例 会 日	木 曜 日	例 会 場	京葉シーバースRドルフィン(君津郡袖ヶ浦町)				TEL 04386 (2)1211	
創 立 年 月 日	AD 1974年 2月21日 (昭49)		認 証 状 伝 達 年 月 日	AD 1974年 10月20日 (昭49)		創 立 会 員 数	28 名	
創 立 時 ガバナー	藤 代 善 次 郎	スポンサー ク ラ ブ	木 更 津	R	C	特 別 代 表	大 日 方 惟 信	
姉妹クラブ締結								
インターアクト ク ラ ブ			ローターアクト ク ラ ブ					
クラブ事務所						〒 299-02 君津郡袖ヶ浦町神納 2377 千葉トヨタグループカウンセリングセンター内 TEL 04386 (2) 5727		

地区内 創立 メンバー	No. 48	R C 名	茂原東 ロータリークラブ			RI 認 証 年 月 日	AD 1975年(昭50) 11月12日	
例 会 日	水 曜 日	例 会 場	茂原商工会議所(茂原市茂原)				TEL 04752 (2)3361	
創 立 年 月 日	AD 1975年 9月17日 (昭50)		認 証 状 伝 達 年 月 日	AD 1976年 3月28日 (昭51)		創 立 会 員 数	30 名	
創 立 時 ガバナー	岡 野 正 雄	スポンサー ク ラ ブ	茂 原	R	C	特 別 代 表	岡 沢 明	
姉妹クラブ締結								
インターアクト ク ラ ブ			ローターアクト ク ラ ブ					
クラブ事務所						〒 297 茂原市茂原 443 茂原商工会議所内 TEL 04752 (2) 3361		

地区内立 創メンバー	No. 49	RC 名	柏 西 ロータリークラブ			RI 認 証 年 月 日	AD 1975年(昭50) 11月 24日	
例 会 日	金 曜 日	例 会 場	三和銀行柏支店(柏市旭町)				TEL 0471 (63)6131	
創 立 年 月 日	AD 1975年 11月 7日 (昭50)		認 証 状 伝 達 年 月 日	AD 1976年 5月 16日 (昭51)		創 立 会 員 数	24 名	
創 立 時 ガバナー	岡野正雄		スポンサー ク ラ ブ	柏 R C		特 別 代 表	榎本 赴	
姉妹クラブ締結								
インターアクト ク ラ ブ					ローターアクト ク ラ ブ	柏 RAC		
クラブ事務所						〒277 柏市柏 2-10-19 伊藤商事株式会社内		
						TEL 0471 (63) 5102		

地区内立 創メンバー	No. 50	RC 名	沼 南 ロータリークラブ			RI 認 証 年 月 日	AD 1976年(昭51) 2月 23日	
例 会 日	木 曜 日	例 会 場	下総クラブ(東葛飾郡沼南町)				TEL 0471 (91)4332	
創 立 年 月 日	AD 1976年 2月 10日 (昭51)		認 証 状 伝 達 年 月 日	AD 1976年 6月 13日 (昭51)		創 立 会 員 数	26 名	
創 立 時 ガバナー	岡野正雄		スポンサー ク ラ ブ	我孫子 R C		特 別 代 表	畠山 雅雄	
姉妹クラブ締結								
インターアクト ク ラ ブ					ローターアクト ク ラ ブ			
クラブ事務所						〒277 東葛飾郡沼南町大島田128 市川東葛信用金庫沼南支店内		
						TEL 0471 (91) 2161		

地区内立 創メンバー	No. 51	RC 名	千葉西 ロータリークラブ			RI 認 証 年 月 日	AD 1976年(昭51) 2月 25日	
例 会 日	火 曜 日	例 会 場	コックドール(千葉市富士見)				TEL 0472 (24)4884	
創 立 年 月 日	AD 1976年 1月 20日 (昭51)		認 証 状 伝 達 年 月 日	AD 1976年 4月 20日 (昭51)		創 立 会 員 数	35 名	
創 立 時 ガバナー	岡野雅雄		スポンサー ク ラ ブ	新千葉 R C		特 別 代 表	湯浅 恭仁	
姉妹クラブ締結		台湾・高雄北 RC						
インターアクト ク ラ ブ					ローターアクト ク ラ ブ	千葉 RAC		
クラブ事務所						〒280 千葉市富士見 2-2-1 ニュー千葉ビル 2F		
						TEL 0472 (25) 3201		

地区内立 創メンバー	No. 52	RC 名	白 井 ロータリークラブ			RI 認 証 年 月 日	AD 1976年(昭51) 3月 11日	
例 会 日	火 曜 日	例 会 場	成田信用金庫白井支店(印旛郡白井町)				TEL 0474 (92)0301	
創 立 年 月 日	AD 1976年 1月 25日 (昭51)		認 証 状 伝 達 年 月 日	AD 1976年 10月 17日 (昭51)		創 立 会 員 数	25 名	
創 立 時 ガバナー	岡野正雄		スポンサー ク ラ ブ	印 西 R C		特 別 代 表	鈴木子平	
姉妹クラブ締結								
インターアクト ク ラ ブ					ローターアクト ク ラ ブ			
クラブ事務所						〒270-14 印旛郡白井町白井 436-6 成田信用金庫白井支店		
						TEL 0474 (92) 0301		

地区内立 創メンバー	No. 53	RC 名	野田東ロータリークラブ			RI認 年証 月日	AD 1976年(昭51) 5月26日	
例会日	金曜日	例会場	太陽神戸銀行野田支店(野田市野田)				TEL 0471 (24)7111	
創立 年月日	AD 1976年 5月 14日 (昭51)		認証状 伝達年月日	AD 1976年 11月 14日 (昭51)		創立 会員数	27名	
創立時 ガバナー	岡野正雄	スポンサー クラブ	野田	R	C	特別 代表	田中政明	
姉妹クラブ締結	タイ国・トンブリRC							
インターアクト クラブ					ローターアクト クラブ	柏RAC		
クラブ事務所	〒278 野田市野田778 太陽神戸銀行野田支店					TEL 0471 (24) 7111		

地区内立 創メンバー	No. 54	RC 名	市川南ロータリークラブ			RI認 年証 月日	AD 1976年(昭51) 8月6日	
例会日	水曜日	例会場	大和銀行行徳支店(市川市行徳駅前)				TEL 0473 (57)6161	
創立 年月日	AD 1976年 7月 23日 (昭51)		認証状 伝達年月日	AD 1977年 3月 13日 (昭52)		創立 会員数	31名	
創立時 ガバナー	赤木諫夫	スポンサー クラブ	市川東	R	C	特別 代表	岩川喜三郎	
姉妹クラブ締結								
インターアクト クラブ					ローターアクト クラブ			
クラブ事務所	〒272-01 市川市行徳駅前1-23 大和銀行行徳支店					TEL 0473 (57) 6161		

地区内立 創メンバー	No. 55	RC 名	船橋東ロータリークラブ			RI認 年証 月日	AD 1977年(昭52) 6月10日	
例会日	木曜日	例会場	千葉銀行習志野台支店(船橋市習志野台)				TEL 0474 (66)6151	
創立 年月日	AD 1977年 6月 7日 (昭52)		認証状 伝達年月日	AD 1978年 4月 16日 (昭53)		創立 会員数	29名	
創立時 ガバナー	赤木諫夫	スポンサー クラブ	船橋	R	C	特別 代表	清川尚道	
姉妹クラブ締結								
インターアクト クラブ					ローターアクト クラブ			
クラブ事務所	〒275 船橋市習志野台3-2-1 千葉銀行習志野台支店					TEL 0474 (66) 6151		

地区内立 創メンバー	No. 56	RC 名	千葉中央ロータリークラブ			RI認 年証 月日	AD 1978年(昭53) 9月23日	
例会日	木曜日	例会場	ロイヤルプラザホテル(千葉市栄町)				TEL 0472 (24)6111	
創立 年月日	AD 1977年 9月 7日 (昭52)		認証状 伝達年月日	AD 1978年 11月 18日 (昭53)		創立 会員数	30名	
創立時 ガバナー	岩城長保	スポンサー クラブ	千葉	R	C	特別 代表	川口幸造	
姉妹クラブ締結								
インターアクト クラブ					ローターアクト クラブ	千葉RAC		
クラブ事務所	〒280 千葉市富士見2-2-1 ニュー千葉ビル2F					TEL 0472 (25) 3201		

あとがき（本部真之・記）

国際ロータリー創立75周年記念に第279地区史の刊行が定められたのは1979～80年度の初めであって、その発刊の時期を1980年（昭55）3月末に置かれ、そのための小委員会が地区に設けられました。この10ヵ月の期間に発刊まで持っていけるかどうかは全く自信のないことでありました。それが私の入院というアクシデントもあって、きょう、ここに発刊できるに至ったことは誠に嬉しいことであるとともに、このように半年も遅延したことを深くお詫びします。この間、委員会としても決して遊んでいただけではなく、関係各位から協力を得られた諸般の資料の整理に追われ、また、資料のとりまとめだけでも容易なことではありませんでした。各RC会員の多くの人々にはご判断できると思われるように、ロータリー・クラブの記録・資料は各RCにおいても大体は、その年の会長、幹事、委員長等にはわかっており、また整理や記録作業が、それらの人々によって作られております。しかし、これが史的にとりまとめたものは殆ど皆無にひとしく、さらに地区や各RCの歴年にわたる史的資料としてとりまとめたものに至っては極めて少なかったのです。したがって地区内56クラブの資料を正確に伝えるための資料は、このへんで何とかまとめて、将来に残す必要は誰しも痛感しているところでありました。その意味で地区史として千葉県内の分でもとりまとめておくことは国際ロータリー創立75周年記念事業としては、ぜひ必要なことであったことは申すまでもありません。こうした趣意を体して各RCは、その編集資料の協力には十分な努力をつくしていただけたと思っておりますが、ただ、問題は、それら提供されました資料が、どの程度、正確を得たものであるか、また、落ちこぼれがなかったかは、編集事務局としては皆目わからず、このへんに今回の、その作業に苦労が多かったわけです。したがって編集室としては提供せられたものや編集室独自に集めたものなどを整理する作業に重点を置いたために意外の時間を要さなければなりませんでしたが、これを察していただきたいと思っています。採用した資料は主として次によりました。

◎RI発行「世界のロータリー」

◎「日本ロータリー50年史」

◎「ガバナー月信」

◎各RC提供の「クラブ資料年表」「クラブ創立記念誌」「記録写真」

これらの資料提供にご尽力いただいた各RCはじめパスとガバナー、さらにRC創立記念周年記念誌など、お寄せいただいた各RCや担当者の方々に心から御礼を申し上げます。また、とくにご協力をいただいた株式会社千葉日報社、同社長土屋秀雄氏、同社開発企画局、加えて千葉県文化財保護協会事務局長石井暉二氏（元東京タイムズ社千葉支局長）および地区史編集室資料整理担任海妻利枝さんの援助協力に心から御礼を申し上げます。次第です。

前述したように、取材した諸資料を忠実に伝えることに腐心しましたが、おそらくは正確を欠いた点もあろうかと思われまします。もし、そのような点でご指摘をいただければ幸いです。正誤表によって訂正し、追ってお知らせしたいと考えています。

昭和55年6月30日

国際ロータリー第279地区ガバナー	齊藤 任
国際ロータリー第279地区	青山 幸高
ロータリー創立75周年委員会 委員長（代行）	（バスターガバナー）
国際ロータリー第279地区史編集委員会	
小委員長 本部 真之	委員 宮下 勝
委員 土屋 秀雄	委員 関根 義昭
委員 杉田 順三	委員 高長谷 良一
委員 国松 季彦	委員 大木 康司
委員 川口 幸造	委員 杉本 郁太郎

ロータリー創立 75周年記念 国際ロータリー第279地区史

——千葉県を照らす奉仕の灯——

発行日 昭和55年6月30日

発行者 ガバナー 齊藤 任

(〒294 千葉県館山市北条1064
第279地区ガバナー事務所内)

編集者 地区史編集委員長 本部 真之

(〒280 千葉県千葉市市場町2-9-2 第2池田ビル1F)
国際ロータリー第279地区史編集委員会編集室)

印刷所 株式会社千葉日報社企画開発局出版部

(〒280 千葉県千葉市中央4-14-10)

